

平成 30 年 度

高知医療センター年報

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

目次

はじめに ー病院長あいさつー	1
I 病院の概要	
1 高知医療センターの理念及び基本方針、患者さんの権利章典	3
2 高知医療センターの概要	4
3 沿革	5
4 高知県・高知市病院企業団体制	10
5 職員数と診療体制	
(1) 職員・職種別現員表	11
(2) 診療体制	11
(3) 経営分析に関する調	13
6 施設基準	15
7 財務の状況	21
II 各診療科資料	29
III 各委員会資料	61
IV クリニカルインディケータ	
1 退院患者数	
(1) 診療科別・性別退院患者数	69
(2) 診療科別・在院期間別・性別退院患者数	70
(3) 診療科別・性別・在院日数の平均	73
(4) 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数	74
(5) 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均	77
(6) 大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	80
(7) 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	83
(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	103
2 外来患者数	142
3 疾病分類別統計	
全科疾病分類別上位頻度表	143
4 DPC 統計	
(1) MDC 別退院患者数	147
(2) 在院期間別退院患者数	148
(3) MDC 別・年齢別・性別退院患者数	149
(4) MDC 別退院患者・救急搬送数	150
(5) 診療科別診断群分類 (DPC) 上位頻度表	151

(6) 退院後の患者の動向（退院先）	159
5 悪性新生物統計	
(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数	160
(2) 悪性新生物による死亡患者数	167
6 死亡患者統計	
(1) 科別死亡率	168
(2) 死亡患者数	169
(3) 死亡患者数の割合	170
(4) 年齢別死亡患者数	171
(5) 死亡患者疾病順位表＜性別・年齢別＞	172

はじめに

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 病院長 島田安博

いつも高知医療センターに対してご理解、ご支援を頂き、感謝申し上げます。

平成 30 年度は、4 月から精神科病棟である「こころのサポートセンター」に高知大学精神科教室からの医師派遣により、成人精神科患者の診療を開始することができました。また 12 月には日本病院機能評価機構の審査を受審し、翌年 2 月には電子カルテの更新を実施しました。

開院から 14 年目となり、地域医療の中核として総合的な、高度急性期病院としての機能を徐々に充実してきたところです。

高知県の人口減少は想定以上の速度で進んでおり、外来・入院患者の減少が始まりました。

救急患者も自動車の安全装置であるシートベルトの普及で、重大な交通事故の件数は激減しています。

このような環境の変化のなか、高知医療センターでの高度医療の維持のため、医師ほか医療職の確保、働き方改革を徐々に進めております。医療者を労働者と見なし、在院時間を業務時間と自己研鑽に分類して時間外業務を特定することで、業務自体の根本的な見直しと効率化を推進しています。

高知医療センターは政策医療を担っており、採算性以上に医療の最後の砦としての社会的使命を担っておりますので、現在の診療機能をさらに効率化しながら持続する責任があります。

診療をリードする医師が意識改革を行い、自ら進んで診療業務を改善することが必要と思われれます。患者のための自己犠牲ではなく、チームリーダーとして全体として患者さんに最善の治療を提供するという意識変化が求められています。

これら臨床現場の大きな変革に対応しながら、新規治療法を積極的に導入し治療成績の向上に日夜努力してまいります。

また 1 年間の業績を振り返ることで、新たな課題を見つけ出し診療内容の改善につなげてゆきたいと考えておりますので、ご一読いただき、ご助言をお願い申し上げます。

今後とも皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

I 病院の概要

高知医療センターの理念及び基本方針

【理 念】 医療の主人公は患者さん

【基本方針】

- 1 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します
 - 患者さんの人間性を尊重し、十分な説明を行うことで、患者さんの理解をもとにした診療を実践します。
 - 患者さんのプライバシーを守り、安全で質の高い療養環境を提供します。
 - チーム医療を推進し、患者さんの心と体の痛みを和らげるように努め、一日も早い日常生活への復帰を目指します。
- 2 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
 - 医療や保健・福祉の向上のため、地域の病院や診療所、関係機関との連携を強化します。
 - 高度な医療機器を備えて、高度で先進的な医療を提供します。
 - 365日24時間体制で救急患者を受け入れます。
- 3 自治体病院としての使命を果たします
 - 基幹災害拠点病院として、大地震などの災害時にも医療機能が發揮できる病院にします。
 - 地域で不足する医療の確保に努めます。
 - 医療福祉職、学生などの教育・研修に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます。
- 4 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
 - 高知医療センターに関わるすべての職員が、誇りと向上心を持ち、総力を挙げて患者さんの立場に立った医療を提供するための資質向上に取り組みます。
 - 医学、看護学、薬学、栄養学などの臨床研究に力を入れ、職員のキャリア形成を支援します。
- 5 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します
 - モラルを守り、公正で開かれた病院を目指します。
 - 効率的な病院運営に努め、健全な経営を実践します。

患者さんの権利章典

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります。

1 「受ける権利」

- ① 患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ② 患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③ 患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④ 患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の [まごころ窓口] へお寄りください。
- ⑤ 患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の [なるほどライブラリ] をご利用いただけます。

2 「選べる権利」

- ① 患者さんは、検査、治療法、病気の見通しなどについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受け、そのうえで自らの生き方に沿って治療方法などを選択する権利があります。
- ② 患者さんは、病状や治療法などについて担当医以外の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めたうえで、治療方法などを選択する権利があります。
- ③ 患者さんは、正しい病名を告知される権利がありますが、一方、告知されない権利もあり、このいずれかを選ぶことができます。
- ④ 患者さんは、判断する能力が失われたような場合にそなえて、治療法などについて、あらかじめ明らかにしておく権利があります。
- ⑤ 患者さんは、法律が許す範囲で治療を拒絶する権利があります。またその場合には、医学的にどのような結果になるかを知る権利もあります。

3 「守られる権利」

- ① 患者さんは、病気を克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重され、守られる権利があります。
- ② 患者さんは、医療が実践されるあらゆる場面で、ご自身の個人情報第三者の目に触れることのないように配慮され、守られる権利があります。
- ③ 患者さんは、法令に基づく場合以外においては、本人の同意がなければ個人情報が関与する医療従事者以外に開示されないよう、守られる権利があります。
- ④ 患者さんは、医療に関係するすべての記録などが守秘されることを期待する権利があります。
- ⑤ 患者さんは、診断・治療データなどが研究・発表などに使われる際には、当院の定めるところによりプライバシーが守られる権利があります。

2 高知医療センターの概要

H30.4.1 現在

名称	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
開設者 病院長	企業長 山本 治 病院長 島田 安博
住所	〒781-8555 高知市池 2125 番地 1
連絡先	TEL : 088-837-3000 FAX : 088-837-6766
ホームページ	URL: http://www.khsc.or.jp
E-mail	khsc0001@khsc.or.jp
病床数	一般 588床 結核 20床 感染 8床 精神 44床 計 660床 内 救命救急 20 (ICU 8 CCU 4 HCU 8) 院内 ICU 8 NICU 12 後方 15 小児 32 産科 34 MFICU 3 (LDR 3) 開放病棟 10 6F SCU 10 HCU 12 特別室 19,440円 (9床) 9,720円(133床)
特殊病床	人工透析 9床(許可病床数に含まず)
施設概況	敷地面積 約 52,000 m ² 延床面積 本 館 : 約 67,400 m ² 精神科病棟 : 約 2,800 m ² がんセンター棟 : 約 3,600 m ² ドクターヘリ棟 : 約 2,000 m ² 構造 本 館 : 鉄骨鉄筋コンクリート造(基礎免震工法) 精神科病棟、がんセンター棟 : 鉄筋コンクリート造 ドクターヘリ棟 : 鉄骨造 階数 本 館 : 地上 12階 塔屋 1階 精神科病棟 : 地上 2階 塔屋 1階 がんセンター棟 : 地上 4階 ドクターヘリ棟 : 地上 3階 高さ 地上 58.5m 駐車場 約 560台(患者さん・見舞い客用) 身障者用 15台、救外用 14台
診療科目(39)	アレルギー科、移植外科、眼科、感染症内科、緩和ケア内科、救急科、形成外科、外科、血液内科、呼吸器外科、呼吸器内科、産科、婦人科(生殖医療)、歯科口腔外科、腫瘍内科、耳鼻いんこう科、消化器外科、消化器内科、小児科、小児外科、神経内科、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、心療内科、整形外科、児童精神科、精神科、内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、病理診断科、ペインクリニック科、放射線診断科、麻酔科、放射線治療科、リハビリテーション科
外来診療時間	8時30分から12時、13時から16時30分 受付：診療開始時間及び診療終了時間の30分前まで 休診：土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)
職員数(別掲)	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 医療技術 事務 その他
その他	臨床研修指定病院 救急告示病院(平成17年2月26日指定) 総合周産期母子医療センター(平成17年2月26日指定) 救命救急センター(平成17年3月25日指定) 基幹災害拠点病院 第1種感染症指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

3 沿 革

高知医療センターの前身の高知県立中央病院は、昭和23年5月1日に開院、昭和41年に桜井町に移転し、地域がん診療拠点病院、臨床研修拠点病院、救急病院などの機能を持ち、良質な医療を提供する病院として運営してきた。一方、高知市立市民病院は明治26年に市立伝染病隔離病舎として発足した。明治31年高知市丸の内に移転、市立伝染病院として開設、昭和24年高知市立厚生病院と改称、さらに昭和25年高知市立市民病院と改称し、昭和44年潮江市民病院を統合し高知市立市民病院として、救急病院、開放型病院、オーダーリングシステムなどの機能を持ち、同じく良質な医療を提供してきた。

しかし、県民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となり、両病院の整備に医療法などの制約のもと、統合整備することにより、そのスケールメリットを生かすことで機能の充実が図ることができ、医療資源の効率的な活用や住民に高度医療を提供できる病院として、平成17年に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院した。

平成2年9月（県議会）：高知県立中央病院の移転整備の検討を知事が表明

平成3年3月：（社）病院管理研究協会に県立中央病院の整備に関する基本調査を委託、「中央病院整備基本調査」が提出

平成3年8月：（社）病院管理研究協会、コンピューターシステム研究所に高知市立市民病院の現状分析、将来構想、業務改善などの基本調査を依頼

平成4年4月：高知市立市民病院分析基本調査報告、病院情報システム化計画調査分析開始

平成5年2月：県議会；高知県知事橋本大二郎「統合について市と協議したい」と申し入れ

平成5年4月：高知市立市民病院業務改善推進委員会発足

平成5年5月：高知県医務課、病院局、高知市の事務レベル協議会開始（5回）

平成6年4月：高知市立市民病院歯科オーダーリングシステム稼働

平成6年6月：医療システム科学研究所に「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合基本調査」を委託

平成6年9月：「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合検討委員会」発足

この委員会の委員は県・市医師会代表、県・市事務職員、両病院院長・副院長、関連6大学（中央病院は岡山大学、自治医大、市民病院は徳島大学、高知医大（耳鼻科）、京都大学（外科、胸部外科）、三重大学（心臓外科））の専門委員で構成された。

平成6年10月：高知市立市民病院病棟オーダーリングシステム稼働

平成6年11月：高知県立中央病院；「高知県立中央病院事業経営改善実施計画」提出

平成6年11月：高知市立市民病院；「市民病院自主健全化計画」発足

平成7年2月：県・市統合検討委員会の検討結果；『各々単独で整備するよりも両病院を統合して整備する方が、県民・市民に対する医療面の貢献が大きいことから、

課題を解決して統合を推進すべき』

- 平成7年7月：市議会；「市民病院対策特別委員会」設置
- 平成7年8月：県・市各々が世論調査を実施（県：1000人、市：1000人を対象）
- 平成7年11月：高知市立市民病院外来オーダーリングシステム稼働
- 平成7年12月：世論調査公表（過半数は統合に賛成）
- 平成8年4月：「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合問題合同検討チーム」発足
- 平成8年5月：県議会；「病院統合問題調査特別委員会」設置
- 平成8年12月：市議会；「病院統合問題調査特別委員会」の報告；『両病院の今後を検討した結果、統合整備し、統合的かつ高度な診療機能を有し、将来の医療の進歩と多様化に対応できる県下の基幹病院を新たに整備し、その整備の主体として高知県と高知市により新に一部事務組合が設立すべき』
- 平成9年1月：「統合病院立地場所合同研究チーム」発足
- 平成9年12月：市議会；「新病院は統合して池地区に立地すべき」で承認
- 平成10年4月：高知県・高知市新病院整備推進室を設置
- 平成10年6月：新病院整備基本計画検討委員会が発足
- 平成10年11月：高知県・高知市病院組合（一部事務組合）設立
- 平成11年3月：新病院整備基本計画策定
- 平成11年3月30日の高知新聞：「県、高知市に基本計画提出 整備事業本格スタートへ」と掲載
- 平成11年7月：法律第117号（PFI法）第6条「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が発令
- 平成12年4月1日：基本設計業務開始
- 平成12年12月22日：新病院実施設計ワーキング・グループ；両病院において発足
- 平成13年1月：統合新病院整備推進要綱策定、推進体制の確立、実施設計業務開始
- 平成13年2月：統合新病院推進事業へのPFI手法の導入開始
- 平成13年2月21日：（仮称）高知県・高知市新病院整備運営事業「実施方針」策定・公表
- 平成13年3月：公募により名称を「高知医療センター」に決定
- 平成13年4月：新病院開設許可、地方公営企業法一部適用
- 平成13年5月：「高知医療センターPFI事業化検討委員会」設置（高知県・高知市）
- 平成13年6月：「統合情報システム基本計画策定プロポーザル審査委員会」発足
- 平成13年8月：「高知医療センターPFI事業化検討委員会」中間答申（高知県・高知市）
- 平成13年9月：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定業務委託企業選定特定企業選定
- 平成13年9月15日：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
- 平成13年9月27日：高知医療センター整備運営事業にかかる特定事業の選定・公表
- 平成13年10月：「高知医療センター整備運営事業PFIプロポーザル審査委員会」発足
- 平成13年11月1日：本事業を実施する民間事業者の1次募集要項の公表・開始
事業に参加を希望する事業者の事前登録の実施

(登録期間：13.11.1～14.1.16、277社登録)

平成13年12月：1次審査実施(12.5～12.6) 応募4グループ全員合格

平成14年1月16日：県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」
について意見交換会

平成14年3月2日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」設置

平成14年3月15日：本事業を実施する民間事業者の2次募集要項の公表・開始

平成14年3月29日：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定

平成14年5月27日：県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」
について意見交換会

平成14年6月24日：市医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」
について意見交換会

平成14年7月：2次審査実施(7.27～7.29)、最優秀提案者オリックスグループを選出

平成14年8月9日：高知医療センター整備運営事業にかかる優先交渉権者、次点者の決定・
契約交渉開始、優先交渉権者：オリックスグループ、次点者：三井物産グル
ープ

平成14年9月2日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の設置

平成14年10月7日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の提言書

平成14年10月24日：PFI基本協定の締結

平成14年10月30日：SPC(「高知医療ピーエフアイ株式会社」)設立

平成14年12月8日：PFI事業契約の締結(平成14年3月事業の終了)
高知医療センター新築工事「起工式」

平成15年2月25日：IT基本協定締結

平成15年3月11日：病院組合業務システム開発整備委託契約締結

平成15年3月28日：SPC業務システム開発整備・運営保守管理および病院組合業務シ
ステム運営保守管理委託契約締結

平成15年4月1日：両病院で、1患者1診療録開始

平成16年4月1日：高知県・高知市病院組合が運営母体となり、従来の高知県立中央病院
は高知県・高知市病院組合立高知中央病院、高知市立市民病院は高知県・高
知市病院組合立高知市民病院と名称を変更

平成16年12月11日：統合情報システム総合リハーサル開始(5回)

平成17年2月13日：高知医療センター開院式、ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開
所式

平成17年2月19日：両病院から高知医療センターへ物品移転開始

平成17年2月21日：両病院外来診療休診(～2.28)

平成17年2月25日：ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所

平成17年2月26日：両病院から高知医療センターへ患者移送

平成17年2月26日：高知医療センター開設

平成17年2月26日：へき地医療拠点病院に指定される

平成 17 年 2 月 26 日：エイズ治療拠点病院に指定される
平成 17 年 2 月 26 日：第 1 種感染症指定医療機関に指定される
平成 17 年 2 月 26 日：総合周産期母子医療センターに指定される
平成 17 年 3 月 1 日：外来診療開始
平成 17 年 3 月 1 日：高知県・高知市病院企業団設立（地方公営企業法全部適用）、正式病院
名称を『高知県・高知市病院企業団立高知医療センター』と変更して開院
平成 17 年 3 月 25 日：救命救急センターに指定される
平成 19 年 4 月 25 日：地域医療支援病院に指定される
平成 19 年 7 月 1 日：D P C 準備病院に承認される
平成 20 年 2 月 8 日：地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成 21 年 2 月 16 日：日本医療機能評価機構認定病院として認定される
平成 21 年 4 月 1 日：D P C 対象病院に指定される
平成 21 年 12 月 17 日：高知医療センター P F I 事業契約解約合意に係る確認書を締結
平成 22 年 3 月 11 日：高知医療センター整備運営事業契約解約合意書を締結
平成 22 年 3 月 31 日：高知医療センター整備運営事業 P F I 事業契約終了
平成 22 年 8 月 12 日：欧州型ドクターカー（F a s t M e d i c a l R e s p o n s e C a r）の導入
平成 22 年 11 月 17 日：高知女子大学（現高知県立大学）と包括的連携に関する協定締結
平成 23 年 3 月 12 日：高知県ドクターヘリの導入
東日本大震災のため高知県ドクターヘリにて D M A T 派遣
平成 23 年 5 月：「こころのサポートセンター（精神科病棟）」新築工事起工式
平成 24 年 2 月：統合情報システム（I I M S）更新
平成 24 年 3 月：「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始
平成 24 年 4 月：「こころのサポートセンター（精神科病棟）」新設
平成 24 年 4 月：基幹災害拠点病院に指定される
平成 8 年 12 月 19 日に高知県立中央病院が指定された「基幹災害医療セ
ンター」の名称変更
平成 24 年 5 月：ドクターヘリ場外離着陸場設置
平成 24 年 10 月：S C U 新設（3 床）
平成 25 年 1 月：結核病床（30 床）廃止
平成 25 年 4 月：N I C U 増床（3 床：計 12 床）、S C U 増床（3 床：計 6 床）、H C U 新設（12
床）
平成 26 年 3 月：日本医療機能評価機構による「病院機能評価付加機能認定証（救急医療
機能）」の交付
平成 26 年 7 月：ハイブリッド手術室新設
平成 26 年 10 月：一般病床（周産期関係）増床（4 床：計 30 床）
平成 27 年 2 月：G C U 増床（3 床：計 15 床）
平成 27 年 3 月：S C U 増床（4 床：計 10 床）

平成 27 年 5 月：開院 10 周年記念行事

平成 27 年 11 月：「新がんセンター（仮称）」新築工事起工式

平成 28 年 4 月：熊本地震にDMAT3 隊派遣

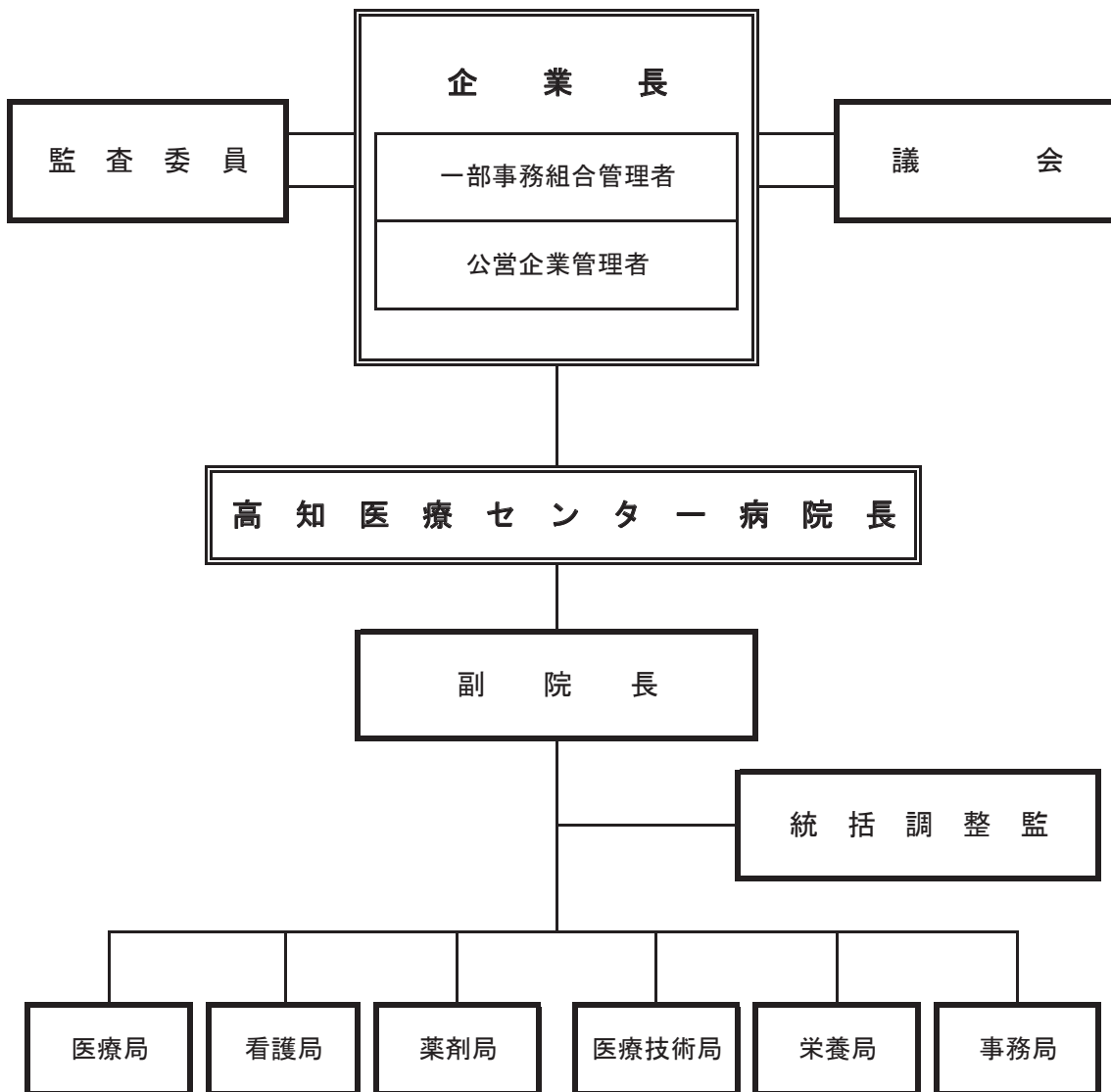
平成 29 年 3 月：「がんサポートセンター」竣工

平成 29 年 11 月：「患者支援センター」新設

平成 31 年 2 月：統合情報システム（IIMS）更新

平成 31 年 3 月 31 日：ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち閉所

4 高知県・高知市病院企業団体制



○ 6つのセンター機能

- 「がんセンター」
- 「循環器病センター」
- 「地域医療センター」
- 「救命救急センター」
- 「総合周産期母子医療センター」
- 「こころのサポートセンター」

5 職員数と診療体制

(1) 職員・職種別現員表

正職員数

所属	職種	平成29年4月1日		平成30年4月1日	
		人数	備考	人数	備考
医療局	医師	140		142	
	歯科医師	4		5	
看護局	看護師	726	助産師含む	738	助産師含む
薬剤局	薬剤師	29		28	
医療技術局	放射線技師	31		31	
	臨床検査技師	21		22	
	臨床工学技士	15		15	
	理学療法士	13		13	
	歯科衛生士	3		3	
	視能訓練士	2		2	
	言語聴覚士	4		4	
	臨床心理士	2		3	
栄養局	作業療法士	4		4	
	管理栄養士	9		11	
事務職	行政職	34		34	
	診療情報管理士	8		8	
	MSW	10		10	
	司書	1		1	
	医療情報事務	2		2	
合計		1,058		1,076	

(2) 診療体制

看護職員配置数(病棟看護師のみ)

平成30年4月1日現在

階	フロア	病床分類	許可 病床数	有効 病床数	看護師
2F	なごやか	精神	44	44	18
3F		救命救急	20	20	45
		院内ICU	8	8	30
4F	すこやかA	NICU	12	12	32
		GCU	15	15	20
	— 一般	32	32	27	
	すこやかB	MFICU	3	3	8
— 一般		30	30	31	
5F	ほがらかA	— 一般	48	48	32
	ほがらかB	— 一般	48	48	34
6F	にこやかA	— 一般	48	48	32
		SCU	10	10	21
		HCU	12	12	26
7F	のびやかA	— 一般	48	48	34
	のびやかB	— 一般	48	48	31
8F	さわやかA	— 一般	40	40	休床中
	さわやかB	— 一般	48	48	34
9F	おだやかA	— 一般	48	48	32
	おだやかB	— 一般	40	40	30
10F	あたたかA	— 一般	30	30	25
		結核	20	20	
		一類感染症	2	2	
	あたたかB	二類感染症	6	6	
合計			660	660	542

病床数

			平成29.4.1～					平成30.4.1～								
			許可 病床数	有効 病床数		一般病 棟病床 数 (病床 利用率 分母)	その他 病床数	施設基 準上の 一般病 床数	一般 病床数 (運用 病床数)	許可 病床数	有効 病床数		一般病 棟病床 数 (病床 利用率 分母)	その他 病床数	施設基 準上の 一般病 床数	一般 病床数 (運用 病床数)
2F	なごやか	精 神	44	44	44		44		44	44	44		44			
		児童・思春期														
3F		救命救急	20	20	28		20	20	20	20	28		20	20		
		院内ICU	8	8			8	8	8	8			8	8		
4F	すこやかA	N I C U	12	12	59		12	12	12	12	59		12	12		
		G C U	15	15			15	15	15	15			15	15		
		小児入院	32	32			32	32	32	32			32	32		
	すこやかB	M F I C U	3	3		33		3	3	3		3	33		3	3
一 般		30	30		30		30	30	30		30	30				
5F	ほがらかA	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
	ほがらかB	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
6F	にこやかA	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
	にこやかB	一 般	12	12	12		12	12	12	12	12		12	12		
		S C U	10	10	10		10	10	10	10	10		10	10		
7F	のびやかA	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
	のびやかB	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
8F	さわやかA	一 般	40	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0		
	さわやかB	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
9F	おだやかA	一 般	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48		
	おだやかB	一 般	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		
10F	あたたかA	一 般	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
		結 核	20	20	20		20		20	20	20		20			
	あたたかB	感 染 症	8	8	8	6	2	6		8	8	8	6	2	6	
合 計			660	620		474	146	442	548	660	620		474	146	442	548

(3) 経営分析に関する調(決算統計検収調書より)

区 分		算 式	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	類似規模 全国平均 (H29年度)		
病 床	病床利用率(%)	一 般	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	85.5	80.1	80.4	75.3	81.9	
		結 核	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	6.7	4.5	5.4	5.2	17.3	
		精 神	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	11.9	(25.6)	(35.1)	30.0	56.5	
		伝 染	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$					2.0	
		計	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	77.2	(75.5)	(76.0)	69.3	79.7	
患 者 数	1日平均患者数 (人)	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{365日 \cdot 366日}$	509.2	475.4	478.8	457.0	510.0	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	838.8	842.3	831.0	806.0	1,179.0	
		計		1,348.0	1,317.7	1,309.8	1,263.0	1,689.0	
	外来入院比率(%)		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	109.4	117.9	116.0	117.9	157.0	
	医師1人1日当 たり患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.7	3.4	3.4	3.1	3.2	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	4.1	4.0	4.0	3.7	5.0	
		計		7.8	7.4	7.4	6.8	8.2	
	収 入	職員1人1日当た り診療収入(円)	医 師	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延医師数}}$	347,427	344,915	350,533	328,028	299,484
			看護職員	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延看護師数}}$	67,899	68,401	80,684	67,159	75,100
		患者1人当たり 入院	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延入院患者数}}$	2,043	2,155	2,255	2,480	2,538
処置・手術			$\frac{\text{処置手術収入}}{\text{年延入院患者数}}$	27,335	28,833	28,827	28,349	19,205	
検 査			$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延入院患者数}}$	935	986	969	1,038	987	
放 射 線			$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延入院患者数}}$	535	564	575	707	527	
そ の 他			$\frac{\text{その他入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	45,506	48,000	48,576	49,642	41,241	
計			$\frac{\text{入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	76,352	80,539	81,202	82,216	64,499	
診療収入(円) 外来			投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延外来患者数}}$	5,554	6,156	7,169	8,199	8,170
		検 査	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,715	4,118	3,973	4,125	3,761	
		放 射 線	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延外来患者数}}$	2,780	3,081	3,257	3,763	2,741	
		そ の 他	$\frac{\text{その他外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	3,371	3,736	3,518	3,633	4,243	
		計	$\frac{\text{外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$	15,420	17,091	17,917	19,720	18,914	

※ 「病床利用率」欄の()書きは、稼働病床における稼働病床利用率。

区 分		算 式		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	類似規模 全国平均 (H29年度)
費 用	患者1人1日当たり薬品費(円)		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	6,570	6,896	7,105	7,923	5,722
	入院患者1人1日当たり給食材料費(円)		$\frac{\text{患者用給食材料費}}{\text{年延入院外来患者数}}$					371.0
	薬品使用効率(%)	投 薬	$\frac{\text{投 薬 薬 品 収 入}}{\text{投薬用薬品払出金額}} \times 100$	49.1	50.7	51.8	52.2	119.9
		注 射	$\frac{\text{注 射 薬 品 収 入}}{\text{注射用薬品払出金額}} \times 100$	60.9	64.9	72.5	73.9	99.7
費 用 構 成	医業収益に対する 割 合(%)	職員給与費	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	49.7	48.6	50.9	53.1	47.7
		薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	13.9	14.0	14.2	15.4	14.8
		その他の材料費	$\frac{\text{そ の 他 医 療 材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	16.2	15.5	15.7	15.0	13.1
職 員 数	病床100床 当たり職員数	医 師	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	20.5	20.9	20.8	28.8	24.2
		看護部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	104.5	104.7	109.4	108.8	100.0
		薬剤部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.8	4.2	4.2	3.8	4.7
		事務部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	5.5	5.6	5.6	5.3	11.7
		給食部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	1.4	1.4	1.4	1.5	2.1
		放射線部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.9	3.3	4.7	4.7	4.9
		臨床検査部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.5	4.2	3.2	3.3	5.9
		そ の 他	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	5.2	5.9	6.2	10.2	9.6
		計	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	148.2	150.2	155.5	166.4	163.1
検 査 薬 品	診療収入に対する 割 合(%)	検 査 収 入	$\frac{\text{検 査 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	5.4	5.8	5.5	6.0	7.3
		放射線収入	$\frac{\text{放 射 線 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	3.8	4.2	4.3	4.9	5.1
		薬 品 収 入	$\frac{\text{薬 品 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	8.7	9.4	10.4	11.5	16.3
室 料 差 額	1人1日当たり	個 室	最高	19,440	19,440	19,440	19,440	
			最低	9,720	9,720	9,720	9,720	
	徴 収 額(円)	2人以上室	最高					
			最低					
	室料差額対象病床数/総病床数(%)				21.5	18.9	18.9	18.9

類似規模全国平均は地方公営企業年鑑 第2編 統計資料 6病院事業 (12)経営分析に関する調イ 経営規模別 (ウ)全事業 における 500床以上データから抜粋

6 施設基準

平成31年3月31日現在

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年4月
	歯科外来診療環境体制加算 2	平成20年7月
	歯科診療特別対応連携加算	平成22年4月
	一般病棟入院基本料	平成20年7月
	急性期一般入院料 1	平成20年7月
	A D L 維持向上等体制加算	平成31年1月
	結核病棟入院基本料	平成20年7月
	精神病棟入院基本料	平成24年3月
	総合入院体制加算 1	平成20年8月
	超急性期脳卒中加算	平成20年4月
	診療録管理体制加算 1	平成17年2月
	医師事務作業補助体制加算 1	平成21年5月
	急性期看護補助体制加算	平成23年2月
	看護職員夜間配置加算	平成28年7月
	看護補助加算	平成24年5月
	療養環境加算	平成20年3月
	重症者等療養環境特別加算	平成19年2月
	無菌治療室管理加算 1、2	平成24年4月
	緩和ケア診療加算	平成23年2月
	精神科応急入院施設管理加算	平成24年4月
	精神病棟入院時医学管理加算	平成24年4月
	精神科身体合併症管理加算	平成31年3月
	精神科リエゾンチーム加算	平成28年4月
	栄養サポートチーム加算	平成22年6月
	医療安全対策加算 1	平成20年4月
	医療安全対策地域連携加算 1	平成20年4月
	感染防止対策加算 1	平成22年4月
	感染防止対策地域連携加算	平成22年4月
	抗菌薬適正使用支援加算	平成30年4月
	患者サポート体制充実加算	平成24年4月
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成19年1月
	ハイリスク妊娠管理加算	平成20年4月
	ハイリスク分娩管理加算	平成20年4月
	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	平成24年5月
後発医薬品使用体制加算 2	平成30年4月	
データ提出加算 2	平成24年4月	
提出データ評価加算	平成24年4月	
入退院支援加算 1	平成28年10月	

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	認知症ケア加算 1	平成28年4月
	精神疾患診療体制加算	平成28年4月
	地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年4月
	救命救急入院料 3	平成22年4月
	特定集中治療室管理料 3	平成17年2月
	ハイケアユニット入院医療管理料 1	平成25年6月
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年12月
	総合周産期特定集中治療室管理料（母体、胎児）（新生児）	平成19年4月
	新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年5月
	一類感染症患者入院医療管理料	平成17年5月
	小児入院医療管理料 2	平成22年4月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	高度難聴指導管理料	平成17年2月
	糖尿病合併症管理料	平成20年4月
	がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月
	がん患者指導管理料イ、ロ、ハ	平成26年4月
	外来緩和ケア管理料	平成24年4月
	移植後患者指導管理料イ	平成26年4月
	糖尿病透析予防指導管理料	平成24年4月
	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	平成30年4月
	院内トリアージ実施料	平成25年5月
	外来放射線照射診療料	平成25年6月
	ニコチン依存症管理料	平成18年4月
	療養・就労両立支援指導料（相談体制充実加算）	平成30年4月
	開放型病院共同指導料	平成17年2月
	がん治療連携計画策定料	平成22年4月
	薬剤管理指導料	平成17年2月
	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年6月
	医療機器安全管理料 1	平成20年4月
	医療機器安全管理料 2	平成20年4月
	医療機器安全管理料（歯科）	平成20年4月
	歯科治療総合医療管理料	平成18年4月
	持続血糖測定器加算	平成26年4月
	遺伝学的検査	平成30年1月
	骨髄微小残存病変量測定	平成30年4月
	抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	平成30年4月
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成22年4月
	検体検査管理加算（Ⅰ）	平成20年4月
	検体検査管理加算（Ⅱ）	平成22年4月
遺伝カウンセリング加算	平成30年10月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成20年4月
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成28年4月
	胎児心エコー法	平成30年4月
	ヘッドアップティルト試験	平成24年4月
	皮下連続式グルコース測定	平成22年4月
	コンタクトレンズ検査料 1	平成18年4月
	小児食物アレルギー負荷検査	平成26年5月
	内服・点滴誘発試験	平成22年4月
	センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年4月
	画像診断管理加算 1	平成17年2月
	画像診断管理加算 2	平成30年8月
	遠隔画像診断	平成17年2月
	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複 合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮 影又は乳房用ポジトロン断層撮影	平成29年4月
	C T 撮影及びMR I 撮影	平成17年2月
	冠動脈C T 撮影加算	平成22年4月
	外傷全身C T 加算	平成30年8月
	心臓MR I 撮影加算	平成20年4月
	小児鎮静下MR I 撮影加算	平成30年8月
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年4月
	外来化学療法加算 1	平成20年4月
	無菌製剤処理料	平成17年2月
	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年4月
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	平成25年4月
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成23年5月
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年7月
	リンパ浮腫複合的治療料	平成28年4月
	歯科口腔リハビリテーション料 2	平成26年4月
	通院・在宅精神療法	平成28年4月
	児童・思春期精神科専門管理加算	平成28年4月
	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療 指導管理料に限る。）	平成24年4月
	医療保護入院等診療料	平成24年4月
	処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年4月
	エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	平成17年3月
	エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）	平成17年3月
	人工腎臓 1	平成30年4月
	口腔粘膜処置	平成30年5月
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成30年4月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	う蝕歯無痛的高洞形成加算	平成20年4月
	CAD/CAM冠	平成26年4月
	皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	平成30年4月
	組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）	平成25年10月
	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	平成29年4月
	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成17年2月
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）	平成26年4月
	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	平成28年4月
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）	平成30年4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）	平成22年4月
	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	平成28年4月
	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成25年10月
	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	平成30年4月
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	平成17年11月
	経カテーテル大動脈弁置換術	平成26年12月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成17年2月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	平成30年4月
	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成17年2月
	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術	平成17年2月
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成20年4月
	大動脈バルーンポンピング法（IABP法）	平成17年2月
	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	平成30年4月
	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	平成26年4月
腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	平成26年4月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	平成26年4月
	バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	平成30年4月
	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	平成28年4月
	体外衝撃波胆石破碎術	平成24年12月
	腹腔鏡下肝切除術	平成24年4月
	体外衝撃波膵石破碎術	平成26年4月
	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年4月
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年4月
	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成23年2月
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成20年2月
	腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成23年2月
	同種死体腎移植術	平成20年4月
	生体腎移植術	平成20年4月
	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	平成26年4月
	膀胱水圧拡張術	平成22年4月
	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年4月
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年4月
	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年4月
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成31年1月
	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成23年2月
	胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成30年4月
	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年4月
	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年4月
	輸血管理料 I	平成20年8月
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年4月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年4月
	歯周組織再生誘導手術	平成20年4月
	手術時歯根面レーザー応用加算	平成22年4月
	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成25年11月
	口腔粘膜血管腫凝固術	平成30年5月
	レーザー機器加算の施設基準	平成30年5月
	麻酔管理料（I）	平成17年2月
	麻酔管理料（II）	平成22年4月
	放射線治療専任加算	平成17年2月
外来放射線治療加算	平成20年4月	
高エネルギー放射線治療	平成17年2月	
1回線量増加加算	平成26年4月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	強度変調放射線治療（IMRT）	平成29年11月
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成29年11月
	体外照射呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	定位放射線治療	平成17年2月
	定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	病理診断管理加算	平成26年4月
	悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年4月
	口腔病理診断管理加算	平成26年4月
	クラウン・ブリッジ維持管理料	平成17年2月
保険外併用療養費	特別の療養環境の提供	平成17年2月
	初診等の保険外併用療養費	平成17年2月
	180日を超える入院	平成17年2月
	齲蝕に罹患している患者の指導管理	平成17年2月
	金属床による総義歯の提供	平成17年2月
	急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	平成24年10月
入院時食事療養の基準	入院時食事療養費(1)	平成17年2月

7 財務の状況

1 損益状況(26年度～30年度)

(単位:円, %)

区 分 年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
経 常 収 益 (a)	22,293,273,542	22,052,079,818	22,589,781,947	22,833,508,575	22,624,820,651
うち 医 業 収 益 (b)	17,731,951,023	18,039,316,611	18,202,598,226	18,539,384,995	18,285,933,318
うち 料 金 収 入 (c)	17,063,895,502	17,373,103,215	17,474,076,690	17,822,832,834	17,600,340,625
うち 他 会 計 繰 入 金 (d)	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	2,287,601,787
経 常 費 用 (e)	20,996,327,448	21,979,428,450	22,065,975,420	22,488,069,111	23,372,749,116
うち 医 業 費 用 (f)	19,556,181,838	20,550,013,413	20,548,308,254	21,002,833,106	21,804,275,635
うち 職 員 給 与 費 (g)	8,934,318,117	9,482,150,096	9,454,814,252	9,699,377,944	9,991,969,210
うち 材 料 費 (h)	5,230,544,249	5,556,348,890	5,491,517,452	5,663,282,605	5,676,444,527
うち 支 払 利 息 (i)	513,067,648	486,914,219	459,824,779	438,453,446	412,075,386
経 常 損 益 (j)	1,296,946,094	72,651,368	523,806,527	345,439,464	△ 747,928,465
特 別 損 益 (k)	△ 2,164,221,791	△ 131,337,419	△ 28,227,203	△ 35,702,074	△ 5,739,896
純 損 益 (l)	△ 867,275,697	△ 58,686,051	495,579,324	309,737,390	△ 753,668,361
累 積 欠 損 金 (△) (m)	10,140,342,227	10,199,028,278	9,703,448,954	9,393,711,564	10,147,379,925
不 良 債 務 (n)	—	—	—	—	—
経 常 収 支 比 率 (a)/(e)	106.2	100.3%	102.4%	101.5%	96.8%
医 業 収 支 比 率 (b)/(f)	90.7	87.8%	88.6%	88.3%	83.9%
職 員 給 与 比 率 (g)/(b)	50.4	52.6%	51.9%	52.3%	54.6%
材 料 費 比 率 (h)/(b)	29.5	30.8%	30.2%	30.5%	31.0%
他 会 計 繰 入 金 比 率 (d)/(b)	16.9	13.1%	13.6%	13.3%	12.5%
不 良 債 務 比 率 (n)/(b)	—	—	—	—	—

2 貸借対照表(26年度～30年度)

(単位:円,%)

区 分	平成27年3月31日		平成28年3月31日		平成29年3月31日		平成30年3月31日		平成31年3月31日		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部	固定資産	29,454,400,999	73.8	28,648,920,756	71.8	28,785,337,327	73.1	28,813,021,788	71.7	29,009,589,202	69.9
	有形固定資産	28,014,916,510	70.2	27,599,077,737	69.1	28,128,203,651	71.4	28,246,646,201	70.3	26,785,945,541	64.6
	無形固定資産	702,246,359	1.8	385,027,781	1.0	66,186,798	0.2	49,297,069	0.1	1,780,433,503	4.3
	投資	737,238,130	1.8	664,815,238	1.7	590,946,878	1.5	517,078,518	1.3	443,210,158	1.1
	流動資産	10,466,826,769	26.2	11,233,206,284	28.2	10,602,725,432	26.9	11,382,894,678	28.3	12,472,955,217	30.1
	現金預金	4,422,575,685	11.1	4,579,585,450	11.5	3,466,573,989	8.8	4,392,268,653	10.9	6,199,653,030	14.9
	未収金	4,920,818,857	12.3	4,869,225,260	12.2	5,379,057,118	13.7	5,735,145,764	14.3	4,966,216,042	12.0
	貯蔵品	46,543,867	0.1	60,946,209	0.2	71,650,625	0.2	69,410,261	0.2	103,797,855	0.3
	前払金	2,321,360	0.0	2,159,365	0.0	3,367,700	0.0	2,382,000	0.0	2,152,290	0.0
	有価証券	1,074,567,000	2.7	1,721,290,000	4.3	1,682,076,000	4.3	1,183,688,000	2.9	1,201,136,000	2.9
	繰延勘定										
	控除対象外消費税										
	資産合計	39,921,227,768	100.0	39,882,127,040	100.0	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0	41,482,544,419	100.0
負債の部	固定負債	29,751,744,980	74.5	28,764,413,799	72.1	28,063,477,518	71.2	27,695,526,544	68.9	27,673,800,928	54.7
	企業債	26,374,515,601	66.1	25,312,014,598	63.5	24,593,519,525	62.4	24,351,634,427	60.6	24,316,862,130	48.0
	長期借入金	228,600,000	0.6	152,400,000	0.4	114,300,000	0.3				
	引当金	3,148,629,379	7.9	3,299,999,201	8.2	3,355,657,993	8.5	3,343,892,117	8.3	3,356,938,798	6.6
	流動負債	4,887,331,365	12.2	5,409,281,542	13.6	4,818,513,524	12.2	5,424,799,023	13.5	7,271,993,109	14.4
	企業債	2,307,583,233	5.8	2,559,501,003	6.4	2,277,495,073	5.8	2,415,885,098	6.0	2,605,772,297	5.1
	長期借入金	76,200,000	0.2	76,200,000	0.2	38,100,000	0.1	114,300,000	0.3		
	未払金	1,964,136,340	4.9	2,216,226,793	5.6	1,912,571,848	4.9	2,311,890,418	5.8	4,034,653,894	8.0
	賞与引当金	458,480,010	1.1	470,095,932	1.2	504,483,370	1.3	500,232,340	1.2	545,328,506	1.1
	預り金	80,931,782	0.2	87,257,814	0.2	85,863,233	0.2	82,491,167	0.2	86,238,412	0.2
	繰延収益	1,827,484,932	4.6	2,176,310,259	5.4	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	5.0
	長期前受金	1,827,484,932	4.6	2,176,310,259	5.4	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1	2,526,219,589	5.0
	負債合計	36,466,561,277	91.3	36,350,005,600	91.1	35,221,208,995	89.4	35,577,094,312	88.5	37,472,013,626	74.0
資本の部	資本金	13,385,957,629	33.5	13,385,957,629	33.6	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	26.4
	自己資本金	13,385,957,629	33.5	13,385,957,629	33.6	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3	13,385,957,629	26.4
	借入資本金										
	剰余金	△ 9,931,291,138	△ 24.9	△ 9,853,836,189	△ 24.7	△ 9,219,103,865	△ 23.4	△ 8,767,135,475	△ 21.8	△ 242,784,836	△ 0.5
	資本剰余金	209,051,089	0.5	345,192,089	0.9	484,345,089	1.2	626,576,089	1.6	771,953,089	1.5
利益剰余金	△ 10,140,342,227	△ 25.4	△ 10,199,028,278	△ 25.6	△ 9,703,448,954	△ 24.6	△ 9,393,711,564	△ 23.4	△ 1,014,737,925	△ 2.0	
資本合計	3,454,666,491	8.7	3,532,121,440	8.9	4,166,853,764	10.6	4,618,822,154	11.5	13,143,172,793	26.0	
負債資本合計	39,921,227,768	100.0	39,882,127,040	100.0	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0	50,615,186,419	100.0	

3 収益費用明細書(26年度～30年度)

(1) 収益

(単位:円, %)

科目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	医業収益比: 対前年比	
事業収益	22,347,547,548	22,132,970,210	22,679,850,498	22,901,547,232	22,787,676,786	124.6	99.5
医業収益	17,731,951,023	18,039,316,611	18,202,598,226	18,539,384,995	18,285,933,318	100.0	98.6
入院収益	14,110,696,508	14,230,183,122	13,976,153,434	14,190,209,480	13,720,862,737	75.0	96.7
外来収益	2,953,198,994	3,142,920,093	3,497,923,256	3,632,623,354	3,879,477,888	21.2	106.8
その他医業収益	668,055,521	666,213,396	728,521,536	716,552,161	685,592,693	3.7	95.7
室料差額	268,644,539	268,886,593	245,813,822	253,748,880	258,876,001	1.4	102.0
公衆衛生	105,669,178	102,738,709	123,394,431	126,712,312	109,325,535	0.6	86.3
受託検査							
その他医業	293,741,804	294,588,094	359,313,283	336,090,969	317,391,157	1.7	94.4
医業外収益	4,561,322,519	4,012,763,207	4,387,183,721	4,294,123,580	4,338,887,333	23.7	101.0
受取利息配当金	15,504,152	17,108,468	17,915,609	17,674,893	15,152,612	0.1	85.7
預金利息	504,152	505,656	270,609	105,983	152,612	0.0	144.0
有価証券利息	15,000,000	16,602,812	17,645,000	17,568,910	15,000,000	0.1	85.4
補助金	313,845,288	315,344,952	360,186,726	373,911,494	383,056,564	2.1	102.4
国庫補助金	21,422,000	16,927,000	15,828,000	16,400,000	19,521,000	0.1	119.0
県補助金	285,679,000	291,335,000	337,437,000	350,496,000	356,599,000	2.0	101.7
高知市補助金	6,744,288	7,082,952	6,921,726	7,015,494	6,936,564	0.0	98.9
構成団体負担金	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	2,287,601,787	12.5	93.0
長期前受金戻入	929,698,122	951,601,673	1,299,508,306	1,180,307,726	1,269,598,920	6.9	107.6
長期前受金戻入	929,698,122	951,601,673	1,299,508,306	1,180,307,726	1,269,598,920	6.9	107.6
その他医業外	310,146,257	364,547,366	226,394,461	263,355,896	383,477,450	2.1	145.6
不用品売却	704,084	541,107	671,615	644,520	642,373	0.0	99.7
有価証券評価益	75,335,000	146,723,000		14,562,000	17,448,000	0.1	119.8
その他医業外	234,107,173	217,283,259	228,722,846	248,149,376	365,387,077	2.0	147.2
特別利益	54,274,006	80,890,392	90,068,551	68,038,657	162,856,135	0.9	239.4

(2) 費用

科目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	医業収益比: 対前年比	
事業費用	23,214,823,245	24,208,654,820	22,189,951,102	22,694,270,600	23,541,345,147	128.7	103.7
医業費用	19,556,181,838	20,550,013,413	20,548,308,254	21,002,833,106	21,804,275,635	119.2	103.8
給与費	8,934,318,117	9,482,150,096	9,454,814,252	9,699,377,944	9,991,969,210	54.6	103.0
医師給	815,204,996	817,841,771	829,970,846	827,116,929	872,725,500	4.8	105.5
看護師給	2,107,442,598	2,217,274,464	2,181,411,603	2,269,275,468	2,329,689,034	12.7	102.7
医療技術職員給	376,559,088	387,698,073	411,229,916	428,575,572	433,184,205	2.4	101.1
事務職員給	95,715,276	99,534,545	104,160,803	112,682,928	119,493,611	0.7	106.0
医師手当	1,491,295,860	1,507,621,353	1,509,270,252	1,502,016,731	1,770,699,826	9.7	117.9
看護師手当	1,173,811,708	1,225,628,234	1,221,173,262	1,251,975,567	1,278,748,936	7.0	102.1
医療技術職員手当	185,936,975	193,659,818	202,228,579	217,052,930	220,882,382	1.2	101.8
事務職員手当	70,650,774	62,874,912	70,105,429	68,016,301	75,138,914	0.4	110.5
児童手当							
賞与引当金繰入額	458,480,010	470,095,932	504,483,370	500,232,340	545,328,506	3.0	109.0
賞金	490,381,078	467,456,455	426,190,953	431,641,823	434,622,250	2.4	100.7
報酬	264,511,046	253,069,575	283,386,774	273,926,287	268,987,045	1.5	98.2
法定福利費	1,252,880,844	1,279,012,040	1,341,524,974	1,374,904,484	1,403,623,329	7.7	102.1
退職給与金	151,447,864	500,382,924	369,677,491	441,960,584	238,855,172	1.3	54.0
材料費	5,230,544,249	5,556,348,890	5,491,517,452	5,663,282,605	5,676,444,527	31.0	100.2
薬品費	2,720,272,059	3,033,451,757	3,067,858,835	3,204,253,145	3,420,854,234	18.7	106.8
診療材料費	2,453,830,014	2,485,289,664	2,387,250,579	2,416,532,972	2,214,985,584	12.1	91.7
医療消耗備品	56,442,176	37,607,469	36,408,038	42,496,488	40,594,709	0.2	95.5
経費	3,370,324,677	3,390,539,852	3,436,128,318	3,644,167,144	3,939,216,168	21.5	108.1
厚生福利費	20,453,730	20,538,000	19,812,386	21,167,020	21,955,704	0.1	103.7
報償費	96,233,118	110,013,720	115,661,747	124,094,726	123,812,224	0.7	99.8
旅費交通費	8,180,156	7,642,864	9,418,629	8,544,362	7,511,397	0.0	87.9
職員被服費	2,343,520	2,511,260	2,387,150	2,118,700	1,391,960	0.0	65.7
消耗品費	94,717,415	70,287,991	97,814,711	97,218,411	75,302,537	0.4	77.5
消耗備品費							
光熱水費	416,821,211	370,594,769	337,414,725	370,580,108	393,448,998	2.2	106.2
燃料費	508,341	3,814,779	419,543	2,782,952	2,611,549	0.0	93.8
食料費	100,074	65,647	60,444	83,417	52,664	0.0	63.1
印刷製本費	3,006,880	2,904,840	3,008,100	4,215,100	4,118,200	0.0	97.7
修繕費	99,569,261	88,548,857	119,332,476	150,872,194	242,250,131	1.3	160.6
保険料	36,296,210	26,712,472	34,061,639	33,839,258	27,986,074	0.2	82.7
賃借料	109,760,490	104,906,575	115,899,205	131,490,123	127,385,407	0.7	96.9
通信運搬費	21,750,370	21,390,271	21,367,804	21,644,119	22,881,515	0.1	105.7
委託料	2,253,793,986	2,347,548,265	2,340,776,739	2,448,795,117	2,637,440,574	14.4	107.7
負担金諸会費	196,515,917	196,803,386	198,749,531	206,755,637	230,618,402	1.3	111.5
交際費	251,817	245,868	240,328	270,325	210,352	0.0	77.8
雑費	10,022,181	16,010,288	19,703,161	19,695,575	20,238,480	0.1	102.8
減価償却費	1,945,622,066	2,033,491,714	2,091,384,513	1,902,341,475	2,102,221,541	11.5	110.5
建物	1,078,855,501	1,093,737,043	1,094,814,839	1,173,047,102	1,182,632,607	6.5	100.8
構築物	31,504,854	31,504,854	31,504,854	31,504,854	31,504,854	0.2	100.0
器械備品	499,098,181	570,253,539	630,737,551	666,550,990	875,890,153	4.8	131.4
無形固定資産	336,163,530	337,996,278	334,327,269	31,238,529	12,193,927	0.1	39.0
資産減耗費	21,086,987	28,085,147	11,702,081	36,431,285	32,623,932	0.2	89.5
たな卸	11,885,769	10,787,727	8,947,935	11,441,474	11,472,048	0.1	100.3
固定資産除却費	9,201,218	17,297,420	2,754,146	24,989,811	21,151,884	0.1	84.6
研究研修費	54,285,742	59,397,714	62,761,638	57,232,653	61,800,257	0.3	108.0
謝金	1,538,035	1,631,937	1,876,555	988,274	945,991	0.0	95.7
旅費	30,295,635	29,852,945	30,377,809	30,319,161	33,490,411	0.2	110.5
研究雑費	22,452,072	27,912,832	30,507,274	25,925,218	27,363,855	0.1	105.5

科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	医業収益比	
						対前年比	対前年比
医業外費用	1,141,017,667	1,440,145,610	1,429,415,037	1,588,976,736	1,568,473,481	8.6	98.7
支払利息	539,791,491	513,067,648	486,914,219	438,453,446	412,075,386	2.3	94.0
企業債利息	536,158,991	510,610,332	484,814,291	436,684,962	410,313,608	2.2	94.0
長期借入金利息	3,232,500	2,030,000	1,524,000	762,000	571,500	0.0	75.0
企業債手数料及び取扱諸費	400,000	427,316	575,928	1,006,484	1,190,278	0.0	118.3
控除対象消費税償却	73,868,360						
長期前払消費税償却		73,868,360	72,422,892	73,868,360	73,868,360	0.4	100.0
議会費	1,355,972	1,167,558	1,311,474	1,272,628	1,284,765	0.0	101.0
報酬	959,832	953,000	981,822	953,333	953,000	0.0	100.0
旅費交通費	275,240	129,658	233,352	217,595	212,965	0.0	97.9
委託料	120,900	84,900	96,300	101,700	118,800	0.0	116.8
監査委員費	112,915	112,000	112,916	112,917	112,000	0.0	99.2
報酬	112,915	112,000	112,916	112,917	112,000	0.0	99.2
企業団管理費	5,172,082	5,510,060	6,402,717	3,113,017	2,242,914	0.0	72.0
報酬	36,000	81,000					
報償費	932,177	1,198,662	1,383,473	861,803	678,483	0.0	78.7
旅費交通費	2,376	6,501					
消耗品費			12,376	42,962			
印刷製本費							
賃借料	33,425	39,802		17,470	19,560	0.0	112.0
通信運搬費	3,229	173,739	84,597	147,004	75,280	0.0	51.2
委託料	1,338,747	1,116,000	1,476,425	366,600	141,000	0.0	38.5
負担金諸会費	91,239	91,852	109,352	38,426	42,130	0.0	109.6
雑費	2,734,889	2,802,504	3,336,494	1,638,752	1,286,461	0.0	78.5
その他雑損失	520,716,847	846,419,984	862,250,819	1,072,156,368	1,078,890,056	5.9	100.6
その他雑損失	88,773,360	88,413,919	71,101,759	90,415,144	150,763,582	0.8	166.7
3条控除対象外	149,919,979	251,670,093	253,191,349	273,258,108	298,566,331	1.6	109.3
4条 "	42,112,663	100,853,764	104,609,587	159,714,812	187,096,733	1.0	117.1
貯蔵品 "	239,910,845	405,482,208	433,348,124	439,577,573	442,463,410	2.4	100.7
有価証券評価損				5,450,000			
特別損失	108,276,938	2,218,495,797	212,227,811	103,740,731	168,596,031	0.9	162.5
過年度損益修正損	108,276,938	118,755,801	210,978,095	102,460,758	168,596,031	0.9	164.5
固定資産売却損		7,058,832	1,249,716	1,279,973			
臨時損失							—
その他特別損失		2,092,681,164					

科 目	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度	医業収益比	
						対前年比	対前年比
当年度純損益	125,933,264	△ 867,275,697	489,899,396	207,276,632	△ 753,668,361	△ 4.1	
累積欠損金	△ 9,273,066,530	△ 10,140,342,227	△ 10,199,028,278	△ 9,393,711,564	△ 9,703,448,954	△ 53.1	103.3

4 資本的収支明細書(26年度～30年度)

(単位:円, %)

科目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	対前年比
資本的収入	2,360,761,000	2,936,761,247	3,353,881,000	3,614,948,318	4,056,019,964	112.2
企業債	923,000,000	1,497,000,000	1,752,000,000	2,174,000,000	2,571,000,000	118.3
病院施設整備事業債						
医療器械整備事業債	923,000,000	1,497,000,000	1,752,000,000	2,174,000,000	2,571,000,000	118.3
構成団体負担金	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964	102.6
高知医療センター建設改良費負担金	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964	102.6
固定資産売却代金	801,000	3,181,247		820,800		
固定資産売却代金	801,000	3,181,247		820,800		
補助金	95,064,000	162,000	4,212,000	518,000	8,055,000	1,555.0
国庫補助金						
県補助金	95,064,000	162,000	4,212,000	518,000	8,055,000	1,555.0
寄付金		5,904,000				—
寄付金		5,904,000				—
資本的支出	3,656,014,653	3,811,717,198	5,317,381,277	4,508,952,682	5,115,498,626	113.5
建設改良費	1,404,936,457	1,427,933,965	2,488,680,274	2,193,357,609	2,585,313,528	117.9
医療器械整備費	847,529,219	784,347,575	371,110,186	1,869,698,630	525,295,065	28.1
資産購入費	129,779,695	244,393,810	193,312,095	122,170,852	1,909,665,383	1,563.1
施設整備費	427,627,543	399,192,580	1,924,257,993	201,488,127	150,353,080	74.6
一般管理費						
企業債等償還金	2,149,878,196	2,307,583,233	2,752,501,003	2,277,495,073	2,415,885,098	106.1
構成団体長期借入金償還金	101,200,000	76,200,000	76,200,000	38,100,000	114,300,000	300.0
収支差引	△ 1,295,253,653	△ 874,955,951	△ 1,963,500,277	△ 894,004,364	△ 1,059,478,662	

5 一般会計繰入金

(1)繰入金内訳(26年度～30年度)

(単位:円)

区 分	年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
収 益 的 収 入	企業債利息負担金	210,075,000	191,861,000	182,761,000	173,380,000	166,490,000	157,410,000	
	割賦金利息負担金	135,634,000	128,571,000	121,387,000	114,080,000	106,648,000	99,089,000	
	割賦金元金負担金							
	へき地医療確保繰入金 ①							
	結核病棟運営費負担金	92,253,000	100,009,000	100,422,000	58,980,000	64,175,000	71,141,000	
	小児医療負担金	15,335,000			131,953,000	132,556,000	164,390,000	
	周産期医療負担金	129,506,000	106,789,000	118,314,000	191,228,000	202,167,000	165,170,000	
	救急医療確保負担金 ※4～※10 ②	499,862,000	411,971,000	387,473,000	392,349,000	378,839,000	379,008,000	
	高度特殊医療等負担金	558,326,000	616,803,000	601,026,000	624,663,000	599,650,000	500,481,000	
	リハビリテーション医療負担金	11,417,000	12,325,000	31,257,000	2,905,000	1,191,000	2,237,000	
	院内保育所運営費負担金	22,067,000	27,229,000	39,424,000	31,230,000	28,297,000	19,411,000	
	保健衛生行政事務負担金 ③	18,497,000	18,053,000	18,074,000	17,950,000	18,162,000	18,602,000	
	医師等研究研修負担金	34,898,000	40,361,000	40,361,000	36,187,000	40,864,000	33,467,000	
	地共済追加費用負担金	293,969,000	296,626,000	244,829,000	154,317,000	178,361,000	187,966,000	
	医師確保対策費用負担金		5,243,000	7,393,000	6,367,000	6,228,000	5,740,000	
	基礎年金拠出金負担金	191,168,000	196,887,000	210,369,000	255,270,000	250,118,000	232,873,000	
	児童手当負担金	39,330,000	42,225,000	45,518,000	43,200,000	56,184,000	56,370,000	
	退職給与金負担金 ※1～※3 ④	552,000,000	575,968,000					
	企業団管理費負担金	16,209,000	20,401,000	20,505,000	17,691,000	17,557,000	9,037,000	
	弁護士費用負担金							
	感染症病床運営費負担金	4,427,000	5,846,000	7,042,000	5,912,000	5,920,000	3,809,000	
	診療機能差異化経費負担金							
	移行業務経費負担金							
	精神科医療に要する負担金 ※11 ⑤	228,569,018	194,960,700	188,005,748	225,516,619	205,466,571	181,400,787	
	計 (A)	3,053,542,018	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	2,287,601,787	
	資 本 的 収 入	企業債償還元金出資金	769,102,000	821,723,000	894,012,000	1,016,175,000	872,267,000	937,357,000
		〃 高度医療機器分	57,625,000	71,125,000	79,125,000	116,750,000	97,000,000	61,250,000
割賦金償還元金出資金		413,746,000	420,811,000	427,995,000	435,301,000	442,733,000	450,291,000	
施設整備出資金 ※9		1,500,000	1,412,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
精神科医療に要する負担金 ※12 ⑥		25,178,500	25,000,000	25,000,000	25,000,000	23,104,518	23,498,964	
応答解析業務に要する負担金			1,825,000					
災害時における救急医療のために行う施設整備費				2,882,000	2,943,000	3,005,000	3,068,000	
開院準備運営費負担金								
計 (B)	1,267,151,500	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	1,476,964,964		
繰入金合計	4,320,693,518	4,334,024,700	3,794,674,748	4,080,847,619	3,898,483,089	3,764,566,751		

長期借入金						
-------	--	--	--	--	--	--

	県負担分	2,339,162,018	2,317,115,700	2,033,877,248	2,195,474,619	2,093,425,089	2,014,850,751
医療セクター分の 計算式	収益的((A)-①-②※-③-④-⑤)×1/2+①+②※+③+④※+⑤	1,692,997,018	1,633,667,700	1,306,120,248	1,384,140,119	1,362,068,071	1,264,618,787
	資本的 ((B)-⑥)×1/2+⑥	646,165,000	683,448,000	727,757,000	811,334,500	731,357,018	750,231,964
	市負担分	1,981,531,500	2,016,909,000	1,760,797,500	1,885,373,000	1,805,058,000	1,749,716,000
医療セクター分の 計算式	収益的((A)-①-②※-③-④-⑤)×1/2+④※	1,360,545,000	1,358,461,000	1,058,040,500	1,099,038,500	1,096,805,500	1,022,983,000
	資本的 ((B)-⑥)×1/2	620,986,500	658,448,000	702,757,000	786,334,500	708,252,500	726,733,000

- ※1 退職給与金負担金(創薬職員分)の24年度については、県303,607,000円、市265,000,000円。
 ※2 退職給与金負担金(創薬職員分)の25年度については、県298,000,000円、市254,000,000円。
 ※3 退職給与金負担金(創薬職員分)の26年度については、県299,729,000円、市276,239,000円。
 ※4 24年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,718,000円については県負担。
 ※5 25年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,386,000円については県負担。
 ※6 26年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分38,703,000円については県負担。
 ※7 27年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分42,000,000円については県負担。
 ※8 28年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
 ※9 29年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
 ※10 30年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
 ※11、12 精神科医療に要する負担金については県負担。

(2) 繰入率・一床当り繰入額(26年度～30年度)

(単位:円, %)

年度 区分		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
一般会計からの繰入金	収益的収入繰入 (a)	2,992,128,700	98.0	2,364,160,748	79.0	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0
	負担金	2,992,128,700	98.0	2,364,160,748	79.0	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0	2,287,601,787	93.0
	資本的収入繰入 (b)	1,341,896,000	105.9	1,430,514,000	106.6	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6
	出資金	1,341,896,000	105.9	1,430,514,000	106.6	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1	1,476,964,964	102.6
	繰入金合計 (c)	4,334,024,700	100.3	3,794,674,748	87.6	4,080,847,619	107.5	3,898,483,089	95.5	3,764,566,751	96.6
収益的収入 (d)		22,347,547,548	107.6	22,132,970,210	99.0	22,679,850,498	102.5	22,901,547,232	101.0	22,787,676,786	99.5
資本的収入 (e)		2,360,761,000	109.6	2,936,761,247	124.4	3,353,881,000	114.2	3,614,948,318	107.8	4,056,019,964	112.2
繰入率	収益的収入 $\frac{(a)}{(d)} \times 100$	13.4		10.7		10.9		10.7		10.0	
	資本的収入 $\frac{(b)}{(e)} \times 100$	56.8		48.7		47.6		39.8		36.4	
	収益的収入に対する繰入金計 $\frac{(c)}{(d)} \times 100$	19.4		17.1		18.0		17.0		16.5	
一床当り繰入金(千円)	収益的収入繰入	4,534		3,582		3,762		3,726		3,466	
	資本的収入繰入	2,033		2,167		2,421		2,181		2,238	
	繰入金合計	6,567		5,749		6,183		5,907		5,704	

II 各診療科資料

総合診療科

1. 概要

総合診療科では、初診外来および日勤帯の救急外来において、臓器別ではなく、かつ疾患に偏りがない幅広い領域にわたる疾患や訴えをもつ患者さんへの診療を行っている。特に日常よく遭遇する common disease をはじめ、診断困難症例への対応や地域医療機関からのセカンドオピニオン、紹介状を持参せず来院された患者さんで、どの診療科にかかったら良いか分からない方、複数の健康問題に対する包括的なケア、根拠に基づく医療（EBM）、臨床推論、入院・外来患者さんの外来フォロー（再診診療）などを行っている。また病棟（入院）では、高齢者（特に虚弱高齢者）に対するケア、複数の病態を抱える患者さん、必要に応じて他の専門診療科との連携、心理・社会・倫理的複雑事例への対応、癌・非癌患者さんへの緩和ケア、退院支援と地域医療連携機能の提供、在宅患者さんの緊急入院対応などの役割も同時に担っている。当科では、特に救命救急センターとコラボレーションして、複数の診療科に渡る幅広い症例を豊富に診療している。本来であれば二次病院レベルで入院治療が可能な症例も、夜間や時間外に救命救急センターへ救急搬送されてくることから、救急専門医と一緒にこれらの救急患者さんを急性期病棟で診療、治療している。

2. スタッフ活動状況

部長 澤田 努 臨床研修管理センター長、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医・代議員

科長 伊東 秀樹 総合内科専門医

石川 忠則 主任医長 日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医

吉村 彰人 地域医療科長、医長、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

矢野 博子 医長 日本救急医学会専門医、日本プラ

イマリ・ケア連合学会認定医・指導医

石井 隆之 医長、日本脳外科学会専門医、

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

大平 咲 主査 緩和ケア内科併任 日本内科学会認定内科医

池田 達也 総合診療科専攻医

3. 診療実績

現在、月曜日～金曜日まで午前・午後と 2～3 診の外来枠で外来診療を行っている。初期臨床研修のローテーション研修中の研修医をはじめ、高知大学学外実習プライマリ・ケア、外来医療面接コースで実習に来る医学部学生さんらの教育活動も行っている。

病棟は 6A、9B 病棟をメインとして約 10～15 床前後で運用している。その他、地域医療分野における地域包括ケア、在宅医療などの業務として、黒潮町拳ノ川診療所、津野町国保杉ノ川診療所、宿毛市沖の島へき地診療所、四万十町国保十和診療所、仁淀川町国保大崎診療所、本山町国保嶺北中央病院、佐川町国保高北病院などへ毎週総合診療科医師を派遣している。

4. 今後の課題・目標

JCEP による指導の中で、臨床研修における外来診療の位置づけが大きいことが分かり、医療面接やコミュニケーションに重きをおいた教育が実践できる体制づくりを目指していく。また、救命救急センターとのコラボレーションはより深化したものとし、総合診療専門医の教育拠点としても努力していく所存である。

精神科

1. 医師数

平成 30 年度の医師数は、常勤医師が 5 人、非常

勤医師が3人であった。

2. 診療実績

平成30年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・ 延入院患者数...4,818人
- ・ 退院患者数...74人
- ・ 外来患者数...3,978人

3. 問題点・今後の課題・目標

精神科は、以前より稼働をしていた14床の児童思春期病棟に加えて、平成30年度から、30床の成人精神科病棟を再開することとなった。児童精神科2名に加えて、成人の精神科医3名が赴任した。成人精神科は、当科開設以来、他科からの依頼による精神科患者へのアプローチを行うリエゾン活動は継続していた。そこに病床が再開することによって、身体合併症を有する精神疾患患者の入院を受け入れることができるようになった。

総合病院における精神科は、わが国において重要視はされておらず、人的、経営的に困難に直面することが多い。しかし、リエゾンチームや認知症ケアチームなど、高度急性期病院においても精神科の果たす役割は大きい。実際に、成人精神科病棟が再開したことによって、精神疾患患者の身体合併症の入院、民間病院では対応困難な症例の受け入れをできるようになった。今後専門職を増やし、スタッフへの教育を続けることによって、高知県で重要な位置を占めるような精神科医療を提供していきたいと考えている。将来的には、措置入院や鑑定入院などの司法精神医学、そして精神科救急医療などに対応できる体制を整えていきたい。

児童精神科領域については、近年、心の健康に何らかの問題を抱える子どもたちの支援ニーズが高まっている。発達障害、児童虐待、愛着障害、複雑性PTSDなど、さまざまなキーワードが提唱され、子どもの生育や成長に関して精神的介入を

求められている。そのような状態になった子どもやその家族は、深刻な悩みを抱え、相談する機関を探すことになる。こころのサポートセンター児童精神科はこのような子どもたちとその家族を支援する重要な役割を担っており、より一層、診療体制を充実させる必要がある。

また、自閉スペクトラム症、ADHD、LDに代表される発達障害は社会全体の関心事である。これらの特性をもつ人たちは幼児期からさまざまな社会場面で適応できず二次的な精神疾患を抱えるおそれもあるため、支援体制の確立が不可欠である。多くの子どもの心専門医療機関が抱える問題として、患者の初診までの待機期間が長期になってしまうことが挙げられるが、当院は県下で唯一の児童精神科専門病棟を持つ医療機関であり、入院が必要な相談ケースには可能な限り早急な対応を心がけている。今後も関連機関と協力して、地域の子どもの心への問題への支援に貢献できるよう努めていきたい。

平成30年度、虐待を受けた子どもが大人になって、大きな精神的問題を呈して周囲の人に大きな影響を及ぼし、またその子どもも大きな精神的問題を起こしていることをよく目にした。親と子どもの問題に同時に介入することができる数少ない施設として、当精神科は高知県全体のメンタルヘルスの改善に寄与する可能性があると感じた。子どものメンタルヘルスから身体合併症、認知症まで、多くの人のサポートを頂きながら、高知県に貢献する精神科医療を提供していきたいと考えている。

地域医療科

1. 業務概要

高知医療センターは、へき地医療拠点病院として指定を受け、無医地区巡回診療やへき地診療所

への代診医派遣、へき地医療情報ネットワークを活用した遠隔画像伝送や離島診療所との遠隔診療などを主たる業務として担っている。また、初期臨床研修医や高知大学医学部の学外実習や地域医療夏期実習などで医学生に対する教育にも携わっている。

2. スタッフ活動状況

地域医療科医師 2 名（高知県へき地医療支援機構専任担当官を兼務）が中心となって無医地区巡回診療やへき地診療所への医師派遣、代診医派遣調整などを行っている。また、総合診療科医師 3 名とも連携し、5 名体制で業務を行っている。医師 1 名あたり週 1～2 回程度派遣され活動している状況である。

3. 活動実績

・無医地区巡回診療（長岡郡大豊町久寿軒・北川地区）

医師・看護師、薬剤師、事務職員で巡回診療班を構成し、毎月第 3 火曜日に巡回診療を行っている。

・へき地診療所への代診医派遣

平成 30 年度の代診医派遣実績は 353 日（実日数）であり、その内訳は、黒潮町国保拳ノ川診療所 129 日、宿毛市立沖の島へき地診療所 76 日、津野町国保杉ノ川診療所 42 日、四万十町国保十和診療所 34 日、仁淀川町国保大崎診療所 64 日、馬路村立馬路診療所 4 日、四万十市国保西土佐診療所 2 日、四万十町国保大正診療所 2 日であった。

・へき地医療情報ネットワークの活用

県内で 33 ヶ所の地域医療機関（へき地診療所を含む）がネットワークで繋がっており、画像コンサルトなどで活用されている。遠隔画像伝送により院内の各専門医に直接コンサルトすることが可能となっている。また、宿毛市沖の島へき地診療所では、天候不良などで地域医療科医師が島に渡れない際に、遠隔 Web 会議システムを利用して遠隔診療を行うこともある。

・医学教育

平成 16 年 4 月から始まった新医師臨床研修制度では、「地域保健・医療」が研修必修項目の中に挙げられており、中小自治体病院や診療所およびそれに関連する社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島にある医療機関や保健所等の地域保健・医療の現場を経験することが研修目標に明記されている。当院では地域医療科が中心となり、へき地医療機関を研修協力施設とする高知県内共通のプログラムに従って、プライマリ・ケア研修を学ぶことができる教育体制をとっている。

4. 今後の課題・目標

総合診療科との連携によって、ここ数年で当科としての活動範囲が経年的に広がってきた。しかし高知県は県内に 38 ヶ所の無医地区（H26 年 10 月現在）を抱えており、65 歳以上の高齢者人口比率は 33.6% で全国第 2 位の高齢県となっている。このような状況下では、当院の地域医療科単独で担うことのできる業務は限られている。しかし、今後も引き続き県内の他のへき地医療拠点病院とも連携を図ることで、更なる地域医療への貢献が期待できるのではないかと考えている。

血液内科・輸血科

1. 概要

血液内科専門医機構の基幹施設、非血縁者間骨髄採取・移植認定施設として、造血幹細胞移植医療を含めた血液内科領域全般の外来・入院診療や造血幹細胞移植を主として行った。

2. スタッフ活動状況

現在、岡山大学第二内科から医師 1 名派遣して頂き、常勤医師 6 名、併任医師（週 1 回）1 名が在籍している。今後も安定した人材確保ができる

か、特に女性医師の確保に努力するとともに女性医師が継続して仕事が続けられる職場環境の構築などが今後の問題点である。

3. 診療実績

(外来)

平日の午前に通常2名の医師で外来診療を行っている。紹介件数は2015年272件、2016年315件、2017年319件、2018年377件と増加傾向である。

(入院)

入院患者数は常時50名から60名と安定した患者数が確保できている。造血幹細胞移植件数は、2015年14件、2016年30件、2017年29件、2018年25件、造血幹細胞採取件数は2015年15件、2016年33件、2017年22件、2018年23件と推移している。

初診疾患別は、悪性リンパ腫は2015年84名、2016年99名、2017年87名、2018年92名、多発性骨髄腫は2015年11名、2016年20名、2017年19名、2018年32名、急性白血病は2015年40名、2016年45名、2017年43名、2018年38名とほぼ安定した推移を示している。

4. 今後の課題・目標

これまでは、高知県内の血液内科基幹病院の実情もあり、当科で診療する患者数が増加してきた。現在の診療体制を継続していくには、今後も安定した医師数確保が最も大切である。また、同様に造血幹細胞移植もほぼ安定した件数を安全に施行できるようになり、臍帯血移植、HLA半合致移植（ハプロ移植）も行なうようになってきている。それでもなお、十分には全て症例で造血幹細胞移植が実施できる状況ではないため、高次の医療機関で研鑽などを積み、更に上のレベルでの造血幹細胞移植医療の提供を目指す必要がある。より難易度の高い移植、あるいは難しい症例へ移植医療を行うためには、やはり安定した人員確

保（常勤医師5名以上、専修医数名程度）が必要と考える。

より高度な血液内科診療、造血幹細胞移植医療を提供するためには、多職種conferencesなどを通じて職員への教育、啓発を行い、チーム医療の重要性を共通認識し、現在進行中であるHCTC

（造血幹細胞移植コーディネーター）の育成にも今後も努力する必要がある。

高知大学に血液内科学講座が新しくできたこともあり、今後は岡山大学あるいは高知大学とも連携を更に密にして、診療にあたっていく。

昨年来からの目標である、LFTU 外来（移植後長期フォローアップ外来）の設置にも取り組みたいと考えている。

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

基幹病院として、糖尿病・内分泌疾患の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

平成30年現在は、常勤2名体制である。

3. 診療実績

平成30年度の外来患者さんの延べ人数は4,410人、入院患者さんの延べ人数は917人であった。

4. 今後の課題・目標

院内における糖尿病管理を継続する。

糖尿病患者さんは増加しており、また高齢化も進んでいるため、糖尿病の早期発見・治療に努め、合併症の進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した対策を行い、逆紹介の増加に努める。

救急科をはじめ他科と連携し糖尿病や内分泌疾患の診療レベルを維持したい。

若手医師育成に関しては、当院は、日本内分泌学会認定施設、日本糖尿病学会認定施設であり専門医の育成に努める。また、他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

放射線科・放射線療法科

1. 概要

各種画像診断(CT、MRI、核医学検査、PET-CT)・レポート作成、放射線治療、血管造影・IVR など日本医学放射線学会の総合修練施設として幅広い診療を日々行っている。

病診連携として他医療施設から画像診断(CT、MRI、核医学検査)をご依頼頂き、即日レポート作成を行っている。平成30年12月から高須病院に導入された前立腺癌MR-US融合画像ガイド下生検(TRINITY,KOELIS)のためのMRI画像提供ならびにPI-RADSに基づく報告書作成を開始したことで紹介件数が増加している。IVRに関しては救命救急センターとの連携による外傷に対するIVRや、院外施設からの依頼による外来でのCVリザーバー留置症例が増加してきている。

がんサポートセンターのオープン2年が経過しPET-CT、高精度放射線治療の安定した提供が行われ、さらなる症例増加を目指している。

2. スタッフ活動状況

放射線治療は、いずれも放射線治療専門医である2名の常勤医師と1名の非常勤医師を中心に行なっている。平成29年7月からは、がんサポートセンターにて2台の高精度放射線治療装置を用いて、強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療(STD)など高精度放射線治療を実施している。乳房温存療法後照射や前立腺癌根治照射などを中心とした、外来通院による治療例も増えてきている。

読影・レポート作成業務は5名の非常勤読影医

師の協力のもと読影専従医3名とIVR医4名、治療医2名で平成30年度4月よりすべてのCT、MRI、核医学検査の報告書作成を再開し、7月より画像診断管理加算Ⅱの請求が再開された。

IVRは全国のIVR学会修練施設370施設中11位(平成30年)の症例件数で、少ないスタッフで多くの症例を実施している施設として、IVRを習得したい若手医師からの研修希望が続き、現在3名(救急医2名、放射線科医1名)が研修中である。令和2年度以降も研修希望者が2名待機している。研修中の救急医を中心に当院救命救急科スタッフ、他診療科と協力して超重症患者のより良い診療体制作りのため、症例検討会を不定期に行っている。

3. 診療実績

放射線診断・画像診断レポート作成

- ・ CT: 23,436件(レポート:100%)
- ・ MRI: 8,500件(レポート:100%)
- ・ 核医学: 970件(レポート:100%)
- ・ PET-CT: 948件(レポート100%)

血管造影・IVR: 1,046件

- ・ CVカテ、リザーバー留置483件
- ・ 動脈塞栓術(頭頸部・胸腹部・他)135件
- ・ ドレナージ(胸腹部・他)166件
- ・ 生検(頭頸部、胸腹部・他)104件
- ・ 血管形成術(PTA、下肢、シャント)68件
- ・ ステンントグラフト(胸部・腹部)25件

腹部内臓動脈、頸動脈のステントグラフト(バイアバーン)治療、血管造影に伴う仮性動脈瘤のトロンビン局注療法を開始した。

放射線治療: 274件

- ・ 胸部(肺・食道)75件
- ・ 乳癌64件
- ・ 骨転移41件
- ・ 造血器・リンパ系25件
- ・ TBI(全身照射)11件
- ・ IMRT(強度変調放射線治療)108件

- ・ STI(定位放射線治療) 12 件

4. 今後の課題・目標

- ・ PET の検査件数の確保。
- ・ 臨床研究、論文発表、臨床試験への参加。
- ・ 放射線科レジデントの育成（新専門医制度では高知大学、岡山大学、徳島大学の連携施設に登録されている。）

腫瘍内科

1. 概要

消化器がんを中心とした固形がんの抗がん剤治療を担当し、2017年4月開院のがんサポートセンター3階外来ケアルームを主たる診療場所としている。

2014年7月以降、腫瘍内科医が赴任し、術前・術後化学療法、再発・転移例に対する化学療法を実施、治験・臨床試験も積極的に導入している。

診療初期より緩和ケア科と併診体制を敷き、緩和ケアチームをはじめとした多職種のかかわりにより全人的医療を実践しており、また病状進行期には、近隣の緩和ケア専門医療機関や在宅診療機関との連携を密に図っている。

2. スタッフ活動状況

平成30年4月より、腫瘍内科医の院長就任にあたり臨床業務を削減、香川大学より非常勤医師（3名での交代制）を招聘することで補填している。常勤医は従来通り、消化器内科医1名と院長の2名体制である。

3. 診療実績

外来のべ患者数は平成28年度4,889名、平成29年度4,904名、平成30年度4,987名であり、月平均400名あまりで高止まりとなっている。腫

瘍内科の初診患者数は月平均17～18名程度であり、前年比で1名以上の増となっている。その多くは消化器外科をはじめとした院内他科からの紹介であり、院外からの紹介は月平均で3-4名程度である。

対象癌腫は、胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌を主とした消化器がんを中心に、一部の原発不明癌も担当している。治療レジメンは、標準治療レジメンを第一に実施し、臨床試験や治験の適格条件を満たす場合には患者さんに説明し参加を依頼している。また、当センターの特徴として、外科、診断科との協力関係が良好であり、術前治療→切除という術前化学療法もスムーズに実施出来ている。初診時、高度進行癌や全身状態が不良な患者さんの割合も少なくないが、出来るだけ治療の可能性を検討して対応している。

4. 今後の課題・目標

- 1) 当センターに限ったことではないが、腫瘍内科医の確保は大きな懸案事項である。腫瘍内科医の必要性が増す一方で、安定した供給体制がないのが実情である。現在のところ腫瘍内科を目指す若手医師は大都市圏のがんセンターに集中する傾向があり、地方都市への招聘は極めて困難である。今後の高知県のがん診療を担う人材輩出のためにも、当センターにおいて消化器内科、外科と連携を図り若手ががん診療医の育成をしていく。
- 2) 当センターでの治療内容、長期成績についてデータベース構築。特に、高齢者患者さんの割合が高い当センターの特徴を考慮して、長期予後や、治療中止理由などの検討を行う。
- 3) JCOG 他の研究者主導臨床研究や治験に積極的に症例登録を行い、当センターの立場をアピールしていく。
- 4) 抗がん剤、支持療法の高騰化を適正化するために、新規薬剤の適応、導入について十分な検討を行い、医療経済的視点を持って抗がん剤に

あたる。

- 5) がんサポートセンター外来ケアルームの安定した運用のため、看護師をはじめとしたメディカル・スタッフの育成を目指す。

緩和ケア内科

1. 緩和ケア内科とチームの概要

治療の早期の段階から緩和ケアを提供し、全人的苦痛を取り除くように MSW や緩和ケアチーム専従看護師などと共働している。治療継続が困難な患者さんには最適な療養環境を整えることも行なっている。緩和ケアチームでは、介入依頼のあった入院患者さんの治療や療養場所などを主治医チーム、専従看護師、病棟看護師、薬剤師、MSW、管理栄養士、理学療法士などの多職種で話し合っ

2. スタッフ活動状況

緩和ケア内科は、専従医師 1 名、兼任医師 1 名。

緩和ケアチームは、専従医師 1 名、専任医師 1 名、兼任医師 1 名、専従のがん専門看護師 1 名、がん性疼痛認定看護師 1 名、専任の薬剤師 3 名、専任管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、MSW 2 名でチーム活動を行なっている。

がん診療連携拠点病院として医師への PEACE 緩和ケア研修会、看護師への ELNEC 研修会を開催した。また院内では病棟リンクナースの勉強会を行なっている。

研修医や地域の臨床医の研修や高知大学医学部学生の受け入れ、県立大学大学院生の受け入れも行なっている。

平成 29 年 4 月から、がんサポートセンター緩和ケアセンター、がん相談支援センターを開設。がん相談支援センターでは相談員 2 名が、対面あるいは電話やメールでの相談に応じている。

3. 診療実績

緩和ケア内科の外来は、月曜日～金曜日の午前中に診療を行なっている。基本的には院内他科に通院中の紹介患者さんが対象である。全人的な苦痛を取り除くことを目的にして治療を行ない、治療継続が困難となった患者さんには最適な療養環境を整えるように MSW や専従看護師と協力し、他院の外来に紹介を行なっている。

平成 30 年の外来診療件数は、1,945 件であった。当院に一度も入院せずに、他院の外来に紹介する患者さんも増加している。

緩和ケアチームは、火曜日と木曜日に定期チーム回診を行なうほかに、随時、回診を行なっている。平成 30 年度の依頼件数は、325 件であり、退院が 315 件（在宅ケア導入が 20 件、緩和ケア病棟転院が 46 件、その他の転院が 21 件、死亡退院が 26 件）であった。ほとんどががんの患者であるが、非がん（心疾患）3 件あった。なお緩和ケア診療加算件数は、1,084 件であった。

4. 今後の課題・目標

外来には、看護師、医療秘書は不在、緩和ケアセンター事務も不在である。診療のみならず、医師や看護師が勉強会や講演会の企画運営や会場準備まで担当する厳しい状態である。緩和ケアセンターの積極的な運用、提供する緩和ケアの質向上のために、マンパワーの充実を目標とする。医師や看護師、医療秘書の確保、また、緩和ケアセンターとして活動するための事務担当者、ゼネラルマネージャーの確保も必要。他診療科、他部署との連携、地域連携、緩和ケアの啓発も重要であり、継続課題である。

併せて、がん相談支援センターの活用の充実も目標とする。

ペインクリニック科

1. 概要

外来診療を中心として、患者さんへの治療を行った。また、神経ブロック治療や、キシロカイン、パルクスの点滴や内服薬などによる治療も実施した。

2. スタッフ活動状況

平成 30 年度の医師数は、常勤医師が 1 名、非常勤医師が 2 名（2 名とも麻酔科との兼任）であった。

3. 診療実績

平成 30 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数...202 人
- ・退院患者数...14 人
- ・外来患者数...3,924 人

病理診断科

1. 概要

各臨床科の外来診療・入院診療の一翼を担い、種々の検体を対象とした病理診断（組織診・細胞診・病理解剖）を行った。日本病理学会の認定施設、および日本臨床細胞学会の認定施設・教育研修施設の資格も維持している。

2. スタッフ活動状況

2 名の常勤病理医が業務に携わっている。いずれも日本病理学会認定病理専門医・病理専門医研修指導医である。前年より 1 名の人員減となっており、病理医 1 人あたりの業務量がやや増加しているが、業務の遂行に大きな支障は生じていない。

なお、医師に加え、医療技術局に属する 7 名の臨床検査技師（常勤職員 5 名、臨時職員 2 名、前者のうち 3 名は細胞検査士）、および事務局に属する医療秘書 1 名が業務をともにしている。

3. 診療実績

組織診は 6,018 件（うち迅速組織診 396 件）、細胞診は 5,008 件（うち迅速細胞診 10 件）、病理解剖は 12 体で、前年に比し組織診と細胞診はやや減少（それぞれ前年 6,459 件、5,257 件）、病理解剖はやや増加（前年 9 体）している。

組織診と細胞診においては、臨床科の幅広さを反映して、多領域・多臓器にわたる検体が提出されている。特に組織診では、手術検体の比率が高く（生検検体と手術検体の数に大差がない）、件数の割には作製ブロック数・標本数が多いという特徴がある。前年に比較すれば作製ブロック数・標本数もやや減少しているのだが（ブロック数 40,860→38,316、組織診 HE 染色標本数 43,614→41,017、細胞診 PAP 染色標本数 9,375→8,271）、コンパニオン診断を含め、診断や治療に際して有用な情報を提供しうる免疫染色の件数は増え続けており（7,062→8,224）、業務量全体としては大きく変化はしていない。

病理解剖は内科系からの依頼が主だが、それでも特定の臨床科にあまり偏ってはいない。全例において初期臨床研修医が臨床医の一員として関与し、また、全例において臨床病理検討会（CPC）を行っている。

4. 今後の課題・目標

病理検体の数が近い将来において大幅に変化する可能性は低いと思われるが、臨床科から求められる情報の量や質は、今後、徐々にではあれ高まる一方と考えられ、それに従って業務量も増えてゆくと予想される。よって、現時点では確保できている病理医のマンパワーを、将来にわたって維持してゆくための体制が必要となる。

新専門医制度の導入にあたり、日本病理学会認定病理専門医の研修については、当院は高知大学医学部附属病院を基幹施設としたプログラムの連携施設の一つとなっている。今後の人的要素の安定のためにも、高知大学医学部附属病院、および他の連携施設との関係を密にしてゆく所存である。

一方、予想される業務量の増加に関しては、標本作製等に携わる技師への配慮も必要である。

画像診断科

1. 概要

超音波学会認定施設として、医療技術局生理検査技師とともに外来および入院診療における心臓・腹部・血管・乳腺・甲状腺・体表超音波検査を行い、特に心臓超音波検査に積極的に介入している。

2. スタッフ活動状況

画像診断科・循環器内科に3名の日本超音波学会認定超音波専門医を有する。臨床検査技師と循環器内科医師で心臓超音波診断を行っている。

3. 診療実績

1階超音波検査室の5台の超音波検査機を中心に、検査室出棟ができない患者に対しては各病棟のポータブル機も使用し診療を行っている。平成30年度の検査室での全超音波検査件数は10,683件（平成29年度10,130件）であり、うち経胸壁心臓超音波検査は5,815件（平成29年度5,191件）であった。

心臓超音波検査では1-2名の循環器内科医が検査室に常駐する体制を継続している。臨床検査技師の検査にリアルタイムで医師が同席することで診断精度の向上と迅速な最終診断結果報告ができるようになり、また臨床検査技師や循環器内科下

級医師・他科研修医師・初期臨床研修医の指導体制の強化につながっている。初期臨床研修医や医学部の臨床実習学生、院外医師の研修も受け入れた。

平成30年度の経食道心臓超音波検査件数は182件（平成29年度156件）と前年よりも更に増加した。検査室での施行に加え、集中治療室管理の重症患者に対しては積極的に当日病棟出張で検査を行い、また手術室での心臓血管外科手術時に麻酔科医師が行う術中経食道心臓超音波検査に際しては必要に応じて応援を行った。

外来および入院患者における経食道心臓超音波検査に関して、検査時の苦痛軽減および全国的標準水準に追従すべく検査時の鎮静を基本方針とし、新たに外来看護師の応援体制を整えて鎮静中の患者の呼吸やバイタルサインの観察と補助業務を定型化することで安全管理面の向上につながった。

6月に大阪で開催された心臓超音波領域の全国講習会であるThe Echo Live 2018では、四国で初めてのライブ放映施設となり、大動脈弁狭窄症例に対する経食道心エコー図検査のビデオライブ配信を行った。

令和元年度に当院で導入される僧帽弁閉鎖不全に対する経カテーテル治療(Mitracrip®)の導入に当たり、手技の大半が術中経食道心エコーガイドによる特殊手技であるため、導入前のトレーニングコースや多施設見学に積極的に参加した。

4. 今後の課題・目標

超音波検査の需要は今後も増加することが予想され、診断業務の主軸を担う臨床検査技師のマンパワー不足が大きな問題である。予約枠数を大幅に超える検査オーダーに対しては周術期心臓超音波検査の適応に関するガイドラインを院内に周知して緊急適応のクラス分けを行い、また各科に検査予約時間の遵守の協力を要請しているが、全体の検査枠のうち予約外緊急オーダーが約30%を占めており、曜日や時間による検査数のばらつきが非常

に大きく、検査技師の負担や外来患者の待ち時間への対応が望まれる。

将来的に現状の診断能力を維持し更に向上するために、若手の臨床検査技師の増員および育成指導をより強化する必要がある。超音波以外の業務を担う循環器内科応援医師にとって超音波検査室業務の負担が大きく、医師の増員も望まれる。低侵襲画像検査として検査技術習得を希望する初期臨床研修医や他科医師も多く、指導カリキュラムの整備が課題である。

脳神経外科

1. 概要

脳神経外科学会専門医研修プログラムの連携・関連施設、脳神経血管内治療学会研修施設、脳卒中学会認定研修教育病院として、脳神経外科領域の外来診療や手術治療（カテーテルによる神経放射線治療を含む）を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは昨年同様 7 名の体制であった（うち 6 名が脳神経外科専門医）。外科治療を主目的にご紹介いただいた外来受診患者さんのみならず、脳卒中や頭部外傷などの急性期の神経疾患で救急受診した患者さんを幅広く診療した。

3. 診療実績

（外来）延べ人数 3,396 人

週 3 日の外来診療を各日 2 診察室の体制で行った。そのほか緊急患者さんを診療する人員を常に確保し、24 時間県内全域からの新たな患者さんを受け入れる体制を維持した。

専門外来は設けなかったが、全員が脳神経外科専門医であること、脳血管内治療専門医が各曜日に診療を担当していることから、専門的な診療が

可能であった。

（入院）延べ人数 10,999 人

06 SCU 病棟の 9 床など、急性期脳卒中の診療体制の充実に努めた。そのほか、一般入院加療は 06 にこやか A 病棟、特に重篤な急性疾患に関しては 03 救命救急病棟、入院患者の術後は 03 集中治療病棟もしくは 06HCU で加療を行った。

（手術）

平成 30 年度の脳神経外科の手術総数は 258 例（うち緊急が 174 例）であった。直達手術 157 例、脳血管内治療は 101 例であった。

4. 今後の課題・目標

高知県では他県よりも顕著に高齢化が進行している。高齢者に対する外科治療としては、低侵襲性を重視した脳血管内治療の適応が拡大している。

当科の診療体制の強みは、大半が脳神経外科専門医であること、脳神経血管内治療学会研修施設として中心的な役割を果たしていること、複数の脳卒中学会専門医および神経内視鏡専門医が在籍すること、医師以外のさまざまな職種が治療に能動的に関与していることである。したがって、当科の診療の特徴は、急性期脳卒中に対する集中的な治療である。

今後の問題点としては、県人口の全体的な減少や同様の診療体制を喧伝する競合施設の出現による症例分散に伴う症例数の減少である。また救急部への過度の負担も無視できない。つまり、現在の急性期脳卒中診療を中心とした診療体制のみでは、限界に近いことが予想される。

したがって、今後も日常診療における治療成績を向上させることは当然だが、各症例での収益率を高めること、脳神経外科を志す若手医師を養成すること、当院の協力施設を増やすこと、急性期脳卒中以外の高齢者の対象疾患を拡大することが重要である。具体的には、入院期間の短縮化、専門医制度の充実、紹介医への丁寧な報告書の提供と逆紹介の推進、正常圧水頭症などの機能的疾患の

診療の拡大を考えている。

到達すべき目標として DPC II 超率 20%、手術治療 250 例、緊急症例 6 割、逆紹介率 500%を努力したい。

現在の診療体制は近隣より高い評価をいただいているため、その迅速かつ信頼される診療体制を今後も守りつつも、より幅広い専門的疾患に対応できるような体制に移行していきたい。

眼科

1. 概要

眼科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤医師 2 名、非常勤医師 2 名で診療を行った。視能訓練士 2 名により眼科諸検査を行った。

3. 診療実績

(外来)

週 5 日の外来診療を常勤医師 2 名と非常勤医師 2 名で、3 診体制で行った(金曜日のみ 2 診体制)。主に視能訓練士による屈折検査、視力検査、眼圧検査、眼底カメラ撮影、OCT (眼底三次元断層撮影)などの検査後に、医師が細隙灯顕微鏡検査、眼底検査などにより診察を行った。また、術前検査として超音波検査、角膜内皮測定、涙管通水検査を行った。さらに、緑内障や脳外科疾患などの患者には視野検査、眼球運動検査などを視能訓練士が行った。糖尿病網膜症や網膜血管閉塞症には蛍光眼底造影などの検査を行い、必要に応じて網膜光凝固術を施行した。毎週水曜日には NICU での未熟児診療を行い、重症例では網膜光凝固術を施行した。

(入院)

入院患者の延べ数は、146 名であった。多くは手術症例であった。手術症例以外でも重症例では入院管理の下に治療を要する例もあった。

(手術)

平成 30 年度の眼科での手術総数は 220 例であった。内訳は、白内障および硝子体手術 129 例、眼瞼手術 15 例、網膜光凝固術 33 例、抗 VEGF 硝子体注射 36 例、その他 7 例であった。

4. 今後の課題・目標

眼科では外来検査の種類が非常に多い。小児や重度の全身疾患合併者では、検査に時間を要する。その中でいかに効率的な外来運営を行うかが課題である。病状に応じて、再来間隔や検査の頻度を適宜調節する。術後安定している患者は他院へ紹介する。外来診療に余裕を持たせ、初診患者や治療を要する患者に適切な時間をかける必要がある。令和元年度より視能訓練士が 1 名に減員となることを踏まえ、検査のスリム化や分散を図る必要がある。今後も院内他科・部門や他病院との連携も深め、人的確保も含め十分に検討していく必要がある。

耳鼻咽喉科

1. 概要

地域の基幹病院として、手術と入院を中心に診療を行った。外来診療は紹介患者さんの診察を主に行ったが、救急部と協力して耳鼻咽喉科救急疾患にも対応した。

2. スタッフ活動状況

田村耕三以下常勤医 4 名全て耳鼻咽喉科学会認定専門医の診療体勢になった。

3. 診療実績

(外来)

週3回(月水金)の外来診療を医師2~3名体勢で行なった。

がんの化学療法は延べ185例施行した。

救急部等の要請があり、緊急性を認めたときにはできる限り他の曜日でも対応を行なった。

当院での精査治療終了後は、速やかに紹介元に逆紹介を行った。可能な限り診療情報提供書を作成した。

(入院)

平成30年度入院患者の延べ数は390例であった。内訳は手術症例が243例、めまいや突発性難聴などの感覚器障害が48例であった。入院患者のうち、がん患者は89例で、手術を施行したのは40例で放射線化学療法を施行したのは24例であった。

合併症がある患者も多く、必要に応じて循環器内科など他科と連携して診療を行なった。

(手術)

平成30年度の手術症例数は399例であった。鼓室形成術等の耳科手術は64例、内視鏡下鼻副鼻腔手術は124例、口腔・咽頭手術は137例、耳下腺などの唾液腺手術は20例、頸部手術は33例であった。気管切開その他21例であった。うち、がんの手術は40例であった。

咽喉頭表在癌は経口的内視鏡手術で対応した。

頭頸部進行がんなどの再建を含む手術については、形成外科や消化器外科など他科と協力して手術を行なった。耳科手術は内視鏡を用いることもあった。

(検査)

一般開業医では施行できない検査を中心に行なった。即ち、組織生検135例、細胞診80例、電気眼振図38例、重心動揺計126例を施行した。

4. 今後の課題・目標

高知医療センターに求められる耳鼻咽喉科領域

の診療範囲は広く、特に救急疾患に対応するにはマンパワー不足は否めない。よりよい医療を提供するためにスタッフ増員が望まれる。当科は耳鼻咽喉科専門医研修施設に認定されており、今後新たに耳鼻咽喉科専門医を目指す若手医師を受け入れたい。

(注)手術件数は、日本耳鼻咽喉科学会算定方法によった。このため入院症例数に対して、手術症例数が見かけ上多くなっている。

歯科口腔外科

1. 概要

口腔顎顔面領域の外来診療や手術治療および周術期口腔管理に関わった。

日本口腔外科学会、日本有病者歯科医療学会、日本障害者歯科医療学会の認定施設としての診療基準をクリアした。

2. スタッフ活動状況

平成30年度は常勤スタッフ1名(日本口腔外科学会指導医)が増員となり、5名(歯科口腔外科4名、小児歯科および障害者歯科診療1名)が在籍した。後期研修医は昨年度から引き続き0名であった。外来(救急含む)・入院・手術・周術期口腔機能管理への対応、地域貢献活動としての講演などを行った。非常勤医師は2名(他院常勤医と行政職)で昨年度から変化はない。チーム医療としては周術期口腔機能管理、摂食・嚥下およびNSTに関与・協力している。

3. 診療実績

(外来)

5名が各々院内・外の紹介患者受け入れを行った結果、外来患者数は、新患数3,512人(昨年度

2,729人)で開院以来最高となった。再初診では延べ18,500人を超えた。紹介率については、院内の周術期口腔機能管理に力点を置いている関係上昨年より低下し49.5%(昨年度56.5%)に留まった。逆紹介率は、患者さんや紹介先との診療上の繋がりを重要視し対応しているがこちらも昨年度より若干低下し31.8%となった。なお平成30年度、周術期口腔機能管理の新規歯科受診件数は950件(昨年度578件)と増加した。

(入院)

入院患者延べ数は、1,403人であった。ここ数年の傾向として、高齢化に伴う疾患割合の変化、具体的には薬剤関連顎骨壊死や糖尿病などをはじめ合併症を有する難治性菌性感染症や後期高齢者以上の口腔癌治療ケースが増加傾向にある。

(手術)

手術室の年間執刀症例は91件とほぼ目標である100件に近い数であった。内訳は、難抜歯、嚢胞、骨髄炎、外傷、良性腫瘍および悪性腫瘍と開院以来研修施設として、あまり偏りのない件数が確保できている。

4. 今後の課題・目標

当科における診療は、口腔顎顔面領域の疾患に対する専門的治療を中心とし、有病者・障害者に対する外来診療、入院・手術治療、周術期口腔管理(院内・院外連携)が柱であり、今後は高齢化に伴って地域歯科医療の後方支援としての役割もより一層期待されるものとする。また患者支援センターからの周術期口腔機能管理の新規歯科受診件数は前年度より400件近く増加しているものの、歯科介入率は30%台とまだ低い。喫緊の課題として、歯科医師、歯科衛生士、診療スペースのさらなる確保を同時並行的に行って、新規患者受け入れ体制を整備することが挙げられる。また開院以来14年を経過し、様々な医療機器の更新が適宜必要となってきている。目標としては、①医療連携をベースに様々な全身

疾患を有する患者さんに対し、安心・安全な口腔顎顔面領域の疾患に対する観血的処置(外来・入院・手術)の提供ができる継続した体制作り、②マンパワーを確保し、周術期口腔機能管理の介入率のアップ(まずは40~50%台を)、それに関連して③口腔ケアに熟知し、病院歯科で活躍できる「歯科衛生士」の養成と獲得(県内養成機関である高知学園短大との包括連携協定の具体化など)である。

呼吸器内科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患の内科的診断、治療全般を行っており胸部異常陰影に対する気管支鏡検査、肺癌に対する化学療法、急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪などの急性期疾患、肺炎、間質性肺炎や肺結核治療を行える病院として高知県全域からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

3名の常勤スタッフで診療を行っております。

3. 診療実績

週5日の外来診療を、常勤医3名で、診察を行っている。表1に平成30年度の呼吸器系患者の入院、外来数の延べ人数を示した。延べ入院患者4,476人、外来患者数は3,891人である。入院患者の内訳は肺癌が半数をしめる。肺癌の化学療法は101人に施行されており、免疫チェックポイント阻害剤は48人、分子標的治療薬は29人に導入している。肺癌の化学療法については入院での治療導入後は外来化学療法が主体となっており、患者さんのQOLの維持を目的として緩和ケアチームと連携を取りながら治療に当たっている。

呼吸器内科の人員の減少により、通常の肺炎などは総合診療科や救急科で治療していただき、難治性肺炎や間質性肺炎など特殊な疾患については呼吸器内科での加療となる体制となっている。

気管支鏡検査は年間 207 例施行しており 1 泊 2 日のパスを使用している。末梢肺の小型病変に対しては EBUS-GS やバーチャル気管支ナビゲーションを使用して診断率向上に努めている。縦隔リンパ節病変の精査に対しては EBUS-TBNA を施行。原因不明の胸水の精査および膿胸の加療目的に局所麻酔下胸腔鏡を施行している。

表 1 入院・外来実績

入院・外来患者数		
	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器内科	4,476 人	3,891 人

表 2 平成 30 年度疾患別退院患者数(425 人)

疾患名	退院患者数(人)
肺炎	38
肺癌	277
気管支喘息	4
間質性肺炎	40
気胸	3
肺結核	11
その他	52

表 3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数 1 カウント)
呼吸器内科	101 人	712 回

4. 今後の課題・目標

肺炎などについては総合診療科や救急科の協力のもと加療を行い、肺癌など悪性疾患については呼吸器外科と連携のもと診断、治療を行っているが今後もスタッフの充実が望まれる。

呼吸器外科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患を中心に外科的治療(手術)を主に行う科で、「肺癌、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療」を基本理念としている。高知県全域および県外からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

開院以来 3 名の常勤スタッフで手術を中心とした診療を続けている。

3. 診療実績

週 2 日の外来診療を、常勤医 3 名で行った。表 1 に呼吸器系患者さんの入院、外来数の延べ人数を示した。入院、外来とも呼吸器外科患者数はそれぞれ約 3,100-3,400 人であった。

表 2 に手術実績を示した。平成 30 年は 188 例の手術を施行し、平成 29 年、平成 30 年と概ね 200 例弱の手術を施行した。

(<http://www2.khsc.or.jp/info/dtl.php?ID=1101>)

平成 30 年の内訳では、原発性肺癌が 77 例で最多であるが、当院の特徴として他の疾患からの転移(転移性肺腫瘍)の診断・治療(手術)が多いのも特徴である。胸腔鏡下の肺切除術(VATS)が手術全体の 8 割以上で行われている。平成 30 年も、年間を通して手術関連死亡(術死、在院死)を認めなかった。気管支鏡検査は、呼吸器内科、呼吸器外科合わせて 207 件で、呼吸器内科を中心に施行いただいた。

表 1 入院・外来実績(平成 30 年)

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器外科	3,192 人	3,466 人
呼吸器内科	4,476 人	3,891 人

表 2 手術実績

手術実績	平成 29 年	平成 30 年
肺癌	92	77
転移性肺腫瘍	28	30
縦隔腫瘍	17	16
気胸	18	17
膿胸	3	7
外傷	2	2
その他	34	39
合計	194	188

表 3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数 1 カウント)	レジメン適用回数 (患者・回数複数カウント)
呼吸器外科	40 人	70 回	267 回
呼吸器内科	101 人	144 回	594 回

表 3 に化学療法の実績を示し、呼吸器内科、呼吸器外科ともに多くの化学療法を行っている。1 患者さんあたり 2 種類以上のレジメンが施行されている。肺癌病期 IA 期でも、2cm 以上の大きさでは術後化学療法が推奨される。また大多数の切除不能肺癌・進行肺癌・再発肺癌の領域でのレジメン数は増加し、適応症例や適応回数も増加しうると思われる。DPC 資料からも地域での肺悪性腫瘍の診療実績が上位にあり、基幹病院としての役割を果たしている。

4. 今後の課題・目標

今後発展し続ける内視鏡手術の適応継続と保険収載となったロボット支援下の手術手技・システムの充実、保持、適切な更新とともに、肺癌化学療法の分野の著しい進歩に合わせた呼吸器内科・呼吸器外科の連携、スタッフの充実、教育、がん診療連携拠点病院の機能保持が望まれる。

循環器内科

1. 概要

『紹介患者さんを断らない』をモットーに、365 日・24 時間、循環器内科医師が常駐し、迅速な患者さん受け入れ直後より専門医師による救急医療を提供する。救急外来での診断、緊急カテーテル治療、CCU・一般病棟管理、早期からの心臓リハビリテーション（心リハ）、病診連携による外来フォローと、切れ目のない循環器診療を実践している。

虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）、不整脈に対するカテーテルアブレーション（RFCA）、各種デバイス移植術（ペースメーカーや ICD）、大動脈弁疾患に対する経皮的大動脈弁置換術（TAVI）/形成術（BAV）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（マイトラクリップ）、末梢血管疾患に対するカテーテル治療（EVT）等、最先端の低侵襲治療を積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 11 名、非常勤スタッフ 1 名の総勢 12 名で循環器診療を行っている（表 1）。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本不整脈心電学会専門医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会指導医、日本超音波医学会専門医、日本心臓リハビリテーション学会指導士の資格を持つ専属スタッフにより、PCI、RFCA、TAVI/BAV、マイトラクリップ、心エコー、心リハに質の高い医療を実践している。

3. 診療実績

平成 30 年度の診療実績を表 3 に示す。

平成 30 年度の外来患者数は延べ 8,568 人、入院患者数は延べ 12,623 人であり、平均入院日数は 6.6 日で概ね例年どおりであった。

当科での PCI については、ロータブレード、エキシマレーザー、方向性粥腫切除術 (DCA)、順行性解離再開通法 (ADR) の認定施設であり、複雑冠動脈病変への PCI を積極的かつ安全に行っている。

重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI の認定施設でもある。循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・コメディカルスタッフから成るハートチームで治療に当たり、良好な治療成績をあげている。当院は日本循環器学会専門医研修施設、日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設、日本内科学会認定教育施設であり、種々認定医・専門医の教育を行っている。

4. 今後の課題・目標

更に多くの患者さんを県内外の医療機関から紹介頂けるよう、カスタマーサービス含め医療のレベルアップを図る。

また、迅速な緊急患者さんの受け入れのため、急性期を脱し病状が安定すれば、迅速な退院・転院が可能となるよう密な病診・病病連携を継続し地域チーム医療を更に推し進める。

高知県で世界標準の循環器医療が受けられるようソフト面・ハード面ともに充実させ、地域完結型の循環器診療を目指したい。

(表 1)

名前	役職	専門分野
細木 信吾	循環器病センター長・科長	PCI (CTO)
山本 克人	医療局長	RFCA
尾原 義和	医長	TAVI/BAV
宮地 剛	医長	PCI・CT
古川 敦子	画像診断科長	心エコー
福岡 陽子	副医長	心エコー
飛田 諭志	副医長	循環器内科一般
山地 達也	副医長	循環器内科一般
吉村 由紀	副医長	TAVI/BAV

齋藤 映介	副医長	循環器内科一般
西本 美香	(非常勤)	心リハ
川田 哲史	(非常勤)	RFCA

(表 2)

曜日	午前・午後	名前
月曜	午前	尾原 吉村 山本 (不整脈)
	午後	尾原
火曜	午前	細木 飛田
	午後	細木
水曜	午前	山本 福岡
	午後	ペースメーカー外来
木曜	午前	宮地、山地
	午後	宮地 (再診)
金曜	午前	古川 齋藤
	午後	ペースメーカー外来

(表 3)

		件数
虚血性心疾患	冠動脈造影	1,157
	PCI (初期成功率)	394(97.7%)
	ロータブレード	57
	エキシマレーザー	17
CTO		46
不整脈	EPS	3
	RFCA	68
ペースメーカー	新規	68
	電池交換	24
ICD	新規	4
	電池交換	5
CRT-P	新規	3
	電池交換	0

CRT-D	新規	3
	電池交換	1
大動脈弁	TAVI	33
	BAV	16
EVT		21
心エコー	経胸壁	5,815
	経食道	182
心臓 CT		245
心筋シンチ		280
心臓 MRI		13
運動負荷 ECG		292

心臓血管外科

1. 概要

心臓血管外科専門医機構の基幹施設として、心臓血管外科領域の外来診療・入院診療を行っている。入院診療は手術治療を中心とし、手術対象は心臓・大血管・末梢血管である。

2. スタッフ活動状況

現在常勤スタッフ 3 名の体制で診療を行っておりますが、仕事の効率化や強力関係の強化によって、予定手術の増加が期待でき、緊急対応も万全に行える体制となっており、既に手術中である場合、または、麻酔科・手術室体制として受け入れ不可能な場合を除いて全ての緊急症例を受け入れる体制で診療している。

3. 診療実績

(外来診療)

火曜日と木曜日に外来診療を行っており、各々が特殊外来を兼任する形で行っている。一般的な心臓血管外科外来およびその他の特殊領域の外来；静脈瘤、末梢血管、ステントグラフト、先天性；などを対象として、外来診療を受診しやすく、

紹介しやすくして対応している。

当科では手術をした患者さんに関しては基本的に術後終生診させていただくことを原則とし、術後状態についても責任を持って行くべく、体制をとっている。

また、救急救命センターとの連携において、通常の急患はもちろん、術後状態変化のあった患者さんに関しても可及的早期に受診できる様にしている。

(入院診療)

当院 9 階フロアを循環器病センターとし、循環器内科と心臓外科を隣の病棟に配置して、術前後の連携を図っている。心臓・大血管術後急性期は当院 3 階の院内 ICU にて、集中治療科医との連携のもと、必要な期間治療している。

(手術治療)

週 4 日の手術日にて手術治療を、また、半日のカテ治療日にカテ治療を行っている。平成 30 年度の手術総数は 239 例で、弁膜症 84 例、虚血性心疾患 18 例、胸部大動脈瘤 30 例、腹部大動脈瘤 39 例、先天性 7 例などであった。僧帽弁逆流は基本的に形成術を施行、冠動脈バイパスは状態不良緊急例以外はほぼ OPCAB(人工心肺非使用)にて完遂、胸部瘤は日勤帯で終了し多くは当日に人工呼吸器離脱、という状況であり、疾患の重症度から考えられる最善の結果を得られている。

カテ治療も積極的に行っており、ステントグラフト治療は TEVAR と EVAR を併せて 27 例、TAVI 治療は 22 例に施行した。両治療ともに緊急・準緊急症例に対しても積極的に行っている。

手術成績は良好で、昨年 1 年間での在院死亡は 3 例で、広範囲郭清を必要とした弁輪膿瘍を伴う人工弁感染症例、超低心機能 ICM 症例、などであった。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化・高齢化した手術症例が増加する傾向はますます進行しているが、

院内他科、特に麻酔科・集中治療科・救急科との協力が充分に行われており、良好な成績を得ている。

最新の手術動向を取り入れつつも、高知で最も早く開心術を行ったチームから引き継がれた歴史と伝統を活かしつつ治療を行っており、しっかりした礎に建てられた最新の快適な家のように、病気に冒された患者さんに少しでも快適を提供できるように努力していきたいと考えています。

乳腺・甲状腺外科

1. 概要

日本乳癌学会認定施設、日本内分泌外科学会（旧日本甲状腺外科学会）認定施設として乳癌、甲状腺癌を中心とした乳腺疾患、甲状腺疾患の手術、薬物療法、緩和治療などを行っている。またセカンドオピニオンにも対応している。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ2名、乳腺疾患は高島、甲状腺疾患は大石が担当し、適宜ローテーション研修医、修練医が加わる。学外活動としては全国学会、地方会ともに演題発表には積極的に取り組んでおり、論文執筆も行っている。JBCRG、SBP、CSPORなどの臨床試験にも積極的に参加している。また癌診療拠点病院に関連した講演活動なども行っている。各種教育セミナーや研究会にも参加し知識、技術のアップデートに努めている。また遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとした遺伝性腫瘍に対するカウンセリング、サーベイランスにも力をいれている。さらに今年度から保険収載となったがんゲノムプロファイリング検査に関するセカンドオピニオンにも対応している。

3. 診療実績

以下に過去4年間の手術症例数を示す。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
乳腺手術件数	56例	83例	83例	88例

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
甲状腺手術件数	62例	81例	98例	89例

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
副甲状腺手術件数	7例	9例	8例	3例

手術症例数は順調に増えており、乳癌についてはエキスパンダーインプラント実施施設の認定を取得しており乳房再建も可能であるが、昨今の日本全国でのエキスパンダー、インプラントの自主回収のあおりを受け、現時点で保険診療下での乳房再建は自家組織のみとなっている。甲状腺については術後出血等の合併症に早急に対処できるよう安全対策の徹底をおこなっている。

(外来)

2名の常勤スタッフで週2回終日の外来を行っており、一日あたり最大50人程度の患者さんの診療を行っている。紹介率も年々増加傾向にある。可能な限り待ち時間を短縮すべく迅速かつ丁寧な診察に努めている。また外来診療日以外の日でも緊急を要する場合は適宜対応可能な体制を取っている。セカンドオピニオン、遺伝カウンセリングなどは時間的余裕をもって対応できるよう外来受診日以外に日程を別途もうけるようにしている。紹介医には詳細な経過報告を遅滞なく行う事に留意している。

(入院)

手術については乳腺、甲状腺ともに最大1週間の入院で可能な限り早期退院を目指している。術後リハビリ、リンパ浮腫指導なども病棟スタッフが中心となり、患者満足度を上げるべく努力している。化学療法については患者さん教育、副作用観察、服薬指導などを目的に初回のみ数日の入院で行うようにしている。終末期の患者さんについて

ては可能であれば当院での看取りも行っているが長期入院になることも多いため適宜、近隣の緩和病床への紹介も行っている。合併症発症時に総合病院のメリットを活かすべく関連科への迅速なコンサルトを心がけている。

4. 今後の課題・目標

2名のスタッフで診療に当たっているが症例数の増加に伴いマンパワー不足を感じる場面も多くなってきたため後進の育成もかねて当科への勧誘、アピールも積極的に行っていきたい。乳癌症例については外来治療が長期にわたることも多く、特に再発症例では終末期までを視野に入れた外来、入院間の途切れのない連携をいかに構築するかが今後の大きな課題である。認定看護師などを仲介とした医師、コメディカル間の情報共有がこれらの解決策として期待される。甲状腺手術に関しては県内唯一の甲状腺内分泌外科専門医が在籍していることから紹介数も増えているが、安全性を追求した手術を目指す努力を続けている。地域の中核病院として地元信頼され都会の専門病院にひけをとらない診療体制の構築が我々に課せられた義務であり、症例数のみを追求するのではなく診療の質を落とさないよう個々の患者さんに対し真摯に向きあえるようなチーム医療体制の確立が今後の目標である。

消化器内科

1. 概要

当診療科は消化器内科領域、特に消化管、胆膵疾患の診断・治療を担当し、外来および入院診療を行った。なかでも内視鏡診断・治療を中心として、救急治療、専門的な精査、治療を行った。また研修医および院外からの研修医師を受け入れ、診療および内視鏡研修の指導を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは計7名、他非常勤医師1名が水曜午後の外来を担当している。

3. 診療実績

外来業務：週5日午前、月・木・金は2診、火・水は1診での常勤スタッフによる診察、水曜午後に非常勤医師による診察を行った。また救命救急科を主として各科と連携しつつ救急外来の対応を行った。基本的には早期の転医を推進し、再診患者数の削減を目指している。

入院業務：検査、予定治療入院、緊急入院診療を行い、地域医療連携、退転院調整、離床促進やリハビリを早期より積極的に利用し、在院日数の短縮を図っている。

内視鏡実績以外には急性膵炎、炎症性腸疾患が主たる疾患で入院期間も長期になりやすい。

内視鏡実績：平成30年度の消化器内科での内視鏡実績は以下の通りであった。

上部消化管内視鏡検査

通常検査	1839
止血術	138
食道ESD	14
胃ESD	56
胃ポリペクトミー・EMR	3
十二指腸ポリペクトミー・EMR	5
静脈瘤硬化療法	13
静脈瘤結紮術	2
異物除去	23
胃瘻造設術	42
消化管拡張術：食道	56
胃十二指腸	1
ステント留置：食道	4
胃十二指腸	2
内視鏡下胃管挿入	26
胆膵EUS	59
FNA・ドレナージ	13
迅速ウレアーゼテスト	180

下部消化管内視鏡検査

通常検査	845
------	-----

止血術	59
大腸ポリペクトミー・EMR	285
大腸ESD	18
消化管拡張術 小腸・大腸	5
ステント留置	0
ダブルバルーン小腸内視鏡検査	8
ERCP	
通常検査	46
結石除去	194
ステント留置	140

4. 今後の課題・目標

主な業務となる消化器救命救急、がん診療に対する院内外からの要望がより高まる中、年々減少するスタッフの数が絶対的に足りていないのが現状である。また数年来肝疾患専門常勤スタッフ不在で、週1回非常勤医師の外来のみの対応となっている。これらは当科の指導システムや新しい人材の確保、施設認定等においても影響する課題といえる。

スタッフの確保と、いかに安全性を保ちつつ診療体制の維持・進歩をはかっていくかが最大の課題・目標である。

消化器外科・一般外科

1. 概要

高知県の消化器外科の基幹病院として、手術治療を主とした入院診療と外来診療、さらに救急医療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ16人の体制で活動した。

3. 診療実績

(外来)

外来診療は、平日午前、午後それぞれ2-3診察

室の体制体制で、1日平均患者数は約49.1人で推移しており、1枠の診察患者数は10~20人であった。初診患者数は2~3人であり、今後より多くの初診患者さんに対応できると考えられる。

(入院)

1日平均入院患者数は55~60人であるが、70人近い月もあり、昨年より増加傾向であり、新規入院患者数の達成率は100~110%である。平均入院日数は12~13日の間で変動しており、例年並みと考えられる。また手術件数は70~110件/月と月による変動がみられるが、手術総数は昨年より増加傾向にある。予定手術患者は前年度よりやや増加傾向にあり、今後さらに病診連携を進めて術後入院日数を短縮する努力が必要と考えられる。

(手術)

平成30年の消化器外科手術総数は1,091件であった。平成29年の手術総数は1,071件であり、前年度とほぼ同数であった。主な疾患別では、食道疾患23件、胃疾患118件、大腸疾患266件、肝胆膵高難度手術は114件であった。また、胆嚢摘出術145件(開腹胆摘44件、腹腔鏡下胆嚢摘出101件)、ヘルニア79件であった。腹腔鏡下手術は総数369件であり、全症例の約34%を占めていた。

4. 今後の課題・目標

常勤スタッフ数に対し、消化器外科専攻医が少ない状況が続いている。県外出身者からすれば辺境の地であるかもしれないが、豊富な手術症例数があり、上級医からの教育体制も整ってきており、外科医としての研修環境としては全国の基幹病院に引けをとらないと考えられる。今後は県内外の研修医に向けて積極的にアピールを行い、当科での専攻医希望も出て来ている。また、来年度から女性医師も就任し、女性医師が安心して働ける消化器外科を実現している。

さらに平成30年度から消化器外科内での臓器別グループ化を実施しており、今後より専門性を

高め、より質の高い医療が提供できるように努力をしている。各領域における臨床試験、治験等への取り組みもさらに充実できればと考えている。

学会発表・論文業績においてもこれまで岡山大学関連病院の中で有数であり、今後も業績を維持・向上させるべく各スタッフの努力が望まれる。

泌尿器科

1. 概要

泌尿器科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。当院は地域がん診療拠点病院であるため、泌尿器悪性腫瘍の患者さんが中心となるが、尿路結石の治療や、前立腺肥大症など排尿障害の手術なども積極的に行っている。また、移植外科と協同で腎移植にも関与している。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ4名と、後期研修医1名の5名体制で診療を行った。常勤スタッフ3名は日本泌尿器科学会の専門医・指導医であり、うち2名は泌尿器腹腔鏡技術認定医である。

診療時間外についても1名のオンコール体制により緊急対応も行っている。

3. 診療実績

(外来)

平成30年度の外来患者総数は6,783人、月平均565人であり、前年度とほぼ同様であった。

週4日(水曜以外)の外来診療は各日午前中3診察室の体制で行った。初診患者さんの紹介状は地域医療連携室へ事前にFAXで送っていただき、初診時にできるだけ効率よく検査ができるようにしている。

(入院)

入院患者さんの延べ数は4,075人であった。

入院目的となる大半の疾患に対してはクリニカ

ルパスを使用し入院期間の短縮に努めている。パス適応の手術・検査は、腹腔鏡下副腎摘除術、腎摘除術、腎尿管全摘除術、TUL、尿管ステント留置術、TUR-BT、前立腺全摘除術、HoLEP、精巣摘除術、前立腺生検である。

(手術)

平成30年の総手術件数は489例(前立腺生検も含む)であった。泌尿器悪性腫瘍に対する手術が多く、副腎腫瘍に対する副腎摘除術を2例(腹腔鏡下1例)、腎腫瘍に対する根治的腎摘除術を14例(体腔鏡下11例、開腹3例)、腎部分切除術を12例(小切開8例、体腔鏡下4例)行った。上部尿路腫瘍に対して腎尿管全摘除術(後腹膜鏡下)を7例行い、膀胱腫瘍に対しては膀胱全摘除術を4例(尿路変向は回腸導管3例、摘除のみ1例)、TURBTを63例(初発35例)行った。前立腺癌に対しては腹腔鏡下前立腺全摘除術を4例、去勢術を19例行った。精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術は4例であった。

悪性腫瘍以外については、前立腺肥大症に対する経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)を37例行い、結石治療としてPNL1例、TUL41例、ESWL4例、経尿道的膀胱碎石術4例行った。また、移植外科とともにドナー腎採取術を10例行った。尿管ステント留置・交換は78例、前立腺生検は128例(前立腺癌検出は82例)であった。

4. 今後の課題・目標

前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術などの泌尿器科手術でダ・ヴィンチを使用するロボット支援手術が保険適応となっており、こちらが標準的治療となりつつある。当院では未導入であるため、今後の治療レベルの維持のためには早期の導入が望まれる。

腎臓内科・膠原病科

1. 概要

腎臓疾患の基幹病院として、腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、膠原病、血管炎の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

平成 27 年 4 月から常勤スタッフ 3 名であったが、平成 28 年 8 月に 1 名退職し、常勤 2 名体制になった。9 月より高知大学より週 1 回外来、非常勤医師 1 名（月曜日 14:00～17:00、再診のみ担当、隔週勤務）、計 3 名体制で診療している。

3. 診療実績

外来患者さんの延べ数は、4,773 人（平成 28 年度）、3,686 人（平成 29 年度）、3,993 人（平成 30 年度）前年比 108.3%と増加した。平成 30 年初診 72 人であった。スタッフは減少したが、新患は可能な範囲で受入れた。

入院患者さんの延べ数は、4,512 人（平成 28 年度）、3,358 人（平成 29 年度）、3,106 人（平成 30 年度）前年比 92.5%に減少した。

腎炎・ネフローゼ症候群、膠原病、血管炎の診断、診療を中心に継続した。血液浄化療法に関しては、①急性腎不全、慢性腎不全急性増悪時に対する血液透析、血液透析導入、②他院にて血液透析中の合併症に対する治療（手術、内視鏡治療、循環器内科的治療、化学療法等）、③腎移植前後の管理（血漿交換、血液透析）、④消化器疾患（GCAP、血漿交換等）、⑤特殊な疾患に対する血漿交換療法（血栓性血小板減少性紫斑病など）を行った。

日本透析学会平成 30 年末統計調査は、当院新規導入 22 名（平均 70.0 歳、49～90 歳、男性 15 名、女性 7 名）、原疾患①慢性糸球体腎炎 0%、糖尿病性腎症 63.6%、③腎硬化症 13.6%と報告した。

他科入院中に合併する腎不全は、頻度が多く早期対応が望ましいと考え、対診枠は月～金、従来どおり継続した。時間外の急性腎不全、急性血液

浄化に関しては、救命救急科と連携し対応した。定期の血液透析は休日も同様に継続し、周術期に関連した血液浄化は、院内 ICU と連携し、時間外の臨時（緊急）透析に対応した。

4. 今後の課題・目標

院内発症の腎不全管理、腎代替療法の選択・導入、維持透析中の合併症治療における血液透析管理を継続する。

腎炎・ネフローゼ症候群、血管炎が増加しており、また高齢化も進んでおり、早期発見・治療に努め、末期腎不全への進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した慢性腎臓病（CKD）対策、特に早期発見、早期治療、その後の逆紹介アップに努める。

若手医師育成に関しては、当院は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会教育関連施設であり、腎臓専門医、透析専門医の育成に努める。腎臓疾患は、全身と密接に関連しており、全身疾患によって腎障害は惹起され、また、腎障害は全身に影響を与える。原疾患と腎疾患の関連を常に考えながら診断、治療を行う generalist の意識を育成する。平成 28 年 8 月透析専門医が 1 名退職したため、日本透析医学会認定施設の条件が満たされなくなり、平成 29 年度より教育関連施設に変更した。他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

婦人科

1. 概要

産婦人科は婦人科腫瘍、産科周産期医療、生殖医療とその他疾患に専門が更に分かれて来ている。婦人科は婦人科腫瘍とその他疾患を取り扱っている。

2. スタッフ活動状況

婦人科は他の産科、生殖医療科の医師も兼任している。

3. 診療実績

週 5 日の外来診療を行っている。平成 30 年度の初診患者さんは 395 例(紹介患者さんは 330 例)であり、逆紹介患者さんは 178 例であった。平成 30 年の手術総数は 338 例であり、そのうち腹腔鏡手術が 79 例、子宮鏡手術が 25 例であった。過多月経に対するマイクロ波子宮内膜焼灼術も施行している。婦人科悪性腫瘍治療数(初回治療症例のみ)は、CIN が 62 例、子宮頸がんが 5 例、子宮体がんが 14 例、卵巣がん・境界悪性腫瘍が 14 例であった。

4. 今後の課題・目標

初診患者さんの受け入れを遅滞なく行うため、逆紹介患者さんを増やし、再診患者数の削減が必要である。産科周産期症例が増加している中、婦人科疾患の救急対応に対して他施設との連携が必要である。

生殖医療科

1. 概要

生殖医療専門医制度の認定研修施設として、日本産科婦人科学会規約を遵守し一般不妊治療から高度生殖医療に至る幅広い診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

生殖医療専門医 2 名、胚培養士 3 名による配偶者間人工授精、及び高度生殖医療として体外受精、顕微受精(精巣内精子回収法を含む)、凍結融解胚移植、悪性腫瘍患者さんに対する精子凍結保存などを実施している。また、不妊症看護認定

看護師 1 名による外来カウンセリングを週 1 回程度実施している。

3. 診療実績

外来診療として不妊症検査スクリーニング、timing 指導、配偶者間人工授精、高度生殖医療を実施している。高度生殖医療の 2018 年 1 月～12 月の実施件数および成績を示す。

体外受精 76 周期、顕微受精 45 周期、凍結融解胚移植 94 周期

平均年齢 37 歳

胚移植あたりの妊娠率 38.5%

胚移植あたりの妊娠継続率 23.6%

体外受精と顕微受精を合わせた採卵周期数は 121 周期とほぼ横ばいであるが、融解胚移植周期数は全国的な傾向と同様、年々増加している

また、泌尿器科と連携した無精子症、悪性腫瘍患者さんに対する精巣内精子回収法または射出による精子凍結保存は毎年数症例実施しており、2018 年は 12 例、開院依頼 84 例実施した。

4. 今後の課題・目標

昨今、小児、思春期・若年がん患者における妊孕性温存療法が注目され各都道府県毎にがん生殖ネットワーク構築が急ピッチで進められている。当院でも他科のがん治療医と連携して「がん生殖」の対応、認識を深め、現在、高知大学産科婦人科・レディースクリニックコスモス・当院が中心となり、「高知県がん生殖ネットワーク」を立ち上げる準備を進めている。

移植外科

1. 概要

県内唯一の腎臓移植施設であり、腎臓移植手術を中心として内シャント設置術、シャントトラブルの対応を行い、多数の腎移植患者さんのフォローアップを外来で行っている。

2. スタッフ活動状況

現在腎臓移植レシピエント手術は、澁谷、大石、桂、ドナー手術は尾崎、須井、坪井(泌尿器科)が担当している。

移植レシピエントコーディネーターは2名おり、外来での患者さんへの指導、入院患者さんへの生活指導やその他の相談に対応している。学会活動も積極的に行っており、日本臨床腎移植学会、腎移植・血管外科研究会、中国四国臨床臓器移植研究会、日本移植学会で発表した。

3. 診療実績

平成30年度は生体腎移植10例行い、そのうちpreemptive(先行的)腎移植は2例、血液型不適合4例であった。全例移植腎は生着し、生存している。近年は透析導入することなく腎移植を行うpreemptive(先行的)腎移植が増加している。血液型不適合腎移植もリツキサンが保険適応となり非常に成績良好である。最近は糖尿病性腎不全で移植を希望される患者さんが増加している。糖尿病性腎不全患者さんは透析により動脈硬化がさらに進行するため生命予後が不良となる。そのためpreemptive腎移植の良い適応と考え当科でも積極的に取り組んでいるがノンアドヒアランスや過体重などの問題もあり今後の課題である。

救命救急科

1. 概要

救命救急センターとして、突然発症した重症な病気や外傷の患者さんに対し救急専門医を中心に各科の専門医と連携を密にとりながら、早期診断と集学的治療において『救急医療は医の原点』である理念を実践し、患者さんが安心して受けられる高度救急医療を提供している。

2. スタッフ活動状況

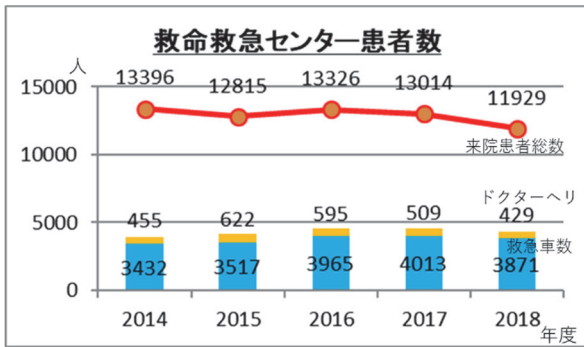
常勤医7名、うち救急専門医4名でドクターヘリ事業を中心とした病院前診療、救急外来診療、及び救命救急センターの入院診療を行っている。診療以外ではメディカルコントロールの一環として事後検証会(県内各地で月1回開催)へ出席し、更に年間を通じた救急救命士病院研修では看護師の協力を得て静脈路確保や脳卒中をはじめとする症状の観察指導を実施している。Off-the-Job Trainingでも学会認定の蘇生コース、チーム診療、外傷診療・災害対応等の標準コース開催やインストラクターとしての県内外への参加を積極的に行っている。

3. 診療実績

(病院前診療) 高知市内の救命救急センターから遠い地域でも救急専門医を早期に傷病者に接触させるシステムとして高知県ドクターヘリ事業がある。県内医療機関や消防機関と連携した診療を行う上で、当院はその拠点病院として重要な役割を担っている。また、欧州型ドクターカー(通称:FMRC)を出動させ、病院に比較的近い地域においても現場からより早く医療を開始する取り組みを行なっている。2018年度のFMRC要請138件中、出動は94件であった。

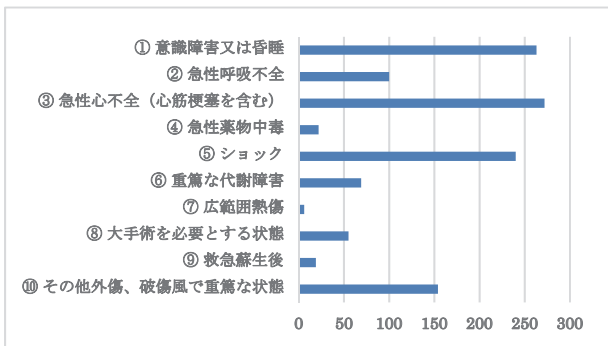
(救急外来診療) 救急隊や病院前診療に出動した医師との情報共有としてICTなどを駆使し良質な搬送をめざし救急隊活動や病院前診療を支援している。また、救急外来では各科と連携し、外傷や脳卒中スクランブル対応などにおいて直ちに必要な処置が実施出来る体制を確保している。

麻酔科・集中治療科



(入院) 専任の薬剤師、栄養士、リハビリを ICU に配置している。毎朝の他職種カンファレンスで治療内容が検討され遅滞なく治療を進めている。

救命救急センター救急入院料算定別患者数 (2018年度)



4. 今後の課題・目標

- ① 教育：症例報告、論文作成を支援する。各部門において研修医教育の充実をはかる。
- ② 診療：(病院前診療) 活動の検証を行ない安全、迅速な活動を保証する。(救急外来) 重症多発外傷及び脳卒中に対する診療体制を更に充実させる。(集中治療) 高齢者における機能回復リハビリテーションと症状緩和を実践し、更なる治療中の QOL 向上をはかる。
- ③ 安全：チーム医療を実践する。情報の見える化と情報共有を推進する。倫理的課題に対して多職種カンファレンスを効率的に実施する。
- ④ 人員：休暇を確保しつつ、働き方を意識した業務の効率化を引き続き進める。

1. 概要

急性期病院として多くの手術件数をこなしている。難度の高い手術も多く、また合併症を多く持つ患者さんや高齢者の増加で要求される医療レベルも年々高くなってきている。

術後管理も院内 ICU で麻酔科・集中治療科が担っており、一貫した周術期管理を行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤 13 名、非常勤 3 名、専攻医 5 名で運営している。現在麻酔科専門医・指導医も併せて 11 名となった。4 月より専攻医 3 名が加わり、スタッフの数も充実してきた。集中治療科も集中治療専門医試験合格者をだし、日本集中治療学会専門医研修施設の指定を受けた。昨年 2 名が心臓血管麻酔専門医認定医試験に合格し、高知県で初となる心臓血管麻酔認定施設となった。

3. 診療実績

手術室は 11 室あり、うち 1 室はハイブリッド手術室である。平成 27 年よりハイブリッド手術室稼働に合わせ経カテーテル的大動脈弁植え込み術 (TAVI) が始まり、現在まで 100 例以上行った。術中の麻酔管理のみならず心エコーも麻酔科医が担当している。今年から mitra clip 手術も始まった。

手術は局所麻酔および腕神経叢ブロックのみで行う手術以外のすべての手術の麻酔を担当している。全身麻酔では吸入麻酔が 85%、完全静脈麻酔 (TIVA) が 15% となっている。

手術中の麻酔管理とともに術後鎮痛も重要であり、硬膜外麻酔が主流であるが、抗凝固療法や抗血小板剤療法を受けている患者さんが増加しており、このような患者さんに対しては、積極的に超音波ガイド下神経ブロックなどを併用した polymodal な術後鎮痛法を行うようにしている。

年度	麻酔科管理症例数
平成 25 年度	4,584
平成 26 年度	4,536
平成 27 年度	4,512
平成 28 年度	4,541
平成 29 年度	4,609
平成 30 年度	4,280

集中治療科は術後患者さんと院内急変患者さんを対象とした院内 ICU であり、現在 8 床で運営している。

4. 今後の課題

新専門医制度下開始されたため、教育システムをさらに充実させ、多くの麻酔科専攻医を獲得して、さらなる人員の確保の充実につとめ、麻酔科のレベル向上を目指したい。

小児科

1. 概要

当科は、小児の内科的疾患を主に行う科で、高知県全域から患者さんを受け入れており、各地域の開業医院、病院の先生がたと連携を保ちながら診療を行っている。また、外科的治療を要する児に関しても、小児外科および他の外科系診療科との連携を図りながら、患者さん全身の診療を行っている。小児病棟では院内学級も併設、院内保育士も配備されており、長期入院児の学業面および生活面のサポートを行っている。

総合周産期母子医療センターを有しており、県内の新生児疾患全般に関して診療を行っており、先天性心疾患および希少な重複外科疾患の一部は県外の専門施設と連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

西内診療部長を含めて、常勤医 9 名、非常勤医 3

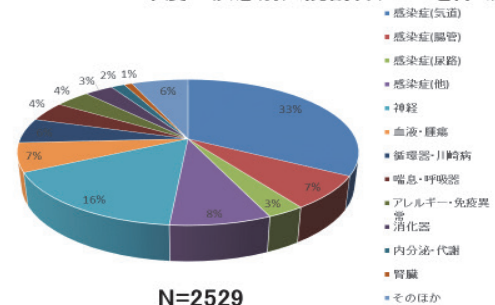
名である。外来診察室は感染症 2 室、非感染症 4 室(小児外科含む)と分けて診療を行い、病院での感染に配慮している。一般外来・専門外来ともに午前・午後行っている。専門外来では、小児循環器、小児神経、小児血液・腫瘍、内分泌・腎臓、慢性疾患、NICU 卒業児の発達フォローアップの各専門外来を行っている。

3. 診療実績

入院

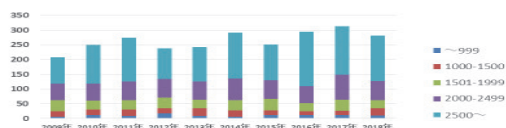
2013-2015 年度の 3 年間の一般病棟への入院数は 2430 人であったが、2016-2018 年度は 2529 人と増加した。感染症の比率は全体の約 51%ではあるが、前回 2013-2015 年の 56%からやや減少した。予防接種の普及で感染症は減少傾向にあるといえる。代わりに、神経疾患での入院数は増加傾向にある。その他にはアレルギー疾患が頻度としては増加している。小児領域での入院のニーズが感染症からそれ以外へとシフトしつつある。

図1 2016～2018年度の疾患別入院割合(NICUを除く)



NICUは過去10年間で、2645人の入院があった。低出生体重児が全体の半数ほどで、ほぼ横ばいであった。10年間の全死亡例は30例で、救命率は平均98.9%であった。近年、救命率は安定して良好な結果である。

図2 年度別NICU入院数



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
総入院数	208	250	274	238	243	292	251	295	313	281	2645
死亡数	1	7	4	4	5	1	1	3	2	2	30
救命率(%)	99.5	97.2	98.5	98.3	97.9	99.7	99.6	99.0	99.4	99.3	98.9

外来

2018年度の外来患者数は17,877名、予防接種件数6,189回(複数接種含む)、乳児健診健診1,029名であった。

4. 今後の課題・目標

今後も現状と同様、地域の医療機関と連携して診療を継続していく予定である。

小児外科

1. 概要

高知県内唯一の日本小児外科学会認定施設として、小児外科・小児泌尿器科領域の外来・入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

日本小児外科学会専門医1名が一人医長として勤務している。多くの小児外科予定手術は小児科に研修している2年目の初期臨床研修医を第一助手として行っているが、緊急手術や高難度の予定手術は、消化器外科、呼吸器外科のグループの協力を得て行っており、症例によっては岡山大学より学会認定の指導医や専門医の応援を得て施行している。小児泌尿器科領域も小児外科領域と同様で泌尿器科の協力を得ている。

当院小児科が日本小児血液・がん学会研修施設であることから、その認定更新の必要要件である日本がん治療認定機構がん治療認定医と日本小児

血液・がん学会認定外科医の資格を一人医長の小児外科専門医が有し、若手小児科医の修練を外科的な立場でサポートしている。また、日本周産期・新生児学会も同様の条件になり得ることを考慮して、日本周産期・新生児学会外科医の資格も有して、新生児外科的疾患の修練もサポートしている。

3. 診療実績

(外来)

従来と同様に、月曜日の午後と水曜日に外来診療を行っている。受診患者数が多く患者さん達からの希望もあり、月曜日の午前と金曜日にも外来診療を枠外で行っている。外来検査は火曜日の午後と金曜日に行っているが、月曜日の午前中も必要に応じて行っている。多くの画像検査で小児の場合鎮静が必要となり、鎮静を行う場合は小児外科医が鎮静を行い、その後もすべての検査に立ち会っている。

(入院)

昨年手術症例数は189例で、例年通りの200例を確保でなかった。鏡視下手術は20例、新生児手術は9例、泌尿器科関連手術は14例と新生児症例は10例を下回ったが、その他はほぼ例年通りであった。

4. 今後の課題・目標

当院の病院機能として小児外科的・小児泌尿器科的疾患に対して救急対応を行っている現状を考えると小児外科専門医がもう一名常勤医として赴任することが必要であるが、全国的に小児外科の人的資源は乏しい。

専門医の赴任が現実的に困難である状況であり、当科では前述のとおり初期臨床研修医が多く手術で第一助手を行っている。小児外科志望の専門研修医や他領域外科からの専門研修医が小児外科研修で手術を行うことが望ましいが、当院の外科専門研修医は十分ではない状況が続いている。

一方、高知県の出生人口は当院開院時6,000人

を越えていたが、近年では 4,500 人を割ろうとしてきており、5 年後には 4,000 人を割ることが十分に予想される。

日本小児外科学会は発足当初より日本の山々・津々浦々で等しく小児外科医療を行うべく専門医制度（以前は認定医制度）を 1980 年代から行ってきていたが、近年の少子化による症例確保の問題もあり、複数県での集約化を行うべきではないかとその考え方を変えようとしている。

こういう現状を踏まえて、高知県における小児外科の必要性をどのように考えるか、他施設との集約化をどのように図るか、当院の施設認定を含め、行政とも十分に議論を行い、病院としての長期的なビジョンを示す必要がある。そのビジョンに沿うように人的資源の確保に努めたい。

目標は例年どおり手術症例数である 200 例を確保したい。

産科

1. 概要

産婦人科は平成 30 年度末現在、4 名の常勤産科医師および 3 名の兼務産婦人科医師（生殖補助医療科、婦人科）3 名の専攻医、1 名の非常勤医師の合計 11 名で診療にあたっている。外来受診妊婦の約半数が一般産科症例であり、残りの半数がハイリスク妊娠である。合併症妊娠のほか、近年では生殖医療技術（ART）による妊娠や 35 歳以上の高齢妊婦が増加する傾向にあり、妊娠高血圧症候群（HDP）、胎盤位置異常、癒着胎盤などのハイリスク症例が増加している。また、高齢妊娠の増加を背景に出生前診断を希望される妊婦も多く、ニーズに応えるため特殊外来を開設し超音波専門医・臨床遺伝専門医が対応している。

当院は高知県唯一の総合周産期母子医療センターであり、MFICU3 床、NICU12 床、GCU15 床を有し、小児科（新生児・小児循環器）、小児外科

の協力を得て、高知県全域からハイリスク妊娠や胎児異常症例を受け入れている。胎児疾患症例の紹介も多く胎児胸水に対する胸腔シャント術や胎児採血・輸血などの胎児検査・治療も行っている。県内で処置可能な疾患群（双胎間輸血症候群など）についても他県高次施設と連携をとり対応している。

2. スタッフ活動状況

外来診療、入院診療および定時手術に加え、緊急手術や母体搬送に対応している。学術活動としては、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児学会をはじめ周産期医療関連学会に積極的に演題発表、参加し最先端の情報を臨床に生かしている。また、シミュレーション教育にも力を入れており、看護スタッフとともに ALSO、BLSO や J-CIMELS（日本母体救命システム普及協議会）などチーム医療や産科救急に関する研修会に積極的に参加し臨床技術の向上を図っている。その他、高知県周産期医療関係者研修事業の委託を受け、周産期医療関係者研修会、症例検討会を開催、その他外部資金（高知医療再生機構、生命（いのち）の基金）を得て、周産期医療に関わる研修会を多数開催し、周産期に関わる人材育成や情報共有を進めている。

3. 診療実績

産科外来患者数：延べ 9,186 名 産科入院患者数：延べ 9,803 名 分娩件数（22 週以降）：728 件 多胎：双胎 38 組 児総数：766 人（22～27 週：15 名、28～33 週：24 名、34～36 週：89 名）帝王切開：315 件 母体搬送受け入れ件数：60 件

高知県の早産予防対策により、妊娠初期から早産ハイリスク例が抽出されるようになり、結果として外来患者数は増加し、母体搬送件数は減少している。全体の分娩数は減少傾向にあるが、高齢妊娠や母体合併症を有したハイリスク妊娠例の割合が増加している。分娩後 NICU（新生児集中治療室）を要する児が増えており、県内 NICU の空床状況をみながらベッドコントロールを必要とする機会が増えている。

4. 今後の課題・目標

高知県の出生数は年々減少しているが、ハイリスク妊娠の増加により一つ一つの症例にかかる負担が大きくなっており全体の状況は変わりがない印象である。児の予後に大きく関わる早産予防対策は一定の効果を上げているが、まだまだ早産予防プロトコルをくぐり抜け早産となる症例は存在しており、原因検索と対応が必要である。出生後予後に関わる胎児疾患（特に胎児心臓疾患）については、マンパワーの問題があり全例スクリーニング検査を施行出来ていない現状がある。里帰り分娩や紹介搬送症例における出生後の疾患診断も依然として年に数例存在することから、今後は全例スクリーニングを目指して外来管理システムを改変し、まずは胎児心臓疾患スクリーニング認定施設を目指す。

当院は正常産から合併症妊娠、胎児疾患と、母体精神疾患以外のすべての産科疾患を対象に診療を行っている。最先端の医療を提供しつつ、産科を志す後進の医師達を受け入れ、今後の高知を担う産科医の育成にも力を入れていきたい。

皮膚科

1. 概要

日本皮膚科学会認定専門医研修施設として、皮膚科領域の外来診療や入院診療（自科、他科問わず）を行った。

2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ2名が、平日午前2診体制で外来診療をおこない、緊急時の対応にも速やかに行えるようにした。他科からの対診依頼にも時間的に可能な範囲で対応した。

また、医療秘書も診療補助につき診療業務を円滑に行うために不可欠となっている。

さらに、不定期ではあるが、1ヶ月単位での研修医の皮膚科研修で、人手のいる処置などでも非常

に助かっている。

3. 診療実績

外来患者数 6,622 人(累計)、入院患者数 535 人(累計)、平均在院日数 17.9 日、局所麻酔下年間手術数（生検含む）181 例、全身麻酔下年間手術数 4 例（いずれも全身熱傷の手術応援）

☆皮膚科への対診数 774 件

（歯科に次いで院内で2番目）

外来対診 317 件、入院対診 457 件

（外来）

従来のように、平日週5日の外来診療を常勤医師2名で、毎日2診体制で行った。開業医師からの紹介も多く、個々の症例に対する細やかな診療・治療を心がけてきた。院内他科からの当日紹介も多くあった。

鶏眼処置、疣贅冷凍凝固、紫外線治療、皮膚生検、小手術、乾癬患者に対する生物学製剤の使用など可能な限り行っている。

皮膚悪性腫瘍の場合には、皮膚生検の結果や手術の侵襲の程度等に応じ、形成外科等へ紹介している。

美容・レーザー治療などは他院へ紹介している。

毎月院外にて大学、勤務医、開業医と皮膚科の病診連携につながる勉強会等に参加し、スキルアップにつなげている。

（入院）

蜂窩織炎、帯状疱疹、自己免疫性水疱症、中毒疹、薬疹、紅皮症、難治性下腿潰瘍、アトピー性皮膚炎の急性増悪等で入院治療を行ってきた。褥瘡に関しては褥瘡防止委員会の一員としてWOC ナースや他のコメディカルと連携をとりながら、褥瘡回診を行っている。

他科入院中患者に関しては、一般病床、ICU、NICU、救急外来、手術室などありとあらゆる部署への往診を含め診察治療を行い、経過をフォローしている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化、高齢化した患者の皮膚疾患も目立ってきている。

当科だけでは対応できない皮膚悪性腫瘍の手術症例、全身と皮膚との関連を思わせるデルマトローム、病院全体として取り組む褥瘡治療、予防などのチーム医療も欠かせない状況である。

今後、新専門医制度の導入にあたり、施設認定の維持、研修システムへの参加などが必要不可欠である。十分今後も検討していく予定である。

整形外科

1. 医師数

平成 30 年度の医師数は、常勤医師が 9 人であった。

2. 診療実績

平成 30 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数...14,885 人
- ・退院患者数...1,341 人
- ・外来患者数...8,683 人
- ・手術件数...969 件

形成外科

1. 概要

日本形成外科学会の認定施設として形成外科領域の外来診療、入院診療、手術治療をおこなった。

2. スタッフ活動状況

形成外科では常勤スタッフとして 3 名が在籍し

ている。これまでの入院診療は手術が主な目的であったが、近年の創傷管理に対する意識の高まりやデバイスの進歩に伴って、当科でも創傷管理自体が目的の入院診療、さらに他科からの創傷管理の依頼が増えてきている。これには時間と人手が必要であり、今後さらに同様のケースが増え続けるなら人員増員も視野に入れた対策が必要かもしれない。

3. 診療実績

(外来)

基本的には外来は毎日行っている。少ない人数で回しているため病棟回診などと掛け持ちすることが多い。本来なら院外施設と連携して経過観察などを依頼すべきだが、高知県には形成外科専門医が少なく地域の病院に丸投げできないのが現状である。救急外来については切断指など、超緊急を要する場合は対応できないことがある。他科も含めマイクロサージャンの育成が待たれる。

(入院)

前述の通り、近年創傷管理に対する意識、技術、デバイスなどの進歩は目を見張るものがある。当院でも形成外科が創傷管理のスペシャリストとして認識されてきた。平成 30 年度の入院延べ人数は 1,734 人で対前年比 73.1%であった。これに加えて同数もしくはそれ以上の他科入院中の患者さんの創傷処置を行っている。当科での平均在院日数は 9.9 日と前年より 4.4 日短い結果となっている。

(手術)

平成 30 年の形成外科単独手術、他科との共同手術含め手術は総数 763 件であった。総数は数年来変わらないが、内容は年々変化している印象がある。創傷管理と同様に手術の分野でも新しい機器、設備が導入され、より安全に正確におこなわれるようになった。顔面骨折はほぼ全例ハイブリッド手術室でおこなうことで、リアルタイムで整復の

正確性が検証できている。

4. 今後の課題・目標

これまで同様、形成外科領域の疾患に対しての診療を行うことに加えて、更に他科に信頼されるよう連携をすすめたい。そのためには地域の病院との連携や創傷に関する理解が絶対条件となるので、できる限りのアピールや啓発活動も行っていきたい。

Ⅲ 各委員会資料

医療安全管理委員会

1. 目的

委員会の目的は院内の医療安全管理対策の検討及び推進を行い、医療安全に関わる協議決定を行う事。定期開催日は毎月第2月曜日。委員は病院長が任命した各局の責任ある職員を含む26名。委員会の検討結果については、定期的に委員長が病院長に報告すると共に、各局協議会、セイフティマネジメント部会を通じて各部署の全職員に周知徹底する。

2. 開催回数

12回/年

3. 1年間の活動要約

- (1) 毎月のインシデントレポート統計の件数と種類別（7項目）の詳細分析と対策の報告、重要事案に関する報告を行った。さらに、医薬品に関する情報提供、医療機器に関する研修や点検実績の報告。統計報告は、毎月院内 Web にて全職員が共有出来るようにしている。
- (2) 各局から医療安全に関する報告や提案。まごころ窓口からは、医療安全に関する患者からの相談、対応事例の報告をうけ共有した。
- (3) 年間計画に基づく医療安全管理研修会の実施報告。アンケートによる職員の反応や研修内容の評価、各局別に参加状況等を報告し、年2回の必須研修に参加していない職員に対する啓発を継続的に実施した。
- (4) インシデント重要事案、医療事故調査委員会の報告を行い、方針、結論を確定した。
- (5) 医療安全管理体制やマニュアル等検討、行事の企画運営等についての提案や報告を行った。

4. 今後の活動目標

- (1) 医療安全管理体制の再検討・整備。
- (2) マニュアルの改訂。
- (3) コミュニケーション、ヒューマンエラーを重視した職員研修企画。全職種にわかりやすく興味を持てる内容で全職員の参加を目指す。
- (4) 患者の高齢化を背景とした転倒・転落事例の、事前・事後対策を検討する。
- (5) インシデント分析と、対策の周知徹底。ラウンドで評価を行い、再発防止に努めると共に、多職種で事故を未然に防ぐ方策を検討する。

医療関連感染対策委員会

1. 目的

病院長の諮問機関として、医療関連感染防止ための必要事項について審議することを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

- 1) 定期開催：1回/月（第2月曜日）
開催回数：12回/年
- 2) 臨時開催：必要時
開催なし

3. 1年間の活動要約

- 1) 毎月の報告・検討事項
 - (1) ICT・AST 運営部会、
感染管理リンクナース会活動報告
 - (2) 抗菌薬抗真菌薬使用状況(AUD)報告
 - (3) 院内感染対策レポート(血液培養/耐性菌等)
 - (4) 医療系廃棄物不法投棄状況件数報告
 - (5) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露発生状況報告
 - (6) 栄養部門検便等検査結果報告など
 - (7) 感染対策研修会参加状況報告
 - (8) 各局・各部門での取り組み等報告 など
- 2) 臨時検討および審議事項
 - (1) 感染管理関連組織図変更
抗菌薬適性使用支援チーム(AST) 組織編成
 - (2) マニュアル改訂の承認
高知医療センター感染対策マニュアル
鳥インフルエンザ A (H7N9) 疑い患者対応マニュアル
中東呼吸器症候群 (MERS) 疑い患者対応マニュアル
食中毒感染予防対策マニュアル
針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露マニュアル
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE : Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae) マニュアル
抗菌薬使用に関する院内指針
- 3) その他
 - (1) 軟性内視鏡細菌培養：1回/年

4. 今後の活動目標

委員会決定事項の職員への周知徹底を図る。

ICT (感染制御チーム) 運営部会

【ICT メンバー：14名】

医師 3名・看護師 2名・薬剤師 4名
臨床検査技師 3名・事務 2名

1. 目的

医療関連感染防止を円滑に運営することを目的とする。そのための具体的な活動を行う。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催：1回/週（水曜日）

ICT 運営部会開催 47回/年

2) 部署カンファレンス他

MRSA 検出部署・CRE 検出部署

CRE 感染対策チーム会 22回/年開催

3. 1年間の活動要約

1) 院内ラウンド

ICT ラウンド(多職種ラウンド) 1回/週定期は、
実施 47回/年

2) 感染対策研修会

(定期) 25回/年実施

3) マニュアル作成・改訂

高知医療センター感染対策マニュアル

鳥インフルエンザ A (H7N9) 疑い患者対応マニ
ュアル

中東呼吸器症候群 (MERS) 疑い患者対応マニ
ュアル

食中毒感染予防対策マニュアル

針刺し・切創・皮膚・粘膜曝露マニュアル

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE :
Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae)
マニュアル

抗菌薬使用に関する院内指針

4) アウトブレイク対応

MRSA 対応

CRE 対応

5) 加算 2 医療機関との合同カンファレンス

対象 12 施設と 4回/年実施

6) 加算 1 医療機関との相互評価

訪問 2回、受審 1回

7) 厚生労働省サーベイランスデータ提出

検査部門

手術部位感染

新生児集中治療室(NICU)部門

8) ICT ニュース発行

No1～No18

4. 今後の活動目標

ICT 下部組織である感染管理リンクナース会と
協力して対策の周知徹底を図る。

AST(抗菌薬適性使用支援チーム)運営部会

【AST メンバー：19名】

医師 7名・看護師 2名・薬剤師 4名

臨床検査技師 4名・事務 2名

1. 目的

抗菌薬の適正な使用の推進を目的とする。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催：原則 1回/週開催

AST 運営部会開催 51回/年

3. 1年間の活動要約

1) AST カンファレンス

(1) 血液培養・耐性菌カンファレンス (原則平日毎
日)

(2) 週報カンファレンス (1回/週)

(3) 抗菌薬・抗真菌薬長期使用カンファレンス (1回
/週)

(1)～(3)カンファレンス事例合計数 1741 件

2) 院内ラウンド

30回/年実施

3) AST 研修会

2回/年開催

4) マニュアル作成・改訂

抗菌薬使用に関する院内指針

5) 抗菌薬使用に関連する事項についてのモニタリ
ング

6) 施設内のアンチバイオグラムの作成およびフィ
ードバック

7) 院内ならびに他施設からのコンサルテーション
対応

4. 今後の活動目標

AST に関わる体制およびシステム整備を行い、

コンサルテーション依頼に対して迅速な対応に努める。

職員の業務負担軽減委員会

1. 目的

高知医療センター職員の勤務負担軽減を図るため

2. 開催日・審議事項等

(1) 平成30年9月12日

- ・高知医療センターにおける勤務負担軽減および処遇の改善に資する体制づくり計画等について 他

3. 1年間の活動要約

当委員会はこれまでの「医師の勤務負担軽減委員会」「ワークライフバランス委員会」をまとめて今年度新設された委員会では、医師に限定せず広く職員の勤務負担軽減を検討するものである。

病院長指針を基に負担軽減計画を策定し、取組内容とそれに対応する評価尺度を設けた。計画は達成状況を確認しながら、常に見直しを行い、改善へと繋げていくものである。

4. 今後の活動目標

上記計画に基づき、年度ごとに評価を行うこととし、取組内容の見直し等を行うことで勤務負担軽減と業務効率の上昇をはかる。

3. 1年間の活動要約

(1) 退院サマリ作成状況および受取点検の詳細については、退院2週間以内での担当医によるサマリ記載と診療科長の承認を、毎月95～98%で維持できた。また看護サマリについても、同様に作成・承認状況を確認し、各フロア科長へ督促を行い承認率向上を図った。

(2) 未承認委譲者オーダーについては、未承認オーダーが残っている医師に対しては、医療局長、医療情報センターより督促メールを送信し、委譲者オーダー承認の向上を図った。

(3) 手術レポートの作成状況については、医事請求業務委託事業者より状況を報告してもらい、手術記録の記載や点検、管理の強化を図った。

(4) 入院診療計画書7日以内の説明交付率については、交付抜かりや記載抜かりが無いよう運用の周知徹底を図った。

4. 今後の活動目標

引き続き、医師退院サマリの退院2週間以内の承認率90%以上の維持と未承認委譲者オーダーの早期承認のため、医師への記載・承認依頼、さらに督促の強化を図っていきたい。

手術レポート作成状況については、手術手技料算定の根拠となるため、記載依頼など未作成が無いよう取り組みを継続していく。

入院診療計画書については、関係部署と連携を図りながら、7日以内に抜かりなく交付出来るよう連携を図っていく。

DPC コーディング委員会

1. 目的

適切な診断群分類の決定を促進することを目的とする。適切なDPCコーディング、「はずれ値」の評価、提出データの精度管理等の事項に関し、関係する部署および他の委員会等と連携しながら検討を行い、当院のDPCコーディングの質向上を目指す。

2. 開催日・審議事項等

2ヶ月に1回開催

- (1) 実績報告
- ・DPC 退院患者月別集計

診療情報管理委員会

1. 目的

診療録の電子保存、電子媒体や紙媒体記録の精度管理、適正な診療記録の記載に関する啓蒙・教育・研修・広報、診療録等帳票の様式およびフォーマット、診療録の開示等診療情報の提供、その他診療録管理業務に関し必要と認める事項等の審議を行う。

2. 開催日・審議事項等

毎月1回 第3木曜日に開催

- ・DPC 入院期間月別集計（入院期間Ⅲ超え症例）
- ・DPC 出来高差額上位 10 症例のコーディングの妥当性の検討
- ・コード変更実績（医療情報センター・フロア）
- (2) その他
- ・留意すべき ICD コード（詳細不詳病名）の月別使用割合
- ・未コード化傷病名の月別使用割合
- ・医師のDPC承認率

3. 1年間の活動要約

実績報告については、各資料に入院の経過やそれぞれの理由等記載し、委員会メンバーによるコーディングの妥当性について協議を行った。コーディング再検討となった症例については、診療情報管理士、医療事務担当者、必要に応じて担当医師へ確認を行い、コーディングの妥当性について検討、理解を深めた。

その他について、留意すべき ICD コード、未コード化傷病名の使用割合、医師のDPC承認率について問題がないことを確認した。

（開催日）

平成 30 年 5/16・7/18・9/26

平成 31 年 1/23・3/27

4. 今後の活動目標

より一層、適切な診断群分類による診療報酬請求と精緻なデータ提出が出来るよう、医事請求担当と協力していくと共に、DPC 制度等について、医師をはじめとする院内職員に広報や情報提供を行い周知を図っていききたい。

臨床研修管理委員会（医科）

1. 目的

医科初期研修医が、円滑かつ充実した臨床研修生活を遂行できることを目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第一回：平成 30 年 4 月 27 日（金）

- ・平成 29、30 年度採用研修医の研修状況
- ・平成 31 年度採用研修医 初期臨床研修プログ

ラムについて

- ・平成 31 年度採用研修医 初期臨床研修マッチングスケジュール
- ・研修中断者の再開について
- ・平成 30 年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第二回：平成 30 年 9 月 7 日（金）

- ・平成 31 年度採用研修医マッチング試験について
- ・平成 29、30 年度採用研修医の研修状況
- ・JCEP の認定更新について

第三回：平成 31 年 3 月 15 日（金）

- ・平成 29 年度採用研修医 初期臨床研修プログラム修了等について
- ・平成 31 年度採用研修医 初期臨床研修プログラムについて
- ・平成 30 年度医師臨床研修費補助金について 他
- ・平成 32 年度採用研修医 試験日程について 他

3. 1年間の活動要約

委員会として、院長以下院内の指導医、初期研修医、事務職員、院外の連携施設の先生方とともに研修場の問題点や課題について討論

また、臨床研修管理センターを常時設置し、研修ローテーションや出向研修の管理、院外からの研修医受け入れなどに、円滑に対応できるようにしている。

- ・主な議題
 - 研修プログラムについての確認
 - 概要、スケジュール、評価方法など
 - 問題点・改善点など
 - 採用試験についての確認
 - 試験日の調整、試験結果の報告など
 - マッチングの結果報告
 - 医大生へのアプローチなど

4. 今後の活動目標

来年度も年 3 回の開催を予定している。高知医療センターの良さを生かした研修プログラムを提供できるよう、指導医や臨床研修管理センターで万全の体制を整え、初期研修医を指導する。

臨床研修管理委員会（歯科）

1. 目的

歯科初期臨床研修医（管理型1年、単独型2年）や後期研修医に対し円滑かつ充実した研修生活が当院にて遂行できる事を目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

(1)平成30年9月14日

- ・平成31年度採用研修医 採用試験について
- ・平成29年度採用研修医 研修状況について

(2)平成31年3月15日

- ・平成29年度採用初期臨床研修医（単独型）の修了認定について
- ・平成31年度採用研修医 研修プログラムについて
- ・平成30年度歯科医師臨床研修費補助金について

3. 1年間の活動要約

研修プログラムの問題点や改善点の確認

研修医募集期間および採用試験日の調整、採用試験に関する結果報告

マッチングの結果報告

管理型研修施設での研修歯科医の現状や問題点評価

研修医、歯科初期研修指導医、院外の管理型研修施設の指導医、院長以下院内の研修管理委員会のメンバーの先生を囲んで研修上の問題点や今後の研修のあり方などを討論

臨床研修補助金配分の詳細を毎年報告する

4. 今後の活動目標

来年度も少なくとも年2回以上の開催を原則とし、初期研修医や後期研修医がより良い環境下で研修を行えるようにサポートしていく。

医の倫理委員会

1. 目的

高知医療センターでの診療で、ひとにより賛否が分かれるような内容について審査を行ない、病院としての統一見解を出す。

2. 開催日・審議事項等

平成30年度は開催実績なし

3. 今後の活動目標

倫理問題に現場で対応出来るチームを作り、依頼があったら派遣し、客観的意見を答申する。

回復の見込みのない患者への治療差し控えについて、ガイドラインを作り、主治医任せだった差し控えに統一性を持たせる。

新たな倫理問題が発生したときは、委員会を開催して方針を決める。

治験審査委員会

1. 目的

治験を依頼した製薬会社や治験を実施する医師等とは独立した第三者的な機関として設置されている。治験を計画通りに実施することができるか、参加される患者さんの治療に不利益にならないか等を事前に取り決めた手順書に従って、治験を開始する前に確認している。また、治験実施中に、治験が正しく実施されているか確認したり、安全性に問題がないかを評価し、治験を継続すべきか判断したりしている。

2. 開催日・審議事項等

平成30年4月24日

平成30年5月28日

平成30年6月25日

平成30年7月24日

平成30年8月27日

平成30年9月27日

平成30年10月23日

平成30年11月28日

平成30年12月26日

平成31年1月28日

平成31年2月25日

平成31年3月25日

院内実施中治験の安全性報告、治験に関する変更、新規案件実施の可否等審査している。

3. 1年間の活動要約と今後の目標

・月1回の開催を行い、院内の実施試験を患者さんの人権保護と安全確保の観点から公正に審議していく。

がんセンター運用部会

1. 目的

患者によりよい医療を提供するために、手術、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識を有する医師や、その他の専門医師および医療スタッフなどが参集し、がん患者の症状、状態および治療方針などを意見交換・共有・確認などを行うことを目的とする。

がんセンターボードの実施は、がん診療連携拠点病院の認定要件である。

2. 開催日・審議事項等

開催は毎週火曜日の18:30とする。提示される事例がなければ参集されない。

新規治療開始患者・再発患者を問わず、治療方針などについて検討を行う。

3. 1年間の活動要約

平成30年度の開催は22回、検討事例件数は28例であった。参集メンバーは、病理医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、消化器外科医、消化器内科医、乳腺外科医、耳鼻咽喉科医、呼吸器外科医、泌尿器科医、総合診療科医、緩和ケア医など症例に関連する診療科医、ならびに薬剤師、看護師、放射線技師、栄養士、理学療法士、医療秘書などである。

治療方針が決定した際には、必要な対診日程なども決定し、速やかに治療が開始できるように調整を行う。

4. 今後の活動目標

現在検討されている事例は消化器系が多く、そのほか乳腺外科、耳鼻咽喉科、総合診療科などの症例であり、検討される診療科に偏りがある。平成31年度には開催時間を17:30に早め、参加し

やすくし、各診療科のニーズを把握しながら、複数診療科で検討される必要のある症例が適切に検討される機会を提供していく。

抗がん剤レジメン管理委員会

1. 目的

注射用抗がん剤はレジメンオーダーによってのみ施行できるものとしており、抗がん剤レジメンオーダーの運用を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進する。

2. 開催日・審議事項等

- (1) 第45回 平成30年7月25日
新規申請のレジメン承認16件
レジメンの整理
レジメン稼働状況、登録数、適用率
抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数
レジメンの整理
当日発生について
B型肝炎対策
後発品の導入
分割使用について
ベルケイドの皮下注の運用について

3. 1年間の活動要約

設置要綱に規定されている6ヵ月に1回の委員会の開催はできた。

レジメンの登録については、申請があれば、その都度、事務局(薬剤局製剤科)で作成したレジメンについて院内メール等を利用して審議し承認した。

レジメン内の輸液や制吐剤の変更、フラッシュ用生食の追加、稼働状況、不使用レジメンの整理等について審議、確認した。

4. 今後の活動目標

継続してレジメンの妥当性を評価し、抗がん剤の適正使用を推進していく。レジメンの稼働率や運用状況を確認し、使用していない登録レジメンは削除し整理を行う。

行動制限最小化委員会

1. 目的

精神科病棟で隔離拘束が1ヶ月を越えた患者が発生した場合、隔離拘束が妥当かどうか判断する。また隔離拘束が解除出来るよう助言などを行なう。

2. 開催日・審議事項等

毎月第4水曜日に開催。対象となる事例なし。

3. 1年間の活動要約

隔離拘束が長期化した症例がないかどうか注意を払った。

4. 今後の活動目標

対象事例が発生しないか注意するとともに、発生した場合は委員会を開催して審議する。

- (3) 体圧分散寝具が効果的に使用できているか、定期的なラウンドと整備を実施した。
- (4) 褥瘡防止委員会リンクナース会を毎月開催し、より実践的なケアにつながる知識、技術の向上に取り組んだ。
- (5) 全職種対象の褥瘡に関連した研修会を開催し、褥瘡に関連する知識・技術の向上に努めた。
- (6) 「じょくそうニュース」を発行し、褥瘡に関連する情報を発信した。

4. 今後の活動目標

今後も、褥瘡防止委員会を引き続き1回/月の開催とし、各専門職の専門技能を集結かつ有効に発揮できる場の提供に努める。

また、病院機能に必要な物品等の充足、褥瘡防止等に向けた職員への啓発活動の継続、さらに地域と連携を図り、チーム医療のより一層の充実を図りたい。

褥瘡防止委員会

1. 目的

当センターは、救命救急センターをはじめ、循環器病センター、がんセンター、総合周産期母子医療センターなど不安定な呼吸・循環動態、高侵襲の治療、脆弱な皮膚など褥瘡発生リスクの高い患者さんが多い。当センターではリスクアセスメントを行い、多職種が連携をし、褥瘡発生予防、褥瘡の治療、褥瘡悪化予防など褥瘡対策に取り組むことを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

原則毎月第2金曜日開催

褥瘡発生状況の報告を毎回実施。褥瘡対策に関する内容については医療局、看護局、薬剤局、栄養局、医療技術局、事務局で協議し、チーム医療を推進している。

3. 1年間の活動要約

- (1) 褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、重要な案件に対しては、防止策の検討を行い、周知徹底を目指した。
- (2) 院内発生 of 褥瘡は、インシデントレポートで報告している。

適正輸血療法推進委員会

1. 目的

高知医療センターにおける輸血療法の適正化を図る。

2. 開催日

12回/年 毎月第3火曜日開催

3. 1年間の活動要約

1) 月次報告

毎月以下の統計をとり、委員会で検証している。

- ・日赤血購入額
- ・使用単位数内訳 (RBC、FFP、PC)
- ・製剤廃棄額
- ・廃棄製剤内訳 (RBC、FFP、PC)
- ・Alb/RBC比、FFP/RBC比
- ・科別使用単位数
- ・血液製剤大量使用例
- ・心外科血液製剤使用例
- ・超救命対応
- ・副作用報告 (発生件数、払出表回収率、終了実施入力率、副作用入力率)
- ・返却PC (理由、転用の有無)

- ・ 遡及調査
- ・ 不規則抗体検査実施率
- ・ 輸血後感染症（輸血後感染症疑いの有無）

2) 高知県輸血・細胞治療研究会

高知県輸血・細胞治療研究会世話人に医師、臨床検査技師に加え看護師が新たに参加することとなった。

平成 29 年 12 月 9 日、第 11 回高知県輸血・細胞治療研究会を高知医療センター主催で開催した。

3) 輸血に関わる運用の変更

輸血同意書の有効期限を最長一年と定めた。

輸血時認証を医療従事者 2 名以上で行うと定めた。

4) アルブミン一元管理

次期システム更新に向けて血液管理科でアルブミン一元管理を行うための WG を立ち上げた。

4. 今後の活動目標

院内における輸血に関する問題点を多職種で審議し、より一層輸血療法の適正化を図りたい。

IV クリニカルインディケータ

1 退院患者数

(1) 診療科別・性別退院患者数

(単位:人)

診療科	性別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合診療科	男	121	137	160
	女	147	129	171
精神科	男			18
	女			30
血液内科・輸血科	男	361	394	447
	女	290	334	393
糖尿病・内分泌内科	男	28	27	36
	女	42	41	66
放射線療法科	男	7	1	
	女	5	3	
腫瘍内科	男	42	27	11
	女	11	22	5
ペインクリニック科	男	4	2	7
	女	5	2	7
脳神経外科	男	447	376	358
	女	302	297	245
眼科	男	114	70	80
	女	105	66	67
耳鼻咽喉科	男	207	264	250
	女	135	173	144
歯科口腔外科	男	71	63	72
	女	99	86	61
呼吸器内科	男	446	381	282
	女	237	151	143
呼吸器外科	男	202	183	219
	女	120	140	95
循環器内科	男	1,068	1,089	1,089
	女	547	582	547
心臓血管外科	男	248	230	203
	女	153	148	120
乳腺・甲状腺外科	男	29	21	25
	女	231	248	245
消化器内科	男	374	376	453
	女	196	240	289
消化器外科・一般外科	男	1,014	1,026	1,031
	女	567	567	578
泌尿器科	男	345	354	411
	女	109	115	134
腎臓内科・膠原病科	男	74	86	52
	女	72	63	73
婦人科	男			
	女	512	533	450
生殖医療科	男			
	女	15	7	9
移植外科	男	60	48	39
	女	31	39	47
救命救急科	男	364	438	386
	女	301	303	271
小児科	男	569	688	614
	女	494	545	505
小児外科	男	121	134	136
	女	67	71	58
産科	男			
	女	1,060	1,031	917
皮膚科	男	23	10	11
	女	12	12	13
整形外科	男	745	769	728
	女	601	607	613
形成外科	男	101	83	80
	女	82	71	78
緩和ケア内科	男	14	26	7
	女	7	13	5
児童精神科	男	6	9	16
	女	4	18	10
合計	男	7,205	7,312	7,221
	女	6,559	6,657	6,389

(2)-1 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成28年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	268	1.9%	男	121	17.2	29	44	23	12	11	2				
			女	147	16.2	31	47	37	23	8	1				
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361	28.5	35	50	135	48	58	21	12	2		
			女	290	29.4	29	55	83	40	52	20	9	2		
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28	12.0	7	16	3	2						
			女	42	10.3	17	19	5	1						
放射線療法科	12	0.1%	男	7	7.4	7									
			女	5	8.0	5									
腫瘍内科	53	0.4%	男	42	14.1	17	13	6	3	3					
			女	11	18.5	1	5	1	3	1					
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4	7.8	2	2								
			女	5	6.0	4	1								
脳神経外科	749	5.4%	男	447	20.7	144	104	93	43	48	13	1		1	
			女	302	16.9	77	95	65	29	31	3	2			
眼科	219	1.6%	男	114	7.4	86	14	11	2	1					
			女	105	7.1	80	16	5	3	1					
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	11.2	108	76	9	3	7	4				
			女	135	9.2	78	51	1	2	2	1				
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71	12.0	37	17	9	2	5	1				
			女	99	13.7	42	35	12	5	2	1	2			
呼吸器内科	683	5.0%	男	446	11.8	240	87	43	40	34	1	1			
			女	237	10.3	149	36	28	9	13	1	1			
呼吸器外科	322	2.3%	男	202	9.1	114	68	10	5	5					
			女	120	9.7	68	42	5	2	2	1				
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068	6.8	861	93	56	32	22	2	2			
			女	547	9.0	366	92	36	32	20	1				
心臓血管外科	401	2.9%	男	248	26.8	69	38	44	31	45	10	8	3		
			女	153	25.3	51	17	26	23	23	6	5	2		
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29	7.3	26	1	1		1					
			女	231	9.3	162	47	6	5	8	3				
消化器内科	570	4.1%	男	374	8.2	219	134	14	2	5					
			女	196	7.9	141	40	8	4	2		1			
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014	15.0	369	377	104	74	67	16	6	1		
			女	567	13.1	224	213	68	24	31	5	2			
泌尿器科	454	3.3%	男	345	7.4	260	56	10	7	10	2				
			女	109	7.6	80	18	7	2	2					
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74	32.1	16	13	8	6	18	9	4			
			女	72	26.0	29	7	6	8	15	4	3			
婦人科	512	3.7%	男												
			女	512	7.3	412	74	12	4	9	1				
生殖医療科	15	0.1%	男												
			女	15	6.7	14				1					
移植外科	91	0.7%	男	60	13.4	33	15		1	10	1				
			女	31	17.6	9	12	1	1	8					
救命救急科	665	4.8%	男	364	7.9	281	35	20	6	16	5	1			
			女	301	6.6	237	33	11	11	8	1				
小児科	1,063	7.7%	男	569	11.6	427	63	25	15	19	5	14	1		
			女	494	12.7	367	44	19	20	23	5	15	1		
小児外科	188	1.4%	男	121	4.5	111	3	4	2	1					
			女	67	3.9	63	3	1							
産科	1,060	7.7%	男												
			女	1,060	9.9	851	88	35	29	37	14	6			
皮膚科	35	0.3%	男	23	19.5	12	6			2	3				
			女	12	12.8	5	5			1	1				
整形外科	1,346	9.8%	男	745	12.6	362	156	133	48	33	7	5	1		
			女	601	13.0	240	149	123	60	24	5				
形成外科	183	1.3%	男	101	20.7	53	19	12	3	6	6	1		1	
			女	82	10.5	53	16	3	3	7					
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14	3.7	14									
			女	7	3.6	7									
児童精神科	10	0.1%	男	6	96.3					1	3	1	1		
			女	4	100.8						3			1	
合計	13,764	100.0%	男	7,205	13.1	3,939	1,500	773	387	428	111	56	9	2	
			女	6,559	12.0	3,892	1,260	604	344	334	73	46	6		

(2)-2 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成29年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	266	1.9%	男	137	19.4	19	45	37	16	18	1	1			
			女	129	18.3	28	36	31	15	17	2				
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394	30.7	53	77	100	59	64	22	14	4	1	
			女	334	27.2	34	57	119	44	49	20	9	2		
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27	9.0	14	11	1	1						
			女	41	9.4	25	13		3						
放射線療法科	4	0.0%	男	1	8.0	1									
			女	3	4.3	3									
腫瘍内科	49	0.4%	男	27	17.9	8	5	7	3	4					
			女	22	15.0	11	3	3	3	2					
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2	10.0		2								
			女	2	7.5	1	1								
脳神経外科	673	4.8%	男	376	15.9	120	110	67	39	34	6				
			女	297	15.5	86	90	66	27	26	2				
眼科	136	1.0%	男	70	8.4	50	11	6	2	1					
			女	66	7.7	46	16	3	1						
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	14.4	134	79	19	6	12	11	3			
			女	173	9.5	93	71	3	2	2	2				
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63	9.3	34	18	8	3						
			女	86	12.4	51	13	11	2	6	3				
呼吸器内科	532	3.8%	男	381	11.4	221	70	31	26	29	2	2			
			女	151	9.9	86	36	12	10	6	1				
呼吸器外科	323	2.3%	男	183	11.3	86	70	12	5	9		1			
			女	140	10.9	79	43	5	2	10	1				
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089	7.6	857	123	47	21	32	5	3	1		
			女	582	8.9	393	104	40	26	14	4	1			
心臓血管外科	378	2.7%	男	230	27.1	64	35	49	30	36	7	7	1	1	
			女	148	25.2	37	29	29	18	23	6	5	1		
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21	7.5	15	5		1						
			女	248	7.3	193	37	8	4	6					
消化器内科	616	4.4%	男	376	8.4	232	111	17	9	6	1				
			女	240	7.1	161	63	11	5						
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026	15.0	404	356	97	55	83	22	8	1		
			女	567	14.0	210	209	71	33	35	7	2			
泌尿器科	469	3.4%	男	354	6.8	273	48	19	7	7					
			女	115	7.0	82	23	9	1						
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86	27.7	29	15	12	6	10	10	4			
			女	63	22.4	32	9	2	4	10	3	3			
婦人科	533	3.8%	男												
			女	533	7.2	452	57	10	5	8	1				
生殖医療科	7	0.1%	男												
			女	7	5.1	7									
移植外科	87	0.6%	男	48	16.4	22	13	2	1	8	2				
			女	39	12.6	18	12	2	4	3					
救命救急科	741	5.3%	男	438	8.3	323	62	24	8	11	8	2			
			女	303	7.7	218	52	17	7	7	1	1			
小児科	1,233	8.8%	男	688	11.1	529	67	33	15	21	7	14	2		
			女	545	12.1	411	52	24	18	22	8	6	4		
小児外科	205	1.5%	男	134	3.8	126	5	3							
			女	71	10.0	62	3	3		2				1	
産科	1,031	7.4%	男												
			女	1,031	10.0	822	96	28	25	43	10	7			
皮膚科	22	0.2%	男	10	17.7	4	4			1	1				
			女	12	11.0	8	2	1		1					
整形外科	1,376	9.9%	男	769	12.3	353	191	127	49	41	4	4			
			女	607	14.3	223	161	123	54	41	4			1	
形成外科	154	1.1%	男	83	18.0	42	15	12	2	7	3	2			
			女	71	13.6	41	17	4	2	3	3	1			
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26	3.5	25	1								
			女	13	7.7	12						1			
児童精神科	27	0.2%	男	9	41.2	1	1		2	3	1	1			
			女	18	82.2	2	2	1	1	6	4	1		1	
合計	13,969	100.0%	男	7,312	13.0	4,039	1,550	730	366	437	113	66	9	2	
			女	6,657	12.2	3,927	1,307	636	313	345	83	36	9	1	

(2)-3 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成30年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	331	2.4%	男	160	17.8	34	57	26	19	21	2	1			
			女	171	15.6	42	66	32	14	15	2				
精神科	48	0.4%	男	18	57.5	2		2	1	7	3	3			
			女	30	51.5	2	5	1	3	10	4	5			
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447	23.1	84	98	125	60	55	19	3	3		
			女	393	26.0	32	71	155	58	48	17	11	1		
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36	9.1	16	18		1	1					
			女	66	8.0	36	27	2	1						
腫瘍内科	16	0.1%	男	11	16.8	3		4	4						
			女	5	13.4	1	2	2							
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7	18.0	1	2	1	3						
			女	7	11.6	3	1	3							
脳神経外科	603	4.4%	男	358	18.7	93	114	69	32	39	4	6	1		
			女	245	19.0	61	65	51	31	29	6	2			
眼科	147	1.1%	男	80	7.0	64	9	5		2					
			女	67	8.6	45	13	7		2					
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	12.3	127	82	14	5	16	6				
			女	144	9.1	78	58	5	1		1	1			
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	12.4	44	18	3	1	2	3	1			
			女	61	8.3	45	12	1	1	1	1				
呼吸器内科	425	3.1%	男	282	10.9	164	54	25	19	17	3				
			女	143	9.3	88	27	16	3	9					
呼吸器外科	314	2.3%	男	219	10.3	116	77	7	7	12					
			女	95	9.6	58	26	4	2	5					
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089	7.4	867	113	49	24	25	6	4	1		
			女	547	8.7	384	89	39	15	13	4	3			
心臓血管外科	323	2.4%	男	203	30.6	49	45	34	23	34	6	7	4	1	
			女	120	25.6	31	14	27	21	18	5	3	1		
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25	6.5	22	2	1							
			女	245	7.8	166	55	11	9	4					
消化器内科	742	5.5%	男	453	8.7	277	131	28	9	5	3				
			女	289	8.9	187	66	20	7	8	1				
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031	13.9	407	354	116	64	75	12	3			
			女	578	13.8	213	211	93	25	26	5	5			
泌尿器科	545	4.0%	男	411	7.3	309	73	13	8	4	3	1			
			女	134	8.1	89	29	12	3	1					
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52	30.6	16	7	5	3	15	1	5			
			女	73	19.1	41	10	4	3	8	4	3			
婦人科	450	3.3%	男												
			女	450	7.2	373	52	14	3	7	1				
生殖医療科	9	0.1%	男												
			女	9	5.0	9									
移植外科	86	0.6%	男	39	16.8	17	9	4	1	6	1	1			
			女	47	20.4	17	13	2	4	8	1	2			
救命救急科	657	4.8%	男	386	6.4	290	66	14	10	4	2				
			女	271	7.8	200	44	9	8	6	3	1			
小児科	1,119	8.2%	男	614	10.9	453	72	23	21	24	14	5	2		
			女	505	11.1	373	59	23	15	17	8	9	1		
小児外科	194	1.4%	男	136	4.2	123	10		3						
			女	58	3.9	55	2	1							
産科	917	6.7%	男												
			女	917	10.0	822	96	28	25	43	10	7			
皮膚科	24	0.2%	男	11	17.7	4	4			1	1				
			女	13	11.0	8	2	1		1					
整形外科	1,341	9.9%	男	728	12.3	353	191	127	49	41	4	4			
			女	613	14.3	223	161	123	54	41	4		1		
形成外科	158	1.2%	男	80	18.0	42	15	12	2	7	3	2			
			女	78	13.6	41	17	4	2	3	3	1			
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7	3.5	25	1								
			女	5	7.7	12					1				
児童精神科	26	0.2%	男	16	41.2	1	1		2	3	1	1			
			女	10	82.2	2	2	1	1	6	4	1		1	
合計	13,610	100.0%	男	7,221	12.4	4,009	1,621	681	348	405	98	47	11	1	
			女	6,389	12.3	3,654	1,312	678	291	314	84	52	4		

(3) 診療科別・性別・在院日数の平均

(単位:日)

診療科	性別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合診療科	男	17.2	19.4	17.8
	女	16.2	18.3	15.6
精神科	男			57.5
	女			51.5
血液内科・輸血科	男	28.5	30.7	23.1
	女	29.4	27.2	26.0
糖尿病・内分泌内科	男	12.0	9.0	9.1
	女	10.3	9.4	8.0
放射線療法科	男	7.4	8.0	
	女	8.0	4.3	
腫瘍内科	男	14.1	17.9	16.8
	女	18.5	15.0	13.4
ペインクリニック科	男	7.8	10.0	18.0
	女	6.0	7.5	11.6
脳神経外科	男	20.7	15.9	18.7
	女	16.9	15.5	19.0
眼科	男	7.4	8.4	7.0
	女	7.1	7.7	8.6
耳鼻咽喉科	男	11.2	14.4	12.3
	女	9.2	9.5	9.1
歯科口腔外科	男	12.0	9.3	12.4
	女	13.7	12.4	8.3
呼吸器内科	男	11.8	11.4	10.9
	女	10.3	9.9	9.3
呼吸器外科	男	9.1	11.3	10.3
	女	9.7	10.9	9.6
循環器内科	男	6.8	7.6	7.4
	女	9.0	8.9	8.7
心臓血管外科	男	26.8	27.1	30.6
	女	25.3	25.2	25.6
乳腺・甲状腺外科	男	7.3	7.5	6.5
	女	9.3	7.3	7.8
消化器内科	男	8.2	8.4	8.7
	女	7.9	7.1	8.9
消化器外科・一般外科	男	15.0	15.0	13.9
	女	13.1	14.0	13.8
泌尿器科	男	7.4	6.8	7.3
	女	7.6	7.0	8.1
腎臓内科・膠原病科	男	32.1	27.7	30.6
	女	26.0	22.4	19.1
婦人科	男			
	女	7.3	7.2	7.2
生殖医療科	男			
	女	6.7	5.1	5.0
移植外科	男	13.4	16.4	16.8
	女	17.6	12.6	20.4
救命救急科	男	7.9	8.3	6.4
	女	6.6	7.7	7.8
小児科	男	11.6	11.1	10.9
	女	12.7	12.1	11.1
小児外科	男	4.5	3.8	4.2
	女	3.9	10.0	3.9
産科	男			
	女	9.9	10.0	10.6
皮膚科	男	19.5	17.7	12.2
	女	12.8	11.0	26.3
整形外科	男	12.6	12.3	10.8
	女	13.0	14.3	11.7
形成外科	男	20.7	18.0	13.5
	女	10.5	13.6	10.4
緩和ケア内科	男	3.7	3.5	2.9
	女	3.6	7.7	3.0
児童精神科	男	96.3	41.2	67.9
	女	100.8	82.2	97.1
合計	男	13.1	13.0	12.4
	女	12.0	12.2	12.3

(4) - 1 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成28年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	268	1.9%	男	121					2	8	48	63
			女	147				4	5	14	41	83
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361				6	20	69	223	43
			女	290				1	22	45	177	45
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28			1	1		6	18	2
			女	42					21	14	7	
放射線療法科	12	0.1%	男	7							7	
			女	5							2	3
腫瘍内科	53	0.4%	男	42						4	36	2
			女	11						2	9	
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4					1	1	2	
			女	5							4	1
脳神経外科	749	5.4%	男	447	2	1	5	4	15	81	212	127
			女	302		1		1	9	34	119	138
眼科	219	1.6%	男	114	2	3	12	5	3	18	51	20
			女	105	2	2	12	1		20	48	20
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	1	14	25	8	22	46	79	12
			女	135		4	11	1	21	39	44	15
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71			8	2	10	9	27	15
			女	99		1	2	10	20	21	26	19
呼吸器内科	683	5.0%	男	446			2		8	40	292	104
			女	237				1	12	40	108	76
呼吸器外科	322	2.3%	男	202			2	1	8	44	118	29
			女	120				2	4	28	73	13
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068			1	3	12	156	619	277
			女	547					8	46	219	274
心臓血管外科	401	2.9%	男	248		1	1	1	2	22	152	69
			女	153					2	6	69	76
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29					3	15	10	1
			女	231				1	21	84	103	22
消化器内科	570	4.1%	男	374			1	3	9	62	204	95
			女	196			1		5	30	88	72
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014			2	4	27	209	612	160
			女	567				1	29	104	274	159
泌尿器科	454	3.3%	男	345				2	6	40	222	75
			女	109				1	7	20	49	32
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74				2	1	17	40	14
			女	72			1	2	10	22	30	7
婦人科	512	3.7%	男									
			女	512			1	10	155	185	137	24
生殖医療科	15	0.1%	男						15			
			女	15								
移植外科	91	0.7%	男	60				1	14	17	26	2
			女	31					2	9	19	1
救命救急科	665	4.8%	男	364	7	5	10	9	39	61	133	100
			女	301	2	1	2	6	31	40	98	121
小児科	1,063	7.7%	男	569	383	74	108	3		1		
			女	494	329	68	88	4	5			
小児外科	188	1.4%	男	121	66	26	27	2				
			女	67	26	20	21					
産科	1,060	7.7%	男									
			女	1,060			2	22	954	82		
皮膚科	35	0.3%	男	23				1	1	5	10	6
			女	12						5	2	5
整形外科	1,346	9.8%	男	745	1	6	16	19	82	186	367	68
			女	601	1	3	9	3	42	110	269	164
形成外科	183	1.3%	男	101	17	6	14	2	13	13	26	10
			女	82	9	8	8	1	11	23	12	10
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14						3	9	2
			女	7					1	1	4	1
児童精神科	10	0.1%	男	6			6					
			女	4			4					
合計	13,764	100.0%	男	7,205	479	136	241	79	298	1,133	3,543	1,296
			女	6,559	369	108	162	72	1,412	1,024	2,031	1,381

(4)－2 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成29年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	266	1.9%	男	137			1		5	12	53	66
			女	129		3	4	11	8	40	63	
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394				1	29	77	241	46
			女	334			1	26	57	204	46	
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27					4	4	17	2
			女	41					14	14	10	3
放射線療法科	4	0.0%	男	1							1	
			女	3					1	1	1	
腫瘍内科	49	0.4%	男	27						7	17	3
			女	22					2	7	11	2
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2								2
			女	2								2
脳神経外科	673	4.8%	男	376	2	2	7		11	66	208	80
			女	297	2	1	3	3	3	36	123	126
眼科	136	1.0%	男	70			2	1	3	3	40	21
			女	66		2			2	10	31	21
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	2	11	20	9	26	58	108	30
			女	173		7	15	3	42	44	43	19
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63			4	6	9	12	24	8
			女	86			1	1	15	19	23	27
呼吸器内科	532	3.8%	男	381					2	60	259	60
			女	151					1	33	80	37
呼吸器外科	323	2.3%	男	183			1	3	2	24	125	28
			女	140				2	5	30	87	16
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089				1	11	157	634	286
			女	582			1		6	43	215	317
心臓血管外科	378	2.7%	男	230				1		21	151	57
			女	148				1	1	12	72	62
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21					7	4	9	1
			女	248			2		28	86	104	28
消化器内科	616	4.4%	男	376					6	59	219	92
			女	240				1	8	33	103	95
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026		1		4	23	206	632	160
			女	567				7	25	116	271	148
泌尿器科	469	3.4%	男	354				2	14	38	204	96
			女	115					11	16	57	31
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86				2	13	16	32	23
			女	63				6	9	23	14	11
婦人科	533	3.8%	男									
			女	533				7	141	289	89	7
生殖医療科	7	0.1%	男									
			女	7					7			
移植外科	87	0.6%	男	48				2	6	22	17	1
			女	39				1	2	16	16	4
救命救急科	741	5.3%	男	438	2	1	13	12	40	79	171	120
			女	303	1	1	2	2	21	31	95	150
小児科	1,233	8.8%	男	688	461	100	120	1	4	2		
			女	545	370	73	90	10	2			
小児外科	205	1.5%	男	134	73	28	31	2				
			女	71	27	27	15	2				
産科	1,031	7.4%	男									
			女	1,031			1	18	928	84		
皮膚科	22	0.2%	男	10	1				1	1	4	3
			女	12				1		3	5	3
整形外科	1,376	9.9%	男	769		1	25	9	69	200	369	96
			女	607	1	5	6	3	32	101	286	173
形成外科	154	1.1%	男	83	4	2	10	4	15	14	26	8
			女	71	3	5	8	3	11	15	15	11
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26						5	20	1
			女	13						6	7	
児童精神科	27	0.2%	男	9			9					
			女	18			18					
合計	13,969	100.0%	男	7,312	545	146	243	60	300	1,147	3,583	1,288
			女	6,657	404	121	165	76	1,354	1,133	2,004	1,400

(4)－3 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成30年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	331	2.4%	男	160				5	6	28	52	69
			女	171		1	7	17	16	43	87	
精神科	48	0.4%	男	18				2		6	7	3
			女	30		3	4	7	7	8	1	
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447				3	21	77	290	56
			女	393			1	27	54	236	75	
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36					1	9	23	3
			女	66			3	22	16	18	7	
腫瘍内科	16	0.1%	男	11						1	10	
			女	5							5	
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7						6	1	
			女	7					2	1	1	3
脳神経外科	603	4.4%	男	358		1	5		9	77	166	100
			女	245	1		2	1	6	33	105	97
眼科	147	1.1%	男	80	1		3		1	5	48	22
			女	67		1	4	1	1	14	31	15
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	5	12	21	6	39	52	100	15
			女	144		11	19	3	23	32	45	11
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	1	1	2	6	15	17	22	8
			女	61	1		1	10	9	8	19	13
呼吸器内科	425	3.1%	男	282				1	3	47	179	52
			女	143					2	15	96	30
呼吸器外科	314	2.3%	男	219			2	6	7	32	152	20
			女	95					4	11	67	13
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089			3	3	15	171	623	274
			女	547				2	5	51	231	258
心臓血管外科	323	2.4%	男	203			1	2	5	28	116	51
			女	120					1	6	70	43
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25					1	11	9	4
			女	245				1	20	76	118	30
消化器内科	742	5.5%	男	453			1	1	11	67	243	130
			女	289				3	16	41	123	106
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031			1	3	25	170	676	156
			女	578			1	4	30	76	307	160
泌尿器科	545	4.0%	男	411				3	6	31	261	110
			女	134					4	26	66	38
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52					6	6	29	11
			女	73				3	25	18	12	15
婦人科	450	3.3%	男				1					
			女	450					133	185	125	6
生殖医療科	9	0.1%	男									
			女	9					9			
移植外科	86	0.6%	男	39				1	5	13	19	1
			女	47					4	14	23	6
救命救急科	657	4.8%	男	386	4	2	8	12	45	59	138	118
			女	271	2	2	1	5	16	43	80	122
小児科	1,119	8.2%	男	614	395	107	100	5	7			
			女	505	329	64	100	5	3	4		
小児外科	194	1.4%	男	136	80	23	33					
			女	58	26	16	16					
産科	917	6.7%	男									
			女	917			1	13	834	69		
皮膚科	24	0.2%	男	11				1	3	1	3	3
			女	13				1	1	1	5	5
整形外科	1,341	9.9%	男	728			19	19	94	177	327	92
			女	613		1	18	4	28	108	243	211
形成外科	158	1.2%	男	80	11	1	9	5	13	12	21	8
			女	78	15	6	7	1	12	13	12	12
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7						6	1	
			女	5					1	1	3	
児童精神科	26	0.2%	男	16			16					
			女	10			10					
合計	13,610	100.0%	男	7,221	497	150	221	84	338	1,109	3,516	1,306
			女	6,389	374	101	185	72	1,262	939	2,092	1,364

(5)－1 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成28年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	268	1.9%	男	121	17.2					9.0	9.9	17.0	18.5
			女	147	16.2				9.3	6.2	20.5	14.9	17.1
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361	28.5				21.2	29.4	35.3	27.3	24.9
			女	290	29.4				4.0	32.9	36.6	28.3	25.3
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28	12.0			9.0	12.0		11.7	12.4	11.5
			女	42	10.3					9.1	11.3	12.0	
放射線療法科	12	0.1%	男	7	7.4							7.4	
			女	5	8.0								8.0
腫瘍内科	53	0.4%	男	42	14.1						9.8	14.5	15.5
			女	11	18.5						22.0	17.7	
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4	7.8					2.0	9.0	10.0	
			女	5	6.0								6.3
脳神経外科	749	5.4%	男	447	20.7	11.5	4.0	10.4	8.8	106.5	19.3	17.1	18.7
			女	302	16.9		37.0		16.0	6.8	11.1	16.1	19.5
眼科	219	1.6%	男	114	7.4	3.0	2.7	3.0	10.4	5.3	9.6	7.9	7.6
			女	105	7.1	3.0	3.0	3.0	2.0		10.3	7.7	6.2
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	11.2	10.0	8.6	8.8	11.8	7.5	11.0	13.8	8.9
			女	135	9.2		11.0	7.8	10.0	8.0	11.1	8.2	9.1
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71	12.0			7.1	5.5	8.5	7.0	18.9	8.3
			女	99	13.7		1.0	6.0	10.2	8.5	18.0	15.8	14.7
呼吸器内科	683	5.0%	男	446	11.8			3.5		10.6	10.0	11.7	13.1
			女	237	10.3				4.0	10.6	8.2	8.5	14.1
呼吸器外科	322	2.3%	男	202	9.1			4.5	5.0	6.4	7.6	9.4	11.4
			女	120	9.7				5.0	9.3	8.9	9.3	15.2
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068	6.8			4.0	3.3	7.8	4.4	6.7	8.2
			女	547	9.0					7.9	8.7	6.1	11.5
心臓血管外科	401	2.9%	男	248	26.8		13.0	13.0	18.0	5.5	21.2	26.7	30.1
			女	153	25.3					18.5	41.0	19.7	29.3
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29	7.3					5.0	5.7	6.8	43.0
			女	231	9.3				5.0	5.6	7.9	10.7	11.6
消化器内科	570	4.1%	男	374	8.2			5.0	6.3	10.7	8.3	8.2	7.9
			女	196	7.9			9.0		8.0	4.8	7.9	9.1
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014	15.0			5.0	5.8	11.0	14.2	14.6	18.5
			女	567	13.1				4.0	10.5	9.5	14.2	14.2
泌尿器科	454	3.3%	男	345	7.4				5.0	10.7	7.1	7.8	6.1
			女	109	7.6				4.0	6.9	8.4	7.2	7.8
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74	32.1				42.5	62.0	32.5	33.4	24.0
			女	72	26.0			4.0	3.5	5.8	19.0	31.4	63.3
婦人科	512	3.7%	男										
			女	512	7.3			5.0	7.3	5.4	7.4	8.9	8.8
生殖医療科	15	0.1%	男										
			女	15	6.7					6.7			
移植外科	91	0.7%	男	60	13.4				2.0	15.4	15.9	11.6	6.0
			女	31	17.6					34.0	9.6	20.1	11.0
救命救急科	665	4.8%	男	364	7.9	6.4	2.4	4.0	6.3	8.0	7.4	9.6	6.9
			女	301	6.6	1.5	3.0	15.0	1.7	5.4	6.4	6.4	7.3
小児科	1,063	7.7%	男	569	11.6	12.3	7.4	12.4	7.0		4.0		
			女	494	12.7	12.7	8.6	13.9	9.8	55.6			
小児外科	188	1.4%	男	121	4.5	4.3	4.7	4.4	8.5				
			女	67	3.9	4.3	3.0	4.3					
産科	1,060	7.7%	男										
			女	1,060	9.9			6.0	6.5	10.1	8.2		
皮膚科	35	0.3%	男	23	19.5				7.0	9.0	5.6	31.5	15.0
			女	12	12.8							13.0	8.0
整形外科	1,346	9.8%	男	745	12.6	2.0	2.8	5.1	7.1	11.7	12.4	13.3	14.5
			女	601	13.0	56.0	2.7	8.1	10.7	11.9	10.9	12.6	15.5
形成外科	183	1.3%	男	101	20.7	4.2	4.7	5.6	8.5	12.3	22.8	41.4	36.7
			女	82	10.5	3.1	3.5	11.6	7.0	7.9	10.0	20.7	13.7
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14	3.7						4.7	3.6	3.0
			女	7	3.6					3.0	3.0	3.5	5.0
児童精神科	10	0.1%	男	6	96.3			96.3					
			女	4	100.8			100.8					
合計	13,764	100.0%	男	7,205	13.1	10.7	6.4	11.0	9.6	16.4	12.9	13.5	13.7
			女	6,559	12.0	11.8	7.2	12.8	7.1	9.8	10.8	12.8	14.6

(5)－2 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成29年度

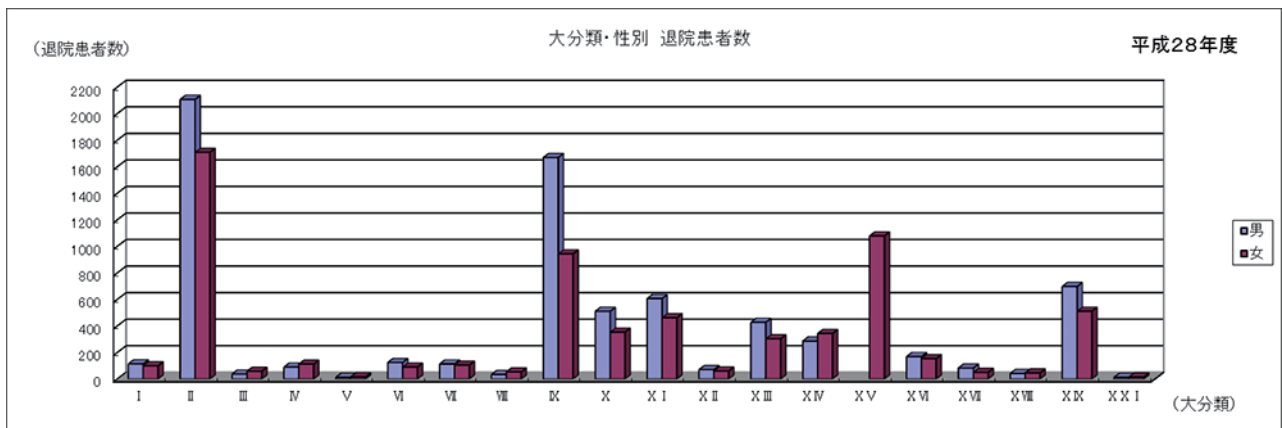
診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	266	1.9%	男	137	19.4			5.0		13.0	17.2	18.2	21.5
			女	129	18.3			15.0	4.0	8.2	17.3	22.7	18.4
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394	30.7				2.0	34.0	39.1	28.8	25.0
			女	334	27.2			5.0	29.4	29.8	26.3	27.5	
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27	9.0					4.5	7.3	9.9	13.0
			女	41	9.4					9.1	5.7	14.9	9.0
放射線療法科	4	0.0%	男	1	8.0							8.0	
			女	3	4.3					2.0	3.0	8.0	
腫瘍内科	49	0.4%	男	27	17.9						12.7	20.8	13.3
			女	22	15.0				8.0	9.7	19.3	16.5	
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2	10.0							10.0	
			女	2	7.5							7.5	
脳神経外科	673	4.8%	男	376	15.9	8.5	16.0	19.3		17.9	14.0	16.3	15.9
			女	297	15.5	6.5	2.0	6.7	11.7	6.7	11.6	14.6	18.3
眼科	136	1.0%	男	70	8.4			3.0	3.0	10.3	13.0	9.4	6.2
			女	66	7.7			3.0		5.0	10.5	7.5	7.4
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	14.4	8.5	10.0	8.2	10.7	7.7	11.5	17.5	21.5
			女	173	9.5		9.7	8.1	12.0	8.4	8.9	10.3	12.4
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63	9.3			6.3	7.0	4.4	7.0	12.1	13.3
			女	86	12.4			3.0	2.0	6.1	8.2	14.4	18.0
呼吸器内科	532	3.8%	男	381	11.4					5.0	7.7	11.3	15.3
			女	151	9.9					18.0	10.5	8.9	11.5
呼吸器外科	323	2.3%	男	183	11.3			7.0	6.0	9.0	10.4	11.9	10.4
			女	140	10.9					11.0	14.6	8.1	11.0
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089	7.6				3.0	4.9	8.1	6.1	10.6
			女	582	8.9			4.0		4.0	9.8	6.0	10.8
心臓血管外科	378	2.7%	男	230	27.1				13.0		29.5	27.1	26.6
			女	148	25.2				11.0	25.0	16.8	25.2	27.1
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21	7.5					6.4	5.8	9.1	7.0
			女	248	7.3			5.5		5.9	8.1	6.9	7.7
消化器内科	616	4.4%	男	376	8.4					12.3	9.2	8.3	7.9
			女	240	7.1				3.0	7.8	8.1	6.5	7.5
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026	15.0		2.0		4.5	10.5	12.3	15.3	18.6
			女	567	14.0				4.9	16.9	11.0	14.6	15.1
泌尿器科	469	3.4%	男	354	6.8				3.5	7.3	6.5	6.8	7.0
			女	115	7.0					5.9	6.4	7.4	6.9
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86	27.7				13.0	25.4	21.6	34.8	24.8
			女	63	22.4				5.0	4.8	15.0	33.2	47.9
婦人科	533	3.8%	男										
			女	533	7.2				6.3	5.2	7.7	8.6	8.0
生殖医療科	7	0.1%	男										
			女	7	5.1					5.1			
移植外科	87	0.6%	男	48	16.4				9.0	5.3	21.8	15.1	2.0
			女	39	12.6				30.0	3.5	11.3	15.8	5.3
救命救急科	741	5.3%	男	438	8.3	2.0	2.0	4.3	10.7	4.8	8.4	10.4	6.9
			女	303	7.7	1.0	2.0	6.0	2.5	4.0	6.1	8.9	7.9
小児科	1,233	8.8%	男	688	11.1	12.1	7.0	11.3	3.0	12.3	4.0		
			女	545	12.1	13.7	8.1	9.8	3.3	9.5			
小児外科	205	1.5%	男	134	3.8	4.0	3.8	3.6	2.5				
			女	71	10.0	20.0	3.7	4.0	4.0				
産科	1,031	7.4%	男										
			女	1,031	10.0			7.0	9.1	10.0	10.0		
皮膚科	22	0.2%	男	10	17.7	9.0				8.0	11.0	22.8	19.3
			女	12	11.0				5.0		4.0	7.8	25.3
整形外科	1,376	9.9%	男	769	12.3		39.0	9.9	7.2	10.9	12.8	11.6	15.5
			女	607	14.3	5.0	6.8	6.8	6.0	6.8	10.9	15.0	17.1
形成外科	154	1.1%	男	83	18.0	3.8	3.0	5.7	9.5	17.6	16.9	27.3	20.6
			女	71	13.6	3.3	3.2	4.0	7.7	10.5	8.7	14.9	37.8
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26	3.5						3.0	3.6	3.0
			女	13	7.7						3.2	11.6	
児童精神科	27	0.2%	男	9	41.2			41.2					
			女	18	82.2			82.2					
合計	13,969	100.0%	男	7,312	13.0	10.8	6.8	10.5	8.1	12.4	13.4	13.4	14.0
			女	6,657	12.2	13.9	6.8	16.5	6.9	9.5	10.3	13.5	14.3

(5)－3 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成30年度

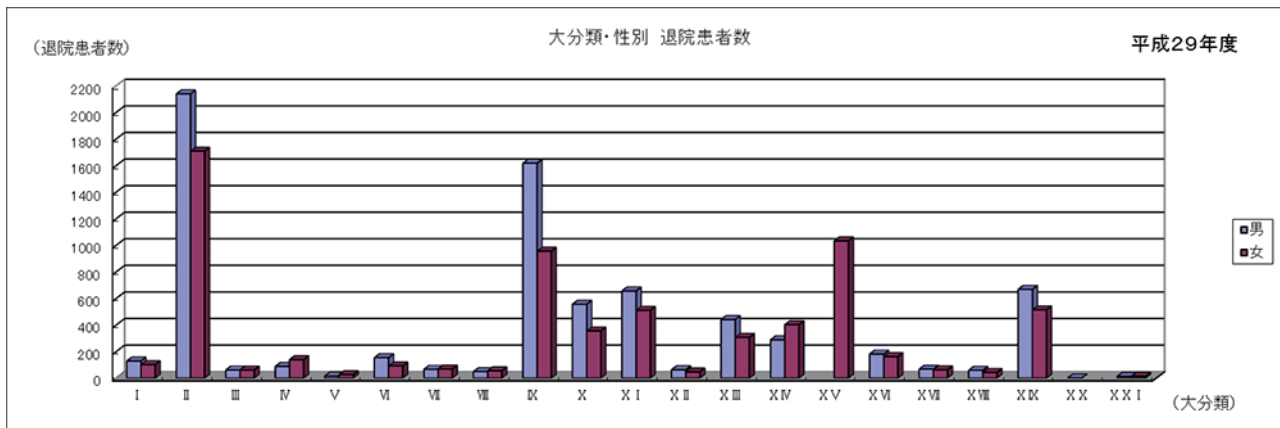
診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	331	2.4%	男	160	17.8				7.2	9.0	19.0	19.1	17.9
			女	171	15.6			5.0	6.4	13.4	16.0	19.1	15.2
精神科	48	0.4%	男	18	57.5				47.5		91.5	39.7	37.7
			女	30	51.5			22.0	19.8	78.6	45.0	65.4	11.0
血液内科・輸血科	840	6.2%	男	447	23.1				44.7	24.6	25.1	22.2	23.4
			女	393	26.0				10.0	30.6	29.0	26.0	22.7
糖尿病・内分泌内科	102	0.7%	男	36	9.1					2.0	11.7	8.6	8.0
			女	66	8.0				4.3	7.7	6.8	9.9	8.9
腫瘍内科	16	0.1%	男	11	16.8						24.0	16.1	
			女	5	13.4								13.4
ペインクリニック科	14	0.1%	男	7	18.0						19.5	9.0	
			女	7	11.6					13.0	7.0	17.0	10.3
脳神経外科	603	4.4%	男	358	18.7		8.0	9.2		12.4	15.9	18.5	22.6
			女	245	19.0	3.0		23.0	9.0	12.0	15.3	19.8	19.9
眼科	147	1.1%	男	80	7.0	3.0	3.0			5.0	12.0	6.3	8.3
			女	67	8.6		3.0	4.5	9.0	4.0	11.9	8.3	8.1
耳鼻咽喉科	394	2.9%	男	250	12.3	8.0	8.3	6.5	7.3	8.3	11.3	15.0	23.7
			女	144	9.1		5.7	7.2	6.3	8.5	9.0	10.8	11.2
歯科口腔外科	133	1.0%	男	72	12.4	10.0	3.0	6.0	9.0	8.6	7.4	23.4	5.6
			女	61	8.3	3.0		4.0	6.7	5.8	7.1	10.2	9.9
呼吸器内科	425	3.1%	男	282	10.9				9.0	8.0	7.9	10.9	13.8
			女	143	9.3					10.5	8.0	9.3	9.9
呼吸器外科	314	2.3%	男	219	10.3			6.0	8.3	6.7	9.8	10.6	11.7
			女	95	9.6					8.5	8.2	10.0	9.1
循環器内科	1,636	12.0%	男	1,089	7.4			12.0	4.3	5.7	6.9	6.7	9.2
			女	547	8.7				3.5	11.6	8.4	6.3	11.0
心臓血管外科	323	2.4%	男	203	30.6			11.0	13.5	18.8	32.8	29.2	34.9
			女	120	25.6					15.0	22.0	25.6	26.3
乳腺・甲状腺外科	270	2.0%	男	25	6.5					5.0	5.8	5.3	11.3
			女	245	7.8				5.0	4.6	7.8	8.0	8.9
消化器内科	742	5.5%	男	453	8.7			2.0	43.0	6.8	9.0	8.0	9.8
			女	289	8.9				6.3	8.3	7.2	8.7	10.0
消化器外科・一般外科	1,609	11.8%	男	1,031	13.9			3.0	5.3	11.2	11.6	13.9	16.9
			女	578	13.8			3.0	7.5	8.6	10.1	14.1	16.2
泌尿器科	545	4.0%	男	411	7.3				14.0	18.5	6.8	6.7	7.9
			女	134	8.1					4.8	6.5	9.2	7.5
腎臓内科・膠原病科	125	0.9%	男	52	30.6					18.5	46.8	29.9	30.2
			女	73	19.1				3.3	5.2	16.5	43.0	29.5
婦人科	450	3.3%	男										
			女	450	7.2			6.0		6.0	7.0	8.7	6.3
生殖医療科	9	0.1%	男										
			女	9	5.0					5.0			
移植外科	86	0.6%	男	39	16.8				37.0	9.4	22.7	14.5	2.0
			女	47	20.4					13.0	22.4	23.5	8.5
救命救急科	657	4.8%	男	386	6.4	12.0	1.5	2.1	3.5	4.0	7.1	6.8	7.1
			女	271	7.8	2.0	4.0	6.0	3.6	6.1	8.2	8.9	7.5
小児科	1,119	8.2%	男	614	10.9	11.7	8.7	10.1	7.2	15.0			
			女	505	11.1	13.5	7.0	6.1	17.2	6.7	2.0		
小児外科	194	1.4%	男	136	4.2	4.7	3.1	3.8					
			女	58	3.9	3.5	3.0	5.5					
産科	917	6.7%	男										
			女	917	10.6			8.0	18.9	10.7	7.7		
皮膚科	24	0.2%	男	11	12.2				5.0	4.7	11.0	7.7	27.0
			女	13	26.3				5.0	35.0	31.0	18.4	35.8
整形外科	1,341	9.9%	男	728	10.8			7.4	9.9	10.1	10.1	10.7	14.4
			女	613	11.7		3.0	4.7	3.3	12.6	7.2	10.8	15.8
形成外科	158	1.2%	男	80	13.5	4.3	3.0	6.8	10.8	13.9	12.9	21.9	15.1
			女	78	10.4	4.4	3.7	3.9	6.0	12.2	9.5	17.8	17.3
緩和ケア内科	12	0.1%	男	7	2.9						3.0	2.0	
			女	5	3.0					3.0	3.0	3.0	
児童精神科	26	0.2%	男	16	67.9			67.9					
			女	10	97.1			97.1					
合計	13,610	100.0%	男	7,221	12.4	10.4	7.5	12.2	11.0	10.2	12.5	12.5	14.0
			女	6,389	12.3	12.3	5.9	11.2	9.7	10.6	10.2	13.5	14.0

(6)-1【平成28年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



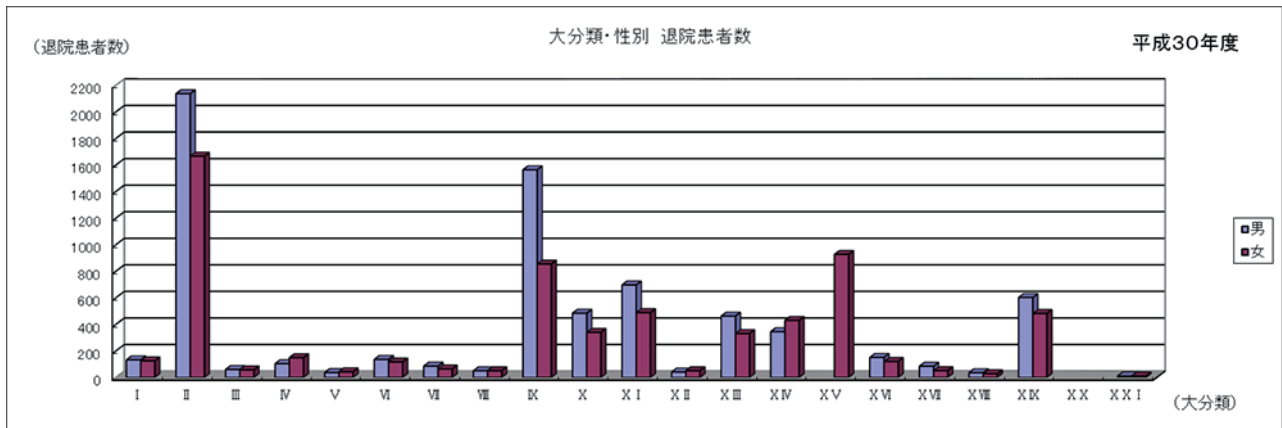
大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症および寄生虫症	213	1.5%	男	114	45.1	10.3
				女	99	48.7	8.7
II	新生物	3,815	27.7%	男	2,107	67.5	15.2
				女	1,708	63.4	14.1
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	95	0.7%	男	37	55.6	25.7
				女	58	42.8	19.5
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	202	1.5%	男	90	60.5	8.5
				女	112	57.9	10.7
V	精神および行動の障害	29	0.2%	男	13	35.0	50.8
				女	16	29.3	34.9
VI	神経系の疾患	214	1.6%	男	124	45.6	10.9
				女	90	49.7	11.1
VII	眼および付属器の疾患	218	1.6%	男	113	56.5	7.0
				女	105	60.5	7.1
VIII	耳および乳様突起の疾患	87	0.6%	男	34	43.3	5.7
				女	53	61.6	6.4
IX	循環器系の疾患	2,612	19.0%	男	1,669	70.8	12.2
				女	943	76.9	13.2
X	呼吸器系の疾患	863	6.3%	男	510	45.5	11.6
				女	353	42.3	10.1
X I	消化器系の疾患	1,068	7.8%	男	606	58.8	9.3
				女	462	57.0	8.6
X II	皮膚および皮下組織の疾患	131	1.0%	男	71	43.1	27.8
				女	60	43.4	11.5
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	730	5.3%	男	427	59.1	11.8
				女	303	63.4	12.8
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	629	4.6%	男	286	57.6	13.2
				女	343	53.2	10.5
X V	妊娠、分娩および産褥	1,078	7.8%	男			
				女	1,078	32.7	9.9
X VI	周産期に発生した病態	323	2.3%	男	169	0.0	17.9
				女	154	0.0	17.0
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	133	1.0%	男	83	8.0	8.7
				女	50	19.4	15.6
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	88	0.6%	男	42	27.7	6.5
				女	46	38.7	5.8
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,208	8.8%	男	697	56.9	13.9
				女	511	66.6	12.3
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	28	0.2%	男	13	49.5	8.6
				女	15	49.5	9.5
合計		13,764	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
				女	6,559	55.4	12.0

(6)-2【平成29年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症および寄生虫症	231	1.7%	男	129	34.4	12.1
				女	102	41.5	11.4
II	新生物	3,847	27.5%	男	2,139	67.8	16.2
				女	1,708	62.0	13.9
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	122	0.9%	男	61	51.3	36.3
				女	61	42.5	21.1
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	227	1.6%	男	88	61.9	8.9
				女	139	58.1	7.8
V	精神および行動の障害	42	0.3%	男	16	28.9	25.2
				女	26	20.7	62.4
VI	神経系の疾患	246	1.8%	男	154	37.5	9.1
				女	92	44.2	9.9
VII	眼および付属器の疾患	135	1.0%	男	66	68.3	8.4
				女	69	69.2	8.0
VIII	耳および乳様突起の疾患	104	0.7%	男	49	48.2	6.6
				女	55	55.4	7.8
IX	循環器系の疾患	2,573	18.4%	男	1,617	71.1	10.9
				女	956	76.5	12.4
X	呼吸器系の疾患	911	6.5%	男	556	43.0	10.0
				女	355	41.2	9.0
X I	消化器系の疾患	1,166	8.3%	男	656	58.9	8.9
				女	510	61.6	8.5
X II	皮膚および皮下組織の疾患	110	0.8%	男	63	44.9	17.2
				女	47	49.3	17.5
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	748	5.4%	男	441	63.2	11.6
				女	307	63.1	13.7
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	690	4.9%	男	288	54.8	14.2
				女	402	52.1	8.7
X V	妊娠、分娩および産褥	1,033	7.4%	男			
				女	1,033	33.2	10.0
X VI	周産期に発生した病態	343	2.5%	男	181	0.0	22.1
				女	162	0.0	19.7
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	129	0.9%	男	67	7.9	6.5
				女	62	16.2	22.3
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	102	0.7%	男	59	37.6	4.8
				女	43	27.5	5.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,182	8.5%	男	668	55.7	13.6
				女	514	67.9	13.9
X X	傷病および死亡の外因	1	0.0%	男	1	23.0	2.0
				女			
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	27	0.2%	男	13	50.0	7.4
				女	14	56.9	11.3
合計		13,969	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
				女	6,559	55.4	12.0

(6)－3【平成30年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	258	1.9%	男	133	41.3	10.3
				女	125	41.6	8.8
II	新生物<腫瘍>	3,804	28.0%	男	2,137	67.4	14.8
				女	1,667	65.0	14.4
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	117	0.9%	男	60	41.8	22.9
				女	57	42.7	11.6
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	253	1.9%	男	104	65.2	8.1
				女	149	60.1	6.7
V	精神及び行動の障害	80	0.6%	男	37	38.4	56.9
				女	43	34.0	52.0
VI	神経系の疾患	253	1.9%	男	136	40.1	10.3
				女	117	46.3	10.7
VII	眼及び付属器の疾患	150	1.1%	男	86	66.1	7.2
				女	64	64.9	8.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	101	0.7%	男	50	44.3	5.6
				女	51	51.0	6.4
IX	循環器系の疾患	2,418	17.8%	男	1,564	70.4	11.5
				女	854	76.0	12.7
X	呼吸器系の疾患	824	6.1%	男	484	43.1	9.8
				女	340	39.4	9.1
X I	消化器系の疾患	1,186	8.7%	男	697	61.6	8.9
				女	489	62.9	9.4
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	92	0.7%	男	41	37.7	13.1
				女	51	41.2	9.6
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	793	5.8%	男	462	59.0	10.9
				女	331	63.9	11.2
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	775	5.7%	男	345	58.7	11.1
				女	430	53.2	9.8
X V	妊娠、分娩及び産褥	927	6.8%	男			
				女	927	33.0	10.6
X VI	周産期に発生した病態	272	2.0%	男	151	0.0	19.3
				女	121	0.0	23.0
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	137	1.0%	男	85	9.8	7.2
				女	52	10.0	15.5
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64	0.5%	男	36	19.7	4.4
				女	28	25.4	4.1
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,084	8.0%	男	602	55.6	12.6
				女	482	67.3	13.8
X X	傷病及び死亡の外因	0	0.0%	男			
				女			
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	22	0.2%	男	11	46.6	5.8
				女	11	51.7	10.5
合計		13,610	100.0%	男	7,221	59.8	12.4
				女	6,389	56.1	12.3

(7)-1 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成28年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症および寄生虫症							
腸管感染症		85	39.9%	男	50	26.9	5.5
				女	35	23.9	5.1
結核		21	9.9%	男	11	73.1	20.8
				女	10	81.9	18.4
その他の細菌性疾患		59	27.7%	男	27	62.0	14.5
				女	32	71.0	10.0
主として性的伝播様式をとる感染症		2	0.9%	男	1	2.0	3.0
				女	1	35.0	2.0
リケッチア症		2	0.9%	男	2	74.5	12.5
				女			
中枢神経系のウイルス感染症		2	0.9%	男			
				女	2	53.5	13.0
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		13	6.1%	男	9	45.7	8.0
				女	4	64.8	6.5
ウイルス肝炎		5	2.3%	男	2	59.0	4.5
				女	3	63.3	7.3
その他のウイルス疾患		15	7.0%	男	5	33.4	6.6
				女	10	14.5	8.0
真菌症		8	3.8%	男	7	67.9	20.4
				女	1	65.0	2.0
原虫疾患		1	0.5%	男			
				女	1	86.0	20.0
II 新生物							
口唇、口腔および咽頭(悪性新生物)		63	1.7%	男	43	66.8	24.1
				女	20	69.4	20.3
消化器(悪性新生物)		1,175	30.8%	男	820	69.4	14.8
				女	355	71.6	14.4
呼吸器および胸腔内臓器(悪性新生物)		586	15.4%	男	390	69.5	9.5
				女	196	68.5	7.9
骨および関節軟骨(悪性新生物)		13	0.3%	男	5	72.0	7.4
				女	8	26.0	23.6
皮膚(悪性新生物)		15	0.4%	男	11	75.7	18.1
				女	4	78.8	13.5
中皮および軟部組織(悪性新生物)		27	0.7%	男	10	47.7	16.7
				女	17	63.4	17.6
乳房(悪性新生物)		172	4.5%	男			
				女	172	59.9	9.9
女性性器(悪性新生物)		226	5.9%	男			
				女	226	60.2	10.1
男性性器(悪性新生物)		127	3.3%	男	127	72.2	4.1
				女			
尿路(悪性新生物)		129	3.4%	男	96	72.4	12.2
				女	33	75.4	10.2
眼、脳および中枢神経系のその他の部位(悪性新生物)		32	0.8%	男	28	25.3	18.8
				女	4	32.8	87.0
甲状腺およびその他の内分泌腺(悪性新生物)		39	1.0%	男	14	61.3	8.4
				女	25	59.4	8.4
部位不明確、続発部位および部位不明(悪性新生物)		181	4.7%	男	99	70.8	13.5
				女	82	64.9	14.4
リンパ組織、造血組織および関連組織(悪性新生物)		557	14.6%	男	328	63.0	29.1
				女	229	64.6	31.7
上皮内新生物		27	0.7%	男	11	73.8	9.0
				女	16	47.8	4.9
良性新生物		304	8.0%	男	72	55.3	7.6
				女	232	49.9	6.8
性状不詳または不明の新生物		142	3.7%	男	53	65.6	15.9
				女	89	66.6	16.8
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害							
栄養性貧血		9	9.5%	男	4	80.5	5.5
				女	5	51.4	9.6
溶血性貧血		1	1.1%	男	1	84.0	15.0
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	無形成性貧血およびその他の貧血	18	18.9%	男	6	55.7	51.7
				女	12	39.8	38.5
	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	41	43.2%	男	18	49.4	29.2
				女	23	39.3	15.5
	血液および造血器のその他の疾患	16	16.8%	男	4	42.8	17.3
				女	12	37.3	15.4
	免疫機構の障害	10	10.5%	男	4	63.8	2.0
				女	6	66.2	13.7
IV 内分泌、栄養および代謝疾患							
	甲状腺障害	48	23.8%	男	17	54.2	5.0
				女	31	52.5	6.1
	糖尿病	53	26.2%	男	29	63.9	14.0
				女	24	56.1	13.1
	その他のグルコース調節および隣内分泌障害	7	3.5%	男	5	49.6	2.0
				女	2	81.0	7.0
	その他の内分泌腺障害	24	11.9%	男	8	51.5	7.4
				女	16	54.4	6.7
	栄養失調(症)	3	1.5%	男	1	0.0	6.0
				女	2	79.0	19.0
	その他の栄養欠乏症	5	2.5%	男	1	49.0	9.0
				女	4	22.3	50.5
	代謝障害	62	30.7%	男	29	67.6	6.7
				女	33	67.5	9.9
V 精神および行動の障害							
	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	3.4%	男	1	49.0	2.0
				女			
	精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害	1	3.4%	男	1	51.0	22.0
				女			
	気分[感情]障害	3	10.3%	男	3	54.3	6.0
				女			
	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	19	65.5%	男	5	31.4	52.2
				女	14	31.5	33.1
	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	6.9%	男			
				女	2	14.0	47.0
	小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	3	10.3%	男	3	11.7	119.3
				女			
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	24	11.2%	男	14	23.5	11.1
				女	10	39.9	16.2
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	17	7.9%	男	15	69.1	7.2
				女	2	76.0	14.5
	錐体外路障害および異常行動	6	2.8%	男	5	72.4	5.8
				女	1	11.0	4.0
	挿間性および発作性障害	108	50.5%	男	48	33.8	10.5
				女	60	49.3	9.2
	神経、神経根および神経叢の障害	23	10.7%	男	17	63.6	11.4
				女	6	62.5	7.5
	多発(性)ニューロパチ<シ>-およびその他の末梢神経系の障害	5	2.3%	男	5	45.8	9.0
				女			
	神経筋接合部および筋の疾患	3	1.4%	男	2	61.0	13.5
				女	1	65.0	1.0
	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	2	0.9%	男	1	19.0	5.0
				女	1	52.0	7.0
	神経系のその他の障害	26	12.1%	男	17	50.5	16.5
				女	9	51.4	22.3
VII 眼および付属器の疾患							
	眼瞼、涙器および眼窩の障害	9	4.1%	男	6	30.2	4.8
				女	3	55.3	5.3
	強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	2	0.9%	男	1	84.0	7.0
				女	1	58.0	16.0
	水晶体の障害	114	52.3%	男	57	71.5	4.6
				女	57	73.8	6.4
	脈絡膜および網膜の障害	33	15.1%	男	17	61.1	15.5
				女	16	62.5	14.1
	緑内障	5	2.3%	男	2	77.0	15.5
				女	3	70.7	4.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	硝子体および眼球の障害	6	2.8%	男 女	4 2	58.3 45.5	13.8 12.0
	視神経および視(覚)路の障害	4	1.8%	男 女	4	65.0	10.3
	眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	43	19.7%	男	21	14.8	3.0
				女	22	25.3	3.0
眼および付属器のその他の障害	2	0.9%	男 女	1 1	51.0 66.0	39.0 26.0	

VIII 耳および乳様突起の疾患

中耳および乳様突起の疾患	32	36.8%	男	21	28.1	5.2
			女	11	38.7	5.3
内耳疾患	45	51.7%	男	11	66.2	5.3
			女	34	70.6	5.9
耳のその他の障害	10	11.5%	男	2	76.5	13.0
			女	8	54.6	10.3

IX 循環器系の疾患

急性リウマチ熱	1	0.0%	男	1	78.0	12.0
			女			
慢性リウマチ性心疾患	23	0.9%	男	14	76.7	24.7
			女	9	76.3	37.0
高血圧性疾患	31	1.2%	男	10	72.8	8.0
			女	21	80.7	13.5
虚血性心疾患	1000	38.3%	男	742	70.3	5.1
			女	258	75.2	6.2
肺性心疾患および肺循環疾患	14	0.5%	男	7	58.3	11.4
			女	7	64.9	9.3
その他の型の心疾患	646	24.7%	男	338	71.7	13.1
			女	308	79.1	14.4
脳血管疾患	548	21.0%	男	329	70.8	23.1
			女	219	76.3	18.0
動脈、細動脈および毛細血管の疾患	306	11.7%	男	205	73.6	18.3
			女	101	77.9	16.2
静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	38	1.5%	男	20	47.4	12.5
			女	18	67.2	11.0
循環器系のその他および詳細不明の障害	5	0.2%	男	3	73.7	5.0
			女	2	44.0	2.0

X 呼吸器系の疾患

急性上気道感染症	46	5.3%	男	23	13.6	4.3
			女	23	21.2	4.4
インフルエンザおよび肺炎	241	27.9%	男	137	52.1	10.3
			女	104	50.1	11.0
その他の急性下気道感染症	143	16.6%	男	78	3.6	4.7
			女	65	5.3	5.2
上気道のその他の疾患	136	15.8%	男	87	40.1	9.8
			女	49	45.4	8.2
慢性下気道疾患	57	6.6%	男	23	28.7	10.4
			女	34	41.4	8.3
外的因子による肺疾患	114	13.2%	男	75	76.3	24.4
			女	39	72.8	18.1
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	44	5.1%	男	29	73.1	13.9
			女	15	67.9	21.6
下気道の化膿性および壊死性病態	12	1.4%	男	10	63.0	13.5
			女	2	79.0	38.5
胸膜のその他の疾患	46	5.3%	男	36	61.4	11.8
			女	10	56.8	10.5
呼吸器系のその他の疾患	24	2.8%	男	12	55.8	14.8
			女	12	55.4	8.5

X I 消化器系の疾患

口腔、唾液腺および顎の疾患	96	9.0%	男	40	52.0	7.4
			女	56	45.8	8.4
食道、胃および十二指腸の疾患	81	7.6%	男	55	61.9	9.7
			女	26	64.0	9.3
虫垂の疾患	54	5.1%	男	30	41.9	6.6
			女	24	39.0	6.5
ヘルニア	156	14.6%	男	96	36.9	4.9
			女	60	22.9	5.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	19	1.8%	男	10	40.6	16.8
				女	9	34.0	17.2
	腸その他の疾患	187	17.5%	男	98	67.6	12.0
				女	89	64.3	9.5
	腹膜の疾患	16	1.5%	男	11	68.0	30.9
				女	5	72.2	15.4
	肝疾患	44	4.1%	男	28	64.6	17.2
				女	16	62.4	9.1
	胆嚢、胆管および膵の障害	347	32.5%	男	194	67.1	8.5
				女	153	69.7	8.2
	消化器系その他の疾患	68	6.4%	男	44	62.0	7.3
				女	24	72.0	11.8

X II 皮膚および皮下組織の疾患

皮膚および皮下組織の感染症	53	40.5%	男	32	45.0	12.6
			女	21	50.3	13.0
水疱症	2	1.5%	男	1	72.0	71.0
			女	1	86.0	38.0
皮膚炎および湿疹	8	6.1%	男	3	52.7	6.7
			女	5	59.8	9.4
丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	1.5%	男			
			女	2	60.5	11.5
蕁麻疹および紅斑	11	8.4%	男	6	45.2	6.5
			女	5	12.8	2.8
皮膚および皮下組織放射線(非電離および電離)に関する障害	3	2.3%	男	1	88.0	19.0
			女	2	68.5	11.5
皮膚付属器の障害	7	5.3%	男	2	38.5	7.0
			女	5	39.6	5.6
皮膚および皮下組織のその他の障害	45	34.4%	男	26	36.7	54.2
			女	19	33.8	12.9

X III 筋骨格系および結合組織の疾患

感染性関節障害	9	1.2%	男	5	61.4	12.4
			女	4	48.0	17.5
炎症性多発性関節障害	4	0.5%	男	4	78.5	15.8
			女			
関節症	42	5.8%	男	10	62.4	17.3
			女	32	73.3	18.5
その他の関節障害	5	0.7%	男	1	20.0	4.0
			女	4	42.0	5.5
全身性結合組織障害	58	7.9%	男	36	27.6	16.0
			女	22	34.3	22.7
変形性脊柱障害	89	12.2%	男	37	65.5	9.7
			女	52	69.8	11.9
脊椎障害	360	49.3%	男	241	66.5	11.6
			女	119	71.0	9.8
その他の脊柱障害	92	12.6%	男	60	45.0	7.8
			女	32	45.8	7.4
筋障害	9	1.2%	男	7	60.1	11.4
			女	2	78.5	20.0
滑膜および腱の障害	4	0.5%	男			
			女	4	62.3	2.8
その他の軟部組織障害	9	1.2%	男	6	49.3	10.0
			女	3	53.7	10.3
骨の密度および構造の障害	22	3.0%	男	6	59.5	8.2
			女	16	54.9	16.6
その他の骨障害	22	3.0%	男	13	57.8	27.8
			女	9	55.6	30.8
軟骨障害	3	0.4%	男	1	15.0	5.0
			女	2	52.0	4.5
筋骨格系および結合組織のその他の障害	2	0.3%	男			
			女	2	77.0	16.5

X IV 腎尿路生殖器系の疾患

糸球体疾患	64	10.2%	男	26	49.7	32.7
			女	38	42.0	11.1
腎尿細管間質性疾患	141	22.4%	男	66	65.7	6.3
			女	75	62.9	7.9

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腎不全	142	22.6%	男	85	63.2	20.3
				女	57	67.2	27.4
	尿路結石	24	3.8%	男	16	69.7	4.0
				女	8	65.9	5.3
	腎および尿管のその他の障害	11	1.7%	男	7	54.9	11.0
				女	4	49.5	9.0
	尿路系のその他の疾患	55	8.7%	男	30	64.2	12.3
				女	25	60.0	9.5
	男性性器の疾患	56	8.9%	男	56	36.3	4.7
				女			
女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.7%	男				
			女	11	48.6	7.5	
女性性器の非炎症性障害	124	19.7%	男				
			女	124	42.6	5.0	
腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.2%	男				
			女	1	82.0	6.0	
X V 妊娠、分娩および産褥							
	流産に終わった妊娠	35	3.2%	男 女	35	33.6	4.2
	妊娠、分娩および産褥における浮腫、蛋白尿および高血圧性障害	35	3.2%	男 女	35	33.9	14.4
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	58	5.4%	男 女	58	33.1	12.6
	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	430	39.9%	男 女	430	32.5	13.9
	分娩の合併症	108	10.0%	男 女	108	33.7	7.6
	分娩	403	37.4%	男 女	403	32.2	5.9
	主として産褥に関連する合併症	7	0.6%	男 女	7	34.7	10.7
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.2%	男 女	2	33.0	6.0
X VI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間および胎児発育に関連する障害	94	29.1%	男	43	0.0	46.5
				女	51	0.0	39.3
	出産外傷	2	0.6%	男 女	2	0.0	16.0
	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	96	29.7%	男	55	0.0	12.0
				女	41	0.0	8.0
	周産期に特異的な感染症	5	1.5%	男	2	0.0	26.5
				女	3	0.0	2.7
	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	81	25.1%	男	48	0.0	4.3
				女	33	0.0	4.3
	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	27	8.4%	男	11	0.0	4.2
				女	16	0.0	4.1
	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	5	1.5%	男	1	0.0	2.0
				女	4	0.0	3.8
	周産期に発生したその他の障害	13	4.0%	男	9	0.0	6.8
				女	4	0.0	7.8
X VII 先天奇形、変形および染色体異常							
	神経系の先天奇形	10	7.5%	男	5	5.8	8.8
				女	5	8.2	13.6
	眼、耳、顔面および頸部の先天奇形	13	9.8%	男	6	10.5	7.3
				女	7	6.0	4.0
	循環器系の先天奇形	30	22.6%	男	17	24.2	8.4
				女	13	27.7	27.9
	唇裂および口蓋裂	6	4.5%	男	5	2.2	9.8
				女	1	0.0	24.0
	消化器系のその他の先天奇形	17	12.8%	男	7	5.7	12.4
				女	10	38.8	8.8
	生殖器の先天奇形	22	16.5%	男	20	2.5	4.2
				女	2	47.5	5.5
	腎尿路系の先天奇形	3	2.3%	男 女	3	6.7	10.0
	筋骨格系の先天奇形および変形	17	12.8%	男	14	2.4	7.4
				女	3	0.0	35.3

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	その他の先天奇形	6	4.5%	男	4	4.3	25.8
				女	2	8.0	3.0
	染色体異常、他に分類されないもの	9	6.8%	男	5	1.0	13.4
				女	4	1.5	14.0

XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	7	8.0%	男	5	58.8	22.8
			女	2	62.0	11.5
消化器系および腹部に関する症状および徴候	6	6.8%	男	2	11.0	3.5
			女	4	40.8	2.8
皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	2	2.3%	男			
			女	2	70.5	4.0
神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	1	1.1%	男	1	19.0	4.0
			女			
認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	5	5.7%	男	3	75.3	7.3
			女	2	77.0	3.0
全身症状および徴候	67	76.1%	男	31	19.4	4.1
			女	36	33.3	6.1

XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響

頭部損傷	216	17.9%	男	144	56.6	11.3
			女	72	66.7	10.1
頸部損傷	90	7.5%	男	58	64.4	15.5
			女	32	70.0	16.8
胸部<郭>損傷	83	6.9%	男	53	66.3	17.2
			女	30	70.3	11.6
腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	123	10.2%	男	68	58.7	16.7
			女	55	70.0	16.7
肩および上腕の損傷	62	5.1%	男	38	42.2	10.0
			女	24	50.1	8.2
肘および前腕の損傷	43	3.6%	男	23	47.1	6.6
			女	20	65.9	7.9
手首および手の損傷	21	1.7%	男	21	36.5	7.5
			女			
股関節部および大腿の損傷	130	10.8%	男	37	66.6	20.8
			女	93	81.7	17.6
膝および下腿の損傷	91	7.5%	男	52	45.6	20.1
			女	39	59.4	14.3
足首および足の損傷	22	1.8%	男	16	44.6	11.3
			女	6	50.2	7.0
多部位の損傷	14	1.2%	男	7	54.3	23.4
			女	7	49.1	11.0
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	16	1.3%	男	10	47.0	5.2
			女	6	35.3	5.5
自然開口部からの異物侵入の作用	12	1.0%	男	7	46.3	3.3
			女	5	60.2	6.4
熱傷および腐食	21	1.7%	男	17	53.2	27.2
			女	4	57.8	18.3
薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	21	1.7%	男	2	55.0	17.5
			女	19	46.4	3.5
薬用を主としない物質の毒作用	21	1.7%	男	12	62.1	2.6
			女	9	55.9	6.8
外因のその他および詳細不明の作用	60	5.0%	男	35	55.6	5.9
			女	25	56.0	7.2
外傷の早期合併症	4	0.3%	男	3	68.0	8.0
			女	1	90.0	25.0
外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	156	12.9%	男	93	65.7	15.0
			女	63	68.8	10.0
損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	2	0.2%	男	1	84.0	36.0
			女	1	17.0	4.0

XX I 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用

特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	26	92.9%	男	12	49.5	8.8
			女	14	51.9	9.9
家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	2	7.1%	男	1	50.0	6.0
			女	1	16.0	5.0
合計	13,764	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
			女	6,559	55.4	12.0

(7)-2 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成29年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症および寄生虫症							
腸管感染症		108	46.8%	男	65	15.5	4.6
				女	43	21.7	5.2
結核		15	6.5%	男	11	71.3	58.7
				女	4	63.0	10.0
その他の細菌性疾患		57	24.7%	男	27	64.2	15.2
				女	30	69.2	20.4
主として性的伝播様式をとる感染症		1	0.4%	男	1	49.0	3.0
リケッチア症		1	0.4%	男	1	69.0	15.0
中枢神経系のウイルス感染症		2	0.9%	男	1	45.0	3.0
				女	1	1.0	2.0
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱		2	0.9%	男	1	65.0	4.0
				女	1	79.0	15.0
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		22	9.5%	男	16	23.6	4.6
				女	6	25.0	9.0
その他のウイルス疾患		12	5.2%	男	3	35.0	12.7
				女	9	25.3	16.1
真菌症		7	3.0%	男	3	65.0	15.7
				女	4	69.3	9.8
原虫疾患		2	0.9%	男	2	63.5	18.5
				女			
蠕虫症		2	0.9%	男			
				女	2	56.5	6.0
II 新生物							
口唇、口腔および咽頭(悪性新生物)		102	2.7%	男	77	69.3	24.8
				女	25	72.1	19.8
消化器(悪性新生物)		1,126	29.3%	男	762	69.0	15.8
				女	364	70.5	14.7
呼吸器および胸腔内臓器(悪性新生物)		534	13.9%	男	365	68.8	10.7
				女	169	67.8	10.4
骨および関節軟骨(悪性新生物)		7	0.2%	男	7	32.7	10.6
皮膚(悪性新生物)		22	0.6%	男	13	71.2	25.1
				女	9	73.6	24.8
中皮および軟部組織(悪性新生物)		50	1.3%	男	29	55.5	20.0
				女	21	56.8	11.1
乳房(悪性新生物)		179	4.7%	男			
女性生殖器(悪性新生物)		186	4.8%	女	179	60.7	7.6
				男			
男性生殖器(悪性新生物)		143	3.7%	男	143	73.3	4.3
				女			
尿路(悪性新生物)		126	3.3%	男	99	71.7	11.2
				女	27	73.3	10.7
眼、脳および中枢神経系のその他の部位(悪性新生物)		22	0.6%	男	19	25.7	13.3
				女	3	71.3	24.7
甲状腺およびその他の内分泌腺(悪性新生物)		36	0.9%	男	12	58.0	8.9
				女	24	61.5	7.2
部位不明確、続発部位および部位不明(悪性新生物)		190	4.9%	男	110	70.4	12.8
				女	80	67.6	15.5
リンパ組織、造血組織および関連組織(悪性新生物)		568	14.8%	男	303	64.1	32.7
				女	265	62.4	28.1
上皮内新生物		28	0.7%	男	12	69.3	8.0
				女	16	49.1	4.9
良性新生物		341	8.9%	男	96	63.8	8.8
				女	245	47.6	7.3
性状不詳または不明の新生物		187	4.9%	男	92	68.8	16.1
				女	95	61.6	15.6
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害							
栄養性貧血		4	3.3%	男	3	61.0	10.3
				女	1	77.0	5.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	溶血性貧血	10	8.2%	男	8	73.9	98.9
				女	2	32.5	3.5
	無形成性貧血およびその他の貧血	20	16.4%	男	10	62.2	79.9
				女	10	57.9	39.8
	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	66	54.1%	男	28	41.6	12.7
			女	38	33.9	21.2	
	血液および造血器のその他の疾患	11	9.0%	男	5	54.0	12.2
				女	6	52.2	10.7
	免疫機構の障害	11	9.0%	男	7	43.1	25.1
				女	4	67.0	2.8
IV 内分泌、栄養および代謝疾患							
	甲状腺障害	54	23.8%	男	8	48.3	5.6
				女	46	48.9	6.4
	糖尿病	41	18.1%	男	26	63.8	12.1
				女	15	69.5	11.9
	その他のグルコース調節および膵内分泌障害	9	4.0%	男	3	73.7	9.0
				女	6	22.2	3.7
	その他の内分泌腺障害	30	13.2%	男	10	45.4	5.8
				女	20	59.9	5.6
	栄養失調(症)	1	0.4%	男	1	70.0	19.0
				女			
	その他の栄養欠乏症	3	1.3%	男	1	65.0	36.0
				女	2	1.0	46.0
	代謝障害	89	39.2%	男	39	66.4	7.3
				女	50	69.0	7.8
V 精神および行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	1	2.4%	男			
				女	1	74.0	24.0
	精神作用物質使用による精神および行動の障害	4	9.5%	男	4	52.0	2.5
				女			
	精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害	2	4.8%	男			
				女	2	28.0	357.5
	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	19	45.2%	男	5	31.6	31.8
				女	14	17.0	41.2
	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	4	9.5%	男			
				女	4	13.5	39.0
	心理的発達障害	4	9.5%	男			
				女	4	13.5	39.0
	小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	8	19.0%	男	7	13.7	33.4
				女	1	10.0	13.0
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	13	5.3%	男	8	27.6	7.9
				女	5	41.0	34.0
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	20	8.1%	男	16	52.4	8.1
				女	4	39.0	14.3
	錐体外路障害および異常行動	1	0.4%	男			
				女	1	65.0	2.0
	挿間性および発作性障害	147	59.8%	男	95	31.3	8.1
				女	52	44.0	7.8
	神経、神経根および神経叢の障害	25	10.2%	男	10	58.3	9.3
				女	15	53.1	8.3
	多発(性)ニューロパチ<シ>-およびその他の末梢神経系の障害	2	0.8%	男	1	75.0	10.0
				女	1	45.0	30.0
	神経筋接合部および筋の疾患	3	1.2%	男	2	63.5	19.0
				女	1	47.0	2.0
	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	6	2.4%	男	4	29.3	9.3
				女	2	37.5	6.5
	神経系のその他の障害	29	11.8%	男	18	46.4	14.3
				女	11	35.0	9.6
VII 眼および付属器の疾患							
	眼瞼、涙器および眼窩の障害	13	9.6%	男	9	47.7	5.7
				女	4	22.3	3.3
	水晶体の障害	86	63.7%	男	39	75.6	6.4
				女	47	74.4	6.8

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)	
	脈絡膜および網膜の障害	23	17.0%	男	12	72.0	15.5	
				女	11	67.4	12.5	
	緑内障	2	1.5%	男				
				女	2	69.0	7.5	
	硝子体および眼球の障害	7	5.2%	男	4	56.3	13.5	
				女	3	49.7	9.0	
	視神経および視(覚)路の障害	2	1.5%	男	1	23.0	14.0	
				女	1	82.0	6.0	
	眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	2	1.5%	男	1	18.0	3.0	
				女	1	77.0	35.0	
VIII 耳および乳様突起の疾患								
外耳疾患	2	1.9%	男	1	54.0	5.0		
			女	1	82.0	14.0		
中耳および乳様突起の疾患	34	32.7%	男	21	30.6	5.2		
			女	13	30.3	6.0		
内耳疾患	59	56.7%	男	21	63.5	6.7		
			女	38	62.2	8.1		
耳のその他の障害	9	8.7%	男	6	55.5	11.2		
			女	3	69.0	9.7		
IX 循環器系の疾患								
慢性リウマチ性心疾患	43	1.7%	男	15	69.6	55.5		
			女	28	74.4	20.4		
高血圧性疾患	34	1.3%	男	19	74.1	13.7		
			女	15	84.3	13.0		
虚血性心疾患	994	38.6%	男	736	70.3	5.0		
			女	258	75.8	6.3		
肺性心疾患および肺循環疾患	16	0.6%	男	4	59.8	21.3		
			女	12	67.6	12.5		
その他の型の心疾患	656	25.5%	男	348	72.6	12.9		
			女	308	78.3	12.4		
脳血管疾患	483	18.8%	男	274	69.9	17.4		
			女	209	76.0	16.7		
動脈、細動脈および毛細血管の疾患	309	12.0%	男	205	73.3	15.9		
			女	104	75.5	18.1		
静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	33	1.3%	男	12	64.8	11.3		
			女	21	75.0	6.6		
循環器系のその他および詳細不明の障害	5	0.2%	男	4	74.3	9.0		
			女	1	28.0	6.0		
X 呼吸器系の疾患								
急性上気道感染症	65	7.1%	男	40	8.0	3.7		
			女	25	6.7	4.5		
インフルエンザおよび肺炎	217	23.8%	男	121	59.5	11.5		
			女	96	60.9	12.7		
その他の急性下気道感染症	188	20.6%	男	103	2.5	4.9		
			女	85	6.5	4.7		
上気道のその他の疾患	141	15.5%	男	78	37.8	8.1		
			女	63	39.7	8.6		
慢性下気道疾患	79	8.7%	男	49	32.9	6.8		
			女	30	46.4	8.5		
外的因子による肺疾患	93	10.2%	男	60	74.2	16.5		
			女	33	78.4	13.5		
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	55	6.0%	男	45	71.5	16.4		
			女	10	74.5	8.4		
下気道の化膿性および壊死性病態	13	1.4%	男	13	71.8	24.7		
			女					
胸膜のその他の疾患	40	4.4%	男	32	60.9	11.8		
			女	8	70.9	13.1		
呼吸器系のその他の疾患	20	2.2%	男	15	65.9	9.3		
			女	5	51.6	8.2		
X I 消化器系の疾患								
口腔、唾液腺および顎の疾患	96	8.2%	男	37	46.8	6.6		
			女	59	54.7	6.5		
食道、胃および十二指腸の疾患	102	8.7%	男	68	62.5	8.6		
			女	34	67.5	9.6		

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	虫垂の疾患	55	4.7%	男	33	45.9	6.4
				女	22	37.0	5.8
	ヘルニア	161	13.8%	男	98	35.7	3.8
				女	63	30.2	4.5
	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	25	2.1%	男	19	26.1	12.9
				女	6	46.3	31.0
	腸その他の疾患	190	16.3%	男	91	67.5	13.4
				女	99	69.2	10.6
	腹膜の疾患	17	1.5%	男	7	72.9	33.1
				女	10	71.2	27.7
	肝疾患	44	3.8%	男	25	60.0	11.2
				女	19	64.3	9.5
	胆嚢、胆管および膵の障害	382	32.8%	男	212	68.7	8.9
				女	170	71.4	6.9
消化器系その他の疾患	94	8.1%	男	66	67.2	8.6	
			女	28	70.2	12.9	
X II 皮膚および皮下組織の疾患							
	皮膚および皮下組織の感染症	60	54.5%	男	35	45.2	12.0
				女	25	49.8	16.6
	水疱症	4	3.6%	男	1	70.0	67.0
				女	3	71.7	31.0
	皮膚炎および湿疹	2	1.8%	男	2	14.0	7.0
				女			
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	1.8%	男			
				女	2	49.5	12.5
	蕁麻疹および紅斑	3	2.7%	男	2	27.5	8.0
				女	1	1.0	3.0
皮膚および皮下組織放射線(非電離および電離)に関する障害	1	0.9%	男	1	78.0	11.0	
			女				
皮膚付属器の障害	6	5.5%	男	2	33.0	3.5	
			女	4	30.8	5.3	
皮膚および皮下組織のその他の障害	32	29.1%	男	20	47.4	27.5	
			女	12	52.9	22.3	
X III 筋骨格系および結合組織の疾患							
	感染性関節障害	7	0.9%	男	3	43.7	8.0
				女	4	68.8	88.5
	炎症性多発性関節障害	9	1.2%	男	4	62.8	8.5
				女	5	79.2	12.6
	関節症	56	7.5%	男	21	69.4	18.4
				女	35	72.9	18.6
	その他の関節障害	6	0.8%	男	3	38.3	6.0
				女	3	56.3	9.0
	全身性結合組織障害	56	7.5%	男	25	20.5	19.7
				女	31	19.9	17.3
	変形性脊柱障害	106	14.2%	男	40	66.6	8.6
				女	66	65.3	8.7
	脊椎障害	359	48.0%	男	258	68.7	11.1
				女	101	71.8	12.2
	その他の脊柱障害	87	11.6%	男	60	53.3	7.1
				女	27	46.5	8.7
	筋障害	6	0.8%	男	4	79.8	6.5
				女	2	66.0	11.5
	滑膜および腱の障害	4	0.5%	男	1	62.0	5.0
				女	3	55.3	11.3
その他の軟部組織障害	7	0.9%	男	5	36.8	9.4	
			女	2	66.5	14.5	
骨の密度および構造の障害	20	2.7%	男	8	72.6	13.5	
			女	12	73.3	12.5	
その他の骨障害	15	2.0%	男	6	71.7	38.3	
			女	9	72.1	14.7	
筋骨格系および結合組織のその他の障害	10	1.3%	男	3	76.3	34.0	
			女	7	83.9	21.4	
X IV 腎尿路生殖器系の疾患							
糸球体疾患	74	10.7%	男	28	49.4	49.6	
			女	46	38.7	12.5	
腎尿細管間質性疾患	166	24.1%	男	68	56.1	6.2	
			女	98	64.1	7.4	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腎不全	110	15.9%	男	73	63.7	21.6
				女	37	65.8	17.1
	尿路結石	37	5.4%	男	19	67.3	6.2
				女	18	60.2	5.4
	腎および尿管のその他の障害	6	0.9%	男	3	77.0	14.7
				女	3	46.7	36.3
	尿路系のその他の疾患	45	6.5%	男	20	72.3	9.3
				女	25	59.7	14.4
	男性生殖器の疾患	76	11.0%	男	76	38.9	4.8
				女			
乳房の障害	3	0.4%	男	1	24.0	6.0	
			女	2	61.5	6.5	
女性骨盤臓器の炎症性疾患	19	2.8%	男				
女性生殖器の非炎症性障害	153	22.2%	女	153	43.1	4.9	
腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.1%	男				
			女	1	86.0	8.0	
X V 妊娠、分娩および産褥							
	流産に終わった妊娠	18	1.7%	男			
				女	18	29.9	3.7
	妊娠、分娩および産褥における浮腫、蛋白尿および高血圧性障害	54	5.2%	男			
				女	54	35.1	10.4
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	48	4.6%	男			
				女	48	35.3	8.0
	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	430	41.6%	男			
				女	430	33.5	14.8
	分娩の合併症	168	16.3%	男			
				女	168	33.6	6.9
	分娩	311	30.1%	男			
				女	311	32.1	5.8
	主として産褥に関連する合併症	2	0.2%	男			
				女	2	31.5	3.0
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.2%	男			
				女	2	34.5	9.0
X VI 周産期に発生した病態							
	母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	1	0.3%	男			
				女	1	0.0	4.0
	妊娠期間および胎児発育に関連する障害	118	34.4%	男	62	0.0	47.0
				女	56	0.0	41.3
	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	91	26.5%	男	54	0.0	13.4
				女	37	0.0	15.7
	周産期に特異的な感染症	5	1.5%	男	2	0.0	41.0
				女	3	0.0	4.0
	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	67	19.5%	男	38	0.0	3.4
				女	29	0.0	4.5
	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	38	11.1%	男	16	0.0	4.9
				女	22	0.0	3.8
	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	9	2.6%	男	1	0.0	3.0
				女	8	0.0	5.4
	周産期に発生したその他の障害	14	4.1%	男	8	0.0	9.6
				女	6	0.0	4.8
X VII 先天奇形、変形および染色体異常							
	神経系の先天奇形	11	8.5%	男	2	6.5	12.0
				女	9	7.6	47.2
	眼、耳、顔面および頸部の先天奇形	9	7.0%	男	4	9.0	7.8
				女	5	24.2	5.0
	循環器系の先天奇形	35	27.1%	男	15	10.8	6.3
				女	20	18.5	13.1
	呼吸器系の先天奇形	2	1.6%	男			
				女	2	9.5	15.5
	唇裂および口蓋裂	4	3.1%	男	1	0.0	4.0
				女	3	0.3	4.3
	消化器系のその他の先天奇形	20	15.5%	男	7	5.4	12.0
				女	13	20.5	40.4
	生殖器の先天奇形	23	17.8%	男	23	2.5	3.8
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腎尿路系の先天奇形	5	3.9%	男	3	17.3	4.0
	女			2	27.0	6.0	
	筋骨格系の先天奇形および変形	8	6.2%	男	5	4.4	3.0
	女			3	3.3	24.3	
その他の先天奇形	9	7.0%	男	4	35.8	9.5	
女			5	19.0	4.0		
	染色体異常、他に分類されないもの	3	2.3%	男	3	2.0	15.0
	女						
XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	24	23.5%	男	18	71.6	7.7
				女	6	66.2	4.0
	消化器系および腹部に関する症状および徴候	5	4.9%	男	4	31.5	6.8
				女	1	12.0	5.0
	神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	1	1.0%	男	1	48.0	2.0
				女			
	認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	8	7.8%	男	5	61.4	2.2
				女	3	82.7	6.0
	全身症状および徴候	64	62.7%	男	31	14.4	3.4
				女	33	15.9	5.5
XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響							
	頭部損傷	199	16.8%	男	124	54.8	10.3
				女	75	66.8	12.1
	頸部損傷	89	7.5%	男	64	60.4	16.3
				女	25	70.7	15.6
	胸部<郭>損傷	76	6.4%	男	45	62.8	11.4
				女	31	71.3	16.4
	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	129	10.9%	男	77	56.0	15.6
				女	52	68.7	12.8
	肩および上腕の損傷	49	4.1%	男	29	54.4	9.0
				女	20	56.2	8.9
	肘および前腕の損傷	54	4.6%	男	24	39.0	8.7
				女	30	65.0	7.3
	手首および手の損傷	24	2.0%	男	20	53.0	9.6
				女	4	53.8	8.0
	股関節部および大腿の損傷	142	12.0%	男	37	65.5	18.7
				女	105	83.8	18.3
	膝および下腿の損傷	80	6.8%	男	46	45.9	15.5
				女	34	53.2	16.9
	足首および足の損傷	22	1.9%	男	15	59.1	27.1
				女	7	61.1	17.9
	多部位の損傷	27	2.3%	男	13	47.2	28.0
				女	14	65.9	28.3
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	24	2.0%	男	14	48.0	2.1
				女	10	50.4	2.4
	自然開口部からの異物侵入の作用	9	0.8%	男	5	46.8	4.8
				女	4	1.3	2.0
	熱傷および腐食	20	1.7%	男	14	60.8	45.2
				女	6	60.5	46.3
	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	23	1.9%	男	11	47.1	3.5
				女	12	48.6	4.7
	薬用を主としない物質の毒作用	16	1.4%	男	9	56.4	3.8
				女	7	61.0	5.9
	外因のその他および詳細不明の作用	43	3.6%	男	33	47.7	5.5
				女	10	54.1	8.9
	外傷の早期合併症	1	0.1%	男	1	56.0	3.0
				女			
	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	154	13.0%	男	87	61.7	14.5
				女	67	69.7	10.9
	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男			
				女	1	18.0	3.0
XX 傷病および死亡の外因							
	故意の自傷および自殺	1	100.0%	男	1	23.0	2.0
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XX I 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用							
	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	26	96.3%	男	13	50.0	7.4
				女	13	56.2	11.9
	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	3.7%	男			
				女	1	66.0	3.0
	合計	13,969	100.0%	男	7,312	59.6	13.0
				女	6,657	55.2	12.2

(7)-3 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成30年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
腸管感染症		116	45.0%	男	57	21.7	5.1
				女	59	25.5	5.9
結核		12	4.7%	男	7	81.0	32.0
				女	5	72.8	20.4
人畜共通細菌性疾患		1	0.4%	男			
その他の細菌性疾患		65	25.2%	女	1	11.0	5.0
				男	35	68.3	16.8
主として性的伝播様式をとる感染症		1	0.4%	女			
リケッチア症		2	0.8%	男	1	65.0	6.0
				女	1	79.0	8.0
中枢神経系のウイルス感染症		8	3.1%	男	5	20.2	10.6
				女	3	3.3	6.3
節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱		1	0.4%	男			
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		18	7.0%	女	1	54.0	16.0
				男	11	29.5	7.0
ウイルス性肝炎		3	1.2%	女	7	38.1	7.1
				男	3	35.3	5.0
その他のウイルス性疾患		14	5.4%	女	4	0.3	3.0
				男	10	30.7	8.2
真菌症		9	3.5%	男	6	72.7	13.3
				女	3	63.7	18.7
蠕虫症		8	3.1%	男	4	66.8	6.8
				女	4	67.3	4.5
II 新生物<腫瘍>							
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>		79	2.1%	男	65	66.7	24.2
				女	14	72.4	24.3
消化器の悪性新生物<腫瘍>		1,149	30.2%	男	770	69.5	14.9
				女	379	70.7	14.5
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>		489	12.9%	男	348	68.3	10.6
				女	141	71.8	8.5
骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>		21	0.6%	男	14	34.9	9.1
				女	7	26.0	12.4
皮膚の悪性新生物<腫瘍>		25	0.7%	男	18	72.1	15.2
				女	7	81.4	21.9
中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>		38	1.0%	男	14	49.4	14.9
				女	24	63.9	15.5
乳房の悪性新生物<腫瘍>		165	4.3%	男			
女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		158	4.2%	女	165	61.1	8.5
				男	5	39.0	6.4
男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		144	3.8%	女	153	60.3	10.2
				男	144	73.6	4.7
腎尿路の悪性新生物<腫瘍>		129	3.4%	男	90	70.8	11.2
				女	39	75.3	11.3
眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>		20	0.5%	男	16	27.5	16.4
				女	4	67.5	46.0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>		39	1.0%	男	11	58.1	9.0
				女	28	66.2	7.5
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>		159	4.2%	男	86	69.5	11.9
				女	73	68.2	11.2
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>		684	18.0%	男	353	63.4	25.1
				女	331	67.3	26.8
上皮内新生物<腫瘍>		19	0.5%	男	5	69.6	8.6
				女	14	45.0	3.6
良性新生物<腫瘍>		256	6.7%	男	76	60.7	6.6
				女	180	50.1	7.8
性状不詳または不明の新生物<腫瘍>		230	6.0%	男	122	68.2	14.5
				女	108	63.1	13.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	9	7.7%	男 女	3 6	49.7 79.0	11.7 7.0
	溶血性貧血	5	4.3%	男 女	5	70.8	19.2
	無形成性貧血及びその他の貧血	16	13.7%	男 女	13 3	52.6 78.0	50.1 10.0
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	64	54.7%	男 女	24 40	28.7 30.9	15.1 13.0
	血液及び造血器のその他の疾患	11	9.4%	男 女	9 2	34.3 66.5	13.0 5.0
	免疫機構の障害	12	10.3%	男 女	6 6	54.2 59.0	18.7 10.0
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	70	27.7%	男 女	14 56	61.0 55.5	5.5 5.9
	糖尿病	50	19.8%	男 女	27 23	64.6 63.9	9.2 10.3
	その他のグルコース調節及び隣内分泌障害	12	4.7%	男 女	6 6	32.8 52.8	2.3 5.3
	その他の内分泌腺障害	31	12.3%	男 女	9 22	72.7 55.3	10.0 7.0
	栄養失調(症)	1	0.4%	男 女	1	0.0	7.0
	その他の栄養欠乏症	2	0.8%	男 女			
	肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>	1	0.4%	男 女	1	49.0	10.0
	代謝障害	86	34.0%	男 女	46 40	71.3 68.8	8.7 5.3
Ⅴ 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	3	3.8%	男 女	2 1	55.0 77.0	23.0 128.0
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	9	11.3%	男 女	4 5	64.5 42.6	14.5 9.8
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11	13.8%	男 女	5 6	53.2 43.8	88.2 60.2
	気分[感情]障害	9	11.3%	男 女	2 7	74.0 42.1	47.0 24.1
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	24	30.0%	男 女	8 16	44.5 27.3	32.3 37.6
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	6	7.5%	男 女	2 4	48.5 34.5	67.0 82.5
	知的障害<精神遅滞>	1	1.3%	男 女	1	8.0	7.0
	心理的発達の障害	6	7.5%	男 女	4 2	14.0 7.5	56.0 34.0
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	11	13.8%	男 女	9 2	13.7 11.0	93.6 264.0
Ⅵ 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	25	9.9%	男 女	19 6	42.8 22.7	13.6 15.7
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	19	7.5%	男 女	13 6	40.5 52.2	7.4 4.7
	錐体外路障害及び異常行動	3	1.2%	男 女	2 1	67.5 68.0	22.0 14.0
	神経系のその他の変性疾患	4	1.6%	男 女	2 2	80.5 79.5	27.0 68.5
	挿間性及び発作性障害	119	47.0%	男 女	65 54	30.5 38.8	7.6 8.2
	神経、神経根及び神経叢の障害	30	11.9%	男 女	8 22	57.9 53.8	5.9 9.0
	多発(性)ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	2	0.8%	男 女	1 1	75.0 23.0	3.0 7.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	神経筋接合部及び筋の疾患	7	2.8%	男	3	26.3	18.3
				女	4	37.8	14.5
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6	2.4%	男	2	27.5	12.5
				女	4	40.0	11.3
	神経系のその他の障害	38	15.0%	男	21	55.3	15.2
女	17	66.2	13.3				
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼, 涙器及び眼窩の障害	22	14.7%	男	15	43.7	3.5
				女	7	26.6	4.4
	強膜, 角膜, 虹彩及び毛様体の障害	4	2.7%	男	4	69.3	19.5
				女			
	水晶体の障害	88	58.7%	男	51	75.4	5.6
				女	37	72.6	6.7
	脈絡膜及び網膜の障害	24	16.0%	男	10	59.3	15.0
				女	14	62.4	11.1
	緑内障	7	4.7%	男	3	78.0	8.3
				女	4	66.0	2.5
	硝子体及び眼球の障害	2	1.3%	男			
				女	2	72.5	34.0
	視神経及び視(覚)路の障害	1	0.7%	男	1	4.0	8.0
				女			
	眼筋, 眼球運動, 調節及び屈折の障害	2	1.3%	男	2	38.0	7.0
				女			
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.0%	男	1	39.0	4.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	41	40.6%	男	25	24.6	5.7
				女	16	24.9	3.6
	内耳疾患	44	43.6%	男	17	63.6	4.6
				女	27	62.2	7.3
	耳のその他の障害	15	14.9%	男	7	69.0	8.1
				女	8	65.4	9.0
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	34	1.4%	男	16	70.6	24.8
				女	18	71.8	37.7
	高血圧性疾患	25	1.0%	男	14	75.1	16.6
				女	11	80.6	13.1
	虚血性心疾患	957	39.6%	男	716	70.1	5.6
				女	241	74.2	6.3
	肺性心疾患及び肺循環疾患	20	0.8%	男	7	49.6	10.4
				女	13	51.5	6.4
	その他の型の心疾患	640	26.5%	男	348	71.1	12.9
				女	292	79.0	11.9
	脳血管疾患	461	19.1%	男	278	69.1	19.1
				女	183	74.9	20.0
	動脈, 細動脈及び毛細血管の疾患	258	10.7%	男	168	73.3	19.9
				女	90	77.7	14.0
	静脈, リンパ管及びリンパ節の疾患, 他に分類されないもの	18	0.7%	男	14	59.5	11.6
				女	4	73.0	8.0
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	5	0.2%	男	3	79.0	8.3
				女	2	44.5	7.5
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	43	5.2%	男	22	14.0	5.7
				女	21	7.8	3.4
	インフルエンザ及び肺炎	208	25.2%	男	119	58.6	11.6
				女	89	47.4	10.4
	その他の急性下気道感染症	149	18.1%	男	79	5.1	4.5
				女	70	2.8	4.4
	上気道のその他の疾患	133	16.1%	男	86	35.0	8.9
				女	47	37.4	8.0
	慢性下気道疾患	80	9.7%	男	47	26.2	6.4
				女	33	25.4	7.0
	外的因子による肺疾患	96	11.7%	男	55	73.8	16.8
				女	41	85.5	15.1

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	47	5.7%	男	23	73.4	11.3
				女	24	71.3	13.6
	下気道の化膿性及び壊死性病態	17	2.1%	男	12	64.4	18.0
				女	5	63.6	25.8
	胸膜のその他の疾患	43	5.2%	男	36	56.5	11.1
				女	7	67.7	9.1
	呼吸器系のその他の疾患	8	1.0%	男	5	74.4	7.0
				女	3	72.0	13.0
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	80	6.7%	男	42	50.5	6.2
				女	38	51.6	5.8
	食道、胃及び十二指腸の疾患	78	6.6%	男	55	69.1	8.3
				女	23	72.0	11.3
	虫垂の疾患	57	4.8%	男	30	50.7	6.4
				女	27	41.9	6.9
	ヘルニア	152	12.8%	男	96	43.7	4.6
				女	56	34.0	4.7
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	17	1.4%	男	15	41.3	15.8
				女	2	16.5	5.5
	腸その他の疾患	226	19.1%	男	123	62.8	12.4
				女	103	70.8	12.2
	腹膜の疾患	33	2.8%	男	20	62.8	23.6
				女	13	72.3	31.2
	肝疾患	42	3.5%	男	21	60.7	9.3
				女	21	66.0	20.5
	胆嚢、胆管及び膵の障害	374	31.5%	男	227	69.6	8.5
				女	147	72.2	7.1
	消化器系のその他の疾患	127	10.7%	男	68	68.5	6.7
				女	59	65.0	9.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	47	51.1%	男	22	46.0	9.6
				女	25	55.9	11.5
	水疱症	1	1.1%	男			
				女	1	32.0	6.0
	皮膚炎及び湿疹	6	6.5%	男	4	11.3	6.3
				女	2	35.5	6.5
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	1	1.1%	男			
				女	1	29.0	35.0
	蕁麻疹及び紅斑	7	7.6%	男	1	1.0	4.0
				女	6	2.8	3.8
	皮膚及び皮下組織放射線(非電離及び電離)に関する障害	2	2.2%	男	1	89.0	10.0
				女	1	73.0	33.0
	皮膚付属器の障害	4	4.3%	男	3	26.7	8.0
				女	1	1.0	3.0
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	24	26.1%	男	10	32.1	26.5
				女	14	34.4	6.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	8	1.0%	男	6	50.5	29.2
				女	2	67.5	24.0
	炎症性多発性関節障害	15	1.9%	男	3	79.3	14.0
				女	12	68.7	19.0
	関節症	46	5.8%	男	12	70.3	20.1
				女	34	70.4	16.7
	その他の関節障害	5	0.6%	男	1	18.0	3.0
				女	4	56.0	2.3
	全身性結合組織障害	73	9.2%	男	37	17.8	14.0
				女	36	24.5	21.8
	変形性脊柱障害	106	13.4%	男	26	68.2	7.2
				女	80	71.9	7.6
	脊椎障害	347	43.8%	男	247	67.1	9.6
				女	100	70.8	8.8
	その他の脊柱障害	126	15.9%	男	88	48.4	5.6
				女	38	52.4	3.6
	筋障害	10	1.3%	男	8	70.5	8.4
				女	2	82.5	15.0
	滑膜及び腱の障害	8	1.0%	男	5	69.8	17.4
				女	3	61.3	7.7

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	その他の軟部組織障害	16	2.0%	男	11	53.5	37.1
	女			5	70.0	20.0	
	骨の密度及び構造の障害	14	1.8%	男	6	58.8	8.0
	女			8	79.5	17.9	
	その他の骨障害	15	1.9%	男	10	57.3	34.4
	女			5	77.0	27.4	
筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.5%	男	2	72.5	23.5	
女	2	86.5	12.0				
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	75	9.7%	男	28	39.6	20.2
				女	47	42.0	11.1
	腎尿細管間質性疾患	167	21.5%	男	72	61.3	6.6
				女	95	56.8	6.9
	腎不全	128	16.5%	男	76	67.4	22.3
				女	52	65.5	27.1
	尿路結石症	46	5.9%	男	28	62.7	5.3
				女	18	68.1	6.4
	腎及び尿管のその他の障害	20	2.6%	男	11	79.5	4.2
				女	9	35.1	12.4
	尿路系のその他の疾患	59	7.6%	男	20	54.4	8.0
				女	39	71.4	11.7
	男性生殖器の疾患	109	14.1%	男	109	53.3	6.6
				女			
	乳房の障害	2	0.3%	男			
				女	2	30.0	3.0
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	17	2.2%	男			
				女	17	53.1	13.0
	女性生殖器の非炎症性障害	150	19.4%	男			
				女	150	44.9	4.9
	腎尿路生殖器系のその他の障害	2	0.3%	男	1	88.0	6.0
				女	1	75.0	7.0
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	10	1.1%	男			
				女	10	35.2	4.4
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	35	3.8%	男			
				女	35	35.9	11.4
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	49	5.3%	男			
				女	49	33.4	10.3
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	410	44.2%	男			
				女	410	33.1	15.1
	分娩の合併症	142	15.3%	男			
				女	142	33.3	7.4
	分娩	276	29.8%	男			
				女	276	32.2	5.8
	主として産褥に関連する合併症	1	0.1%	男			
				女	1	41.0	4.0
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	4	0.4%	男			
				女	4	28.8	5.8
XVI 周産期に発生した病態							
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	113	41.5%	男	55	0.0	40.8
				女	58	0.0	40.3
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	84	30.9%	男	54	0.0	8.3
				女	30	0.0	9.8
	周産期に特異的な感染症	3	1.1%	男	3	0.0	17.7
				女			
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	52	19.1%	男	29	0.0	4.3
				女	23	0.0	3.7
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	10	3.7%	男	4	0.0	3.8
				女	6	0.0	5.3
	胎児及び新生児の消化器系障害	2	0.7%	男			
				女	2	0.0	7.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	3	1.1%	男	3	0.0	4.0
				女			
	周産期に発生したその他の障害	5	1.8%	男	3	0.0	4.0
				女	2	0.0	10.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	5	3.6%	男 女	3 2	10.7 8.5	10.0 8.5
	眼, 耳, 顔面及び頸部の先天奇形	14	10.2%	男 女	9 5	16.1 17.6	4.0 3.6
	循環器系の先天奇形	25	18.2%	男 女	11 14	22.1 12.9	8.4 9.1
	呼吸器系の先天奇形	1	0.7%	男 女	1	1.0	6.0
	唇裂及び口蓋裂	7	5.1%	男 女	3 4	0.7 1.5	14.0 10.0
	消化器系のその他の先天奇形	28	20.4%	男 女	26 2	12.3 33.5	9.6 4.0
	生殖器の先天奇形	22	16.1%	男 女	20 2	3.4 31.0	3.0 6.5
	腎尿路系の先天奇形	3	2.2%	男 女	3	3.0	3.0
	筋骨格系の先天奇形及び変形	18	13.1%	男 女	5 13	0.2 1.2	8.4 6.3
	その他の先天奇形	5	3.6%	男 女	4 1	3.8 45.0	12.8 4.0
	染色体異常, 他に分類されないもの	9	6.6%	男 女	1 8	1.0 5.0	4.0 61.1
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	10	15.6%	男 女	6 4	63.5 47.5	8.0 5.5
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	2	3.1%	男 女	2	7.0	2.0
	神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	1.6%	男 女	1	36.0	2.0
	認識, 知覚, 情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	1	1.6%	男 女	1	87.0	13.0
	全身症状及び徴候	50	78.1%	男 女	28 22	7.4 23.1	3.4 4.0
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	211	19.5%	男 女	138 73	57.8 64.3	12.4 15.0
	頸部損傷	81	7.5%	男 女	52 29	60.9 74.0	14.3 13.0
	胸部<郭>損傷	71	6.5%	男 女	32 39	61.6 71.9	10.5 11.9
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	115	10.6%	男 女	72 43	50.8 63.8	10.7 16.2
	肩及び上腕の損傷	54	5.0%	男 女	27 27	49.4 56.7	7.6 10.2
	肘及び前腕の損傷	52	4.8%	男 女	31 21	40.3 56.7	10.2 5.4
	手首及び手の損傷	30	2.8%	男 女	24 6	54.8 31.5	14.4 13.5
	股関節部及び大腿の損傷	142	13.1%	男 女	36 106	72.8 84.0	16.1 15.6
	膝及び下腿の損傷	75	6.9%	男 女	46 29	49.6 53.2	17.3 12.5
	足首及び足の損傷	22	2.0%	男 女	14 8	47.3 60.6	12.2 28.0
	多部位の損傷	19	1.8%	男 女	13 6	70.2 40.8	25.0 5.3
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	8	0.7%	男 女	5 3	40.8 27.3	4.4 5.3
	自然開口部からの異物侵入の作用	16	1.5%	男 女	6 10	10.5 41.9	2.5 24.4
	熱傷及び腐食	17	1.6%	男 女	8 9	60.4 42.0	30.9 5.1
	薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	18	1.7%	男 女	7 11	46.7 58.8	2.4 3.3
	薬用を主としない物質の毒作用	40	3.7%	男 女	9 31	45.0 44.5	3.3 6.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	外因のその他及び詳細不明の作用	16	1.5%	男	14	58.8	6.6
				女	2	81.5	34.5
	外傷の早期合併症	51	4.7%	男	1	12.0	2.0
				女	50	69.1	14.8
	外科的及び内科的ケアの合併症, 他に分類されないもの	45	4.2%	男	45	75.1	16.8
				女			
	損傷, 中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男			
				女	1	69.0	16.0
XX I 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	22	100.0%	男	11	46.6	5.8
				女	11	51.7	10.5
合計		13,610	100.0%	男	7,221	59.8	12.4
				女	6,389	56.1	12.3

(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成30年度

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
A020	サルモネラ胃腸炎	無	3	23.3	9.3	1	1						1	
A020	サルモネラ腸炎	無	1	45.0	11.0							1		
A021	サルモネラ敗血症	有	1	63.0	12.0								1	
A045	カンピロバクター腸炎	無	2	5.5	4.0	1		1						
A047	偽膜性腸炎	有	1	67.0	19.0								1	
A047	偽膜性腸炎の疑い	無	3	72.3	16.3								2	1
A047	偽膜性腸炎の疑い	無	1	74.0	14.0								1	
A049	細菌性胃腸炎	無	5	49.2	6.6			2					2	1
A049	細菌性腸炎	有	2	61.0	33.0								2	
A049	細菌性腸炎	無	8	26.4	5.3			4	1	1	1	1		
A080	ロタウイルス性胃腸炎	無	3	7.0	2.3		2	1						
A080	ロタウイルス性腸炎	無	2	4.5	3.0		2							
A081	ノロウイルス性胃腸炎	無	9	0.8	2.9	9								
A081	ノロウイルス性腸炎	無	1	1.0	2.0	1								
A084	ウイルス性胃腸炎	無	18	4.8	3.2	7	4	7						
A084	ウイルス性胃腸炎に伴う痙攣	無	2	1.0	2.0	2								
A084	ウイルス性胃腸炎に伴う痙攣の疑い	無	1	4.0	2.0		1							
A090	感染性胃腸炎	無	27	10.8	4.6	9	6	8	2				1	1
A090	感染性下痢症	無	1	93.0	9.0									1
A090	感染性腸炎	無	7	58.7	5.1		1			1	1	2	2	
A090	感冒性胃腸炎	無	1	36.0	3.0					1				
A099	胃腸炎	無	2	21.5	3.0			1		1				
A099	炎症性腸疾患の疑い	無	1	13.0	2.0			1						
A099	急性胃腸炎	無	9	37.7	4.3	1	2	1		1	1	1	2	
A099	急性腸炎	無	5	52.4	6.8					2	1	2		
A150	肺結核・鏡検確認あり	有	2	76.0	53.5								1	1
A150	肺結核・鏡検確認あり	無	7	77.6	28.3							1	2	4
A162	肺結核の疑い	無	1	74.0	2.0								1	
A165	結核性胸膜炎	無	1	92.0	10.0									1
A180	胸腰椎結核	無	1	70.0	9.0								1	
A281	猫ひっかき病	無	1	11.0	5.0			1						
A310	肺非結核性抗酸菌症	有	1	60.0	9.0							1		
A310	肺非結核性抗酸菌症	無	1	68.0	2.0								1	
A310	肺非結核性抗酸菌症の疑い	無	2	78.0	2.0								1	1
A379	百日咳	無	1	0.0	14.0	1								
A38	猩紅熱	無	1	1.0	2.0	1								
A409	連鎖球菌性敗血症	無	1	75.0	26.0								1	
A410	MRSA敗血症	有	1	81.0	89.0									1
A413	インフルエンザ菌敗血症	有	1	68.0	16.0								1	
A415	グラム陰性菌敗血症	有	1	94.0	28.0									1
A415	グラム陰性菌敗血症	無	1	83.0	11.0									1
A415	グラム陰性桿菌敗血症	有	8	70.3	27.0	1						1		6
A415	グラム陰性桿菌敗血症	無	13	68.1	11.5	1				1	1	4	6	
A419	敗血症	有	4	70.3	18.3								4	
A419	敗血症	無	1	63.0	8.0								1	
A419	敗血症の疑い	無	1	68.0	1.0								1	
A419	敗血症性ショック	有	8	79.9	18.0							3	5	
A419	敗血症性ショック	無	11	67.6	5.1			1				7	3	
A480	下腿ガス壊疽	有	1	76.0	35.0								1	
A481	レジオネラ肺炎	無	1	89.0	12.0									1
A490	MRSA菌血症	無	1	86.0	11.0									1
A491	腸球菌感染症	無	1	85.0	10.0									1
A499	グラム陰性桿菌感染症	有	1	37.0	16.0					1				
A499	細菌感染症	無	3	67.7	15.3					1				2
A539	遷延梅毒	無	1	23.0	10.0					1				
A778a	日本紅斑熱	無	2	72.0	7.0								2	
A850	エンテロウイルス脳脊髄炎	無	1	1.0	19.0	1								
A86	ウイルス性髄膜炎	無	1	7.0	5.0			1						
A86	ウイルス性脳炎	無	3	8.0	7.3	2				1				
A86	ウイルス脊髄炎	無	1	3.0	4.0			1						
A879	ウイルス性髄膜炎	無	2	38.0	11.0				1			1		
A938	重症熱性血小板減少症候群	無	1	54.0	16.0							1		
B000	カポジ水痘様発疹症	無	1	41.0	11.0							1		
B004	ヘルペス脳炎	無	1	73.0	9.0								1	
B009	単純ヘルペス	有	1	36.0	6.0					1				
B023	眼部带状疱疹	無	2	40.0	8.5					1	1			
B029	顔面带状疱疹	無	4	47.3	9.0					2	1	1		
B029	胸部带状疱疹	無	1	71.0	17.0								1	
B029	带状疱疹	無	1	72.0	7.0								1	
B082	突発性発疹症	無	2	0.5	3.5	2								
B084	手足口病	無	3	7.3	3.3	2			1					
B085	ヘルパンギーナ	無	1	0.0	3.0	1								
B09	ウイルス性発疹症	無	1	6.0	4.0			1						
B179	急性肝炎	無	2	19.5	3.5			1			1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
B199	ウイルス性肝炎の疑い	有	1	67.0	8.0								1	
B251	サイトメガロウイルス性肝炎	無	1	41.0	6.0						1			
B259	サイトメガロウイルス感染症	無	1	64.0	14.0								1	
B270	EBウイルス肝炎	無	1	8.0	10.0			1						
B270	EBウイルス伝染性単核症	無	4	21.5	8.0			1	2	1				
B271	サイトメガロウイルス性単核症	無	1	22.0	4.0					1				
B340	アデノウイルス感染症	無	1	1.0	4.0	1								
B348	RSウイルス感染症	無	2	0.0	3.0	2								
B348	RSウイルス感染症の疑い	無	1	0.0	2.0	1								
B349	ウイルス感染症	無	2	43.0	8.0					1	1			
B440	侵襲性肺アスペルギルス症	無	3	67.3	16.3						1	2		
B441	肺アスペルギルス症	有	2	72.0	14.0							1	1	
B441	肺アスペルギローマ	無	1	64.0	8.0								1	
B441	慢性壊死性肺アスペルギルス症	有	1	79.0	9.0								1	
B441	慢性壊死性肺アスペルギルス症	無	1	75.0	13.0								1	
B451	クリプトコッカス性脳髄膜炎	無	1	63.0	29.0								1	
B810	腸アニサキス症	無	8	67.0	5.6						1	7		
C01	舌根部癌	有	3	63.0	35.0						1	2		
C01	舌根部癌	無	1	66.0	3.0							1		
C020	舌背癌	有	1	76.0	17.0								1	
C021	舌縁癌	有	10	69.8	15.2					1	3	3	3	
C021	舌縁癌	無	4	64.3	10.3						3		1	
C029	舌癌	有	1	71.0	17.0								1	
C030	上顎歯肉癌	有	1	86.0	4.0									1
C031	下顎歯肉癌	有	12	74.0	25.4								8	4
C049	口腔底癌	有	2	69.5	19.0								2	
C049	口腔底癌	有	1	62.0	74.0								1	
C07	耳下腺悪性腫瘍	有	1	66.0	14.0								1	
C07	耳下腺癌	有	2	82.0	10.5								1	1
C07	耳下腺癌	無	4	67.0	11.3								4	
C080	顎下腺癌	有	4	66.5	9.3						1	2	1	
C099	扁桃癌	有	1	64.0	114.0								1	
C102	中咽頭側壁癌	有	1	67.0	16.0								1	
C102	中咽頭側壁癌	無	2	69.5	19.0								2	
C103	中咽頭後壁癌	有	3	69.0	15.7								3	
C108	中咽頭喉頭癌	有	1	49.0	29.0						1			
C108	中咽頭喉頭癌	無	1	49.0	15.0						1			
C109	中咽頭癌	有	2	65.5	25.5						1	1		
C111	上咽頭後壁癌	有	1	55.0	68.0						1			
C12	梨状陥凹癌	有	11	69.0	31.5						2	7	2	
C12	梨状陥凹癌	無	3	60.3	24.0						1	2		
C130	輪状後部癌	有	1	72.0	74.0								1	
C132	下咽頭後部癌	有	2	47.0	13.0						2			
C132	下咽頭後部癌	無	1	47.0	69.0						1			
C138	下咽頭喉頭癌	有	1	71.0	15.0								1	
C139	下咽頭癌	有	1	69.0	63.0								1	
C150	頸部食道癌	有	3	74.0	26.0								3	
C150	頸部食道癌	無	8	68.8	6.5						2	6		
C151	胸部下部食道癌	有	13	68.6	17.8						2	8	3	
C151	胸部下部食道癌	無	18	69.4	7.9						3	11	4	
C151	胸部上部食道癌	有	8	63.6	27.3						1	7		
C151	胸部上部食道癌	無	20	64.4	10.2						1	18	1	
C151	胸部食道癌	有	29	69.0	21.6						5	18	6	
C151	胸部食道癌	無	42	65.8	12.0						8	33	1	
C151	胸部中部食道癌	有	32	69.2	21.3						6	23	3	
C151	胸部中部食道癌	無	33	70.3	8.9						6	24	3	
C152	腹部食道癌	有	4	65.8	27.5						1	3		
C152	腹部食道癌	無	8	74.5	12.9							8		
C155	下部食道癌	有	1	86.0	22.0									1
C155	下部食道癌	無	2	67.0	8.0								2	
C159	食道小細胞癌	有	1	74.0	25.0								1	
C159	食道神経内分泌細胞癌	有	1	59.0	10.0						1			
C159	食道神経内分泌細胞癌	無	3	59.0	10.0						3			
C160	胃噴門部GIST(悪性)	有	1	71.0	10.0								1	
C160	食道胃接合部癌	有	4	67.8	12.0								4	
C160	食道胃接合部癌	無	1	74.0	13.0								1	
C160	噴門癌	有	15	69.0	17.0						4	8	3	
C160	噴門癌	無	5	74.2	11.8							5		
C161	胃底部癌	有	3	68.3	18.3						1	2		
C162	胃体部癌	有	114	72.1	15.2					2	10	72	30	
C162	胃体部癌	無	10	58.1	8.3					2	3	5		
C163	胃前庭部癌	有	24	75.0	13.9							15	9	
C163	胃前庭部癌	無	2	80.0	7.5							1	1	
C163	幽門前庭部癌	有	10	73.8	25.2							7	3	
C163	幽門前庭部癌	無	1	76.0	17.0							1		
C164	胃幽門部癌	有	17	73.8	15.9						2	7	8	
C164	胃幽門部癌	無	6	68.5	12.8							5	1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C165	胃小弯部癌	有	3	64.3	12.0						1	2	
C169	スキルス胃癌	有	2	54.0	3.0						2		
C169	スキルス胃癌の疑い	無	1	84.0	5.0								1
C169	胃悪性間葉系腫瘍	有	1	84.0	22.0								1
C169	胃管癌	有	2	71.0	34.0							2	
C169	胃癌・HER2過剰発現	有	1	66.0	6.0							1	
C169	胃神経内分泌細胞癌	有	2	70.0	13.5							2	
		無	4	70.0	6.0							4	
C169	胃進行癌	有	1	65.0	12.0							1	
C170	十二指腸癌	有	2	77.5	40.0							1	1
C170	十二指腸消化管間質腫瘍	有	1	76.0	37.0							1	
C171	空腸GIST(悪性)	無	1	67.0	4.0							1	
C171	空腸消化管間質腫瘍	有	1	82.0	14.0								1
C180	回盲部癌	有	1	71.0	9.0							1	
C180	盲腸癌	有	16	76.2	14.3						1	9	6
		無	1	80.0	15.0								1
C181	虫垂癌	有	1	65.0	26.0							1	
C182	上行結腸癌	有	39	72.8	13.3						4	25	10
		無	5	73.4	10.4							4	1
C182	上行結腸癌の疑い	無	1	97.0	7.0								1
C184	横行結腸癌	有	27	67.0	20.6					1	7	14	5
		無	2	53.5	6.5						1	1	
C186	下行結腸癌	有	15	71.5	19.9						1	11	3
		無	1	69.0	2.0							1	
C187	S状結腸癌	有	57	70.7	15.6					1	8	42	6
		無	2	71.0	7.5						1		1
C189	大腸癌の疑い	無	2	72.5	2.0							1	1
C19	直腸S状部悪性腫瘍	有	3	64.7	11.3						1	2	
C19	直腸S状部結腸癌	有	38	70.7	16.7					1	4	26	7
		無	2	57.0	8.0						1	1	
C20	直腸カルチノイド	有	2	45.0	5.0						2		
C20	直腸癌	有	108	65.9	16.1					6	19	73	10
		無	8	66.4	16.4					2	1	2	3
C20	直腸癌術後再発	有	1	74.0	35.0							1	
		無	1	53.0	12.0						1		
C210	肛門癌	有	1	78.0	12.0							1	
C210	肛門扁平上皮癌	有	1	72.0	4.0							1	
C211	肛門管癌	有	1	75.0	20.0							1	
		無	1	75.0	8.0							1	
C220	肝細胞癌	有	71	73.6	9.6						3	52	16
		無	4	67.5	18.5						1	3	
C220	原発性肝癌	有	2	70.0	5.5							2	
		無	1	79.0	2.0							1	
C221	肝内胆管癌	有	12	63.8	14.2					3	1	5	3
		無	5	69.2	5.4					1		2	2
C221	肝内胆管癌の疑い	無	1	76.0	4.0							1	
C222	肝芽腫	有	2	1.5	67.0	2							
		無	1	2.0	7.0	1							
C227	肝のう胞腺癌	有	1	80.0	16.0								1
C23	胆のう癌	有	19	68.6	15.1					1	4	9	5
		無	1	86.0	3.0								1
C23	胆のう神経内分泌癌	有	1	69.0	13.0							1	
		無	1	69.0	5.0							1	
C240	下部胆管癌	有	21	77.1	13.7							12	9
		無	1	73.0	4.0							1	
C240	肝外胆管癌	有	3	70.7	9.7							2	1
C240	肝門部胆管癌	有	16	75.1	13.2							8	8
		無	1	79.0	4.0							1	
C240	総胆管癌	有	1	74.0	23.0							1	
C240	胆管癌	有	1	88.0	8.0								1
		無	1	70.0	2.0							1	
C240	中部胆管癌	有	1	83.0	47.0								1
C240	膵内胆管癌	無	1	86.0	53.0								1
C241	十二指腸乳頭癌	有	2	81.0	5.0								2
C241	十二指腸乳頭部カルチノイド	有	1	45.0	19.0						1		
C241	十二指腸乳頭部癌	有	7	69.6	22.6						1	5	1
		無	1	71.0	29.0							1	
C250	膵頭部癌	有	83	70.1	15.9					1	14	48	20
		無	21	69.3	5.1						3	16	2
C250	膵頭部癌の疑い	無	3	74.0	2.7							2	1
C251	膵体部癌	有	20	70.3	18.3						4	12	4
		無	14	70.8	4.5							12	2
C251	膵体部癌の疑い	無	1	64.0	10.0							1	
C252	膵尾部癌	有	7	67.7	17.4						1	6	
		無	7	67.1	4.6						1	5	1
C253	膵管内乳頭粘液性腺癌	有	7	82.3	24.1							3	4
		無	1	70.0	37.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C254	悪性膵内分泌腫瘍	有	1	73.0	144.0							1		
C258	膵体尾部癌	有	2	86.0	35.5								2	
C259	膵癌の疑い	無	1	56.0	3.0						2	1		
C300	鼻腔癌	有	1	76.0	8.0						1			
C300	嗅神経芽腫	有	1	78.0	15.0							1		
C310	上顎洞癌	無	1	71.0	32.0							1		
C320	声門癌	有	1	83.0	43.0								1	
C320	声門上癌	無	3	80.3	53.7							1	2	
C321	声門上癌	有	3	63.3	33.7							3		
C33	気管癌	有	1	69.0	15.0							1		
C33	気管癌	無	5	65.6	10.8							5		
C33	気管孔部癌	有	3	62.0	15.7							3		
C33	気管孔部癌	無	1	63.0	5.0							1		
C340	肺門部肺癌	無	6	64.3	7.8						2	4		
C340	肺門部肺癌の疑い	無	4	65.8	10.0						1	3		
C341	EGFR T790M変異陽性上葉肺癌	無	1	79.0	7.0							1		
C341	上葉小細胞肺癌	有	5	67.0	27.4						1	4		
C341	上葉小細胞肺癌	無	19	66.2	7.4						5	13	1	
C341	上葉肺癌	有	55	65.8	14.3						2	8	42	3
C341	上葉肺癌	無	94	69.0	8.5						2	14	61	17
C341	上葉肺癌の疑い	無	41	71.9	2.7						6	26	9	
C341	上葉肺腺癌	無	4	72.5	4.8							3	1	
C341	上葉非小細胞肺癌	有	7	67.1	44.6						2	5		
C341	上葉非小細胞肺癌	無	14	67.7	9.0						3	9	2	
C341	肺上葉カルチノイド	有	1	65.0	8.0							1		
C341	肺上葉腺癌	無	2	69.0	8.5							2		
C341	肺上葉大細胞神経内分泌癌	有	1	72.0	9.0							1		
C341	肺上葉大細胞神経内分泌癌	無	1	73.0	2.0							1		
C342	中葉小細胞肺癌	有	2	84.5	13.0								2	
C342	中葉肺癌	有	2	69.5	8.0							2		
C342	中葉肺癌	無	9	74.6	12.1							8	1	
C342	中葉肺癌の疑い	無	6	68.0	2.0						1	5		
C342	中葉肺腺癌	無	1	74.0	7.0							1		
C342	中葉非小細胞肺癌	無	2	77.0	9.0							1	1	
C343	下葉小細胞肺癌	有	4	74.5	7.0							4		
C343	下葉小細胞肺癌	無	8	77.8	7.8							7	1	
C343	下葉肺癌	有	26	65.5	11.7					1	7	15	3	
C343	下葉肺癌	無	75	71.5	8.7						6	61	8	
C343	下葉肺癌の疑い	無	29	70.0	2.0						4	21	4	
C343	下葉肺腺癌	有	1	73.0	21.0							1		
C343	下葉肺腺癌	無	1	62.0	12.0							1		
C343	下葉肺扁平上皮癌	有	1	69.0	36.0							1		
C343	下葉肺扁平上皮癌	無	4	75.8	8.8							2	2	
C343	下葉非小細胞肺癌	有	11	67.9	16.9						1	10		
C343	下葉非小細胞肺癌	無	18	69.6	6.1						2	15	1	
C349	ALK融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	無	1	78.0	4.0							1		
C349	ROS1融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	無	2	67.5	21.0						1	1		
C349	肺癌の疑い	無	2	65.5	2.0						1	1		
C349	非小細胞肺癌	無	1	72.0	2.0							1		
C37	悪性胸腺腫	有	3	58.7	8.3						1	2		
C37	胸腺癌	無	1	73.0	5.0							1		
C37	浸潤型胸腺腫	無	1	80.0	11.0								1	
C37	浸潤性胸腺腫	有	1	58.0	16.0						1			
C381	前縦隔悪性腫瘍	有	1	45.0	3.0						1			
C402	大腿骨遠位部悪性骨腫瘍	有	1	92.0	41.0									1
C402	大腿骨骨肉腫	有	1	17.0	14.0			1						
C402	腓骨骨肉腫	無	11	29.5	5.7					11				
C412	胸椎悪性腫瘍	有	1	55.0	10.0						1			
C419	ユーイング肉腫	有	2	26.0	27.0						2			
C419	胸骨ユーイング肉腫	有	4	26.0	7.8						4			
C419	胸骨ユーイング肉腫	無	1	26.0	2.0						1			
C431	下眼瞼悪性黒色腫	有	1	80.0	11.0									1
C435	胸部悪性黒色腫	有	1	80.0	12.0									1
C435	背部悪性黒色腫	有	1	73.0	19.0								1	
C437	足底部悪性黒色腫	有	1	70.0	8.0								1	
C437	足底部悪性黒色腫	無	1	70.0	11.0								1	
C437	足底部悪性黒色腫	有	2	81.0	45.0									2
C437	足底部悪性黒色腫	無	1	81.0	23.0									1
C439	悪性黒色腫	無	2	46.0	7.5						2			
C443	顔面メルケル細胞癌	有	1	89.0	49.0									1
C443	顔面基底細胞癌	有	2	79.5	22.0								1	1
C443	顔面有棘細胞癌	有	2	67.5	12.0								2	
C443	耳前部有棘細胞癌	有	1	84.0	12.0									1
C443	耳前部有棘細胞癌	無	1	66.0	5.0								1	
C443	頬部基底細胞癌	有	1	84.0	7.0									1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C443	頬部有棘細胞癌	有	1	82.0	15.0									1
C444	頭部基底細胞癌	有	1	66.0	4.0								1	
C445	背部基底細胞癌	有	1	86.0	7.0									1
C446	手背有棘細胞癌	有	2	63.5	23.0								2	
C447	下腿有棘細胞癌	有	1	88.0	21.0									1
C449	鼻翼部基底細胞癌	有	1	93.0	3.0									1
C450	悪性胸膜中皮腫	無	3	70.3	16.3								3	
C451	悪性腹膜中皮腫	有	3	54.0	25.3						2	1		
C451	悪性腹膜中皮腫の疑い	無	3	61.0	3.3						1	2		
C451	悪性腹膜中皮腫の疑い	無	2	58.0	6.5						1	1		
C480	巨大後腹膜脂肪肉腫	有	1	68.0	24.0								1	
C480	後腹膜脂肪肉腫	有	1	74.0	8.0								1	
C481	腸間膜消化管間質腫瘍	有	1	44.0	12.0						1			
C482	腹膜癌	有	1	76.0	43.0								1	
C490	頭部横紋筋肉腫	無	11	47.7	11.0			3			8			
C491	上腕悪性軟部腫瘍	有	1	86.0	3.0									1
C491	前腕悪性軟部腫瘍	有	2	48.5	28.5			1						1
C491	前腕悪性軟部腫瘍	無	1	87.0	38.0									1
C492	下腿悪性軟部腫瘍	有	1	87.0	12.0									1
C492	大腿部脂肪肉腫	有	1	54.0	10.0						1			
C493	胸部悪性軟部腫瘍	有	1	26.0	41.0					1				
C495	骨盤部悪性軟部腫瘍	有	1	72.0	4.0								1	
C495	殿部悪性軟部腫瘍の疑い	無	3	64.7	18.7						1	2		
C495	殿部悪性軟部腫瘍の疑い	無	1	64.0	3.0							1		
C501	乳房中央部乳癌	有	13	60.9	7.1					1	3	9		
C501	乳房中央部乳癌	無	8	60.1	6.0					1	1	6		
C502	乳房上内側部乳癌	有	24	57.8	8.4					1	13	8	2	
C502	乳房上内側部乳癌の疑い	無	11	55.7	2.8					2	3	6		
C502	乳房上内側部乳癌の疑い	有	1	49.0	4.0						1			
C503	乳房下内側部乳癌	有	7	64.3	8.6					1		6		
C503	乳房下内側部乳癌	無	7	58.7	7.6					2		5		
C504	乳房上外側部乳癌	有	46	65.6	10.5					3	9	28	6	
C504	乳房上外側部乳癌	無	25	61.0	9.3						9	14	2	
C505	乳房下外側部乳癌	有	11	58.5	9.2					1	5	4	1	
C505	乳房下外側部乳癌	無	7	53.3	3.7					2	2	2	1	
C509	乳癌	有	4	75.0	15.5							3	1	
C509	乳癌の疑い	有	1	46.0	4.0						1			
C519	外陰癌	有	1	57.0	10.0						1			
C530	子宮頸管癌	無	2	46.5	27.0						2			
C531	子宮頸外膜癌	無	1	37.0	72.0					1				
C531	子宮腔部癌	有	4	58.8	17.0					1		3		
C531	子宮腔部癌	無	10	57.9	15.1					2	1	7		
C539	子宮頸癌	無	1	79.0	20.0								1	
C541	子宮内膜癌	有	17	58.7	14.9					3	4	10		
C541	子宮内膜癌	無	17	63.9	6.8					2	1	14		
C541	子宮類内膜腺癌	有	1	57.0	19.0						1			
C541	子宮類内膜腺癌	無	2	57.0	6.0						2			
C542	子宮肉腫	無	2	55.5	4.5						2			
C549	子宮体癌	無	2	68.0	7.5						1	1		
C56	再発卵巣癌	無	4	53.0	6.3						3	1		
C56	卵巣癌	有	23	60.4	13.3					2	8	13		
C56	卵巣癌	無	58	61.4	5.4					2	28	28		
C56	卵巣肉腫	有	1	49.0	10.0						1			
C56	卵巣未分化胚細胞腫	無	1	16.0	68.0			1						
C570	卵管癌	有	2	72.0	8.0							2		
C570	卵管癌	無	4	67.5	5.8						1	2	1	
C58	絨毛癌	無	5	39.0	6.4					5				
C601	陰茎亀頭部癌	有	1	91.0	14.0									1
C61	去勢抵抗性前立腺癌	有	4	73.3	15.8							4		
C61	去勢抵抗性前立腺癌	無	4	82.5	9.3							1	3	
C61	進行性前立腺癌	有	1	91.0	2.0									1
C61	前立腺癌	有	22	75.9	7.0							15	7	
C61	前立腺癌	無	15	75.9	7.5							12	3	
C61	前立腺癌の疑い	有	1	81.0	4.0									1
C61	前立腺癌の疑い	無	93	73.0	2.0						4	69	20	
C629	精巣悪性腫瘍	有	1	32.0	9.0					1				
C629	精巣癌	有	1	47.0	4.0						1			
C629	精巣胚細胞腫瘍	有	1	38.0	86.0					1				
C64	腎癌	有	20	64.0	9.9						8	9	3	
C64	腎癌	無	7	69.9	7.3						1	5	1	
C64	腎癌の疑い	無	1	48.0	2.0						1			
C64	腎細胞癌	有	2	57.5	11.0						1	1		
C65	腎盂癌	有	6	75.7	13.0							5	1	
C65	腎盂癌	無	4	73.0	12.8							4		
C65	腎盂癌の疑い	有	1	86.0	4.0									1
C65	腎盂癌の疑い	無	1	78.0	2.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C66	尿管癌	有	7	70.6	13.3						1	5	1
		無	6	67.7	19.5							6	
C66	尿管癌の疑い	無	2	78.0	5.0							2	
C670	膀胱三角部膀胱癌	有	1	70.0	44.0							1	
C671	膀胱円蓋部膀胱癌	有	3	76.0	36.0							2	1
		有	20	75.5	7.6							11	9
		無	7	72.4	8.9							7	
C673	膀胱前壁部膀胱癌	有	5	75.0	6.4							5	
		無	2	76.0	9.0							2	
C674	膀胱後壁部膀胱癌	有	21	76.1	9.9						2	9	10
		無	2	78.0	16.5							1	1
C675	膀胱頸部膀胱癌	有	6	72.2	12.2							5	1
C676	尿管口部膀胱癌	有	5	75.8	17.6							3	2
C711	前頭葉膠芽腫	有	2	12.0	18.0			2					
		無	6	12.0	3.0			6					
C712	側頭葉星細胞腫	無	1	64.0	13.0							1	
C712	側頭葉膠芽腫	有	3	59.0	59.7						1	2	
		無	3	44.0	4.0						3		
C713	頭頂葉膠芽腫	無	2	62.0	30.0						1	1	
C714	後頭葉膠芽腫	有	1	69.0	123.0							1	
C717	第4脳室上衣腫の疑い	無	1	1.0	2.0	1							
C720	脊髄上衣腫の疑い	無	1	47.0	4.0						1		
C73	甲状腺癌	有	1	81.0	13.0								1
		無	1	81.0	22.0								1
C73	甲状腺髄様癌	有	1	65.0	6.0							1	
C73	甲状腺乳頭癌	有	28	59.7	6.2					4	10	8	6
		無	4	77.3	15.8							3	1
C73	甲状腺濾胞癌	有	1	54.0	5.0						1		
		無	3	77.3	8.3							2	1
C770	頸部リンパ節転移	有	10	65.0	7.4					1	3	4	2
		無	2	76.0	12.0							2	
C770	頸部リンパ節転移の疑い	有	1	62.0	4.0							1	
C771	胸骨傍リンパ節転移	有	1	82.0	15.0								1
		無	1	83.0	24.0								1
C771	縦隔リンパ節転移	無	1	67.0	44.0							1	
C772	後腹膜リンパ節転移	有	1	77.0	21.0							1	
		無	4	77.0	9.5							4	
C772	大動脈周囲リンパ節転移	有	1	59.0	12.0						1		
C774	兎径部リンパ節転移	有	2	78.5	3.5							1	1
C775	骨盤内リンパ節転移	有	1	58.0	39.0						1		
		無	1	58.0	4.0						1		
C775	腸骨リンパ節転移	有	1	67.0	18.0							1	
C780	転移性肺癌	有	1	75.0	11.0							1	
		無	3	78.0	12.7							2	1
C780	転移性肺腫瘍	有	30	70.5	7.9					1	3	21	5
		無	1	72.0	6.0							1	
C780	転移性肺腫瘍の疑い	無	1	76.0	2.0							1	
C782	癌性胸膜炎	無	2	59.5	10.0						1	1	
C782	癌性胸膜炎の疑い	無	1	81.0	5.0								1
C785	転移性大腸腫瘍	有	1	55.0	10.0						1		
C785	転移性直腸癌	有	1	66.0	18.0							1	
C786	癌性腹水	有	4	54.3	3.0					1	2	1	
		有	2	75.5	11.0							2	
C786	癌性腹膜炎	有	1	94.0	16.0								1
C786	転移性後腹膜腫瘍	有	1	78.0	11.0							1	
C786	腹膜偽粘液腫	無	1	65.0	3.0							1	
C787	転移性肝癌	有	16	71.9	10.9						1	13	2
		無	1	68.0	2.0							1	
C787	転移性肝腫瘍	有	12	64.2	10.7						5	7	
		無	4	77.3	7.3							2	2
C787	転移性肝腫瘍の疑い	無	2	58.5	2.5						1	1	
C790	転移性腎腫瘍の疑い	無	1	77.0	2.0							1	
C792	転移性皮膚腫瘍	有	1	78.0	7.0							1	
		無	1	69.0	22.0							1	
C793	癌性髄膜炎	無	1	58.0	5.0						1		
C793	転移性脳腫瘍	有	2	58.5	60.5						1	1	
		無	5	68.8	18.2						1	3	1
C795	胸椎脊椎転移	無	1	83.0	3.0								1
C795	腰椎転移	無	1	65.0	26.0							1	
C795	骨転移癌	無	1	83.0	8.0								1
C795	骨盤転移	無	1	75.0	13.0							1	
C795	子宮癌骨転移	無	1	57.0	7.0						1		
C795	腎癌骨転移	有	1	84.0	23.0								1
C795	脊椎転移	有	3	64.0	26.0						2	1	
		無	1	79.0	3.0							1	
C795	脊椎転移の疑い	無	1	70.0	2.0							1	
C795	多発性脊椎転移	有	1	67.0	19.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C795	多発性転移性胸椎腫瘍	有	1	43.0	31.0						1			
C795	多発性転移性骨腫瘍	有	1	43.0	12.0						1			
C795	転移性胸椎腫瘍	有	1	77.0	26.0							1		
C795	転移性頚椎腫瘍	有	3	76.7	13.7							2	1	
C795	転移性骨腫瘍	無	2	70.5	11.5							2		
C795	乳癌骨転移	無	1	62.0	11.0							1		
C795	脛骨骨幹部転移性骨腫瘍	有	1	85.0	29.0									1
C796	転移性卵巣癌	有	3	47.0	13.3						3			
C797	転移性副腎腫瘍	無	1	76.0	3.0							1		
C798	転移性胸壁腫瘍の疑い	無	1	88.0	2.0									1
C800	原発不明癌	有	3	66.3	18.7						1	1	1	
C809	傍腫瘍性辺縁系脳炎	無	5	70.8	10.4						1	3	1	
C809		有	1	24.0	13.0					1				
C811	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	有	6	36.3	25.2					5		1		
C811		無	14	46.9	20.9					7		7		
C812	混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫	有	5	75.4	38.2							5		
C812		無	5	67.8	23.0							5		
C817	古典的ホジキンリンパ腫	有	1	79.0	26.0							1		
C817		無	5	79.0	23.6							5		
C821	濾胞性リンパ腫・グレード2	有	8	64.8	16.8						2	6		
C821		無	10	63.9	9.8						4	6		
C823	濾胞性リンパ腫・グレード3a	有	2	70.5	36.5							2		
C829	濾胞性リンパ腫	有	2	64.0	15.0							2		
C830	リンパ形質細胞性リンパ腫	有	6	80.3	30.5							1	5	
C830		無	4	74.0	13.8							2	2	
C830	小リンパ球性リンパ腫	無	1	70.0	18.0							1		
C831	マントル細胞リンパ腫	有	11	60.3	25.5						5	4	2	
C831		無	13	78.4	17.2							8	5	
C833	T細胞組織球豊富型大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	58.0	24.0						1			
C833		無	1	58.0	18.0						1			
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	97	72.8	25.4			1		1	4	66	25	
C833		無	113	69.9	16.1			2		5	14	56	36	
C833	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	2	86.5	20.0									2
C833		無	1	69.0	21.0							1		
C838	びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	有	11	73.1	23.5							11		
C838		無	11	66.2	15.1						2	9		
C838	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	有	8	68.6	33.0							8		
C838	原発性滲出性リンパ腫	有	1	92.0	38.0									1
C838		無	1	92.0	21.0									1
C844	末梢性T細胞リンパ腫	有	3	75.3	20.3							2	1	
C844		無	2	80.0	15.0							1	1	
C851	B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	1	84.0	21.0									1
C852	縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫	有	2	56.5	18.5						2			
C852		無	5	53.8	21.6						5			
C859	悪性リンパ腫	無	1	71.0	2.0							1		
C859	悪性リンパ腫の疑い	有	1	86.0	3.0									1
C859	甲状腺悪性リンパ腫	有	1	79.0	7.0							1		
C859	心臓悪性リンパ腫	無	3	82.0	16.0									3
C859	非ホジキンリンパ腫の疑い	有	1	1.0	4.0			1						
C859	脾悪性リンパ腫	有	1	76.0	9.0							1		
C862	腸管症関連T細胞リンパ腫	有	1	70.0	20.0							1		
C862		無	1	70.0	15.0							1		
C865	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	有	17	67.9	20.4						6	10	1	
C865		無	8	64.4	14.3							8		
C880	原発性マクログロブリン血症	無	1	81.0	2.0									1
C884	MALTリンパ腫	無	3	72.3	11.3							2	1	
C884	MALTリンパ腫の疑い	無	1	62.0	2.0							1		
C884	胃MALTリンパ腫	無	1	72.0	26.0							1		
C884	甲状腺MALTリンパ腫	無	1	77.0	3.0							1		
C884	直腸MALTリンパ腫	有	1	76.0	16.0							1		
C884	肺MALTリンパ腫	有	1	81.0	10.0									1
C900	ベンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	3	67.7	31.3								3	
C900		無	4	67.0	20.5								4	
C900	多発性骨髄腫	有	58	66.0	32.6						16	33	9	
C900		無	41	68.7	20.4						6	31	4	
C903	形質細胞腫	無	1	81.0	13.0									1
C903	形質細胞腫の疑い	無	1	81.0	2.0									1
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	有	7	37.0	44.0			3		1		3		
C910		無	4	47.3	29.0					2		2		
C910	TEL-AML1陽性Bリンパ芽球性白血病	有	2	3.5	33.5			2						
C910		無	4	4.5	9.0			3	1					
C910	Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫	有	6	47.5	53.3					3	3			
C910		無	1	59.0	25.0						1			
C910	急性リンパ性白血病	有	8	31.4	101.4				2	4	2			
C910		無	2	36.0	7.0					1	1			
C910	小児急性リンパ性白血病	有	4	11.0	42.8			4						
C910		無	1	11.0	2.0			1						

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C911	B細胞型慢性リンパ性白血病	有	1	84.0	26.0									1
C911	慢性リンパ性白血病	有	1	69.0	22.0								1	
C914	ヘアリー細胞白血病	無	2	62.5	19.0								3	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	無	2	62.5	19.0						1	1		
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	有	3	79.3	23.7								1	2
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	無	3	66.3	18.0							2		1
C917	T細胞性大顆粒リンパ球白血病	有	4	51.3	37.3							4		
C920	急性骨髄性白血病	有	45	65.3	44.4					2	11	30		2
C920	急性骨髄性白血病	無	16	60.8	9.0						8			
C920	最未分化型急性骨髄性白血病(M0)	有	3	70.0	67.7								3	
C920	分化型急性骨髄性白血病(M2)	有	2	52.0	35.5						1	1		
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)	有	19	66.3	50.8			2					15	2
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)	無	5	31.0	22.6			3					2	
C921	慢性骨髄性白血病	無	3	71.7	19.7								3	
C921	慢性骨髄性白血病移行期	有	1	87.0	36.0									1
C921	慢性骨髄性白血病移行期	有	3	78.0	19.7								3	
C921	慢性骨髄性白血病急性転化	無	2	78.0	15.5								2	
C921	慢性骨髄性白血病急性転化	有	1	61.0	15.0								1	
C921	慢性骨髄性白血病慢性期	無	4	45.3	14.0									
C923	顆粒球肉腫	有	1	36.0	47.0						1	2	1	
C924	急性前骨髄球性白血病(M3)	有	2	37.5	24.5									
C924	急性前骨髄球性白血病(M3)	無	4	71.8	42.0									4
C925	急性骨髄単球性白血病(M4)	有	2	5.5	83.5		1	1						
C925	急性骨髄単球性白血病(M4)	無	1	6.0	18.0			1						
C930	急性単球性白血病	有	5	60.2	46.6							3	2	
C930	急性単球性白血病(M5)	無	1	54.0	11.0							1		
C931	慢性骨髄単球性白血病	有	1	81.0	8.0									1
C950	急性白血病	有	1	78.0	50.0									1
C950	急性白血病の疑い	有	1	59.0	2.0							1		
D001	食道上皮内癌	有	5	69.6	8.6									5
D045	殿部ポーエン病	有	1	93.0	6.0									1
D061	子宮腔部上皮内癌	有	4	33.3	3.0					4				
D069	子宮頸部上皮内癌	有	1	43.0	8.0							1		
D069	子宮頸部上皮内癌	有	8	45.1	3.0							5	1	
D110	耳下腺良性腫瘍	有	10	67.6	7.3					1	1	1	5	3
D117	顎下腺良性腫瘍	有	2	50.0	6.0					1			1	
D122	上行結腸腺腫	有	7	69.7	7.7							1	5	1
D123	横行結腸腺腫	有	3	82.3	6.0								1	2
D124	下行結腸腺腫	有	1	67.0	9.0								1	
D126	大腸腺腫	有	8	71.1	4.5					1			5	2
D127	直腸S状部腺腫	有	1	79.0	12.0								1	
D128	直腸腺腫	有	5	67.6	8.0							2	2	1
D130	食道顆粒細胞腫	有	1	57.0	16.0							1		
D131	胃腺腫	有	2	73.0	9.0									2
D132	十二指腸腺腫	有	2	63.5	6.0							1		1
D135	肝外胆管の良性腫瘍	有	1	75.0	22.0								1	
D135	十二指腸乳頭部腺腫	有	2	44.0	9.0							2		
D135	胆のう腺筋腫症	有	6	62.7	6.3							2	4	
D135	胆のう腺筋腫症	無	6	65.8	2.0							2	4	
D136	膵管内管状腺腫	有	1	82.0	50.0									1
D136	膵管内乳頭粘液性腺腫	有	1	80.0	13.0									1
D136	膵漿液性のう胞腺腫	無	1	78.0	2.0									1
D140	副鼻腔乳頭腫	有	3	72.3	8.3								3	
D141	喉頭乳頭腫	有	1	86.0	16.0									1
D141	喉頭良性腫瘍	有	1	71.0	8.0								1	
D143	肺良性腫瘍	有	7	61.1	9.1							4	3	
D150	胸腺腫	有	2	76.0	8.0								1	1
D151	心房粘液腫	有	1	77.0	23.0									1
D152	縦隔神経鞘腫	有	1	46.0	5.0									
D152	良性縦隔奇形腫	有	1	29.0	11.0					1				
D160	橈骨良性腫瘍	有	1	46.0	3.0							1		
D161	母趾爪下外骨腫	有	1	12.0	3.0									
D162	大腿骨近位部良性骨腫瘍	無	1	84.0	10.0									1
D162	脛骨良性骨腫瘍	有	1	11.0	4.0					1				
D162	腓骨遠位部良性骨腫瘍	有	1	12.0	3.0					1				
D163	趾爪下外骨腫	有	1	13.0	13.0					1				
D164	上顎角化のう胞性菌原性腫瘍	有	1	86.0	5.0									1
D164	上顎嚢胞	有	1	46.0	7.0									
D165	下顎エナメル上皮腫	有	1	75.0	11.0									
D165	下顎角化のう胞性菌原性腫瘍	有	1	19.0	7.0					1				
D165	下顎菌原性角化嚢胞	有	1	84.0	7.0									1
D168	骨盤骨良性腫瘍	有	1	20.0	3.0					1				
D170	頸部脂肪腫	有	2	57.0	6.5							1	1	
D170	項部脂肪腫	有	1	49.0	5.0								1	
D171	会陰部脂肪腫	有	1	37.0	3.0						1			
D171	胸部脂肪腫	有	1	42.0	4.0								1	
D171	肩甲部脂肪腫	有	2	68.5	3.5								1	1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D172	上腕脂肪腫	有	1	82.0	4.0									1
D172	大腿脂肪腫	有	1	54.0	4.0						1			
D180	肝血管腫	有	1	66.0	9.0								1	
D180	前胸部海綿状血管腫	有	1	7.0	5.0			1						
D180	頭部血管腫	有	1	44.0	3.0						1			
D211	上腕良性軟部腫瘍	有	2	55.5	2.5						1	1		
D211	前腕良性軟部腫瘍	有	1	34.0	2.0					1				
D212	下腿良性軟部腫瘍	有	1	80.0	4.0									1
D212	足底良性軟部腫瘍	有	1	44.0	6.0						1			
D212	足部良性軟部腫瘍	有	1	31.0	3.0					1				
D212	大腿良性軟部腫瘍	有	5	59.8	4.2						2	3		
D212	膝部良性軟部腫瘍	有	2	54.0	5.5						2			
D215	殿部皮下腫瘍	有	1	75.0	3.0								1	
D219	趾良性軟部腫瘍	有	1	36.0	4.0					1				
D224	頭部脂腺母斑	有	1	1.0	3.0	1								
D229	脂腺母斑	有	1	2.0	3.0	1								
D229	色素性母斑	有	2	3.0	4.5		2							
D233	顔面石灰化上皮腫	有	1	6.0	3.0			1						
D235	背部皮膚良性腫瘍	有	1	47.0	3.0						1			
D237	大腿皮膚良性腫瘍	有	1	31.0	8.0					1				
D250	筋腫分婁	有	2	40.0	5.0					1	1			
D250	子宮粘膜下筋腫	有	8	37.5	4.8					3	5			
		無	1	35.0	1.0					1				
D251	壁内子宮平滑筋腫	有	32	41.9	7.5					15	17			
D252	有茎性漿膜下子宮筋腫	有	1	35.0	10.0					1				
D252	漿膜下子宮平滑筋腫	有	17	48.2	7.9					5	11	1		
D27	卵巣のう腫	有	25	50.7	6.5					5	12	7	1	
		無	1	69.0	1.0								1	
D27	卵巣のう腫茎捻転	有	4	45.8	5.5					2	1	1		
D27	卵巣奇形腫	有	10	40.4	6.6					7	2	1		
D27	卵巣腫瘍茎捻転	有	1	24.0	6.0					1				
D27	卵巣成熟のう胞性奇形腫	有	2	30.5	5.0					2				
D27	卵巣成熟奇形腫	有	1	7.0	4.0			1						
D27	卵巣漿液性腺腫	有	4	48.5	7.3					2		2		
D282	卵管良性腫瘍の疑い	有	1	63.0	5.0								1	
D320	前頭髄膜腫	有	1	60.0	17.0						1			
		無	1	59.0	2.0						1			
D320	大脳鎌髄膜腫	有	1	66.0	52.0								1	
D320	蝶形骨稜髄膜腫	有	1	84.0	39.0									1
D320	嗅窩髄膜腫	有	1	77.0	2.0								1	
D321	脊髄硬膜外髄膜腫	有	1	82.0	24.0									1
D321	脊髄硬膜内髄外髄膜腫	有	1	78.0	19.0								1	
		無	1	78.0	2.0								1	
D321	脊髄髄膜腫	有	1	61.0	26.0								1	
D333	脳神経鞘腫	有	1	66.0	11.0								1	
D334	馬尾神経鞘腫	有	2	77.0	11.0								2	
D350	褐色細胞腫	有	2	64.0	13.0						1			1
		無	1	83.0	6.0									1
D350	褐色細胞腫の疑い	無	2	68.0	4.0						1			1
D352	下垂体腺腫	有	2	70.0	14.0								2	
D352	成長ホルモン産生下垂体腺腫	有	1	40.0	12.0					1				
		無	1	40.0	5.0					1				
D352	非機能性下垂体腺腫	有	1	64.0	10.0								1	
D361	神経線維腫	有	1	17.0	9.0			1						
D370	耳下腺腫瘍	有	1	66.0	8.0								1	
D370	舌下腺腫瘍	有	2	57.0	10.0							2		
D371	胃間葉系腫瘍	有	1	35.0	8.0					1				
D371	胃粘膜下腫瘍	有	3	64.7	7.7						1	2		
D372	十二指腸粘膜下腫瘍	無	1	45.0	2.0						1			
		有	1	56.0	8.0						1			
		無	1	42.0	3.0						1			
D373	虫垂腫瘍	有	1	63.0	17.0								1	
D374	盲腸粘膜下腫瘍	無	1	68.0	3.0								1	
D376	肝腫瘍	無	1	86.0	17.0									1
D376	肝腫瘍の疑い	無	1	54.0	2.0						1			
D376	十二指腸乳頭部腫瘍の疑い	無	1	62.0	2.0								1	
D376	胆のう腫瘍	無	2	55.0	2.0						2			
		有	1	57.0	3.0						1			
		無	1	57.0	4.0						1			
D377	インスリノーマの疑い	無	1	73.0	4.0								1	
D377	腫瘍性隣りの胞	有	1	71.0	10.0								1	
D377	非機能性隣神経内分泌腫瘍	有	1	46.0	11.0						1			
D377	隣管内乳頭粘液性腫瘍	有	7	75.1	10.0							5	2	
		無	19	69.2	2.5						3	14	2	
		有	1	64.0	12.0								1	
D377	隣粘液性のう胞腫瘍	有	4	68.0	2.0						1	3		
		無	1	35.0	2.0					1				
D383	後縦隔腫瘍	無	1	35.0	2.0					1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D383	縦隔奇形腫	有	1	26.0	12.0					1				
D383	縦隔腫瘍	無	1	22.0	2.0					1				
D383	前縦隔腫瘍	有	1	71.0	9.0							1		
D383	中縦隔腫瘍	無	1	83.0	15.0									1
D390	子宮頸部腫瘍	有	2	45.0	5.5						2			
D391	のう胞性卵巣腫瘍	有	2	46.0	6.0					1	1			
D391	充実性卵巣腫瘍	有	1	77.0	7.0							1		
D391	卵巣境界悪性腫瘍	有	2	72.5	9.5						1			1
D391	卵巣腫瘍	有	4	56.3	6.3					1	1	2		
D391	卵巣漿液性境界悪性腫瘍	有	1	22.0	7.0					1				
D392	侵入胎状奇胎	有	1	43.0	7.0						1			
		無	1	43.0	7.0						1			
D401	精巣腫瘍	有	1	9.0	4.0			1						
D410	腎腫瘍	無	1	70.0	2.0							1		
D414	膀胱腫瘍	有	1	67.0	7.0							1		
D431	小脳血管芽腫	有	1	48.0	24.0						1			
D432	脳腫瘍	無	1	57.0	5.0						1			
D434	馬尾神経腫瘍	無	4	70.5	2.0						1	2	1	
D440	甲状腺腫瘍	無	1	36.0	2.0					1				
D441	副腎腫瘍	有	1	52.0	7.0						1			
		無	2	43.0	2.5					1	1			
D443	下垂体腫瘍の疑い	有	1	84.0	4.0									1
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1	有	11	68.2	8.9							11		
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1RAEB-1	有	6	66.3	45.7						1	5		
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2	有	3	73.0	22.7							3		
		無	7	79.0	10.4							7		
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2RAEB-2	有	4	75.8	29.0							4		
		無	12	76.9	12.6							12		
D467	骨髄異形成症候群	有	1	89.0	45.0									1
		無	35	73.8	23.4							34	1	
	骨髄異形成症候群	無	42	71.0	12.7						7	33	2	
D469	骨髄異形成症候群の疑い	無	1	85.0	1.0									1
D474	骨髄線維症	有	1	75.0	363.0							1		
D475	好酸球性白血病	有	1	82.0	29.0									1
D477	B細胞性移植後リンパ増殖性疾患	有	1	5.0	50.0			1						
D477	キャッスルマン病	有	1	44.0	17.0						1			
D480	下顎骨腫瘍	有	2	40.0	9.5			1				1		
D480	頸椎脊椎腫瘍	無	1	43.0	2.0						1			
D480	腰椎腫瘍	無	1	77.0	2.0							1		
D480	脊椎腫瘍	有	1	36.0	17.0					1				
D480	尾骨腫瘍	有	1	43.0	5.0						1			
D480	踵骨腫瘍	有	1	15.0	3.0			1						
D481	頭部皮下腫瘍	有	1	25.0	7.0					1				
D481	背部皮下腫瘍	有	1	67.0	6.0							1		
D481	腹壁デスマイド	無	1	38.0	17.0					1				
D483	後腹膜腫瘍	無	1	61.0	2.0							1		
D485	顔面皮膚腫瘍	有	1	71.0	3.0							1		
D485	前額部皮膚腫瘍	有	1	6.0	3.0			1						
D486	葉状腫瘍	有	2	49.0	3.5						2			
D487	頸部リンパ節腫瘍	有	1	63.0	4.0							1		
D487	頸部腫瘍	有	1	14.0	4.0			1						
D489	気管腫瘍の疑い	無	1	72.0	2.0							1		
D509	鉄欠乏性貧血	有	4	81.0	6.0							2	2	
		無	1	84.0	14.0								1	
D510	悪性貧血	有	1	86.0	7.0									1
D531	巨赤芽球性貧血	有	2	57.5	12.5						1	1		
		無	1	14.0	7.0			1						
D591	温式自己免疫性溶血性貧血	有	2	48.5	19.0			1						1
D595	発作性夜間ヘモグロビン尿症	有	3	85.7	19.3									3
D609	後天性赤芽球ろう	有	1	9.0	4.0			1						
D613	特発性再生不良性貧血	有	5	71.4	40.4						2			3
		無	1	81.0	17.0									1
D619	再生不良性貧血	有	3	57.7	35.0					1		2		
D619	重症再生不良性貧血	有	1	73.0	42.0							1		
D619	汎血球減少症	有	3	26.3	100.7	2						1		
		無	1	76.0	3.0							1		
D62	急性失血性貧血	有	1	70.0	6.0							1		
D65	播種性血管内凝固	有	5	73.6	20.0						1	1	3	
		無	2	84.5	6.0									2
D684	後天性凝固因子欠乏症	有	1	65.0	18.0							1		
D686	抗リン脂質抗体症候群	無	1	2.0	12.0	1								
D689	血液凝固異常	無	1	57.0	29.0						1			
D690	IgA血管炎	無	19	13.7	7.0	3	8	3	2		3			
D690	アレルギー性血管炎	無	1	83.0	10.0									1
D690	シェーンライン・ヘンッホ紫斑病	無	1	5.0	12.0		1							
D690	紫斑病腎炎	無	1	5.0	5.0		1							
D693	エバンス症候群	有	5	26.4	15.8					5				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D693	急性特発性血小板減少性紫斑病	無	1	1.0	4.0	1								
D693	特発性血小板減少性紫斑病	有	5	67.2	36.2						1	3	1	
		無	7	41.7	34.6	1		2		1		1	2	
D693	特発性血小板減少性紫斑病の疑い	有	1	28.0	11.0					1				
D693	慢性特発性血小板減少性紫斑病	無	12	7.3	2.0		1	11						
D695	続発性血小板減少症	無	1	35.0	10.0					1				
D70	先天性好中球減少症	無	1	47.0	6.0						1			
D70	発熱性好中球減少症	無	1	52.0	8.0						1			
D721	特発性好酸球増多症候群	無	1	47.0	12.0						1			
D748	後天性メトヘモグロビン血症	有	1	81.0	2.0									1
D763	血球貪食症候群	有	1	69.0	38.0								1	
		無	1	69.0	17.0								1	
D763	組織球性壊死性リンパ節炎	有	2	9.5	9.5			2						
		無	2	12.5	6.5			2						
D763	組織球性壊死性リンパ節炎の疑い	無	1	33.0	12.0					1				
D860	肺サルコイドーシス	無	1	42.0	2.0						1			
D862	リンパ節サルコイドーシスを伴う肺サルコイドーシスの疑い	無	4	62.8	2.0						1	3		
D868	心サルコイドーシス	有	3	63.0	34.0						2			1
		無	1	69.0	29.0								1	
D868	心サルコイドーシスの疑い	無	1	64.0	8.0								1	
D868	神経サルコイドーシス	無	1	59.0	18.0						1			
D898	PFAPA症候群	無	1	5.0	5.0		1							
E049	縦隔甲状腺腫	有	1	52.0	5.0						1			
E049	腺腫様甲状腺腫	有	54	56.4	5.0			1	6	24	18	5		
E050	バセドウ病	有	5	68.8	11.2						1	3	1	
		無	4	43.0	6.3						1	1	1	
E055	甲状腺クリーゼ	無	1	18.0	3.0			1						
E060	急性化膿性甲状腺炎	有	1	46.0	19.0						1			
E061	亜急性甲状腺炎	無	1	59.0	10.0						1			
E063	橋本病	有	3	75.7	7.0							2	1	
E101	1型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	58.0	14.0						1			
E101	1型糖尿病性ケトーシス	無	1	8.0	11.0			1						
E102	1型糖尿病性腎症第5期	有	1	47.0	6.0						1			
		無	1	48.0	6.0						1			
E103	1型糖尿病・眼合併症あり	無	1	66.0	14.0								1	
E109	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	1	9.0	2.0			1						
E110	2型糖尿病性低血糖性昏睡	無	1	57.0	12.0						1			
E111	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	78.0	10.0									
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	3	74.7	8.0							2	1	
E112	2型糖尿病・腎合併症あり	無	6	66.3	10.8				1			3	2	
E112	2型糖尿病性腎症第1期	無	4	57.5	9.5						2	2		
E112	2型糖尿病性腎症第2期	無	2	77.0	9.0							1	1	
E112	2型糖尿病性腎症第3期	無	1	87.0	6.0									1
E113	2型糖尿病・眼合併症あり	無	3	76.3	12.3								2	1
E114	2型糖尿病・神経学的合併症あり	無	5	67.2	9.6						1	4		
E116	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	無	1	41.0	14.0						1			
E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	11	64.6	9.7					1	2	7	1	
E132	腎移植後糖尿病	無	1	59.0	6.0						1			
E134	膵性糖尿病・神経学的合併症あり	無	1	73.0	10.0								1	
E139	膵性糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	2	66.5	8.5								2	
E146	高血糖高浸透圧症候群	無	2	83.5	10.5									2
E161	ケトン性低血糖症	無	3	4.7	2.0	2		1						
E161	ケトン性低血糖症の疑い	無	1	4.0	2.0			1						
E162	低血糖	無	4	52.3	6.8	1					1	1	1	
E162	低血糖発作	無	4	71.8	2.8							3	1	
E210	原発性副甲状腺機能亢進症	有	3	72.7	7.3						1	1	1	
E222	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	無	1	92.0	24.0									1
E230	ACTH単独欠損症	無	1	77.0	5.0								1	
E230	下垂体機能低下症	無	3	51.0	14.7						2	1		
E230	下垂体機能低下症の疑い	無	2	52.0	4.5					1		1		
E230	汎下垂体機能低下症	無	1	45.0	4.0						1			
E232	下垂体性尿崩症の疑い	無	1	59.0	4.0						1			
E232	完全型中枢性尿崩症	無	1	59.0	11.0						1			
E232	中枢性尿崩症	無	2	64.0	10.5								2	
E232	尿崩症	無	1	67.0	5.0								1	
E232	尿崩症の疑い	無	1	76.0	1.0								1	
E236	ラトケのう胞	有	1	30.0	13.0					1				
E236	リンパ球性下垂体炎の疑い	無	1	64.0	3.0								1	
E240	クッシング病	無	1	73.0	25.0								1	
E250	21水酸化酵素欠損症	無	1	12.0	3.0			1						
E260	原発性アルドステロン症	無	1	66.0	4.0								1	
E260	原発性アルドステロン症の疑い	無	5	58.6	2.8						2	3		
E268	ギッテルマン症候群	無	1	49.0	4.0						1			
E272	副腎クリーゼ	無	1	70.0	6.0								1	
E274	続発性副腎皮質機能低下症	無	1	49.0	3.0						1			
E274	副腎皮質機能低下症	無	1	86.0	20.0									1
E440	中等度栄養失調症	無	1	0.0	7.0	1								

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
E512	ウェルニッケ脳症	無	1	74.0	22.0								1	
E639	栄養障害	無	1	17.0	6.0				1					
E669	肥満症	無	1	49.0	10.0						1			
E713	中鎖アンルCoA脱水素酵素欠損症(MCAD)	無	1	22.0	4.0					1				
E722	シトリン欠損症	無	1	0.0	5.0	1								
E722	高アンモニア血症	無	1	57.0	9.0						1			
E724	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	無	1	8.0	3.0			1						
E86	脱水症	有	2	72.0	5.5								2	
E86	脱水症	無	35	71.9	5.5			2	1		3	15	14	
E870	高ナトリウム血症	無	1	84.0	35.0									1
E871	低ナトリウム血症	有	1	46.0	13.0						1			
E871	低ナトリウム血症	無	17	74.6	8.0						4	5	8	
E872	アルコール性ケトアシドーシス	無	2	52.0	5.5						2			
E872	ケトン血性嘔吐症	無	1	30.0	4.0					1				
E872	代謝性アシドーシス	無	1	74.0	2.0								1	
E872	乳酸アシドーシス	無	1	68.0	9.0								1	
E875	高カリウム血症	有	2	81.5	13.5								1	1
E875	高カリウム血症	無	5	86.0	7.8								1	4
E876	低カリウム血症	無	10	73.5	9.8						1	6	3	
E877	水中毒	無	1	53.0	3.0						1			
E882	硬膜外脂肪腫症	無	2	72.0	2.0								2	
E896	医原性副腎皮質機能低下症の疑い	無	1	82.0	4.0									1
F03	老年期うつ病	無	1	77.0	128.0								1	
F069	高次脳機能障害	無	1	48.0	43.0						1			
F069	高次脳機能障害の疑い	無	1	62.0	3.0								1	
F100	急性アルコール中毒	無	3	52.7	3.7					1	1			1
F102	アルコール依存症	無	2	61.5	29.5						1	1		
F103	アルコール離脱状態	無	1	58.0	22.0						1			
F106	コルサコフ症候群	無	1	82.0	5.0									1
F150a	カフェイン使用による急性精神・行動障害	無	1	24.0	8.0						1			
F152	カフェイン中毒	無	1	26.0	2.0						1			
F200	妄想型統合失調症	無	1	53.0	129.0							1		
F202	緊張型統合失調症	無	1	71.0	6.0								1	
F203	型分類困難な統合失調症	無	3	45.0	37.0				1		1	1		
F208	統合失調症様状態	無	2	39.0	111.0					1	1			
F209	統合失調症	無	1	42.0	106.0						1			
F21	統合失調症型パーソナリティ障害	無	1	63.0	75.0								1	
F220	妄想性障害	無	1	22.0	89.0					1				
F232	統合失調症性反応	無	1	65.0	64.0								1	
F310	双極性感情障害・軽躁病エピソード	無	1	56.0	5.0							1		
F311	双極性感情障害・精神病症状を伴わない躁病エピソード	無	1	68.0	42.0								1	
F313	双極性感情障害・中等症のうつ病エピソード	無	1	73.0	4.0								1	
F318	2型双極性障害	無	2	30.0	57.5						2			
F319	双極性感情障害	無	1	50.0	28.0							1		
F321	中等症うつ病エピソード	無	1	80.0	52.0									1
F329	うつ状態	無	1	18.0	2.0				1					
F329	うつ病	有	1	38.0	15.0						1			
F410	パニック発作	無	1	39.0	2.0						1			
F411	全般性不安障害	無	1	73.0	6.0								1	
F411	不安神経症	無	1	81.0	56.0									1
F412	混合性不安抑うつ障害の疑い	無	1	63.0	62.0								1	
F430	急性ストレス反応	無	1	12.0	74.0			1						
F432	適応障害	無	14	23.1	33.4			8	3		2	1		
F442	解離性昏迷	無	1	72.0	17.0								1	
F444	解離性運動障害	無	1	13.0	6.0			1						
F447	混合性解離性障害	無	1	47.0	86.0						1			
F447	混合性転換性障害	無	1	11.0	74.0			1						
F449	解離性障害	無	1	59.0	9.0							1		
F500	神経性食欲不振症	無	5	37.4	91.8			1		2	2			
F509	摂食障害	無	1	48.0	5.0							1		
F701	軽度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	8.0	7.0			1						
F845	アスペルガー症候群	無	3	14.0	59.0			3						
F849	自閉症スペクトラム障害	無	3	9.7	38.3	1		2						
F900	注意欠陥多動障害	有	1	9.0	154.0			1						
F900	注意欠陥多動障害	無	10	13.6	121.6			9	1					
G009	急性細菌性髄膜炎の疑い	無	1	13.0	3.0			1						
G030	無菌性髄膜炎	無	16	43.1	15.5	1		1		3	11			
G039	髄膜炎	無	2	0.0	6.0	2								
G040	急性散在性脳脊髄炎	無	1	3.0	12.0			1						
G048	感染後脳炎	無	1	5.0	4.0			1						
G048	抗NMDA受容体脳炎	無	1	25.0	21.0						1			
G061	脊髄硬膜外膿瘍	有	1	53.0	10.0							1		
G062	くも膜下膿瘍	無	1	72.0	26.0								1	
G062	硬膜外膿瘍	有	1	90.0	16.0									1
G121	脊髄性筋萎縮症Ⅲ型	無	3	41.0	2.0						3			
G122	運動ニューロン疾患の疑い	無	1	69.0	9.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
G122	筋萎縮性側索硬化症	有	1	71.0	38.0								1	
G122	脊髄性筋萎縮症	無	2	77.0	16.0								1	1
G128	頸椎症性筋萎縮症	有	2	65.0	10.0								2	
G20	パーキンソン病	無	5	55.4	2.0						4	1		
G238	大脳皮質基底核変性症	無	1	80.0	12.0									1
G253	ミオクローヌス	有	1	68.0	14.0								1	
G301	アルツハイマー型老年認知症	無	1	55.0	32.0					1				
G309	アルツハイマー病	無	1	76.0	49.0								1	
G318	レビー小体型認知症	無	1	78.0	126.0								1	
G402	てんかん複雑部分発作	無	2	83.0	8.0									2
G402	症候性部分てんかん	無	3	17.0	5.3			1	1			1		
G402	症候性部分てんかんの疑い	無	10	9.5	2.7	1	3	3	3					
G402	症候性複雑部分てんかん	無	1	7.0	2.0			1						
G402	側頭葉てんかんの疑い	無	4	21.8	9.3	1	2						1	
G402	特発性部分てんかん	無	1	93.0	3.0									1
G402	特発性部分てんかんの疑い	無	1	1.0	2.0	1								
G402	部分てんかん	無	1	0.0	6.0	1								
G402	部分てんかん	無	1	19.0	9.0				1					
G403	若年性ミオクローヌステんかん	無	1	13.0	2.0				1					
G404	レノックス・ガストー症候群	無	2	8.5	3.0			1	1					
G404	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	無	7	6.1	8.9			5	2					
G404	症候性全般てんかん	無	2	23.5	3.0			1				1		
G404	點頭てんかん	無	2	0.5	18.5	2								
G404	點頭てんかんの疑い	無	2	0.5	2.5	2								
G408	症候性てんかん	有	1	66.0	11.0								1	
G408	症候性てんかんの疑い	無	29	55.6	9.8	1	3	2		2	3	10	8	
G409	てんかん	無	1	82.0	2.0									1
G409	てんかんの疑い	無	5	19.0	2.0			1	3			1		
G410	大発作性てんかん重積	無	14	10.9	2.9	4	2	6		1			1	
G410	大発作性てんかん重積(状態)	無	1	77.0	86.0									1
G419	てんかん重積状態	無	2	69.5	36.0								2	
G439	片頭痛	無	2	84.5	42.5								1	1
G442	緊張型頭痛	無	3	22.0	4.0			2				1		
G448	トロサ・ハント症候群	無	1	63.0	2.0								1	
G454	一過性全健忘症	無	1	71.0	7.0								1	
G459	一過性脳虚血発作	無	2	56.5	4.0							2		
G459	一過性脳虚血発作の疑い	無	9	73.0	5.2								5	3
G459	脳血管攣縮	無	2	68.0	3.5								2	
G473	睡眠時無呼吸症候群	無	1	52.0	3.0							1		
G473	睡眠時無呼吸症候群の疑い	有	4	12.0	9.3			3				1		
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	無	2	0.0	2.5	2								
G500	三叉神経痛	無	1	3.0	1.0			1						
G510	顔面神経麻痺	有	1	45.0	10.0								1	
G510	顔面神経麻痺	無	1	43.0	1.0								1	
G510	末梢性顔面神経麻痺	有	1	67.0	7.0								1	
G522	迷走神経麻痺	無	12	50.0	9.3			2			3	1	5	1
G530	帯状疱疹後神経痛	無	6	62.2	9.8					2			4	1
G560	手根管症候群	無	1	19.0	10.0					1				1
G562	遅発性尺骨神経麻痺	有	2	85.5	12.0									2
G562	肘部管症候群	有	2	62.5	2.0							1	1	
G563	後骨間神経麻痺	有	1	21.0	5.0					1				
G587	多発性単ニューロパチー	有	1	70.0	2.0								1	
G610	ギラン・バレー症候群	有	1	57.0	2.0							1		
G610	ギラン・バレー症候群の疑い	無	1	56.0	11.0							1		
G700	眼筋型重症筋無力症の疑い	無	1	75.0	3.0								1	
G700	胸腺腫合併重症筋無力症	無	1	23.0	7.0					1				
G700	重症筋無力症の疑い	有	1	14.0	13.0			1				1		
G700	全身型重症筋無力症	無	1	59.0	10.0									
G711	筋強直性ジストロフィー	有	1	38.0	15.0									
G723	低カリウム血性周期性四肢麻痺の疑い	無	1	61.0	9.0								1	
G809	脳性麻痺	有	1	38.0	21.0					1				
G809	脳性麻痺	無	1	5.0	43.0			1						
G825	四肢麻痺の疑い	有	1	15.0	2.0									
G838	遅発性脊髄麻痺	無	1	34.0	10.0							1		
G903	多系統萎縮症	有	2	11.0	12.5	1								
G903	多系統萎縮症	無	1	0.0	2.0	1								
G908	神経調節性失神	有	2	79.5	16.5								1	1
G908	複合性局所疼痛症候群	有	1	65.0	51.0								1	
G910	交通性水頭症	有	1	65.0	22.0								1	
G912	正常圧水頭症	有	3	71.7	4.7							1	2	
G912	正常圧水頭症	無	3	77.5	6.0								1	1
G931	低酸素性脳症	有	3	76.7	19.3								2	1
G931	低酸素性脳症	無	2	75.5	2.0								2	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
G934	急性脳症	無	1	1.0	8.0	1								
G934	脳梁膨大部に一過性拡散低下を伴う脳炎・脳症	無	1	10.0	7.0			1						
G950	脊髄空洞症	無	2	19.0	12.0		1			1				
G951	特発性頸椎硬膜外血腫	無	1	81.0	11.0									1
G951	特発性脊髄硬膜外血腫	無	2	61.0	7.5						1	1		
G960	脳脊髄液漏	無	1	1.0	3.0	1								
G971	腰椎穿刺後頭痛	無	1	80.0	2.0									1
G971	低髄液圧症	無	1	41.0	2.0						1			
G98	神経障害性疼痛	無	1	78.0	9.0							1		
H000	眼瞼蜂巣炎	無	1	0.0	4.0	1								
H001	霰粒腫	有	3	2.3	3.0	1	2							
H020	眼瞼内反症	有	4	19.0	3.0		2	1					1	
H020	睫毛内反症	有	4	21.0	2.8			3			1			
H021	癬痕性眼瞼外反症	有	1	37.0	6.0					1				
H024	眼瞼下垂症	有	7	69.9	3.6								7	
H050	眼窩蜂巣炎	無	1	73.0	5.0								1	
H051	眼窩炎性偽腫瘍	無	1	76.0	11.0								1	
H160	外傷性角膜潰瘍	無	2	81.5	25.5									2
H188	再発性角膜びらん	無	1	36.0	5.0					1				
H191	ヘルペス角膜炎	無	1	78.0	22.0								1	
H250	加齢性皮質性白内障	有	1	86.0	11.0									1
H250	老人性初発白内障	有	73	74.1	5.8						6	46	21	
H251	老人性核白内障	有	2	73.0	3.0								2	
H258	成熟白内障	有	9	79.2	8.1						1	3	5	
H262	併発白内障	有	1	40.0	4.0					1				
H270	人工無水晶体眼	有	1	56.0	6.0						1			
H271	水晶体脱臼	有	1	79.0	16.0								1	
H308	フォークト・小柳・原田病	無	1	57.0	8.0						1			
H320	サイトメガロウイルス網膜炎	無	1	0.0	22.0	1								
H330	裂孔原性網膜剥離	有	2	36.0	13.5				1		1			
H341	網膜中心動脈閉塞症	有	1	68.0	8.0								1	
H341	網膜中心動脈閉塞症	無	1	78.0	8.0								1	
H348	網膜静脈分枝閉塞症	無	1	68.0	2.0								1	
H350	近視性網膜症	無	1	83.0	2.0									1
H353	黄斑円孔	有	1	80.0	17.0									1
H353	黄斑前膜	有	4	72.5	13.8								4	
H353	加齢黄斑変性	無	1	83.0	2.0									1
H353	加齢性黄斑変性症	無	2	87.0	2.0									2
H360	増殖性糖尿病性網膜炎・2型糖尿病	有	4	45.8	21.0						4			
H360	糖尿病増殖網膜炎(2型)	有	4	57.5	16.8						3	1		
H402	急性閉塞隅角緑内障	有	1	56.0	4.0						1			
H402	急性閉塞隅角緑内障	無	1	70.0	2.0								1	
H402	急性緑内障発作	有	2	69.0	2.0								2	
H405	血管新生緑内障	無	3	78.0	8.3								3	
H431	硝子体出血	有	1	71.0	18.0								1	
H440	眼内炎	有	1	74.0	50.0								1	
H46	視神経炎	無	1	4.0	8.0		1							
H493	眼窩先端部症候群	無	1	69.0	12.0								1	
H519	眼球運動障害	無	1	7.0	2.0			1						
H618	耳瘻孔	無	1	39.0	4.0					1				
H650	急性滲出性中耳炎	有	1	5.0	3.0		1							
H652	慢性滲出性中耳炎	有	4	4.5	3.0	1	1	2						
H652	慢性滲出性中耳炎	無	1	4.0	2.0		1							
H659	滲出性中耳炎	有	1	5.0	3.0		1							
H660	急性化膿性中耳炎	有	1	1.0	5.0	1								
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	有	23	29.3	4.5			13	1	2	2	5		
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	無	1	78.0	26.0								1	
H669	急性中耳炎	無	2	0.5	3.5	2								
H71	真珠腫性中耳炎	有	7	32.6	5.4	1	1			2	1	2		
H810	メニエール症候群	無	1	75.0	3.0								1	
H810	メニエール病	無	5	53.6	7.4						4	1		
H810	遅発性内リンパ水腫	無	1	82.0	9.0									1
H810	内耳性めまい	無	11	65.0	9.2					1	2	7	1	
H811	良性発作性頭位めまい症	無	7	64.1	5.3						2	4	1	
H812	前庭神経炎	無	2	56.0	4.0						2			
H813	耳性めまい	無	5	65.4	5.8						1	4		
H813	末梢性めまい症	無	9	61.1	5.0						2	1	6	
H814	頭位変換性めまい	無	2	52.0	2.0						2			
H814	頭位変換性めまいの疑い	無	1	78.0	2.0								1	
H904	一側性感音難聴	無	1	78.0	10.0								1	
H912	突発性難聴	無	14	66.3	8.5				1		2	9	2	
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	1	55.0	23.0						1			
I080	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	2	67.5	38.5								2	
I081	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	67.0	20.0								1	
I081	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	無	1	67.0	17.0								1	
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	17	69.8	42.3						4	11	2	
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	無	4	75.0	5.3								4	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I082	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	79.0	33.5							1	1
I083	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	80.0	24.0							1	1
		無	1	78.0	4.0							1	
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	74.5	38.0							1	1
		無	1	67.0	3.0							1	
I10	高血圧症	無	2	73.0	5.5						1		1
I10	高血圧性緊急症	無	1	91.0	8.0								1
I110	高血圧性うっ血性心不全	有	6	81.0	33.5							2	4
		無	15	76.0	9.4						1	8	6
I158	偽アルドステロン症	無	1	76.0	16.0							1	
I200	不安定狭心症	有	22	70.9	6.3						4	12	6
		無	25	76.3	3.0						3	8	14
I200	不安定狭心症の疑い	無	6	69.2	2.0						1	5	
I201	冠攣縮性狭心症	無	17	62.9	2.8					1	7	6	3
I201	冠攣縮性狭心症の疑い	無	6	56.8	2.7					2	1	3	
I208	労作時兼安静時狭心症	無	1	57.0	3.0						1		
I208	労作性狭心症	有	212	71.3	7.7						36	127	49
		無	411	71.7	3.1						49	270	92
I208	労作性狭心症の疑い	無	15	70.8	2.9						1	12	2
I210	急性広範前壁心筋梗塞	有	4	77.3	49.8							3	1
I210	急性前壁心筋梗塞	有	22	73.0	16.8						2	12	8
		無	2	90.0	11.5								2
I210	急性前壁中隔心筋梗塞	有	8	69.3	19.1						2	4	2
I211	急性下後壁心筋梗塞	有	3	71.0	10.0							2	1
I211	急性下壁心筋梗塞	有	35	71.1	18.1					1	7	17	10
		無	3	86.3	7.3							1	2
I211	急性下壁心筋梗塞の疑い	無	1	89.0	2.0								1
I212	急性後側部心筋梗塞	有	1	83.0	13.0								1
I212	急性後壁心筋梗塞	有	5	66.2	36.8						1	3	1
I212	急性側壁心筋梗塞	有	3	71.7	13.3							3	
		無	1	82.0	15.0								1
I213	心破裂・急性心筋梗塞に合併	有	1	88.0	48.0								1
I249	急性冠症候群	有	3	78.0	15.3							2	1
I249	急性冠症候群の疑い	無	1	37.0	5.0					1			
I251	冠状動脈硬化症	無	2	61.0	3.0						1	1	
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	無	5	67.4	3.0						2	2	1
I252	陳旧性後壁心筋梗塞	無	1	74.0	3.0							1	
I252	陳旧性心筋梗塞	有	1	73.0	4.0							1	
		無	68	69.2	3.0						18	36	14
I252	陳旧性前壁心筋梗塞	無	1	72.0	3.0							1	
I252	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	無	4	67.5	3.0							4	
I252	陳旧性側壁心筋梗塞	無	1	81.0	3.0								1
I253	心室瘤	無	1	0.0	3.0	1							
I255	虚血性心筋症	有	2	70.5	25.5							2	
I256	無症候性心筋虚血	有	17	70.4	4.1						2	14	1
		無	42	72.3	3.0						1	37	4
I256	無症候性心筋虚血の疑い	無	4	60.0	2.8						2	2	
I269	肺塞栓症	有	4	56.5	4.0					2		2	
		無	4	54.8	13.8					2		2	
I269	肺動脈血栓塞栓症	無	1	26.0	10.0					1			
I270	肺高血圧症	無	4	52.8	8.8	1						3	
I270	肺高血圧症の疑い	無	1	35.0	1.0					1			
I272	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	有	4	50.3	4.8						4		
		無	1	82.0	13.0								1
I280	肺動静脈瘻	有	1	16.0	7.0				1				
I301	感染性心膜炎	無	1	36.0	11.0					1			
I313	乳び心のう液貯留	有	1	17.0	23.0					1			
		無	2	16.5	5.5				2				
I319	心タンポナーデ	有	1	62.0	7.0							1	
I319	心膜液貯留	無	8	64.6	11.1					1		3	3
I330	亜急性感染性心内膜炎	有	1	74.0	76.0							1	
I330	感染性心内膜炎	有	8	59.1	42.9						4	4	
		無	2	64.0	29.0						1	1	
I330	急性感染性心内膜炎	有	1	70.0	26.0							1	
		無	1	84.0	6.0								1
I330	遷延性心内膜炎	有	2	62.0	48.0							2	
I340	僧帽弁逆流症	有	2	72.5	25.5							2	
		無	6	70.5	6.8						1	4	1
I340	僧帽弁閉鎖不全症	有	5	62.8	24.4						1	4	
		無	14	78.1	10.5						1	6	7
I350	大動脈弁狭窄症	有	61	83.9	21.1						1	14	46
		無	56	83.3	5.6						1	15	40
I351	大動脈弁逆流症	無	1	66.0	3.0							1	
I351	大動脈弁閉鎖不全症	有	1	66.0	13.0							1	
		無	5	57.8	7.6				1			4	
I358	大動脈弁輪拡張症	有	2	64.0	17.5							1	1
		無	1	57.0	3.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I370	肺動脈弁狭窄症	有	1	21.0	14.0					1				
I370	肺動脈弁狭窄症	無	1	21.0	3.0					1				
I400	感染性心筋炎	有	1	74.0	18.0							1		
I408	劇症型心筋炎	有	2	40.5	34.0					1	1			
I409	急性心筋炎の疑い	有	1	65.0	5.0							1		
I420	拡張型心筋症	有	1	69.0	8.0							1		
I420	拡張型心筋症	無	3	71.0	11.0						1	1	1	
I420	拡張型心筋症の疑い	無	1	59.0	3.0						1			
I421	閉塞性肥大型心筋症	無	1	75.0	8.0							1		
I422	肥大型心筋症	無	1	51.0	11.0						1			
I431	心アミロイドーシスの疑い	無	2	61.0	3.5						1	1		
I441	高度房室ブロック	有	13	78.6	9.9							7	6	
I441	高度房室ブロック	無	1	68.0	4.0							1		
I441	第2度房室ブロック	有	1	89.0	6.0								1	
I442	完全房室ブロック	有	17	80.6	10.4							7	10	
I442	完全房室ブロック	無	3	70.0	20.0						1		2	
I443	間欠性房室ブロック	有	2	79.5	7.0							1	1	
I443	房室ブロック	有	1	79.0	8.0							1		
I443	房室ブロック	無	1	79.0	2.0							1		
I447	完全左脚ブロック	有	1	65.0	12.0							1		
I447	完全左脚ブロック	無	1	65.0	7.0							1		
I456	WPW症候群	有	3	30.7	4.0			1		1	1			
I456	WPW症候群	無	2	15.5	3.0			1	1					
I458	QT延長症候群	有	1	78.0	22.0							1		
I458	遺伝性QT延長症候群	有	1	49.0	7.0						1			
I458	薬物性QT延長症候群	有	1	85.0	14.0								1	
I459	アダムス・ストークス症候群	有	1	75.0	2.0							1		
I459	アダムス・ストークス発作の疑い	有	1	86.0	16.0								1	
I460	蘇生に成功した心停止	有	1	13.0	29.0			1						
I460	蘇生に成功した心停止	無	5	81.2	1.6							2	3	
I469	心肺停止	無	1	88.0	2.0								1	
I469	来院時心肺停止	有	1	35.0	2.0					1				
I469	来院時心肺停止	無	79	76.5	1.0			1	1	1	2	4	26	44
I471	心房頻拍	無	2	71.5	4.5								2	
I471	発作性上室頻拍	有	18	62.8	4.1					2	5	9	2	
I471	発作性上室頻拍	無	3	80.3	4.3							2	1	
I472	持続性心室頻拍	有	2	57.5	23.5						1	1		
I472	持続性心室頻拍	無	2	72.0	4.5						1		1	
I472	心室頻拍	有	1	72.0	8.0							1		
I472	心室頻拍	無	1	46.0	7.0						1			
I472	非持続性心室頻拍	無	3	75.0	8.0							2	1	
I480	発作性心房細動	有	16	64.3	9.7						3	13		
I480	発作性心房細動	無	10	72.6	4.2						1	7	2	
I480	発作性心房細動の疑い	有	1	71.0	2.0							1		
I480	非弁膜症性発作性心房細動	有	1	51.0	4.0						1			
I480	非弁膜症性発作性心房細動	無	1	82.0	4.0								1	
I480	非弁膜症性発作性心房細動の疑い	有	1	54.0	2.0						1			
I481	持続性心房細動	有	5	60.0	5.4						3	2		
I481	持続性心房細動	無	2	60.5	4.0						1	1		
I482	慢性心房細動	有	5	73.0	33.8						1	3	1	
I482	慢性心房細動	無	1	52.0	2.0						1			
I489	一過性心房粗動	無	1	61.0	1.0							1		
I489	孤立性心房粗動	有	1	74.0	4.0							1		
I489	徐脈性心房粗動	有	5	84.4	13.0							1	4	
I489	徐脈性心房粗動	無	2	85.0	2.5								2	
I489	心房細動	有	3	76.0	6.0							3		
I489	心房細動	無	1	73.0	1.0							1		
I489	心房粗動	有	4	68.0	3.8						1	2	1	
I489	非弁膜症性心房細動	有	3	60.7	4.7						2	1		
I489	非弁膜症性心房細動	無	1	72.0	2.0							1		
I490	ブルガダ症候群	有	1	42.0	6.0						1			
I490	ブルガダ症候群の疑い	無	2	48.5	4.5					1		1		
I490	心室細動	有	1	72.0	86.0							1		
I490	心室細動	無	1	35.0	4.0					1				
I493	心室期外収縮	有	2	48.5	4.0						2			
I493	心室期外収縮	無	2	39.0	5.0	1						1		
I495	洞不全症候群	有	23	81.8	11.0							7	16	
I495	洞不全症候群	無	1	93.0	9.0								1	
I498	致死的不整脈	有	2	63.0	25.5						1	1		
I499	不整脈の疑い	有	1	83.0	2.0								1	
I500	うっ血性心不全	有	16	81.1	24.8						1	4	11	
I500	うっ血性心不全	無	109	79.6	15.3					1	11	32	65	
I500	右心不全	有	2	74.5	20.0							2		
I500	右心不全	無	2	76.5	19.0							1	1	
I500	慢性うっ血性心不全	有	2	76.5	56.0							1	1	
I500	慢性うっ血性心不全	無	11	77.5	16.4						2	3	6	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I501	左室不全	無	2	53.5	3.0						2		
I501	左心不全	無	1	67.0	13.0							1	
I509	急性心不全	無	8	79.6	8.8							3	5
I509	心不全	無	1	76.0	11.0							1	
I509	慢性心不全	無	3	78.3	7.0							2	1
I513	心室内血栓症	無	1	83.0	12.0								1
I513	心尖部血栓症	無	1	60.0	8.0						1		
I513	心内血栓症	有	1	46.0	309.0						1		
I513	心内血栓症	無	1	46.0	33.0						1		
I513	心房内血栓症	無	2	79.0	30.0							1	1
I514	慢性心筋炎	無	1	61.0	96.0							1	
I515	たこつぼ型心筋症	有	1	63.0	14.0							1	
I515	たこつぼ型心筋症	無	7	85.1	13.3							1	6
I600	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	8	75.4	31.9						1	3	4
I600	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血	無	1	84.0	2.0								1
I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	5	65.2	28.8						1	4	
I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	8	71.1	39.4						2	4	2
I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	8	72.0	35.9						1	4	3
I604	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	59.0	46.0						1		
I605	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	71.3	25.0						1	1	1
I605	破裂性椎骨動脈解離によるくも膜下出血	有	1	50.0	17.0						1		
I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	69.3	20.3						1	2	
I608	後下小脳動脈からのくも膜下出血	有	2	57.5	26.5						2		
I608	前大脳動脈からのくも膜下出血	有	1	82.0	18.0								1
I609	くも膜下出血	無	3	46.7	15.7					1	2		
I610	視床出血	有	2	76.5	33.5							1	1
I610	視床出血	無	23	74.1	14.8						4	10	9
I610	脳皮質下出血	有	1	77.0	24.0							1	
I610	脳皮質下出血	無	17	78.2	15.5							8	9
I610	被殻出血	有	5	71.8	46.4						1	2	2
I610	被殻出血	無	36	61.9	22.8					3	11	17	5
I610	尾状核出血	有	1	64.0	25.0							1	
I613	延髄出血	無	1	79.0	13.0							1	
I613	橋出血	有	2	46.5	39.5						2		
I613	橋出血	無	3	65.7	12.3						2		1
I613	脳幹部出血	有	2	78.5	94.5							1	1
I613	脳幹部出血	無	7	67.0	9.7						2	3	2
I614	小脳出血	有	1	66.0	66.0							1	
I614	小脳出血	無	12	78.5	15.2							7	5
I615	脳室内出血	有	3	77.0	27.0						1		2
I615	脳室内出血	無	4	80.0	12.0							1	3
I619	高血圧性脳内出血	無	1	60.0	14.0						1		
I620	慢性硬膜下血腫	有	1	80.0	11.0								1
I633	アテローム血栓性脳梗塞	有	5	73.6	21.0						1	2	2
I633	アテローム血栓性脳梗塞	無	25	75.7	17.4						3	12	10
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	有	11	71.0	32.0						2	6	3
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	無	70	71.8	16.1					1	10	40	19
I633	血栓性小脳梗塞	無	1	98.0	4.0								1
I633	血栓性小脳梗塞	有	1	92.0	13.0								1
I633	血栓性小脳梗塞	無	15	71.5	14.4						3	5	7
I634	塞栓性小脳梗塞	有	1	60.0	10.0						1		
I634	塞栓性小脳梗塞	無	1	60.0	10.0						1		
I634	塞栓性小脳梗塞・急性期	有	2	75.5	10.0							1	1
I634	塞栓性小脳梗塞・急性期	無	3	61.0	13.3						2	1	
I634	塞栓性脳梗塞・急性期	有	2	64.5	14.5						1		1
I634	塞栓性脳梗塞・急性期	無	5	73.2	41.4						1	2	2
I634	心原性小脳梗塞	有	1	83.0	23.0								1
I634	心原性脳塞栓症	有	33	82.1	28.6						1	10	22
I634	心原性脳塞栓症	無	52	79.4	17.7						2	23	27
I636	静脈性脳梗塞	有	1	70.0	49.0							1	
I638	ラクナ梗塞	無	2	62.0	19.0						1	1	
I638	出血性脳梗塞	有	1	69.0	51.0							1	
I638	多発性脳梗塞	有	1	86.0	41.0								1
I638	多発性脳梗塞	無	3	72.0	11.7						1	1	1
I652	内頸動脈狭窄症	有	5	78.2	11.0							3	2
I652	内頸動脈狭窄症	無	6	70.0	2.2							6	
I660	中大脳動脈狭窄症	無	2	48.0	4.5					1		1	
I660	中大脳動脈閉塞症	有	1	74.0	12.0							1	
I660	中大脳動脈閉塞症	無	4	73.0	6.8							4	
I669	脳室周囲白質軟化症	無	2	0.0	2.0	2							
I670	解離性脳動脈瘤	無	1	40.0	3.0					1			
I670	椎骨動脈解離性動脈瘤	無	1	71.0	12.0							1	
I671	前交通動脈瘤	有	2	57.0	7.5					1		1	
I671	前交通動脈瘤	無	5	52.2	2.4					1	3	1	
I671	前大脳動脈瘤	有	1	47.0	7.0						1		
I671	前大脳動脈瘤	無	3	60.3	2.3						2	1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I671	中大脳動脈瘤	有	4	67.0	17.0						1	3	
		無	2	60.0	3.0						1	1	
I671	内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤	有	2	72.5	17.0						1		1
		無	5	60.4	2.2						3	2	
I671	脳動脈瘤	有	1	59.0	12.0						1		
I671	未破裂脳動脈瘤	有	1	48.0	9.0						1		
		無	3	51.3	2.3						3		
I675	成人もやもや病	有	1	24.0	12.0					1			
		無	3	44.0	10.7					1	2		
I690	くも膜下出血後遺症	無	1	49.0	30.0						1		
I691	脳出血後遺症	無	1	59.0	1.0						1		
I693	脳梗塞後遺症	有	1	82.0	16.0								1
		無	1	82.0	10.0								1
I701	腎動脈狭窄症	有	2	53.5	8.5				1				1
I7020	下肢閉塞性動脈硬化症	有	49	75.8	13.6						3	30	16
		無	19	79.5	4.5						1	8	10
I7021	下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	有	1	54.0	5.0						1		
I709	閉塞性動脈硬化症	無	1	75.0	3.0							1	
I710	解離性胸部大動脈瘤	有	1	72.0	15.0							1	
I710	解離性大動脈瘤StanfordA	有	2	59.0	71.5					1			1
I710	解離性大動脈瘤StanfordB	無	1	72.0	28.0							1	
I710	急性大動脈解離	有	1	35.0	30.0					1			
I710	急性大動脈解離DeBakeyII	無	2	88.5	14.0								2
I710	急性大動脈解離DeBakeyIIIa	無	2	68.5	19.5						1		1
I710	急性大動脈解離DeBakeyIIIb	有	1	88.0	21.0								1
I710	急性大動脈解離StanfordA	有	5	78.0	35.8						1	2	2
		無	2	81.5	29.0							1	1
I710	急性大動脈解離StanfordB	有	1	87.0	190.0								1
		無	6	73.5	16.8							4	2
I710	慢性大動脈解離	無	1	80.0	5.0								1
I711	胸部大動脈瘤破裂	有	1	74.0	3.0							1	
		無	1	95.0	1.0								1
I712	下行胸部大動脈瘤	有	2	83.0	31.0							1	1
I712	感染性胸部大動脈瘤	有	2	65.0	64.0							2	
		無	2	86.0	16.0								2
I712	弓部大動脈瘤	有	3	72.3	27.7							3	
		無	2	73.5	2.5							2	
I712	胸部大動脈瘤	有	15	73.7	50.9							11	4
		無	19	73.7	3.3							14	5
I712	胸部大動脈瘤切迫破裂	無	1	82.0	20.0								1
I712	上行胸部大動脈瘤	無	2	60.5	3.0						1	1	
I712	上行大動脈拡張	有	2	77.5	27.0							1	1
		無	1	64.0	3.0							1	
I713	腹部大動脈瘤破裂	有	4	84.5	77.5							1	3
I714	腹部大動脈瘤	有	40	78.2	15.1						1	20	19
		無	27	75.7	3.1							19	8
I716	胸腹部大動脈瘤	有	3	78.0	53.7							2	1
		無	1	70.0	3.0							1	
I720	総頸動脈瘤	有	1	62.0	12.0							1	
I721	上腕動脈瘤	有	1	59.0	20.0					1			
		無	1	59.0	3.0					1			
I723	総腸骨動脈瘤	有	2	74.5	10.0							1	1
		無	1	67.0	3.0							1	
I723	腸骨動脈瘤	有	4	78.0	21.5							3	1
		無	2	75.5	3.5							2	
I723	破裂性腸骨動脈瘤	有	2	80.5	79.0							1	1
I724	大腿動脈瘤	有	2	59.0	6.5						1	1	
		無	1	46.0	3.0						1		
I724	膝窩動脈瘤	有	1	82.0	87.0								1
I725	脳底動脈瘤	無	4	64.8	4.5							4	
I728	肝動脈瘤破裂	有	1	69.0	6.0							1	
I728	上腸間膜動脈解離	無	1	51.0	18.0						1		
I728	腹腔動脈解離	有	1	56.0	35.0						1		
I728	脾動脈解離	無	1	44.0	12.0						1		
I728	脾動脈瘤	有	1	57.0	17.0						1		
I740	ルリッシュ症候群	有	1	57.0	15.0						1		
I742	上肢急性動脈閉塞症	無	1	89.0	8.0								1
I743	下肢慢性動脈閉塞症	有	1	67.0	50.0							1	
I771	鎖骨下動脈狭窄症	有	3	74.3	3.3							3	
I802	深部静脈血栓症	無	1	92.0	9.0								1
I831	うっ滞性皮膚炎	無	1	86.0	3.0								1
I839	下肢静脈瘤	有	4	73.5	11.0							3	1
		無	1	70.0	6.0							1	
I850	食道静脈瘤出血	有	1	64.0	21.0							1	
I850	食道静脈瘤破裂	有	2	61.5	13.5						1	1	
I859	食道静脈瘤	有	1	42.0	11.0						1		
I861	精索静脈瘤	有	1	11.0	3.0			1					

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I864	胃静脈瘤出血	有	1	63.0	25.0								1	
I864	胃静脈瘤破裂	有	1	55.0	15.0							1		
I880	腸間膜リンパ節炎	無	1	41.0	8.0							1		
I898	乳び胸	有	1	16.0	13.0				1					
I898	乳び漏	無	2	84.0	5.0									2
I951	起立性調節障害	無	2	44.5	7.5					1	1			
I951	起立性低血圧症	有	2	78.5	11.5								1	1
I959	一過性低血圧症	無	1	80.0	2.0									1
J014	急性汎副鼻腔炎	無	1	52.0	8.0						1			
J019	急性副鼻腔炎	無	1	10.0	5.0			1						
J028	アデノウイルス咽頭炎	無	2	1.5	3.5	1	1							
J028	ウイルス性咽頭炎	無	1	3.0	5.0		1							
J029	急性咽頭炎	無	5	4.0	4.0	1	3	1						
J038	アデノウイルス扁桃炎	無	2	1.0	3.5	2								
J039	急性化膿性扁桃炎	有	1	24.0	6.0					1				
J039	急性扁桃炎	無	1	61.0	4.0								1	
J039	急性扁桃炎	無	4	26.3	6.5			1	1	1	1			
J050	急性閉塞性喉頭炎	無	2	3.0	5.5	1	1							
J051	急性喉頭蓋炎	有	1	83.0	16.0									1
J051	急性喉頭蓋炎	無	1	66.0	12.0								1	
J060	咽頭喉頭炎	無	1	0.0	3.0	1								
J060	急性咽頭喉頭炎	無	2	0.0	3.5	2								
J068	急性咽頭扁桃炎	無	1	5.0	3.0		1							
J069	急性上気道炎	無	17	1.9	3.4	13	2	2						
J100	インフルエンザA肺炎	無	2	82.0	18.5									2
J101	インフルエンザA気管支炎	無	1	92.0	9.0									1
J101	インフルエンザA型	無	17	37.3	6.3	5	1	2		2	1	2	4	
J110	インフルエンザ肺炎	無	1	90.0	12.0									1
J111	インフルエンザ	無	3	4.3	3.0	1		2						
J120	アデノウイルス肺炎	無	1	1.0	13.0	1								
J121	RSウイルス肺炎	無	13	1.6	6.8	12		1						
J123	ヒトメタニューモウイルス肺炎	無	6	2.5	6.2	3	3							
J13	肺炎球菌肺炎	無	4	83.0	8.8								1	3
J152	MRSA肺炎	有	1	88.0	52.0									1
J152	MRSA肺炎	無	3	28.0	17.7			2					1	
J159	細菌性肺炎	有	15	73.8	25.0					1		8	6	
J159	細菌性肺炎	無	87	76.1	12.3	2	1			1	6	30	47	
J180	気管支肺炎	無	9	66.6	6.8	1					1	4	3	
J181	大葉性肺炎	無	1	85.0	17.0									1
J188	胸膜肺炎	有	1	74.0	14.0								1	
J189	急性肺炎	有	3	71.7	21.3					1				2
J189	急性肺炎	無	38	23.2	6.4	21	3	1	1	1		8	3	
J189	小児肺炎	無	1	3.0	5.0		1							
J189	肺炎	無	1	74.0	1.0								1	
J200	マイコプラズマ気管支炎	無	1	7.0	4.0			1						
J205	RSウイルス気管支炎	無	36	0.3	5.1	35	1							
J205	RSウイルス気管支炎の疑い	無	1	0.0	5.0	1								
J208	ウイルス性気管支炎	無	1	2.0	7.0	1								
J208	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	無	8	0.3	3.1	8								
J209	クループ性気管支炎	無	1	1.0	2.0	1								
J209	急性気管支炎	無	87	5.4	4.2	66	10	7						4
J209	急性気管支炎の疑い	無	1	13.0	4.0			1						
J209	急性喉頭気管支炎	有	1	1.0	3.0	1								
J210	RSウイルス細気管支炎	無	11	0.3	4.9	11								
J219	急性細気管支炎	無	1	88.0	8.0									1
J320	菌性上顎洞炎	有	1	44.0	6.0							1		
J320	菌性上顎洞炎	無	1	3.0	8.0			1						
J324	汎副鼻腔炎	有	14	49.9	6.1				1	1	8	4		
J328	複数洞慢性副鼻腔炎	有	25	52.2	6.0				1	6	10	7	1	
J329	慢性副鼻腔炎	有	1	22.0	6.0					1				
J341	術後性上顎のう胞	有	4	72.3	6.5								4	
J341	上顎洞のう胞	有	1	78.0	6.0								1	
J341	鼻前庭のう胞	有	1	25.0	5.0						1			
J342	鼻中隔彎曲症	有	4	48.8	5.3					1	3			
J350	慢性扁桃炎	有	24	23.7	11.6			2	5	2	12	3		
J350	扁桃病巣感染症	有	2	49.0	12.0							2		
J351	扁桃肥大	有	20	5.7	10.6	2	9	9						
J351	扁桃肥大	無	1	4.0	2.0			1						
J352	アデノイド肥大	有	2	9.5	5.0			2						
J358	アデノイド増殖症	有	1	4.0	9.0			1						
J36	化膿性扁桃周囲炎	無	1	24.0	4.0						1			
J36	扁桃周囲炎	無	2	29.0	9.5						2			
J36	扁桃周囲膿瘍	有	6	25.7	6.7			1			5			
J36	扁桃周囲膿瘍	無	2	47.0	5.5				1				1	
J381	ポリープ様声帯	有	1	68.0	7.0									1
J381	声帯ポリープ	有	6	54.0	4.3					1	2	3		
J382	声帯結節症	有	1	44.0	6.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
J387	喉頭蓋のう胞	有	1	56.0	8.0						1		
J390	咽後膿瘍	無	1	6.0	15.0			1					
J390	深頸部膿瘍	有	5	47.8	21.8	1		1			1		2
J390	副咽頭間隙膿瘍	有	1	31.0	6.0					1			
J391	咽頭膿瘍	有	1	40.0	14.0					1			
J392	咽頭のう胞	有	1	3.0	4.0		1						
J392	咽頭浮腫	無	1	79.0	2.0							1	
J398	気管狭窄症	有	1	87.0	20.0								1
J40	気管気管支炎	無	1	86.0	10.0								1
J40	気管支炎	無	2	12.0	3.0		1		1				
J439	巨大気腫性肺のう胞	有	1	42.0	8.0						1		
J439	肺気腫	無	1	82.0	5.0								1
J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	無	5	76.8	8.6							3	2
J448	気腫型慢性閉塞性肺疾患	無	1	82.0	5.0								1
J448	喘息性気管支炎	無	10	2.1	9.7	6	3	1					
J449	慢性閉塞性肺疾患	無	3	71.3	17.3						1	1	1
J450	アトピー性喘息	無	1	24.0	10.0					1			
J450	小児喘息	無	23	2.7	4.8	15	6	2					
J459	気管支喘息	無	5	17.8	5.2	1	3					1	
J46	気管支喘息重積発作	無	5	57.4	7.8	1					1	1	2
J46	気管支喘息発作	無	19	23.6	5.6	3	4	6	1		1	3	1
J47	気管支拡張症	有	1	73.0	7.0							1	
J47	気管支拡張症	無	2	74.0	2.0							2	
J61	石綿肺	無	1	87.0	3.0								1
J64	塵肺症	無	1	89.0	7.0								1
J680	化学物質性気管支炎	無	1	47.0	2.0						1		
J690	誤嚥性肺炎	有	13	84.5	27.1							3	10
J690	誤嚥性肺炎	無	73	79.1	14.9		1	2	3		2	15	50
J690	食物嚥下性肺炎	有	1	69.0	33.0							1	
J700	放射線肺炎	無	2	63.5	10.0						1	1	
J702	急性薬物誘発性間質性肺障害	無	1	78.0	2.0							1	
J704	薬剤性間質性肺炎	無	2	70.5	17.0							2	
J704	薬剤性間質性肺炎の疑い	無	1	53.0	2.0						1		
J80	急性呼吸窮迫症候群	有	3	64.0	37.7					1		1	1
J80	急性呼吸窮迫症候群	無	3	79.0	8.7							2	1
J841	特発性器質性肺炎	無	1	34.0	19.0					1			
J841	特発性肺線維症	無	3	77.0	18.3							2	1
J848	びまん性間質性肺炎	有	2	68.5	17.0							2	
J848	びまん性間質性肺炎	無	31	72.9	9.7						4	20	7
J848	特発性間質性肺炎	有	1	91.0	2.0								1
J848	特発性間質性肺炎	無	1	68.0	15.0							1	
J849	間質性肺炎	無	1	75.0	2.0							1	
J849	急性間質性肺炎	有	1	74.0	17.0							1	
J851	肺炎合併肺膿瘍	無	1	74.0	3.0							1	
J852	肺化膿症	無	2	55.0	11.5						2		
J852	肺膿瘍	無	3	45.0	9.7		1				1	1	
J869	急性膿胸	有	3	76.3	28.7						1		2
J869	急性膿胸	無	5	63.0	16.4						1	1	3
J869	膿胸	有	2	78.5	39.0							1	1
J869	慢性膿胸	有	1	71.0	44.0							1	
J90	胸水貯留	無	5	69.6	9.8						1	3	1
J90	細菌性胸膜炎	無	3	84.3	18.7								3
J930	緊張性気胸	無	1	68.0	1.0							1	
J931	自然気胸	有	10	35.0	8.0			2	3	2	1	2	
J931	自然気胸	無	7	52.0	6.6				2		1	4	
J938	続発性気胸	有	7	62.1	17.7			1			1	4	1
J938	続発性気胸	無	9	67.9	9.6						2	7	
J942	血胸(非外傷性)	有	1	80.0	22.0								1
J950	気管切開後気管食道瘻	無	2	77.5	10.0							2	
J958	術後肺炎	無	1	74.0	6.0							1	
J9601	急性2型呼吸不全	無	1	74.0	1.0							1	
J9611	慢性2型呼吸不全	無	1	75.0	28.0							1	
J9691	2型呼吸不全	無	1	67.0	5.0							1	
J984	術後肺癆	無	1	70.0	7.0							1	
J984	肺のう胞	有	1	73.0	7.0							1	
K010	骨性完全埋伏歯	有	1	16.0	2.0				1				
K011	上顎正中過剰埋伏歯	有	2	8.0	3.5			2					
K011	埋伏智歯	有	2	48.5	2.0				1			1	
K024	う蝕第4度	有	1	55.0	4.0						1		
K029	う蝕	有	1	20.0	2.0				1				
K045	根尖性歯周炎	有	4	47.0	5.3						2	1	1
K045	根尖性歯周炎	無	1	72.0	1.0							1	
K045	慢性歯周炎	有	1	26.0	4.0					1			
K048	歯根のう胞	有	18	57.7	4.6					3	7	7	1
K053	智歯周囲炎	有	3	48.7	3.7				1		1		1
K053	慢性辺縁性歯周炎	有	2	71.5	3.0							2	
K068	歯肉出血	無	1	72.0	3.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K070	オトガイ劣成長	有	1	33.0	5.0					1				
K071	下顎前突症	有	1	22.0	10.0					1				
K073	下顎水平埋伏智歯	有	3	56.7	4.7					1	1			1
K079	顎変形症	有	6	18.2	15.0				5	1				
K081	欠損歯・ブリッジ	有	1	43.0	4.0						1			
K090	含歯性のう胞	有	5	46.4	5.6					3	2			
K100	下顎隆起	有	3	54.3	6.0					1	1	1		
K102	下顎骨周囲膿瘍	有	4	62.3	6.3			1				2		1
K102	顎腐骨	有	2	64.0	4.5						1			1
K102	骨吸収抑制剤関連顎骨壊死	有	3	61.7	7.0					1		1		1
K102	骨吸収抑制剤関連顎骨壊死	有	1	87.0	13.0									1
K102	上顎骨骨髓炎	有	2	76.0	8.5							1		1
K112	急性化膿性顎下腺炎	無	1	82.0	14.0									1
K113	耳下腺膿瘍	無	1	75.0	7.0							1		
K115	顎下腺管内唾石症	有	1	80.0	2.0									1
K115	顎下腺唾石症	有	4	63.5	6.3						2	2		
K116	口腔底ガマ腫	有	1	41.0	7.0						1			
K116	頬粘膜粘液嚢胞	有	1	33.0	5.0					1				
K122	顎下部膿瘍	有	1	17.0	5.0			1						
K122	口腔底膿瘍	有	1	37.0	15.0					1				
K210	維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	無	1	85.0	10.0									1
K210	逆流性食道炎	無	1	65.0	5.0							1		
K210	逆流性食道炎の疑い	無	1	9.0	2.0			1						
K219	胃食道逆流症	有	1	88.0	21.0									1
K219	胃食道逆流症	無	1	89.0	4.0									1
K220	食道アカラシア	有	1	77.0	4.0								1	
K221	出血性食道潰瘍	無	1	46.0	6.0						1			
K223	特発性食道破裂	有	1	74.0	18.0								1	
K226	マロリ・ワイス症候群	有	8	65.9	6.0						3	4	1	
K226	マロリ・ワイス症候群	無	1	86.0	5.0									1
K228	食道瘻	有	1	68.0	15.0								1	
K250	急性胃粘膜病変	無	1	21.0	5.0					1				
K250	急性出血性胃潰瘍	有	21	73.3	9.3						3	12	6	
K250	急性出血性胃潰瘍	無	3	75.0	5.3							3		
K251	急性胃潰瘍穿孔	有	1	62.0	14.0								1	
K255	胃穿孔	有	1	79.0	2.0								1	
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	11	75.3	10.1						1	6	4	
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	有	3	73.3	16.0							2	1	
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	無	3	39.0	10.7			1	1			1		
K264	出血性十二指腸潰瘍	有	1	60.0	4.0						1			
K269	十二指腸潰瘍	有	1	69.0	8.0							1		
K279	胃十二指腸潰瘍	有	1	87.0	3.0									1
K280	急性出血性吻合部潰瘍	有	1	81.0	5.0									1
K290	出血性胃炎	有	1	71.0	6.0								1	
K291	急性胃炎	無	1	45.0	8.0						1			
K315	上腸間膜動脈症候群	有	1	71.0	36.0							1		
K317	胃ポリープ	有	1	72.0	2.0								1	
K317	胃過形成ポリープ	有	1	73.0	5.0								1	
K317	胃底腺ポリープ	無	1	92.0	9.0									1
K317	十二指腸ポリープ	有	1	53.0	14.0						1			
K318	胃軸捻症	有	1	85.0	30.0									1
K318	胃前庭部毛細血管拡張症	有	4	73.8	6.5						1	2	1	
K352	虫垂炎性汎発性腹膜炎	有	2	77.5	9.5							1	1	
K352	虫垂炎性汎発性腹膜炎	有	5	64.0	7.2						2	2	1	
K353	急性穿孔性虫垂炎	有	1	75.0	12.0							1		
K353	虫垂炎性腹膜炎	有	3	63.7	13.0			1						2
K353	虫垂周囲膿瘍	有	3	58.3	6.7						2			1
K358	急性化膿性虫垂炎	有	1	3.0	4.0			1						
K358	急性化膿性虫垂炎	無	2	9.0	6.0			2						
K358	急性虫垂炎	有	19	48.7	5.8			2	2	4	3	6	2	
K358	急性虫垂炎	無	16	30.1	5.1			7	1	5		3		
K36	亜急性虫垂炎	有	1	36.0	5.0					1				
K36	慢性虫垂炎	有	2	72.5	11.0								2	
K382	虫垂憩室	有	1	56.0	11.0						1			
K388	虫垂粘液性のう胞	有	1	73.0	8.0								1	
K402	両側単径ヘルニア	有	14	22.9	3.5	4	5	1					4	
K403	単径ヘルニア嵌頓	有	6	49.2	4.5	2					1	1	2	
K403	単径ヘルニア嵌頓	無	1	0.0	2.0	1								
K409	外単径ヘルニア	有	14	68.7	5.4				1		2	7	4	
K409	外単径ヘルニア	無	1	82.0	3.0									1
K409	内単径ヘルニア	有	6	79.3	4.2								3	3
K409	内単径ヘルニア	有	60	31.0	4.0	11	17	9				17	6	
K409	内単径ヘルニア	無	4	3.3	1.8	2	2							
K413	大腿ヘルニア嵌頓	有	3	82.3	6.3							1	2	
K419	大腿ヘルニア	有	2	66.5	4.5						1		1	
K420	臍ヘルニア嵌頓	有	1	71.0	6.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K429	臍ヘルニア	有	15	6.1	3.1	14							1	
K429	臍ヘルニア	無	1	2.0	2.0	1								
K430	非還納性腹壁癒痕ヘルニア	有	1	38.0	9.0					1				
K432	腹壁癒痕ヘルニア	有	9	72.8	9.8						2	4	3	
K435	傍ストーマヘルニア	有	1	65.0	7.0							1		
K439	白線ヘルニア	有	3	2.7	3.0	2	1							
K449	食道裂孔ヘルニア	無	2	82.5	4.0									2
K450	閉鎖孔ヘルニア嵌頓	有	1	93.0	18.0									1
K458	閉鎖孔ヘルニア	有	1	89.0	6.0									1
K469	内ヘルニア	有	5	69.4	9.0						1	4		
K469	内ヘルニア	無	1	83.0	2.0									1
K500	回腸クローン病	有	2	45.5	14.5					1			1	
K500	小腸クローン病	有	1	44.0	22.0						1			
K500	小腸クローン病	無	2	23.5	2.5					2				
K508	小腸大腸クローン病	有	3	34.7	11.7					2	1			
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	有	2	31.0	6.0				1		1			
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	無	1	20.0	43.0			1						
K513	潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型	有	1	65.0	43.0								1	
K513	潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型	無	1	65.0	10.0								1	
K515	潰瘍性大腸炎・左側大腸炎型	無	1	57.0	25.0						1			
K519	潰瘍性大腸炎の疑い	無	1	14.0	3.0			1						
K521	薬剤性大腸炎	無	1	84.0	13.0									1
K522	アレルギー性胃腸炎	無	1	0.0	8.0	1								
K550	急性虚血性大腸炎	有	1	73.0	26.0								1	
K550	急性虚血性大腸炎	無	3	74.0	11.0								2	1
K550	急性虚血性腸炎	有	2	76.5	54.0								1	1
K550	急性虚血性腸炎	無	8	73.8	7.0								7	1
K550	急性上腸間膜動脈閉塞症	有	2	89.5	11.0									2
K550	急性腸間膜動脈閉塞症	無	1	70.0	1.0								1	
K550	大網梗塞	無	1	73.0	15.0								1	
K550	腸壊死	有	2	54.5	31.5					1				1
K550	非閉塞性腸間膜虚血	有	1	77.0	36.0								1	
K550	非閉塞性腸間膜虚血	無	1	72.0	2.0								1	
K552	大腸血管形成異常	有	1	86.0	10.0									1
K558	小腸血管形成異常	有	1	77.0	5.0								1	
K559	虚血性腸炎	無	1	70.0	19.0								1	
K560	麻痺性イレウス	無	8	27.6	3.6				6		1	1		
K560	麻痺性イレウスの疑い	無	1	76.0	10.0								1	
K561	回盲部腸重積症	有	1	67.0	12.0								1	
K561	腸重積症	有	4	0.8	1.8	4								
K561	腸重積症の疑い	無	1	1.0	2.0	1								
K561	腸重積症再発	有	1	1.0	6.0	1								
K562	S状結腸軸捻転	有	3	81.3	25.7								1	2
K562	S状結腸軸捻転	無	6	84.2	6.3								2	4
K562	絞扼性イレウス	有	10	84.0	21.5								2	8
K562	小腸軸捻転症	無	1	80.0	5.0									1
K564	糞便性イレウス	無	3	70.7	5.0								3	
K565	癒着性イレウス	有	10	72.1	13.2						2	4	4	
K565	癒着性イレウス	無	15	62.1	7.4						5	9	1	
K566	癌性イレウス	有	1	64.0	25.0								1	
K566	癌性イレウス	無	1	79.0	3.0								1	
K566	小腸イレウス	有	2	56.0	12.0						1	1		
K566	小腸イレウス	無	3	62.7	11.7						1	1	1	
K567	イレウス	無	3	65.0	11.3						1	2		
K567	イレウスの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
K567	偽性イレウス	無	1	48.0	3.0						1			
K572	S状結腸憩室穿孔	有	7	72.7	15.0					1			2	4
K572	S状結腸憩室穿孔	無	1	63.0	11.0								1	
K572	結腸憩室穿孔	有	1	55.0	10.0						1			
K572	上行結腸憩室穿孔	有	1	74.0	12.0								1	
K572	直腸憩室穿孔	有	2	83.5	26.0								1	1
K572	膿瘍性S状結腸憩室	有	1	71.0	14.0								1	
K573	S状結腸憩室炎	無	1	63.0	4.0								1	
K573	S状結腸憩室出血	有	17	79.8	10.9								9	8
K573	S状結腸憩室出血	無	6	84.2	8.0								2	4
K573	横行結腸憩室炎	無	1	69.0	10.0								1	
K573	横行結腸憩室出血	有	1	41.0	15.0						1			
K573	下行結腸憩室炎	無	1	50.0	7.0						1			
K573	下行結腸憩室出血	有	1	88.0	10.0									1
K573	回盲部憩室炎	無	1	67.0	18.0								1	
K573	結腸憩室炎	有	1	45.0	13.0									
K573	結腸憩室炎	無	2	67.5	8.5						1			1
K573	上行結腸憩室炎	無	4	50.5	6.3					1	2	1		
K573	上行結腸憩室出血	有	10	70.5	10.5						2	5	3	
K573	上行結腸憩室出血の疑い	無	1	77.0	6.0								1	
K573	大腸憩室出血	有	4	73.3	9.5								3	1
K573	大腸憩室出血	無	3	70.3	8.3								3	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K573	大腸憩室出血の疑い	無	1	83.0	7.0									1
K573	盲腸憩室炎	無	1	51.0	6.0						1			
K573	盲腸大腸憩室出血	有	1	56.0	9.0						1			
K580	混合型過敏性腸症候群	有	1	77.0	68.0							1		
K589	過敏性腸症候群	無	2	21.5	4.5			1		1				
K589	過敏性腸症候群の疑い	無	1	30.0	5.0					1				
K590	機能的便秘症	無	1	38.0	10.0					1				
K610	肛門周囲膿瘍	有	2	33.0	40.5						1			
K610	肛門周囲膿瘍	無	2	7.0	8.5									
K612	直腸肛門周囲膿瘍	無	1	7.0	27.0			1						
K621	直腸ポリープ	有	4	78.8	4.5							3	1	
K623	直腸脱	有	7	84.9	8.6								7	
K624	直腸狭窄	無	1	74.0	2.0							1		
K626	出血性直腸潰瘍	有	1	90.0	11.0									1
K631	S状結腸穿孔	有	3	71.7	15.3						1	1	1	
K631	小腸穿孔	有	3	77.7	17.7							2	1	
K632	S状結腸瘻	有	1	73.0	15.0							1		
K632	結腸瘻	有	2	67.5	94.5							2		
K632	小腸瘻	有	2	73.5	69.0							2		
K632	小腸瘻	無	1	72.0	5.0							1		
K635	S状結腸ポリープ	有	5	59.6	4.2			1				3	1	
K635	結腸ポリープ	有	1	3.0	5.0			1						
K635	上行結腸ポリープ	有	2	73.5	2.5							1	1	
K635	大腸ポリープ	有	5	63.2	3.2						1	4	3	
K635	大腸ポリープ	無	1	80.0	2.0									1
K638	腸管気腫症	有	2	88.0	10.5									2
K638	腸管気腫症	無	2	61.0	4.5							2		
K649	出血性外痔核	無	1	84.0	6.0									1
K649	出血性内痔核	有	1	89.0	8.0									1
K650	横行結腸穿孔による汎発性腹膜炎	有	1	66.0	20.0								1	
K650	急性汎発性腹膜炎	有	10	70.2	29.6					2			3	5
K650	急性腹膜炎	無	1	95.0	1.0									1
K650	急性腹膜炎	有	1	46.0	5.0						1			
K650	後腹膜膿瘍	有	1	68.0	14.0								1	
K650	後腹膜膿瘍	無	1	50.0	18.0						1			
K650	骨盤死腔炎(男性)	無	1	70.0	24.0								1	
K650	骨盤膿瘍(男性)	有	1	55.0	81.0						1			
K650	十二指腸穿孔腹膜炎	有	2	63.5	51.0						1	1		
K650	十二指腸穿孔腹膜炎	無	1	21.0	7.0					1				
K650	穿孔性腹腔内膿瘍	有	1	66.0	10.0								1	
K650	穿孔性腹膜炎	有	2	60.5	38.0						1	1		
K650	腸腰筋膿瘍	有	1	87.0	36.0									1
K650	直腸穿孔による汎発性腹膜炎	有	1	71.0	27.0								1	
K650	汎発性腹膜炎	有	1	77.0	33.0								1	
K650	腹腔内膿瘍	有	4	68.5	21.3								4	
K658	細菌性腹膜炎	無	1	63.0	16.0								1	
K658	腸間膜脂肪織炎	有	1	55.0	16.0						1			
K661	腹腔内出血	有	1	82.0	11.0									1
K701	アルコール性肝炎	無	1	78.0	9.0								1	
K703	アルコール性肝硬変	有	3	51.3	7.0					1	2			
K703	アルコール性肝硬変	無	2	58.5	7.0						2			
K703	アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	1	68.0	14.0								1	
K703	非代償性アルコール性肝硬変	有	1	72.0	9.0								1	
K704	アルコール性肝不全	有	1	55.0	14.0						1			
K709	アルコール性肝障害	無	2	50.0	3.5					1		1		
K719	薬物性肝障害	無	1	38.0	11.0					1				
K720	急性肝性脳症	無	1	65.0	21.0								1	
K721	慢性肝不全	無	1	68.0	6.0								1	
K729	肝性脳症	無	1	65.0	3.0								1	
K746	C型非代償性肝硬変	有	2	70.5	25.5								2	
K746	肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	1	69.0	11.0								1	
K746	肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	有	2	53.5	10.5						1		1	
K746	肝硬変症	無	1	71.0	29.0								1	
K746	非代償性肝硬変	有	2	41.5	16.0				1			1		
K746	非代償性肝硬変	無	1	68.0	19.0							1		
K750	化膿性肝膿瘍	有	4	85.5	28.0								1	3
K750	肝膿瘍	有	1	83.0	20.0									1
K750	肝膿瘍	無	1	86.0	40.0									1
K750	細菌性肝膿瘍	有	1	55.0	81.0						1			
K750	細菌性肝膿瘍	無	1	78.0	5.0								1	
K750	多発性肝膿瘍	有	1	82.0	15.0									1
K750	胆管炎性肝膿瘍	有	1	71.0	7.0								1	
K767	肝腎症候群	無	1	86.0	3.0									1
K768	肝のう胞	有	2	62.5	10.5							1	1	
K768	肝腫瘍	無	1	60.0	4.0							1		
K768	肝腫瘍の疑い	無	1	0.0	5.0									
K769	肝機能障害	無	2	61.0	8.5					1				1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K769	肝障害	無	1	51.0	4.0						1			
K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	17	71.2	9.1						5	7	5	
K800	胆石を伴う壊疽性胆のう炎	有	1	91.0	14.0									1
K800	胆石性急性胆のう炎	有	9	75.8	12.7						1	5	3	
K800		無	2	60.0	8.0					1				1
K801	胆石性胆のう炎	有	2	50.0	6.0						2			
K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	40	63.6	6.0					4	13	19	4	
K801		無	1	51.0	2.0						1			
K802	胆のう結石症	有	24	58.6	5.1					4	8	12		
K802		無	1	73.0	3.0								1	
K803	肝内結石性胆管炎	有	3	66.7	9.7								3	
K803		無	4	75.5	5.5								3	1
K803	総胆管結石を伴う急性化膿性胆管炎	有	1	70.0	4.0								1	
K803	総胆管結石を伴う急性閉塞性化膿性胆管炎	有	5	76.6	8.6								3	2
K803	総胆管結石性胆管炎	有	105	78.7	8.5					1	7	38	59	
K803		無	10	63.0	6.3					3	1	3	3	
K803	胆管炎を伴う総胆管結石	無	1	67.0	7.0								1	
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	有	1	81.0	7.0									1
K805	肝内結石症	有	2	57.5	9.0						2			
K805	総胆管結石	有	21	75.9	5.4						2	10	9	
K805		無	4	67.3	4.8								4	
K805	胆管結石症	有	1	78.0	3.0								1	
K810	黄色肉芽腫性胆嚢炎	有	2	64.5	16.5						1	1		
K810	壊疽性胆のう炎	有	2	73.0	16.0								1	1
K810	急性壊疽性胆のう炎	有	1	43.0	12.0						1			
K810	急性胆のう炎	有	6	72.8	10.5						1	4	1	
K810		無	2	60.5	5.0						1	1		
K810	急性胆のう炎の疑い	無	1	82.0	5.0									1
K823	胆のう十二指腸瘻	有	1	63.0	14.0								1	
K828	多発性胆のうポリープ	有	2	76.5	5.0						1			1
K828		無	2	59.5	2.0						1	1		
K828	胆のうポリープ	有	5	52.2	5.4					1	3	1		
K830	肝内胆細管炎	有	1	73.0	11.0								1	
K830		無	1	74.0	9.0								1	
K830	逆行性胆管炎	有	5	69.8	8.8						2	2	1	
K830		無	9	55.2	7.4	2					2	4	1	
K830	逆行性胆管炎の疑い	無	1	82.0	9.0									1
K830	急性化膿性胆管炎	無	1	80.0	5.0									1
K830	急性胆管炎	有	10	79.0	7.9								4	6
K830		無	19	66.8	6.5	2				1	2	4	10	
K830	急性閉塞性化膿性胆管炎	有	5	74.8	9.2								3	2
K830	原発性硬化性胆管炎の疑い	無	1	55.0	2.0						1			
K830	硬化性胆管炎	有	1	72.0	8.0								1	
K830	慢性胆管炎	無	1	86.0	7.0									1
K831	胆管狭窄症	有	1	71.0	47.0								1	
K831	閉塞性黄疸	有	2	87.0	8.0									2
K831		無	1	86.0	4.0									1
K838	十二指腸乳頭狭窄	有	1	69.0	12.0								1	
K838	総胆管拡張症	有	1	68.0	3.0								1	
K850	特発性急性膵炎	有	2	90.5	9.0									2
K851	胆石性膵炎	有	4	72.0	12.8								4	
K852	アルコール性急性膵炎	有	1	75.0	31.0								1	
K852		無	7	61.0	11.4					1	3	3		
K852	重症アルコール性急性膵炎	無	1	25.0	14.0					1				
K858	術後膵炎	無	1	68.0	7.0								1	
K859	急性膵炎	無	4	64.5	10.3						1	3		
K859	重症急性膵炎	無	1	90.0	15.0									1
K859	慢性膵炎急性増悪	無	4	58.0	10.0			1				2	1	
K860	アルコール性慢性膵炎	無	1	70.0	19.0								1	
K861	自己免疫性膵炎	有	2	57.5	9.5						1	1		
K861	慢性膵炎	無	1	84.0	3.0									1
K862	膵のう胞	無	2	72.0	2.0								2	
K863	仮性膵のう胞	無	1	70.0	26.0								1	
K868	腫瘤形成性膵炎	有	1	57.0	7.0						1			
K868	膵管狭窄	無	1	73.0	5.0								1	
K904	蛋白漏出性胃腸症の疑い	無	1	52.0	11.0						1			
K911	胃切除後消化障害	有	1	78.0	13.0								1	
K911		無	1	77.0	10.0								1	
K911	胃切除後症候群	有	1	70.0	16.0								1	
K913	術後イレウス	有	2	77.5	34.0								1	1
K913		無	20	67.2	9.3			1		1	1	14	3	
K913	術後癒着性イレウス	有	11	71.0	20.9					2		4	5	
K913		無	24	69.4	8.8			1			3	14	6	
K918	術後食道狭窄	有	47	62.8	2.3	4					3	38	2	
K918		無	1	83.0	5.0								1	
K918	短腸症候群	無	1	77.0	6.0								1	
K921	下血	無	1	89.0	8.0									1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K921	血便	無	1	0.0	18.0	1								
K922	下部消化管出血	有	1	82.0	10.0									1
K922	十二指腸出血	無	3	71.7	5.3									1
K922	小腸出血の疑い	有	1	74.0	7.0								1	
K922	消化管出血	有	1	69.0	6.0								1	
K922	消化管出血	有	3	69.0	7.0							1	1	1
K922	上部消化管出血	無	1	48.0	5.0							1		
K922	上部消化管出血の疑い	有	2	70.5	8.0								2	
K922	上部消化管出血の疑い	無	1	85.0	1.0									1
K922	毛細血管拡張症による消化管出血	有	2	73.5	9.5								2	
L00	ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群	無	1	0.0	5.0	1								
L020	頬部膿瘍	有	2	58.0	15.5							1	1	
L022	腹部膿瘍	無	1	93.0	14.0									1
L023	殿部膿瘍	無	1	77.0	13.0								1	
L024	膝部膿瘍の疑い	無	1	0.0	3.0	1								
L031	下肢蜂巣炎	無	8	51.6	12.5	1	1						6	
L031	下腿蜂巣炎	有	2	63.0	12.5							1	1	
L031	下腿蜂巣炎	無	11	71.0	10.9	1						1	2	7
L031	手蜂巣炎	無	1	0.0	5.0	1								
L031	足蜂巣炎	有	1	78.0	37.0								1	
L031	足蜂巣炎	無	5	69.6	9.8	1								4
L031	大腿部蜂巣炎	無	1	81.0	7.0									1
L032	頬部蜂巣炎	無	1	6.0	6.0				1					
L033	峯径部蜂巣炎	有	1	74.0	16.0								1	
L039	下顎蜂窩織炎	有	1	71.0	8.0								1	
L039	頰部蜂窩織炎	有	1	20.0	8.0				1					
L039	側頰部蜂窩織炎	有	1	33.0	4.0						1			
L039	蜂窩織炎	有	1	37.0	4.0						1			
L040	頰部リンパ節炎	無	3	7.3	3.7		1	2						
L041	峯径部化膿性リンパ節炎	無	2	7.5	7.5	1		1						
L059	毛巣洞	有	1	17.0	18.0				1					
L109	天疱瘡の疑い	有	1	32.0	6.0						1			
L208	小児アトピー性湿疹	無	1	8.0	8.0			1						
L209	アトピー性紅皮症	無	1	24.0	6.0					1				
L270	全身薬疹の疑い	無	1	9.0	3.0			1						
L279	アレルギー性皮膚炎	無	1	13.0	1.0			1						
L279	中毒疹	無	1	62.0	10.0								1	
L309	急性湿疹	無	1	0.0	10.0	1								
L401	汎発性膿疱性乾癬	無	1	29.0	35.0					1				
L500	アレルギー性じんま疹	無	1	1.0	2.0	1								
L509	じんま疹	無	1	4.0	3.0		1							
L518	多形滲出性紅斑	無	3	3.7	5.0	1	1	1						
L519	多形紅斑	無	2	1.0	3.5	2								
L570	耳前部顔面光線角化症	有	1	89.0	10.0									1
L598	放射線皮膚潰瘍	有	1	73.0	33.0								1	
L631	汎発性脱毛症	無	1	19.0	5.0				1					
L720	上腕アテローム	有	1	1.0	3.0	1								
L750	腋臭症	有	2	30.5	9.5				1			1		
L80	尋常性白斑	有	1	19.0	5.0				1					
L893	褥瘡・ステージIV	無	1	78.0	2.0								1	
L899	仙骨部褥瘡	有	1	63.0	149.0								1	
L899	殿部褥瘡	有	1	38.0	47.0						1			
L905	下眼瞼癒痕拘縮	有	1	37.0	6.0						1			
L905	顔面癒痕拘縮	有	3	73.7	10.3							1		2
L905	胸部癒痕拘縮	有	1	22.0	2.0						1			
L905	耳前部癒痕拘縮	有	1	1.0	4.0	1								
L905	手指癒痕拘縮	有	3	16.0	6.3			1			2			
L905	手癒痕拘縮	有	2	5.0	3.0			2						
L905	術後癒痕	有	1	9.0	4.0				1					
L905	上腕癒痕拘縮	有	1	47.0	5.0							1		
L910	術後ケロイド癒痕	有	1	41.0	9.0							1		
L910	背部肥厚性癒痕	有	1	7.0	3.0				1					
L910	肥厚性癒痕	有	2	15.5	7.0				1	1				
L929	気道内肉芽	有	1	8.0	3.0				1					
L97	趾難治性皮膚潰瘍	有	1	51.0	13.0							1		
L97	趾皮膚潰瘍	有	1	72.0	32.0								1	
M0006	ぶどう球菌性膝関節炎	有	1	80.0	29.0									1
M0095	化膿性関節炎・股関節	有	1	55.0	62.0							1		
M0095	化膿性関節炎・股関節	無	1	46.0	4.0							1		
M0096	化膿性関節炎・膝関節	有	2	71.5	46.0							1		1
M0097	化膿性関節炎・趾関節	有	1	59.0	5.0							1		
M0099	化膿性関節炎	無	1	0.0	12.0	1								
M0099	感染性関節炎	無	1	55.0	19.0							1		
M0600	RS3PE症候群	無	1	86.0	57.0									1
M0610	成人スチル病	無	2	70.5	31.0							1		1
M0690	関節リウマチ	有	1	70.0	11.0								1	
M0695	関節リウマチ・股関節	有	2	68.5	33.5								2	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
M1099	痛風発作	無	1	78.0	6.0								1	
M1126	膝関節偽痛風	無	3	81.0	7.7								1	2
M1128	頸椎偽痛風	無	2	81.0	8.5								1	1
M1315	股関節炎	無	2	30.0	9.5			1			1			
M1316	膝関節炎	無	1	85.0	8.0									1
M160	両側性原発性股関節症	有	3	78.0	14.7								1	2
M161	一側性原発性股関節症	有	2	78.5	17.0								1	1
		無	1	89.0	1.0									1
M161	原発性股関節症	有	5	69.0	18.0						1	3		1
M163	一側性形成不全性股関節症	有	4	63.8	15.8						1	3		
M163	形成不全性股関節症	有	2	66.0	14.5						1	1		
M165	一側性外傷後股関節症	有	1	70.0	10.0								1	
M167	一側性続発性股関節症	有	1	62.0	37.0								1	
M169	変形性股関節症	有	1	67.0	16.0								1	
M170	両側性原発性膝関節症	有	17	71.8	19.5						3	11		3
M171	一側性原発性膝関節症	有	3	69.3	19.3								3	
M171	原発性膝関節症	有	3	62.7	12.0					1		1		1
M175	一側性続発性膝関節症	有	1	37.0	13.0					1				
M1901	原発性変形性肩関節症	有	1	89.0	25.0									1
M1997	変形性足関節症	有	1	86.0	22.0									1
M200	小指骨性マレット指	有	1	49.0	2.0							1		
M2316	円板状外側半月板	無	1	57.0	1.0							1		
M2349	膝関節内遊離体	有	1	18.0	3.0				1					
M2409	膝関節内遊離体	有	1	50.0	4.0						1			
M2438	環軸関節病的亜脱臼	無	1	68.0	2.0								1	
M303	急性熱性皮膚リンパ節症候群	無	3	2.7	12.7		2	1						
M303	川崎病	無	42	2.3	10.2		26	14	2					
M303	不全型川崎病	無	8	2.9	10.1		3	4	1					
M311	血栓性血小板減少性紫斑病	有	2	68.0	32.5							1		1
M316	巨細胞動脈炎	無	1	70.0	16.0								1	
M317	顕微鏡的多発血管炎	有	1	76.0	127.0								1	
		無	3	68.7	41.0								2	1
M329	全身性エリテマトーデス	有	1	86.0	16.0									1
		無	2	44.0	38.5				1				1	
M329	全身性エリテマトーデスの疑い	有	1	48.0	15.0						1			
M340	進行性全身性強皮症(SSC)	有	1	81.0	126.0									1
M351	混合性結合組織病の疑い	無	1	81.0	8.0									1
M353	リウマチ性多発筋痛	無	4	80.0	15.8								2	2
M359	IgG4関連疾患	無	3	74.0	40.7								2	1
M4022	頸椎後弯	無	1	78.0	2.0								1	
M4185	胸腰椎変性側弯症	有	1	75.0	19.0								1	
		無	5	71.6	2.0								4	1
M4186	変性側弯症	有	1	77.0	18.0								1	
		無	1	78.0	2.0								1	
M4306	腰椎分離症	無	1	68.0	2.0								1	
M4312	頸椎すべり症	無	1	82.0	2.0									1
M4312	頸椎変性すべり症	有	1	68.0	15.0								1	
		無	2	77.0	2.0								1	1
M4316	腰椎すべり症	有	3	77.0	12.3								2	1
		無	1	69.0	2.0								1	
M4316	腰椎分離すべり症	有	3	54.7	11.0					1	1	1		
		無	1	60.0	2.0						1			
M4316	腰椎変性すべり症	有	40	71.6	13.7						5	27		8
		無	41	71.0	2.0						6	28		7
M4342	非外傷性環軸関節亜脱臼	有	1	54.0	12.0							1		
		無	1	54.0	2.0							1		
M4361	環軸関節回旋位固定	無	1	76.0	2.0								1	
M4652	頸椎化膿性脊椎炎	有	2	67.0	27.0								2	
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	有	3	80.0	15.0								1	2
		無	2	81.5	33.0									2
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	有	8	69.8	19.4					1			6	1
		無	5	74.6	21.2								4	1
M4659	化膿性脊椎炎	有	1	54.0	141.0							1		
		無	1	60.0	36.0							1		
M4712	頸椎症性脊髄症	有	49	67.8	15.6							13	30	6
		無	52	66.9	2.8							19	24	9
M4722	頸椎症性神経根症	無	1	63.0	2.0								1	
M4782	頸椎症の疑い	無	1	72.0	2.0								1	
M4786	変形性腰椎症	無	1	69.0	2.0								1	
M4800	広範脊柱管狭窄症	有	2	32.5	39.0				1			1		
M4802	頸部脊柱管狭窄症	有	1	46.0	10.0							1		
M4804	胸部脊柱管狭窄症	有	1	73.0	13.0								1	
		無	2	57.5	2.0							1	1	
M4806	腰部脊柱管狭窄症	有	57	69.4	12.9					1	6	44		6
		無	102	70.7	2.4						18	63		21
M4854	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	3	85.3	14.7									3

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M4856	腰椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	3	82.3	25.0							2	1
		無	1	83.0	14.0								1
M4881	軸椎歯突起後方偽腫瘍	有	2	79.0	22.0							2	
		無	1	79.0	2.0							1	
M4882	頸椎後縦靱帯骨化症	有	18	61.3	18.8					1	8	8	1
		無	16	64.7	2.0						6	8	2
M4882	頸椎前縦靱帯骨化症	有	1	78.0	15.0							1	
		無	1	78.0	2.0							1	
M4884	胸椎黄色靱帯骨化症	有	3	47.3	12.0					2		1	
		無	3	44.0	2.0					2	1		
M4884	胸椎後縦靱帯骨化症	有	2	52.0	18.0					1		1	
		無	1	66.0	2.0							1	
M4886	腰椎椎間関節のう腫	有	1	49.0	12.0						1		
M500	頸椎椎間板ヘルニアによる脊髄症	有	1	70.0	15.0							1	
M502	頸椎椎間板ヘルニア	有	5	49.8	13.8					2	1	1	1
		無	7	54.3	2.0					1	3	3	
M512	胸椎椎間板ヘルニア	有	1	79.0	18.0							1	
		無	1	79.0	2.0							1	
M512	腰椎椎間板ヘルニア	有	41	48.7	7.8		2			12	15	12	
		無	51	47.1	2.4		4			14	20	13	
M512	第4・5腰椎椎間板ヘルニア	有	8	54.9	4.5					2	3	3	
		無	7	60.7	2.0					1	2	4	
M512	椎間板ヘルニア性腰痛症	無	1	31.0	9.0					1			
M519	腰椎椎間板症	無	1	17.0	3.0			1					
M5438	坐骨神経痛	無	1	32.0	6.0					1			
M5456	慢性腰痛症	無	1	47.0	2.0						1		
M6226	下腿コンパートメント症候群	有	1	65.0	14.0							1	
		無	1	89.0	6.0								1
M6289	横紋筋融解	有	1	78.0	14.0							1	
		無	7	71.0	9.0						1	4	2
M6504	環指化膿性腱鞘炎	有	1	77.0	72.0							1	
		無	1	76.0	4.0							1	
M6591	肩関節滑膜炎	有	1	75.0	4.0							1	
M6596	膝関節滑膜炎	有	4	66.3	6.5						1	2	1
M678	母指屈筋腱癒着	有	1	40.0	4.0					1			
M7022	化膿性肘頭滑液包炎	有	1	31.0	24.0					1			
M7022	肘頭滑液包炎	有	1	77.0	3.0							1	
M7065	化膿性大転子部滑液包炎	有	1	14.0	9.0			1					
M7126	ペーカ一のう腫	有	1	51.0	5.0						1		
M7197	足関節滑液包炎	有	1	71.0	10.0							1	
M7227	足底腱膜線維腫症	有	1	67.0	7.0							1	
M7260	下肢壊死性筋膜炎	有	2	75.5	41.0							2	
		無	1	75.0	4.0							1	
M7265	会陰部フルニエ壊疽	有	1	44.0	25.0						1		
M7265	外陰部壊死性筋膜炎	有	1	85.0	68.0								1
M7266	下腿壊死性筋膜炎	有	1	72.0	211.0							1	
M7269	壊死性筋膜炎	有	1	70.0	26.0							1	
M750	肩関節周囲炎	無	1	47.0	28.0						1		
M755	肩滑液包炎	有	1	63.0	3.0							1	
M7953	前腕筋肉内異物残留	有	1	20.0	3.0				1				
M8008	閉経後骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	無	1	63.0	12.0							1	
M8085	老年性骨粗鬆症・骨盤部病的骨折あり	有	1	83.0	33.0								1
M8090	骨粗鬆症・多発病的骨折あり	有	1	84.0	23.0								1
M8098	骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	有	1	53.0	14.0						1		
		無	1	74.0	17.0							1	
M8404	手指骨折変形治療	有	1	34.0	3.0					1			
M8415	大腿骨偽関節	有	1	90.0	16.0								1
M8418	胸椎偽関節	有	2	79.5	11.0							1	1
M8418	腰椎偽関節	有	1	84.0	10.0								1
M8418	歯突起骨折偽関節	無	1	44.0	2.0						1		
M8425	大腿骨骨折の遷延癒合	有	1	68.0	6.0							1	
M8445	大腿骨病的骨折	有	1	76.0	18.0							1	
M8448	胸椎病的骨折	有	1	77.0	15.0							1	
M8614	示指末節骨指急性骨髄炎	有	1	45.0	14.0						1		
M8693	橈骨骨髄炎	有	1	52.0	12.0						1		
M8695	大腿骨骨髄炎	有	1	88.0	38.0								1
M8698	MRSA胸部骨髄炎	有	1	72.0	54.0							1	
M8698	胸骨骨髄炎	有	3	78.0	63.0							2	1
M8699	足指骨髄炎	有	1	74.0	21.0							1	
M8705	特発性大腿骨頭壊死	有	1	44.0	24.0						1		
M8715	ステロイド性大腿骨頭壊死	有	2	45.5	31.0					1		1	
M8725	外傷性大腿骨頭壊死	無	1	60.0	16.0						1		
M8785	大腿骨頭壊死	有	1	70.0	16.0							1	
M8900	複合性局所疼痛症候群	有	1	47.0	27.0						1		
M9078	胸椎腫瘍性脊椎病的骨折	有	1	81.0	8.0								1
		無	3	75.7	21.3						1		2
M966	人工股関節周囲骨折	有	3	75.7	21.3						1		2
		無	1	91.0	7.0								1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N028	IgA腎症	有	10	41.2	11.1					6	3	1	
		無	18	34.6	3.1					16	2		
N039	慢性糸球体腎炎	無	1	81.0	15.0								1
N039	慢性糸球体腎炎の疑い	有	1	61.0	5.0								1
		無	14	40.6	4.0			1	8	3	2		
N039	慢性腎炎	無	1	39.0	4.0					1			
N040	微小変化型ネフローゼ症候群	無	4	56.3	30.8					1	1	1	1
N049	ネフローゼ症候群	無	12	43.2	33.5	1	2	2		1	1	1	4
N049	頻回再発型ネフローゼ症候群	無	4	13.5	19.5		1	2		1			
N082	紫斑病腎炎	無	1	9.0	1.0			1					
N083	1型糖尿病性腎症第5期	有	1	48.0	8.0						1		
N083	2型糖尿病性腎症	無	1	61.0	2.0								1
N083	2型糖尿病性腎症第4期	有	1	73.0	57.0								1
N083	2型糖尿病性腎症第5期	有	2	62.0	6.5						1	1	
		無	1	68.0	60.0								1
N085	ループス腎炎	有	3	40.0	31.7					2	1		
		無	5	76.2	15.2						1	2	2
N10	急性腎盂腎炎	無	72	50.4	7.6	16	1	5		5	7	13	25
N10	急性巣状細菌性腎炎	無	1	9.0	14.0			1					
N12	BKウイルス腎症	無	1	59.0	28.0						1		
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	有	8	93.8	7.5						1	1	6
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	有	42	66.3	3.2						10	28	4
		無	1	87.0	4.0								1
N132	腎結石性閉塞を伴う水腎症	有	2	72.0	10.5								2
N132	尿管結石性閉塞を伴う水腎症	有	25	70.2	8.4					2	4	9	10
		無	1	92.0	3.0								1
N135	後腹膜線維症の疑い	無	1	67.0	7.0								1
N137	膀胱尿管逆流	有	7	5.4	3.7	3		4					
		無	1	9.0	2.0			1					
N170	急性腎性腎不全	有	1	88.0	63.0								
		無	3	68.0	10.3						1	1	1
N178	急性腎後性腎不全	有	3	64.3	15.7							1	2
		無	3	68.7	22.7							1	1
N178	急性腎前性腎不全	有	3	53.7	22.3					1	1		1
		無	1	77.0	7.0								1
N179	急性腎不全	有	2	65.0	11.5							1	1
		無	3	75.0	10.3								2
N184	慢性腎臓病ステージG4	有	6	63.8	46.0			1					5
		無	1	46.0	16.0						1		
N185	末期腎不全	有	11	73.6	24.0						1	7	3
		無	3	65.7	26.7						1	1	1
N185	慢性腎臓病ステージG5	有	24	62.4	31.0					3	7	12	2
		無	4	52.0	27.5					1	1	2	
N189	慢性腎臓病	有	2	78.0	19.5								1
		無	1	42.0	6.0						1		
N189	慢性腎不全	有	25	72.9	32.7						3	15	7
		無	29	63.2	13.2					3	10	8	8
N19	腎性貧血	有	2	88.0	12.5								2
N19	無機能腎	有	1	76.0	10.0								1
N200	腎結石症	有	11	61.5	5.6			1			2	7	1
N200	腎盂結石症	有	2	68.0	6.0								2
N201	尿管結石症	有	22	64.0	4.7					1	7	11	3
		無	2	23.0	3.0			1		1			
N209	結石性腎盂腎炎	有	5	79.4	10.0								2
		無	2	72.5	6.5								2
N210	膀胱結石症	有	2	87.0	8.0								2
N258	遠位尿細管性アシドーシス	有	3	12.0	21.3			3					
		無	1	12.0	7.0			1					
N258	腎原性続発性副甲状腺機能亢進症	有	1	56.0	8.0						1		
N288	腎周囲出血	有	1	47.0	20.0						1		
		無	1	67.0	3.0								1
N288	腎出血	有	1	70.0	6.0								1
N288	特発性腎出血	有	2	44.5	5.0					1	1		
N288	尿管皮膚瘻	無	9	87.3	4.0								9
N289	腎機能低下	有	1	28.0	4.0					1			
N300	急性出血性膀胱炎	無	3	50.0	15.0	1							2
N301	間質性膀胱炎	有	1	63.0	13.0								1
N308	尿管膿瘍	無	1	23.0	7.0					1			
N309	出血性膀胱炎	有	1	85.0	7.0								1
N312	弛緩性神経因性膀胱	無	1	3.0	9.0			1					
N319	神経因性膀胱	無	5	2.4	4.0	3	1	1					
N321	結腸膀胱瘻	有	1	56.0	26.0						1		
N321	直腸膀胱瘻	有	2	70.0	4.5								2
N323	膀胱憩室	有	1	80.0	6.0								1
N324	膀胱破裂	無	1	83.0	5.0								1
N328	膀胱出血	有	3	82.7	12.0								1
		無	1	83.0	5.0								2

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
N359	尿道狭窄症	有	1	82.0	6.0									1
N362	尿道カルンクル	有	1	87.0	8.0									1
N363	尿道脱	有	1	65.0	6.0								1	
N390	急性尿路感染	有	1	64.0	29.0								1	
N390	単純性尿路感染症	無	1	37.0	13.0					1				
N390	尿路感染症	無	1	93.0	11.0									1
N390	尿路感染症	有	1	74.0	41.0								1	
N390	複雑性尿路感染症	無	24	74.8	9.7	1	1			1	1	5	15	
N390	慢性尿路感染症	無	3	89.7	18.3									3
N390	慢性尿路感染症	無	2	90.5	10.0									2
N393	腹圧性尿失禁	有	2	48.5	3.5					1	1			
N40	前立腺肥大症	有	53	74.3	8.4						4	35	14	
N40	前立腺肥大症	無	2	70.0	5.5								2	
N410	急性細菌性前立腺炎	無	9	73.6	7.2								8	1
N412	前立腺膿瘍	有	1	77.0	24.0								1	
N421	前立腺出血	有	1	92.0	6.0									1
N421	前立腺出血	無	1	92.0	3.0									1
N433	陰のう水腫	有	3	64.3	4.7						1	2		
N433	陰嚢水腫	有	19	7.1	3.1	9	5	4					1	
N433	精索水腫	有	3	4.0	3.0	2		1						
N44	精索捻転	有	1	12.0	2.0			1						
N450	精巣上体膿瘍	有	1	87.0	14.0									1
N459	急性精巣上体炎	有	1	0.0	4.0	1								
N459	精巣上体炎	有	1	63.0	5.0								1	
N47	真性包茎	有	5	26.6	3.2			1	2	1			1	
N47	包茎	有	1	6.0	6.0			1						
N47	包茎	無	2	6.5	3.0			2						
N47	嵌頓包茎	有	1	11.0	2.0			1						
N488	陰茎縫線のう腫	有	1	5.0	3.0			1						
N500	精巣萎縮	有	1	2.0	3.0	1								
N508	陰部潰瘍・男性	有	1	82.0	20.0									1
N508	男性更年期障害	無	1	55.0	10.0						1			
N645	陥没乳頭	有	2	30.0	3.0						2			
N700	急性付属器炎	無	1	36.0	11.0					1				
N700	急性卵管炎	無	1	49.0	6.0						1			
N700	急性卵管卵巣膿瘍	有	1	38.0	12.0					1				
N701	慢性卵巣炎	有	1	35.0	6.0					1				
N701	卵管留水症	有	2	44.5	6.0					1	1			
N701	卵管留水症	有	1	37.0	14.0					1				
N733	急性骨盤腹膜炎	有	1	88.0	25.0									1
N733	骨盤死腔炎(女性)	無	2	36.5	4.5						2			
N733	骨盤死腔炎(女性)	有	1	88.0	12.0									1
N739	骨盤膿瘍(女性)	有	3	65.0	17.3				1					2
N739	骨盤膿瘍(女性)	無	1	88.0	16.0									1
N744	クラミジア卵管炎	有	1	27.0	5.0					1				
N764	外陰膿瘍	有	1	59.0	41.0							1		
N800	子宮腺筋症	有	12	42.4	8.0					5	7			
N800	子宮腺筋症	無	1	46.0	2.0						1			
N801	チョコレート嚢胞	有	4	37.0	6.3					3	1			
N801	卵巣子宮内膜症	有	1	44.0	6.0						1			
N801	卵巣子宮内膜症の嚢胞	有	14	37.3	6.9					10	4			
N803	骨盤子宮内膜症	有	4	44.5	7.0						4			
N811	膀胱瘤	有	3	72.7	7.0								2	1
N812	子宮下垂	有	1	52.0	8.0						1			
N812	子宮脱1度	有	2	69.5	7.0								2	
N812	子宮脱2度	有	11	66.3	6.7						3	7	1	
N812	子宮脱2度	有	1	83.0	6.0									1
N813	子宮脱3度	無	1	62.0	7.0								1	
N816	直腸瘤	有	1	78.0	8.0								1	
N820	膀胱腔瘻	有	3	41.7	5.7					2	1			
N822	小腸腔瘻	有	1	67.0	13.0								1	
N835	卵巣捻転	有	1	15.0	6.0			1						
N836	卵管留血腫	有	1	50.0	5.0						1			
N838	卵巣出血	有	1	36.0	5.0					1				
N840	子宮内膜ポリープ	有	14	46.1	3.2					5	7	2		
N841	子宮頸管ポリープ	有	1	33.0	2.0					1				
N850	子宮内膜増殖症	有	2	59.5	3.0						1	1		
N851	子宮内膜異型増殖症	有	7	39.7	4.3					5	2			
N871	子宮頸部中等度異形成	有	11	45.4	3.0					5	5	1		
N872	子宮頸部高度異形成	有	43	39.7	3.2					22	20	1		
N882	子宮頸管閉鎖症	有	1	38.0	3.0					1				
N920	過多月経	有	1	43.0	3.0						1			
N921	機能性子宮出血	有	1	72.0	8.0								1	
N946	月経困難症	無	1	36.0	5.0					1				
N981	卵巣過剰刺激症候群	無	5	33.4	4.8					5				
N991	術後尿道狭窄	有	1	88.0	6.0									1
N993	子宮切除後膀胱脱	有	1	75.0	7.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
O001	卵管妊娠	有	2	27.5	4.5				1	1				
O001	卵管膨大部妊娠	有	2	40.0	5.5					1	1			
O008	子宮頸管妊娠	有	1	37.0	9.0					1				
O009	異所性妊娠の疑い	無	1	33.0	4.0					1				
O021	稽留流産	有	2	37.0	3.0					2				
O034	不全流産	有	1	36.0	2.0					1				
O039	自然流産	無	1	37.0	3.0					1				
O11	加重型妊娠高血圧腎症	有	1	37.0	11.0					1				
		無	1	37.0	6.0					1				
O140	軽症妊娠高血圧症候群	有	2	35.5	13.0					2				
		無	4	37.8	9.8					3	1			
O140	軽症妊娠高血圧腎症	有	1	38.0	13.0					1				
		無	5	34.0	5.2					5				
O141	重症妊娠高血圧症候群	有	10	36.3	14.8					9	1			
		無	2	36.5	20.5					2				
O141	重症妊娠高血圧腎症	有	3	33.3	15.7					2	1			
		無	1	40.0	6.0					1				
O142	HELLP症候群	無	3	37.3	7.0					2	1			
O149	妊娠高血圧症候群	無	2	32.5	7.0					2				
O200	切迫流産	無	13	33.7	11.2					13				
O208	絨毛膜下血腫	無	6	32.5	18.2					6				
O211	重症妊娠悪阻	無	6	32.2	8.5					6				
O235	子宮内感染症	有	1	31.0	7.0					1				
O241	2型糖尿病合併妊娠	有	1	31.0	7.0					1				
		無	4	34.8	8.5					4				
O244	ハイリスク妊娠糖尿病	無	1	33.0	6.0					1				
O244	妊娠糖尿病	無	13	33.8	8.2					13				
O244	妊娠糖尿病の疑い	無	1	33.0	5.0					1				
O266	急性妊娠脂肪肝	有	1	31.0	6.0					1				
O267	恥骨結合開離	有	1	39.0	15.0					1				
		無	1	36.0	14.0					1				
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	有	9	32.9	16.1					9				
		無	2	29.0	38.0					2				
O300	双胎妊娠	有	1	34.0	7.0					1				
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	有	5	32.8	10.4					5				
O321	骨盤位	有	19	33.5	7.0					16	3			
O321	骨盤位のための母体管理	有	1	26.0	7.0					1				
O331	狭骨盤	有	2	37.5	6.5					1	1			
O331	比較的狭骨盤	有	1	28.0	7.0					1				
O332	骨盤入口狭窄	有	1	41.0	14.0						1			
O335	巨大児による骨盤不均衡	有	4	34.8	6.8					3	1			
O339	児頭骨盤不均衡	有	5	37.8	9.0					3	2			
O341	筋腫合併妊娠	有	1	32.0	7.0					1				
O342	既往子宮術後妊娠	有	5	35.4	7.0					5				
O342	既往帝王切開後妊娠	有	96	33.7	7.2					89	7			
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	有	23	32.3	7.7			2		20	1			
		有	2	36.0	8.0					2				
		無	7	31.7	8.9					7				
O344	軟産道強靭症	無	1	34.0	8.0					1				
O350	胎児中枢神経系奇形	無	1	31.0	4.0					1				
O351	胎児染色体異常	有	1	35.0	4.0					1				
O351	胎児染色体異常の疑い	無	14	37.9	1.4					9	5			
O358	胎児胸水	有	1	33.0	23.0					1				
O358	胎児水腎症	無	2	43.0	3.0						2			
O359	胎児奇形	無	1	26.0	5.0					1				
O362	重症胎児水腫のための母体管理	無	1	36.0	4.0					1				
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	有	2	39.0	4.5					1	1			
		無	5	33.8	4.2					5				
O365	子宮内胎児発育不全のための母体管理	有	6	33.8	22.7					5	1			
		無	12	32.3	10.8					12				
O365	胎盤機能低下のための母体管理	有	1	29.0	6.0					1				
		無	1	35.0	3.0					1				
O40	羊水過多症	無	5	40.2	2.0					2	3			
O410	原因不明の羊水過少症	無	1	20.0	8.0			1						
O411	絨毛膜羊膜炎	有	3	35.0	6.7					2	1			
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	有	2	40.5	6.0					1	1			
		無	1	30.0	7.0					1				
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降	有	1	33.0	7.0					1				
		無	2	31.0	7.5					2				
O429	高位破水	無	1	32.0	22.0					1				
O430	双胎児間輸血症候群	有	2	29.0	7.0					2				
O438	胎盤機能不全症	有	2	38.5	6.5					1	1			
O441	出血を伴う前置胎盤	無	1	33.0	4.0					1				
O441	全前置胎盤	有	2	33.0	39.0					2				
O441	低置胎盤	有	4	35.3	7.0					3	1			
O441	部分前置胎盤	有	3	33.3	44.0					3				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
O441	辺縁前置胎盤	有	8	33.4	20.0					7	1		
		無	1	36.0	4.0					1			
O459	常位胎盤早期剥離	有	2	32.5	5.5					2			
O459	常位胎盤早期剥離の疑い	無	5	32.0	2.0					4	1		
O459	胎盤早期剥離の疑い	無	1	29.0	2.0					1			
O470	切迫早産	有	47	31.9	38.5				1	44	2		
		無	73	31.1	25.9				4	66	3		
O471	妊娠満37週以後の偽陣痛	無	4	28.5	4.3			1		3			
O471	妊娠満37週以後の前陣痛	無	3	31.0	3.0					3			
O48	分娩予定日超過	無	3	33.0	6.7					3			
O601	自然早産	無	4	27.8	5.3					4			
O620	原発性陣痛微弱	有	6	31.7	8.8					6			
		無	6	32.2	7.8					6			
O621	続発性陣痛微弱	有	6	32.5	6.8					6			
		無	4	29.5	7.3					4			
O622	微弱陣痛	有	6	32.3	6.8					5	1		
		無	7	35.7	7.0					6	1		
O624	切迫子宮破裂	有	20	34.8	9.5					18	2		
		無	1	35.0	27.0					1			
O631	第2期遷延分娩	有	2	36.5	5.5					1	1		
O640	後方後頭位による分娩停止	有	3	29.3	7.0					3			
O640	高在縦定位による分娩停止	有	1	30.0	7.0					1			
O640	児頭回旋異常	有	2	27.5	7.5					2			
O640	児頭回旋異常による分娩停止	有	2	36.0	7.5					1	1		
O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止	有	6	31.7	8.0					6			
O655	軟産道強靱症による分娩停止	有	4	32.5	6.5					4			
O662	巨大児による分娩停止	有	2	38.0	8.5					1	1		
O669	分娩停止	有	2	23.5	8.0			1		1			
O680	胎児徐脈	有	2	32.0	7.0					2			
		無	17	34.1	6.4					16	1		
O680	胎児心音異常	有	4	31.5	6.5					4			
O683	胎児ジストレスの生化学的異常を合併する分娩	無	23	33.5	6.3			1		18	4		
O711	子宮破裂	無	1	32.0	4.0					1			
O720	胎盤遺残	有	2	35.5	6.5					1	1		
O721	弛緩出血	有	3	35.0	6.7					3			
		無	3	37.0	5.7					3			
O721	分娩後出血	有	1	37.0	8.0					1			
O722	部分癒着胎盤	有	1	45.0	6.0						1		
O723	分娩後DIC	有	1	39.0	8.0					1			
O800	自然頭位分娩	無	276	32.2	5.8			2		265	9		
O908	胎盤ポリープ	有	1	41.0	4.0						1		
O990	産褥期貧血	無	1	28.0	5.0					1			
O993	てんかん合併妊娠	有	1	24.0	7.0					1			
		無	1	24.0	4.0					1			
O994	妊娠期脳血管疾患合併症	有	1	39.0	7.0					1			
P070	超低出生体重児	有	7	0.0	88.7	7							
		無	2	0.0	84.5	2							
P070	超低出生体重児(999g以下)	無	1	0.0	81.0	1							
P071a	極低出生体重児	有	3	0.0	103.3	3							
		無	12	0.0	73.2	12							
P071a	極低出生体重児(1000-1499g)	有	2	0.0	177.5	2							
		無	6	0.0	53.2	6							
P071b	低出生体重児	有	1	0.0	21.0	1							
		無	48	0.0	24.5	48							
P071b	低出生体重児(1500-2499g)	無	21	0.0	25.0	21							
P073	早産児	無	10	0.0	12.8	10							
P210	重症新生児仮死	有	1	0.0	26.0	1							
		無	1	0.0	18.0	1							
P211	軽度新生児仮死	無	2	0.0	17.0	2							
P221	新生児一過性多呼吸	無	53	0.0	8.7	53							
P228	新生児呼吸障害	無	7	0.0	6.6	7							
P240	胎便吸引症候群	有	1	0.0	7.0	1							
		無	4	0.0	8.5	4							
P251	新生児気胸	無	1	0.0	4.0	1							
P284	新生児無呼吸発作	無	12	0.0	6.0	12							
P293	新生児遷延性肺高血圧症	無	2	0.0	21.0	2							
P351	先天性サイトメガロウイルス感染症	有	1	0.0	38.0	1							
P399	新生児感染症	無	2	0.0	7.5	2							
P540	新生児吐血	無	1	0.0	6.0	1							
P541	新生児メレナ	無	3	0.0	10.7	3							
P593	母乳性黄疸	無	4	0.0	3.3	4							
P599	新生児黄疸	無	44	0.0	3.6	44							
P704	新生児一過性低血糖症	無	4	0.0	4.0	4							
P704	新生児低血糖	無	6	0.0	5.2	6							
P760	胎便栓症候群	無	1	0.0	11.0	1							
P782	新生児偽性メレナ	無	1	0.0	3.0	1							
P808	新生児低体温症	無	1	0.0	5.0	1							

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
P819	新生児発熱	無	2	0.0	3.5	2								
P920	新生児嘔吐	無	5	0.0	6.4	5								
Q031	ダンディ・ウォーカー症候群	無	2	9.0	5.5		1	1						
Q039	先天性水頭症	有	2	9.5	13.0			2						
Q054	髄膜瘤を伴う水頭症	有	1	12.0	10.0			1						
Q100	先天性眼瞼下垂	有	2	9.0	5.0			2						
Q170	副耳	有	3	1.0	3.3	3								
Q180	側頸のう胞	有	2	41.5	6.0					1	1			
Q181	先天性耳瘻孔	有	7	18.4	3.1		1	3		3				
Q205	修正大血管転位	無	1	0.0	11.0	1								
Q210	筋性部心室中隔欠損	無	1	0.0	1.0	1								
Q210	心室中隔欠損症	有	1	41.0	20.0						1			
		無	7	12.7	4.9	3	2				2			
Q211	心房中隔欠損症	有	3	34.0	14.7			1		1		1		
		無	2	33.5	3.5		1					1		
Q213	ファロー四徴症	無	2	23.0	13.5	1					1			
Q221	先天性肺動脈弁狭窄症	無	1	0.0	3.0	1								
Q234	心低形成症候群	有	1	1.0	15.0	1								
Q249	チアノーゼ性先天性心疾患	無	1	1.0	4.0	1								
Q251	大動脈弓離断症	無	1	2.0	3.0	1								
Q251	大動脈縮窄症	無	1	0.0	6.0	1								
Q265	門脈還流異常症	無	1	0.0	6.0	1								
Q282	脳動静脈奇形	有	1	12.0	36.0			1						
		無	1	62.0	2.0								1	
Q330	先天性嚢胞性腺腫様肺奇形	有	1	1.0	6.0	1								
Q359	口蓋裂	有	1	1.0	10.0	1								
Q379	唇顎口蓋裂	有	2	0.5	6.0	2								
		無	2	0.0	25.5	2								
Q379	片側性唇顎口蓋裂	有	1	1.0	6.0	1								
Q379	片側性唇顎裂	有	1	5.0	3.0		1							
Q381	舌小帯短縮症	有	1	4.0	3.0		1							
Q383	舌小帯付着位置異常	有	1	4.0	3.0		1							
Q388	梨状窩瘻	無	1	5.0	4.0		1							
Q400	肥厚性幽門狭窄症	有	1	0.0	7.0	1								
Q423b	高位鎖肛	有	2	0.0	10.5	2								
Q423b	鎖肛	有	3	0.0	15.3	3								
		無	2	0.0	4.0	2								
Q423b	低位鎖肛	有	1	0.0	12.0	1								
		無	1	0.0	4.0	1								
Q430	メッケル憩室	有	3	33.7	11.7			1		1			1	
Q431	ヒルシュスプルング病	有	1	0.0	10.0	1								
		無	2	0.0	7.0	2								
Q431	ヒルシュスプルング病の疑い	無	1	16.0	4.0			1						
Q433a	腸回転異常	有	1	0.0	14.0	1								
Q433a	腸回転異常の疑い	無	1	0.0	12.0	1								
Q438	慢性特発性偽性腸閉塞症	無	1	63.0	12.0								1	
Q442	胆道閉鎖症	有	1	0.0	25.0	1								
Q444	先天性胆道拡張症	有	2	48.0	9.0							2		
		無	1	46.0	2.0							1		
Q446	多発性肝のう胞	無	1	51.0	4.0							1		
Q505	傍卵巢のう胞	有	2	31.0	6.5					2				
Q531	停留精巣	有	3	5.0	3.0	1	1	1						
Q532	両側性停留精巣	有	11	3.7	3.0	8		3						
Q539	停留精巣(停留睾丸)	有	6	2.0	3.0	5	1							
Q642	先天性尿道弁の疑い	無	2	2.5	3.0	1	1							
Q643	先天性外尿道口狭窄症	有	1	4.0	3.0		1							
Q676	漏斗胸	有	1	13.0	15.0			1						
Q691	重複母指	有	1	0.0	3.0	1								
Q699	多指症	有	1	0.0	3.0	1								
Q699	多趾症	有	1	0.0	3.0	1								
Q704	多合指症	有	2	1.0	3.5	2								
Q704	多合趾症	有	3	0.0	5.3	3								
Q709	合指症	有	1	0.0	6.0	1								
		無	1	0.0	3.0	1								
Q709	合趾症	有	3	0.3	6.0	3								
		無	1	0.0	3.0	1								
Q750	頭蓋骨癒合症の疑い	無	1	0.0	5.0	1								
Q790	先天性横膈膜ヘルニア	有	2	0.0	21.0	2								
Q871	ドラング症候群	無	1	11.0	5.0			1						
Q890	無脾症候群	無	1	0.0	37.0	1								
Q892	正中頸のう胞	有	3	16.3	4.3	2					1			
Q900	減数分裂性不分離トリソミー21	無	1	6.0	3.0			1						
Q909	ダウン症候群	無	1	1.0	4.0	1								
Q910	減数分裂性不分離トリソミー18	無	1	1.0	22.0	1								
Q913	トリソミー18	有	1	0.0	29.0	1								
		無	3	0.3	143.3	3								
Q999	染色体異常	無	1	1.0	4.0	1								

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
Q999	染色体異常の疑い	無	1	31.0	1.0					1				
R040	鼻出血症	有	2	41.5	6.0					1	1			
R042	喀血	無	3	68.3	7.7						1	1	1	
R048	肺出血	有	1	75.0	17.0							1		
R049	気道出血	有	2	61.0	5.5						1	1		
R068	無呼吸発作の疑い	無	1	86.0	4.0									1
R11	アセトン血性嘔吐症	無	1	0.0	3.0	1								
R298	上肢筋力低下	無	2	7.0	2.0		1	1						
R402	意識障害	無	1	36.0	2.0					1				
R54	老衰	無	1	87.0	13.0									1
R55	失神	有	1	87.0	5.0									1
R560	熱性痙攣	無	1	83.0	9.0									1
R560	複雑型熱性痙攣	無	1	83.0	24.0									1
R568	間代性痙攣	無	33	2.5	2.9	22	5	6						
R568	間代性痙攣	無	5	0.8	3.0	5								
R568	泣き入りひきつけ	無	1	49.0	2.0						1			
R568	無熱性痙攣	無	1	0.0	3.0	1								
R568	痙攣発作	無	1	9.0	2.0			1						
R570	心原性ショック	無	1	87.0	6.0									1
R610	手掌多汗症	無	1	89.0	1.0									1
R628	体重増加不全	有	2	29.5	3.0				1	1				
R630	食欲不振	無	1	0.0	5.0	1								
S000	頭部打撲	無	1	82.0	9.0									1
S008	顔面打撲傷	無	1	42.0	2.0							1		
S010	後頭部挫創	無	1	84.0	8.0									1
S010	後頭部裂創	有	2	84.0	3.0								1	1
S010	側頭部挫創	有	1	17.0	2.0				1					
S010	側頭部挫創	有	1	93.0	2.0									1
S010	側頭部挫創	無	1	75.0	2.0								1	
S010	頭部挫創	有	2	58.5	6.0					1				1
S010	頭部挫創	無	2	35.5	1.5	1							1	
S010	頭部裂創	有	1	75.0	3.0								1	
S015	上嘴唇裂創	無	1	47.0	5.0						1			
S018	顔面皮膚欠損創	有	1	0.0	2.0	1								
S018	顔面裂創	有	1	69.0	1.0								1	
S0200	前頭骨骨折	無	1	53.0	4.0						1			
S0200	頭頂骨陥没骨折	有	1	7.0	2.0			1						
S0201	前頭骨開放骨折	有	1	9.0	3.0			1						
S0210	側頭骨骨折	無	1	2.0	6.0	1								
S0220	鼻骨骨折	有	4	46.3	7.3			2						2
S0230	眼窩底骨折	有	5	32.6	8.8				1	3	1			
S0230	眼窩底骨折	無	1	56.0	2.0						1			
S0231	眼窩底開放骨折	有	1	29.0	4.0					1				
S0240	頬骨弓骨折	有	1	40.0	2.0					1				
S0240	頬骨骨折	有	10	56.1	10.1				1	1	3	5		
S0240	頬骨骨折	無	1	31.0	6.0					1				
S0241	頬骨開放骨折	有	1	76.0	9.0								1	
S0260	下顎骨骨折	有	9	47.4	14.3				2	2	2	1	2	
S0260	下顎骨多発骨折	有	1	49.0	8.0						1			
S0270	顔面多発骨折	有	1	75.0	28.0								1	
S0270	顔面多発骨折	無	1	61.0	22.0								1	
S0270	頭蓋骨および顔面骨を含む多発骨折	無	1	39.0	14.0					1				
S0280	眼窩骨折	有	2	45.0	8.5				1				1	
S0280	眼窩骨折	無	1	23.0	5.0					1				
S0280	眼窩内側壁骨折	有	1	15.0	8.0			1						
S0280	眼窩内側壁骨折	有	1	21.0	5.0					1				
S0291	頭蓋骨開放骨折	無	1	35.0	12.0					1				
S030	顎関節前方脱臼	有	1	78.0	74.0								1	
S032	外傷性歯の亜脱臼	有	1	28.0	7.0					1				
S032	外傷性歯の亜脱臼	無	1	47.0	9.0							1		
S040	外傷性視神経損傷	無	1	53.0	2.0							1		
S045	外傷性顔面神経麻痺	有	1	43.0	16.0							1		
S052	眼球破裂(眼球内組織の脱出、喪失を伴うもの)	有	2	81.0	8.5									2
S053	角膜裂傷	有	1	10.0	9.0			1						
S053	眼球破裂	有	2	68.5	9.5							1	1	
S056	外傷性角膜穿孔	無	1	61.0	13.0								1	
S058	涙管断裂	有	1	1.0	9.0	1								
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	5	31.4	3.0				1	1	2		1	
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	12	33.7	3.5	1	2			5	2	2		
S0610	外傷性脳浮腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	24.0	18.0					1				
S0620	びまん性脳損傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	83.0	15.0									1
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	78.0	31.0								1	
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	54.0	12.5					1			1	
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	2	81.0	24.0									2
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	5	58.6	16.4			1			1	2	1	
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	6	64.8	17.3						3	2	1	
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	89.0	11.0									2

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	有	36	82.2	12.8							12	24	
		無	2	82.5	50.0							1	1	
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	17	77.8	37.2						2	7	8	
		無	20	74.4	10.5							12	7	
S0651	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	46.0	10.0						1			
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	5	53.4	30.8				1			1	3	
		無	12	66.3	9.6						1	9	1	
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なしの疑い	無	1	2.0	2.0	1								
S0680	外傷性脳室内出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	69.0	20.0							1		
S070	顔面挫滅創	有	1	68.0	2.0							1		
S092	外傷性鼓膜穿孔	有	2	4.5	3.5			2						
S099	顔面損傷	有	1	68.0	5.0							1		
S099	口腔内損傷	無	1	6.0	2.0			1						
S1210	ハングマン骨折	有	1	22.0	18.0						1			
S1210	歯突起骨折	有	4	84.0	19.0								4	
		無	1	34.0	3.0						1			
S1210	軸椎骨折	有	5	75.2	19.2						1	1	3	
S1220	頸椎骨折	有	2	61.5	11.5							1	1	
		無	1	66.0	8.0							1		
S1220	頸椎脱臼骨折	有	1	85.0	19.0								1	
S1220	頸椎棘突起骨折	有	1	64.0	3.0							1		
S1270	頸椎多発骨折	有	2	68.0	16.5							1	1	
		無	2	78.5	14.5							1	1	
S1280	甲状軟骨骨折	無	1	53.0	10.0						1			
S1290	頸椎圧迫骨折	有	1	25.0	13.0						1			
S1290	頸椎脱臼骨折	有	1	67.0	18.0							1		
S1290	頸椎椎弓骨折	有	1	41.0	6.0						1			
S1290	頸椎椎体骨折	有	1	87.0	16.0								1	
		無	1	79.0	6.0							1		
S1290	頸椎棘突起骨折	有	1	74.0	8.0							1		
		無	1	63.0	9.0							1		
S131	外傷性頸椎椎間板ヘルニア	有	2	67.0	13.5							2		
		無	2	67.0	2.0							2		
S131	環軸関節亜脱臼	有	3	58.0	13.3			1					2	
		無	1	83.0	2.0								1	
S131	環軸椎関節亜脱臼	無	1	60.0	2.0						1			
S131	頸椎亜脱臼	有	1	88.0	12.0								1	
S131	頸椎脱臼	有	1	71.0	12.0							1		
S134	外傷性頸部症候群	無	1	55.0	2.0						1			
S134	頸椎捻挫	無	2	28.0	1.5					2				
S140	頸髄振盪	無	1	15.0	10.0			1						
S141	下位頸髄損傷	有	1	36.0	28.0					1				
S141	頸髄硬膜外血腫	有	1	87.0	9.0								1	
		無	1	58.0	7.0						1			
S141	頸髄損傷	有	7	73.1	36.0							6	1	
		無	4	72.8	10.0						1	1	2	
S141	頸髄不全損傷	無	3	76.7	5.3							1	2	
S141	頸椎損傷	有	2	73.0	26.0							2		
S141	中心性頸髄損傷	有	4	55.8	20.3					1	2	1		
		無	11	61.5	5.8			1			4	4	2	
S141	非骨傷性頸髄損傷	有	1	56.0	8.0						1			
		無	3	79.3	17.3							2	1	
S202	胸部打撲傷	無	4	42.3	2.0				1	1	1	1		
S202	前胸部打撲傷	無	2	46.5	3.0						2			
S2200	胸椎圧迫骨折	有	5	79.6	21.6								3	2
		無	6	79.7	9.7								3	3
S2200	胸椎骨折	有	5	51.4	12.2						2	1	1	
		無	1	81.0	3.0								1	
S2200	胸椎脱臼骨折	有	1	91.0	8.0								1	
S2200	胸椎椎体骨折	有	2	71.5	16.5						1		1	
S2200	胸椎破裂骨折	有	1	78.0	6.0							1		
S2200	胸椎破裂骨折	有	8	69.5	10.3						2	3	3	
S2210	胸椎多発破裂骨折	有	2	71.5	23.0							1	1	
S2220	胸骨骨折	無	4	63.5	5.3						2	1	1	
S2230	多発肋骨骨折	有	1	81.0	5.0								1	
S2230	肋骨骨折	有	1	69.0	2.0								1	
		無	6	62.3	4.2				1		1	3	1	
S2240	肋骨多発骨折	有	3	65.7	10.3					1		1	1	
		無	5	55.0	8.6					1	3	1		
S250	胸部大動脈損傷	有	2	72.0	25.5							2		
S2700	閉鎖性外傷性気胸	有	1	60.0	11.0							1		
		無	1	49.0	13.0						1			
S2710	閉鎖性外傷性血胸	有	2	83.5	13.0								1	
		無	3	79.3	21.3							2	1	
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	有	2	79.5	30.5							1	1	
		無	2	79.5	11.0							1	1	
S2730	肺挫傷・胸腔に達する開放創合併なし	無	1	63.0	4.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S309	腹部打撲傷	無	2	6.0	2.0		1	1						
S3200	腰椎圧迫骨折	有	6	72.7	12.5							5	1	
S3200	腰椎横突起骨折	無	6	70.7	8.3						2	2	2	
S3200	腰椎骨折	無	3	44.3	2.3					1	1	1		
S3200	腰椎骨折	有	1	43.0	8.0						1			
S3200	腰椎骨折	無	1	90.0	28.0								1	
S3200	腰椎脱臼骨折	有	3	71.7	15.3							3		
S3200	腰椎脱臼骨折	無	1	68.0	2.0							1		
S3200	腰椎椎体骨折	有	6	61.7	15.5					2		3	1	
S3200	腰椎椎体骨折	無	3	59.0	5.7					1		2		
S3200	腰椎破裂骨折	有	17	58.3	11.7			1		2	4	8	2	
S3200	腰椎破裂骨折	無	5	55.4	18.0					2	1		2	
S3210	仙骨骨折	有	1	85.0	22.0								1	
S3210	仙骨骨折	無	3	34.7	5.3			1	1	1				
S3230	腸骨骨折	有	1	93.0	3.0								1	
S3230	腸骨骨折	無	3	64.0	10.7					1		1	1	
S3240	寛骨臼骨折	有	4	46.8	26.0					1	2	1		
S3240	寛骨臼骨折	無	1	52.0	6.0						1			
S3250	恥骨骨折	有	1	93.0	16.0								1	
S3250	恥骨骨折	無	2	79.0	7.0							1	1	
S3270	腰椎横突起多発骨折	無	1	40.0	1.0					1				
S3270	腰椎多発圧迫骨折	有	1	59.0	7.0						1			
S3270	腰椎多発圧迫骨折	無	1	83.0	5.0								1	
S3270	腰椎多発骨折	有	3	40.0	11.7					2		1		
S3270	骨盤多発骨折	有	1	31.0	34.0					1				
S3280	骨盤骨折	有	2	60.5	21.5						1	1		
S3280	骨盤骨折	無	6	60.0	30.5					1	1	3	1	
S3280	骨盤輪骨折	有	1	21.0	13.0					1				
S335	腰椎捻挫	無	1	58.0	5.0						1			
S352	肝動脈損傷	有	1	80.0	20.0								1	
S358	腰動脈損傷	有	1	84.0	14.0								1	
S3600	脾損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	16.0	9.0				1					
S3600	脾損傷・腹腔に達する開放創合併なし	無	2	10.5	7.5			2						
S3601	脾損傷・腹腔に達する開放創合併あり	有	1	72.0	1.0							1		
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	3	49.7	15.3					1	1	1		
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	無	3	38.3	6.3					2	1			
S3640	閉鎖性小腸損傷	有	1	25.0	7.0					1				
S3680	外傷性腹腔内出血	無	1	58.0	3.0						1			
S3680	外傷性腹腔内出血の疑い	有	1	41.0	2.0						1			
S3680	閉鎖性腸間膜損傷	有	2	71.0	33.0							2		
S3680	閉鎖性腸間膜損傷	無	1	56.0	4.0						1			
S3681	開放性腸間膜損傷	有	1	37.0	8.0					1				
S3700	腎損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	無	2	45.0	24.0			1				1		
S3700	閉鎖性腎損傷	無	2	13.0	3.5			2						
S3710	尿管損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	有	1	48.0	4.0						1			
S3710	閉鎖性尿管断裂	有	1	47.0	13.0						1			
S3721	膀胱損傷・骨盤腔に達する開放創合併あり	有	1	53.0	12.0						1			
S390	殿部筋肉内血腫	無	1	66.0	7.0							1		
S390	腹壁筋肉内血腫	無	1	83.0	2.0								1	
S4200	鎖骨遠位端骨折	有	6	53.3	8.5					2	2	1	1	
S4200	鎖骨遠位端骨折	無	1	89.0	3.0								1	
S4200	鎖骨骨幹部骨折	有	8	47.1	7.4				2	1	2	3		
S4200	鎖骨骨幹部骨折	無	1	12.0	2.0			1						
S4200	鎖骨骨折	有	3	44.7	7.0					1	2			
S4210	肩関節脱臼骨折	有	2	76.0	17.0							1	1	
S4210	肩甲骨烏口突起骨折	有	1	68.0	12.0							1		
S4220	上腕骨近位端骨折	有	5	71.4	11.0							4	1	
S4230	上腕骨骨幹部骨折	有	5	54.6	12.4			2				1	2	
S4231	上腕骨骨幹部開放骨折	有	1	53.0	4.0						1			
S4240	上腕骨遠位端骨折	有	3	84.7	11.7							1	2	
S4240	上腕骨外顆骨折	有	2	8.0	3.5			2						
S4240	上腕骨滑車骨折	有	1	79.0	9.0							1		
S4240	上腕骨通顆閉鎖骨折	有	1	87.0	28.0								1	
S4240	上腕骨内上顆骨折	有	3	11.3	3.0			3						
S4240	上腕骨顆上骨折	有	5	36.0	5.8			3				1	1	
S4241	上腕骨遠位端開放骨折	有	1	59.0	19.0						1			
S431	肩鎖関節脱臼	有	3	55.0	4.0						2	1		
S460	肩腱板断裂	有	1	80.0	4.0								1	
S460	肩腱板不全断裂	無	1	76.0	25.0							1		
S510	肘関節挫創	有	1	15.0	2.0			1						
S5200	モンテジア骨折	有	1	7.0	2.0			1						
S5200	尺骨近位端骨折	有	1	38.0	3.0					1				
S5200	肘頭骨折	有	5	31.4	4.8			3			1		1	
S5201	肘関節開放性脱臼骨折	有	1	72.0	3.0							1		
S5210	橈骨近位端骨折	有	1	5.0	3.0			1						
S5210	橈骨頸部骨折	有	1	9.0	4.0			1						
S5230	橈骨骨幹部骨折	有	2	22.5	4.5				1	1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S5240	橈骨尺骨骨幹部骨折	有	2	28.5	9.0			1			1			
S5240	橈骨尺骨骨折	有	1	17.0	5.0				1					
S5241	橈骨尺骨骨幹部開放骨折	有	2	37.5	63.0					1	1			
S5250	橈骨遠位端骨折	有	22	61.2	5.2				1	2	5	11	3	
S5251	橈骨遠位端開放骨折	有	1	78.0	15.0								1	
S5260	橈骨尺骨遠位端骨折	有	4	37.5	3.8			2			1	1		
S5280	橈骨骨折	有	1	12.0	7.0			1						
S5281	尺骨遠位端開放骨折	有	1	55.0	29.0						1			
S533	肘関節内側副靭帯損傷	有	1	53.0	19.0						1			
S540	尺骨神経損傷	有	1	70.0	4.0								1	
S561	手指屈筋腱断裂	有	1	62.0	23.0								1	
S563	長母指伸筋腱断裂	有	2	58.5	2.0						1	1		
S618	手掌切創	有	1	43.0	8.0						1			
S618	手背皮膚欠損創	有	1	78.0	15.0								1	
S6231	中手骨開放骨折	有	1	68.0	6.0								1	
S6250	母指基節骨骨折	有	1	37.0	3.0					1				
S6251	母指開放骨折	有	1	49.0	6.0						1			
S6251	母指末節骨開放骨折	有	1	63.0	5.0								1	
S6260	中指開放性PIP関節脱臼骨折	有	1	72.0	11.0								1	
S6261	環指末節骨開放骨折	有	2	11.0	3.0			2						
S6261	示指開放骨折	有	1	82.0	14.0									1
S6261	示指末節骨開放骨折	有	1	24.0	7.0					1				
S6271	手指多発開放骨折	有	1	24.0	19.0					1				
S630	母指CM関節脱臼	有	1	20.0	2.0			1						
S655	手指血管損傷	有	1	74.0	5.0								1	
S660	長母指屈筋腱断裂	有	1	46.0	5.0						1			
S662	母指伸筋腱断裂	有	1	65.0	4.0								1	
S670	手指挫減創	有	1	50.0	18.0						1			
S678	手圧挫傷	有	1	89.0	15.0									1
S680	母指切断	有	2	45.0	60.0					1		1		
S681	示指切断	有	2	65.0	13.5						1	1		
S681	手指切断	有	3	40.0	20.7	1					2			
S681	手指不全切断	有	2	50.5	9.0					1		1		
S681	中指不全切断	有	1	50.0	8.0						1			
S682	多指切断	有	1	65.0	35.0							1		
S697	手多発性損傷	有	1	42.0	8.0						1			
S700	股関節打撲傷	無	1	29.0	6.0					1				
S711	大腿皮膚欠損創	有	1	43.0	23.0						1			
S7200	大腿骨頸部骨折	有	67	79.3	15.4						5	22	40	
S7200	大腿骨骨頭骨折	無	2	91.0	13.5									2
S7200	大腿骨骨頭骨折	無	1	97.0	12.0									1
S7210	大腿骨転子部骨折	有	54	87.2	15.1						1	5	48	
S7210	大腿骨転子部骨折	無	2	55.0	20.5						1	1		
S7220	転子下骨折	有	1	71.0	19.0							1		
S7230	大腿骨骨幹部骨折	有	7	66.9	21.0						2	3	2	
S7240	大腿骨遠位端骨折	有	1	95.0	24.0									1
S7240	大腿骨外顆骨折	有	1	81.0	38.0									1
S7240	大腿骨内顆骨折	有	1	56.0	5.0						1			
S7240	大腿骨顆上骨折	有	2	96.5	12.0									2
S750	深大腿動脈損傷	有	1	75.0	13.0								1	
S801	下腿挫傷	有	1	90.0	3.0									1
S801	下腿皮下血腫	有	1	71.0	51.0								1	
S801	下腿部皮下血腫	無	1	73.0	3.0								1	
S801	下腿部皮下血腫	無	1	69.0	2.0								1	
S819	下腿挫創	無	1	53.0	8.0						1			
S8200	膝蓋骨骨折	有	1	63.0	12.0							1		
S8201	膝蓋骨開放骨折	有	2	50.5	10.5			1						1
S8210	前十字靭帯付着部剥離骨折	有	2	10.5	4.0			2						
S8210	脛骨近位端骨折	有	2	66.0	10.0						1	1		
S8210	脛骨高原骨折	有	5	71.4	21.0						1	3	1	
S8210	脛骨腓骨近位端骨折	有	1	84.0	12.0									1
S8211	脛骨近位端開放骨折	有	1	83.0	21.0									1
S8220	脛骨骨幹部骨折	有	3	35.3	23.7			1		1			1	
S8220	脛骨骨幹部骨折	無	1	6.0	7.0			1						
S8220	脛骨腓骨骨幹部骨折	有	4	55.0	13.5						2	2		
S8221	脛骨骨幹部開放骨折	有	3	30.0	22.0			2				1		
S8221	脛骨腓骨骨幹部開放骨折	有	2	32.0	9.0					2				
S8230	脛骨遠位端骨折	有	1	76.0	16.0								1	
S8230	脛骨天蓋骨折	有	1	62.0	47.0								1	
S8230	脛骨腓骨遠位端骨折	有	2	67.5	21.0						1			1
S8231	脛骨遠位端開放骨折	有	1	17.0	59.0			1						
S8231	脛骨腓骨遠位端開放性粉碎骨折	有	1	29.0	73.0					1				
S8240	腓骨頭骨折	有	1	23.0	4.0					1				
S8241	腓骨開放骨折	有	1	70.0	7.0								1	
S8250	足関節内果骨折	無	1	57.0	8.0						1			
S8260	足関節外果骨折	有	2	47.5	13.0					1			1	
S8270	下腿多発骨折	有	1	30.0	27.0					1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S8280	足関節部骨折	有	1	62.0	6.0								1	
S8280	足関節骨折	有	3	55.7	10.0					1			1	1
S8280	足関節脱臼骨折	有	5	41.8	13.8					2	3			
S8281	足関節開放骨折	有	1	44.0	43.0						1			
S830	内側膝蓋大腿靭帯損傷	有	1	14.0	4.0			1						
S832	外側半月板損傷	有	2	54.0	7.0					1			1	
S832	外側半月板断裂	有	1	26.0	9.0					1				
S832	内側半月板損傷	有	3	50.7	3.7						3			
S832	内側半月板断裂	有	2	65.0	7.5								2	
S835	前十字靭帯損傷	有	1	29.0	17.0					1				
S836	膝外傷性滑膜炎	有	1	12.0	3.0			1						
S841	総腓骨神経断裂	有	1	94.0	25.0									1
S860	アキレス腱断裂	有	4	62.5	16.0					1			2	1
S860	アキレス腱断裂	無	1	43.0	10.0						1			
S863	腓骨筋断裂	有	1	54.0	8.0						1			
S863	腓腹筋挫傷	無	1	22.0	2.0					1				
S868	下腿筋肉内血腫	無	1	85.0	2.0									1
S878	下腿挫減創	有	1	46.0	34.0							1		
S911	母趾皮膚欠損創	有	2	61.0	13.0								2	
S913	足挫創	有	1	56.0	47.0							1		
S9201	踵骨開放骨折	無	2	51.5	4.0						1		1	
S9210	距骨骨折	無	1	27.0	5.0					1				
S9211	距骨開放骨折	有	1	45.0	13.0						1			
S9230	リスフラン関節脱臼骨折	有	1	42.0	19.0						1			
S9230	中足骨骨折	有	1	36.0	4.0					1				
S9230	中足骨骨折	無	1	54.0	2.0						1			
S9241	母趾基節骨開放骨折	有	1	76.0	22.0								1	
S9241	母趾末節骨開放骨折	有	2	46.5	4.0					1	1			
S981	趾切断	有	1	8.0	17.0			1						
T009	全身打撲	無	2	47.0	2.5					1	1			
T009	多発性擦過創	有	1	20.0	2.0				1					
T0210	胸腰椎圧迫骨折	無	1	82.0	2.0				1					1
T0240	両側上肢多発骨折	有	1	84.0	25.0									1
T0250	両側下肢多発骨折	有	5	73.2	40.0						1	2	2	
T0260	上肢多発骨折・下肢骨折合併	有	1	86.0	24.0									1
T0280	多部位骨折	有	5	54.0	21.2					2	1	1	1	1
T0280	多部位骨折	無	1	84.0	11.0									1
T0280	複合部位の骨折	有	2	66.0	45.5						1			1
T068	多部位損傷	有	1	87.0	73.0									1
T07	多発性外傷	有	1	93.0	10.0									1
T093	脊髄損傷	有	1	81.0	16.0									1
T141	下唇裂傷	有	1	74.0	5.0								1	
T141	舌裂傷	有	1	1.0	3.0	1								
T1420	関節突起骨折	有	1	50.0	9.0							1		
T148	高エネルギー外傷	有	3	45.0	4.0				1		1	1		
T148	高エネルギー外傷	無	4	27.0	2.3			1		2	1			
T174	気管異物	無	1	65.0	12.0								1	
T181	食道異物	有	4	2.0	2.5	4								
T182	胃内異物	有	1	1.0	2.0	1								
T189	異物誤飲	無	2	8.5	2.0			1	1					
T193	子宮内異物	有	1	54.0	3.0						1			
T212	胸部第2度熱傷	無	1	0.0	13.0	1								
T213	背部第3度熱傷	無	1	75.0	9.0								1	
T242	下肢第2度熱傷	無	1	89.0	2.0									1
T242	下腿部第2度熱傷	無	1	36.0	5.0					1				
T243	下肢第3度熱傷	有	1	74.0	54.0								1	
T243	大腿部第3度熱傷	有	1	79.0	74.0								1	
T252	足第2度熱傷	有	1	83.0	28.0									1
T273	気道熱傷	無	1	87.0	10.0									1
T273	気道熱傷の疑い	無	1	47.0	2.0						1			
T290	全身熱傷	有	1	81.0	11.0									1
T292	上半身第2度熱傷	無	1	5.0	6.0					1				
T292	多発性第2度熱傷	無	3	11.0	10.7	2				1				
T293	下半身第3度熱傷	有	2	42.5	49.0						2			
T293	全身第3度熱傷	有	1	71.0	113.0								1	
T303	下腿第3度熱傷	有	1	57.0	34.0						1			
T390	アスピリン中毒	無	1	25.0	4.0					1				
T393	イブプロフェン中毒	無	1	19.0	2.0				1					
T424	ベンゾジアゼピン中毒	無	5	47.8	4.2			1		1	1	1	1	1
T427	睡眠剤中毒	無	1	69.0	2.0								1	
T435	抗精神病薬中毒	無	2	9.5	2.5	1			1					
T460	ジギタリス中毒	無	1	85.0	18.0									1
T509	医薬品中毒の疑い	無	1	23.0	2.0						1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
T509	急性薬物中毒	有	1	81.0	2.0									1
		無	3	48.3	2.3						3			
T510	エチルアルコール中毒	無	1	2.0	2.0	1								
T55	洗剤中毒	無	1	52.0	3.0						1			
T58	一酸化炭素中毒	無	2	44.5	2.5						2			
T611	ヒスタミン様症候群	無	1	77.0	2.0							1		
T630	マムシ咬傷	無	8	59.0	4.9					2	1	4	1	
T634	蜂刺によるアナフィラキシーショック	無	6	60.0	2.2						4	2		
T652	タバコ誤飲	無	1	0.0	2.0	1								
T670	熱射病	無	1	39.0	3.0					1				
T678	熱中症	無	12	64.5	9.1					2	2	4	4	
		有	2	67.5	9.5							2		
T68	低体温	無	8	73.4	13.1	1						2	5	
T71	胸部圧迫による窒息	無	1	52.0	1.0						1			
		有	1	83.0	1.0									1
T751	溺水	無	1	16.0	11.0				1					
T754	電撃傷	無	1	32.0	2.0					1				
T780	牛乳によるアナフィラキシーショック	無	1	0.0	2.0	1								
T780	食物によるアナフィラキシーショック	無	7	56.1	2.1			1			3	3		
T781	牛乳アレルギー	無	2	1.5	4.5	2								
T781	食物アレルギー	無	1	1.0	1.0	1								
T781	卵アレルギー	無	3	5.7	2.0		2	1						
T782	アナフィラキシー	無	2	2.5	1.5	1	1							
T782	アナフィラキシーショック	無	1	44.0	1.0						1			
T783	血管神経性浮腫	無	1	20.0	5.0				1					
T791	外傷性脂肪塞栓症の疑い	無	1	12.0	2.0			1						
T794	外傷性出血性ショック	有	1	74.0	62.0							1		
T797	外傷性縦隔気腫	有	1	89.0	7.0									1
		無	2	96.0	11.5									2
T810	術後出血	有	2	73.5	7.0							2		
T810	生検後出血	有	1	84.0	5.0									1
T810	抜歯後出血	有	2	85.5	7.0									2
T811	術後出血性ショック	有	1	71.0	7.0							1		
T812	術後リンパ漏	無	1	47.0	4.0						1			
T814	MRSA術後創部感染	有	1	67.0	48.0							1		
T814	アキレス腱術後創部感染	有	1	66.0	28.0							1		
T814	腰椎術後感染症	有	1	23.0	14.0					1				
T814	骨盤部感染性リンパのう胞	有	1	59.0	14.0						1			
T814	手術創部膿瘍	無	1	91.0	40.0									1
T814	術後感染症	有	1	85.0	21.0									1
T814	術後創部感染	無	3	67.0	13.0						1	2		
T814	術後腹腔内膿瘍	有	3	60.3	8.0						1	2		
T814	抜歯後感染	無	1	68.0	16.0							1		
T818	吻合部狭窄	有	1	73.0	2.0							1		
T821	ペースメーカーリード感染	有	2	60.5	79.0						1	1		
		有	23	78.7	7.8						2	8	13	
		無	1	80.0	2.0									1
T821	ペースメーカー不全	有	2	80.0	7.0							1	1	
T821	植込型除細動器電池消耗	有	3	60.3	6.3						2			1
T825	透析シャント機能低下	有	1	73.0	2.0							1		
T826	人工弁感染	有	2	75.5	88.5							2		
		無	1	74.0	64.0							1		
T827	ペースメーカー植え込み後感染症	有	2	79.0	38.0							1	1	
T827	移植人工血管感染	無	1	82.0	26.0									1
T827	中心静脈カテーテル感染症	有	2	61.0	17.0						1	1		
T827	透析シャント感染症	無	1	67.0	23.0							1		
T828	ペースメーカー植え込み後皮膚圧迫壊死	有	2	62.5	9.0						1			1
T828	ペースメーカー植え込み後創部血腫	有	1	81.0	14.0									1
T828	冠動脈ステント留置後再狭窄	有	1	77.0	4.0							1		
T828	透析シャント仮性動脈瘤	有	1	47.0	23.0						1			
		有	6	70.0	3.2						2	1	3	
		無	1	77.0	2.0							1		
T828	透析シャント閉塞	有	1	82.0	3.0									1
T835	尿管ステント交換後腎盂腎炎	無	1	87.0	4.0									1
T840	股関節人工関節のゆるみ	有	1	66.0	18.0							1		
T840	人工股関節脱臼	有	1	65.0	37.0							1		
T842	ワイヤーによる胸骨周囲炎	有	2	80.5	2.0									2
T843	顎骨内異物	有	1	17.0	4.0			1						
T845	股関節人工関節感染	有	1	69.0	21.0							1		
T845	膝関節人工関節感染	有	2	86.0	91.0									2
T852	眼内レンズ脱臼	有	1	91.0	13.0									1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
T857	乳房インプラント感染	有	1	70.0	7.0								1	
T858	移植腎動脈狭窄の疑い	無	1	68.0	3.0								1	
T886	薬剤によるアナフィラキシーショック	無	4	56.8	2.3					1	1	2		
T888	頸椎インプラント破損	有	1	48.0	14.0						1			
T888	腰椎インプラント破損	有	1	80.0	9.0									1
T911	腰椎陳旧性圧迫骨折	有	1	69.0	16.0								1	
Z520	末梢血幹細胞移植ドナー	有	3	38.3	4.7					2	1			
Z523	骨髄移植ドナー	有	9	42.4	4.0			1		2	5	1		
Z524	腎移植ドナー	有	10	58.5	13.0					1	4	5		

2 外来患者数(前年度対比)

上段:29年度
下段:30年度

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	447	565	579	596	602	553	579	575	576	581	573	546	6,772
	510	594	579	571	624	525	585	500	493	491	422	417	6,311
心療内科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	132	124	136	136	151	143	146	139	155	132	139	159	1,692
	81	84	86	81	103	73	100	83	100	92	88	101	1,072
地域医療科	9	9	9	9	9	8	10	11	8	9	8	8	107
	8	7	8	9	8	8	8	9	6	7	9	4	91
血液内科・輸血科	590	574	665	636	635	654	699	641	614	631	563	683	7,585
	593	717	668	692	667	624	696	730	722	744	702	780	8,335
代謝・内分泌科	336	278	353	325	328	319	329	320	314	332	303	338	3,875
	302	349	344	358	368	344	383	390	413	384	372	403	4,410
放射線療法科	180	122	141	137	166	170	256	241	212	178	214	224	2,241
	169	200	291	265	230	203	345	371	242	278	423	293	3,310
感染症科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍内科	404	472	410	395	401	417	416	390	375	404	417	403	4,904
	395	472	462	415	414	398	477	425	382	392	385	370	4,987
ペインクリニック	335	361	368	332	333	312	332	323	313	280	271	336	3,896
	275	338	302	300	366	331	357	334	354	338	301	328	3,924
放射線科	18	24	28	19	17	22	31	27	20	39	32	17	294
	15	19	16	24	26	19	29	33	27	24	25	27	284
神経内科	53	68	70	74	68	73	65	53	67	73	68	80	812
	74	74	84	90	69	93	91	79	97	75	90	96	1,012
脳神経外科	328	301	342	340	356	247	305	309	323	301	307	269	3,728
	284	296	326	270	333	242	285	301	266	242	268	283	3,396
眼科	580	564	631	625	638	600	565	578	612	428	448	507	6,776
	460	467	508	521	520	558	555	539	549	535	515	629	6,356
耳鼻咽喉科	833	895	994	892	797	876	963	784	961	837	921	891	10,644
	977	896	750	873	824	724	911	816	860	801	761	857	10,050
歯科口腔外科	1,375	1,459	1,606	1,497	1,667	1,445	1,561	1,511	1,688	1,505	1,472	1,573	18,359
	1,422	1,749	1,602	1,605	1,575	1,317	1,727	1,552	1,505	1,463	1,458	1,612	18,587
呼吸器内科	570	614	601	600	430	497	499	470	478	452	422	412	6,045
	331	299	332	328	318	290	323	348	332	307	317	366	3,891
呼吸器外科	278	277	271	271	306	272	309	287	286	268	271	302	3,398
	255	291	249	276	326	279	311	289	299	292	292	307	3,466
循環器内科	649	676	731	658	651	658	717	711	712	698	713	748	8,322
	693	778	715	707	696	696	790	730	725	676	679	683	8,568
心臓血管外科	303	342	346	327	279	306	333	331	355	338	281	379	3,920
	277	375	337	376	292	301	356	334	329	336	273	311	3,897
乳腺・甲状腺外科	324	350	377	383	403	360	307	288	334	306	310	396	4,138
	364	304	347	372	380	399	424	419	390	339	367	414	4,519
消化器内科	367	366	407	364	397	338	359	392	363	339	354	352	4,398
	344	379	314	354	399	297	450	423	396	337	370	422	4,485
消化器外科・一般外科	972	1,019	1,059	1,002	1,104	1,117	1,069	959	1,053	1,079	964	1,143	12,540
	1,003	1,046	996	1,052	1,117	971	1,075	968	1,008	939	942	967	12,084
泌尿器科	546	496	615	565	587	586	603	526	559	510	469	643	6,705
	554	536	587	615	578	595	644	565	542	511	485	571	6,783
腎臓内科・膠原病科	263	330	315	312	322	316	301	300	311	291	296	359	3,686
	319	344	311	369	377	290	356	331	345	335	296	320	3,993
婦人科	639	683	766	634	728	658	754	705	678	662	667	718	8,292
	651	659	609	663	655	564	727	652	669	643	621	669	7,782
生殖医療科	239	273	274	235	268	219	256	225	215	242	225	242	2,913
	225	292	248	271	249	256	297	255	219	228	212	234	2,986
移植外科	223	222	188	180	194	215	224	199	183	201	204	203	2,436
	184	212	209	272	224	220	235	201	226	220	193	198	2,594
救命救急科	757	909	774	948	873	776	790	797	858	1,012	887	763	10,144
	730	840	739	880	776	833	699	651	778	1,043	639	745	9,353
集中治療科	2	2	0	1	4	3	1	1	2	1	6	2	25
	2	4	0	1	2	0	1	0	3	3	3	4	23
麻酔科	1	2	3	0	2	0	2	1	1	2	0	2	16
	0	1	2	0	0	1	3	1	0	0	2	0	10
小児科	1,329	1,416	1,476	1,401	1,665	1,429	1,460	1,518	1,562	1,355	1,303	1,614	17,528
	1,258	1,321	1,307	1,413	1,544	1,248	1,368	1,469	1,409	1,280	1,248	1,451	16,316
小児外科	201	184	185	222	234	220	148	190	225	197	166	201	2,373
	200	187	175	227	271	163	170	151	164	143	164	203	2,218
産科	935	924	973	874	934	869	899	832	855	786	767	813	10,461
	772	814	783	782	890	716	781	756	750	725	701	716	9,186
皮膚科	608	576	616	561	598	564	631	577	609	576	477	619	7,012
	535	579	571	590	574	519	594	575	551	508	499	527	6,622
整形外科	708	723	855	810	882	738	795	843	862	823	807	840	9,686
	664	743	708	723	750	667	775	758	775	721	672	727	8,683
形成外科	170	185	199	177	199	167	195	177	185	170	163	221	2,208
	151	153	172	205	274	193	203	209	183	184	171	187	2,285
緩和ケア内科	185	205	179	184	159	150	181	146	141	171	188	189	2,078
	154	157	179	162	173	137	178	170	177	154	152	162	1,945
児童精神科	157	199	210	220	249	231	248	251	250	251	215	252	2,743
	219	246	232	259	257	192	258	250	249	245	230	269	2,906
29年度合計	16,046	16,789	17,752	16,943	17,636	16,528	17,338	16,828	17,316	16,480	15,861	17,457	202,754
30年度合計	15,450	16,822	16,148	16,971	17,249	15,286	17,567	16,667	16,535	16,036	15,347	16,843	196,720
29年度検診等合計	463	450	488	438	501	406	408	392	387	391	368	411	5,103
30年度検診等合計	427	386	365	356	418	386	393	337	342	328	322	363	4,423
増減数	-596	33	-1,604	28	-387	-1,242	229	39	-781	-425	-514	-814	-6,034
増減率	-3.7%	0.2%	-9.0%	0.2%	-2.2%	-7.5%	1.3%	0.2%	-4.5%	-2.6%	-3.2%	-4.7%	-3.0%

増減数…30年度合計-29年度合計

増減率…増減数/29年度合計

3 全科疾病分類別上位頻度表

I 感染症及び寄生虫症		ICDコード	件数	%
1	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	53	20.5%
2	その他の敗血症	A41	50	19.4%
3	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	36	14.0%
4	その他の細菌性腸管感染症	A04	22	8.5%
5	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されたもの	A15	9	3.5%
6	その他の腸蠕虫症, 他に分類されないもの	B81	8	3.1%
7	带状疱疹[带状疱疹]	B02	8	3.1%
8	アスペルギルス症	B44	8	3.1%
9	部位不明のウイルス感染症	B34	6	2.3%
10	伝染性単核症	B27	6	2.3%
11	その他		52	20.2%
	合計		258	100.0%

II 新生物<腫瘍>		ICDコード	件数	%
1	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	461	12.1%
2	非濾胞性リンパ腫	C83	282	7.4%
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	230	6.0%
4	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15	226	5.9%
5	膵の悪性新生物<腫瘍>	C25	171	4.5%
6	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18	170	4.5%
7	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50	165	4.3%
8	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	140	3.7%
9	骨髄異形成症候群	D46	122	3.2%
10	直腸の悪性新生物<腫瘍>	C20	120	3.2%
11	その他		1,717	45.1%
	合計		3,804	100.0%

III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		ICDコード	件数	%
1	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	54	46.2%
2	その他の無形成性貧血	D61	14	12.0%
3	サルコイドーシス	D86	11	9.4%
4	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	D76	7	6.0%
5	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	D65	7	6.0%
6	後天性溶血性貧血	D59	5	4.3%
7	鉄欠乏性貧血	D50	5	4.3%
8	その他の栄養性貧血	D53	3	2.6%
9	その他の凝固障害	D68	3	2.6%
10	無顆粒球症	D70	2	1.7%
11	その他		6	5.1%
	合計		117	100.0%

IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患		ICDコード	件数	%
1	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	55	21.7%
2	その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	E87	42	16.6%
3	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	E11	38	15.0%
4	体液量減少(症)	E86	37	14.6%
5	下垂体機能低下及びその他の下垂体障害	E23	15	5.9%
6	その他の膵内分泌障害	E16	12	4.7%
7	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	E05	10	4.0%
8	アルドステロン症	E26	7	2.8%
9	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	E10	6	2.4%
10	甲状腺炎	E06	5	2.0%
11	その他		26	10.3%
	合計		253	100.0%

V 精神及び行動の障害		ICDコード	件数	%
1	重度ストレスへの反応及び適応障害	F43	15	18.8%
2	多動性障害	F90	11	13.8%
3	統合失調症	F20	8	10.0%
4	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	F10	7	8.8%
5	広汎性発達障害	F84	6	7.5%
6	摂食障害	F50	6	7.5%
7	双極性感情障害<躁うつ病>	F31	6	7.5%
8	解離性[転換性]障害	F44	5	6.3%

9	その他の不安障害	F41	4	5.0%
10	うつ病エピソード	F32	3	3.8%
11	その他		12	15.0%
	合計		80	100.0%

VI	神経系の疾患	ICDコード	件数	%
1	てんかん	G40	88	34.8%
2	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	19	7.5%
3	顔面神経障害	G51	19	7.5%
4	その他及び詳細不明の原因による髄膜炎	G03	18	7.1%
5	水頭症	G91	16	6.3%
6	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45	14	5.5%
7	脳のその他の障害	G93	7	2.8%
8	睡眠障害	G47	7	2.8%
9	自律神経系の障害	G90	6	2.4%
10	てんかん重積(状態)	G41	5	2.0%
11	その他		54	21.3%
	合計		253	100.0%

VII	眼及び付属器の疾患	ICDコード	件数	%
1	老人性白内障	H25	85	56.7%
2	眼瞼のその他の障害	H02	16	10.7%
3	その他の網膜障害	H35	9	6.0%
4	他に分類される疾患における網膜の障害	H36	8	5.3%
5	緑内障	H40	7	4.7%
6	麦粒腫及び霰粒腫	H00	4	2.7%
7	網膜血管閉塞症	H34	3	2.0%
8	網膜剥離及び裂孔	H33	2	1.3%
9	角膜炎	H16	2	1.3%
10	眼窩の障害	H05	2	1.3%
11	その他		12	8.0%
	合計		150	100.0%

VIII	耳及び乳様突起の疾患	ICDコード	件数	%
1	前庭機能障害	H81	44	43.6%
2	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	27	26.7%
3	その他の難聴	H91	14	13.9%
4	非化膿性中耳炎	H65	7	6.9%
5	中耳真珠腫	H71	7	6.9%
6	その他の外耳障害	H61	1	1.0%
7	伝音及び感音難聴	H90	1	1.0%
	合計		101	100.0%

IX	循環器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	狭心症	I20	715	29.6%
2	脳梗塞	I63	236	9.8%
3	心不全	I50	157	6.5%
4	大動脈瘤及び解離	I71	153	6.3%
5	慢性虚血性心疾患	I25	149	6.2%
6	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	127	5.3%
7	脳内出血	I61	121	5.0%
8	急性心筋梗塞	I21	89	3.7%
9	心停止	I46	87	3.6%
10	アテローム<粥状>硬化(症)	I70	72	3.0%
11	その他		512	21.2%
	合計		2,418	100.0%

X	呼吸器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	急性気管支炎	J20	137	16.6%
2	細菌性肺炎,他に分類されないもの	J15	106	12.9%
3	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	87	10.6%
4	肺炎,病原体不詳	J18	54	6.6%
5	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	J35	50	6.1%
6	慢性副鼻腔炎	J32	42	5.1%
7	その他の間質性肺疾患	J84	41	5.0%
8	気胸	J93	34	4.1%
9	喘息	J45	29	3.5%

10	喘息発作重積状態	J46	24	2.9%
11	その他		220	26.7%
	合計		824	100.0%

XI 消化器系の疾患		ICDコード	件数	%
1	胆石症	K80	255	21.5%
2	消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	K91	109	9.2%
3	そけい<鼠径>ヘルニア	K40	106	8.9%
4	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	K56	76	6.4%
5	腸の憩室性疾患	K57	70	5.9%
6	胆道のその他の疾患	K83	61	5.1%
7	急性虫垂炎	K35	52	4.4%
8	腹膜炎	K65	32	2.7%
9	腸のその他の疾患	K63	30	2.5%
10	胃潰瘍	K25	27	2.3%
11	その他		368	31.0%
	合計		1,186	100.0%

XII 皮膚及び皮下組織の疾患		ICDコード	件数	%
1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	35	38.0%
2	皮膚の萎縮性障害	L90	13	14.1%
3	急性リンパ節炎	L04	5	5.4%
4	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及びよく<カルブンケル>	L02	5	5.4%
5	多形紅斑	L51	5	5.4%
6	皮膚の肥厚性障害	L91	4	4.3%
7	褥瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	3	3.3%
8	摂取物質による皮膚炎	L27	3	3.3%
9	アトピー性皮膚炎	L20	2	2.2%
10	下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	L97	2	2.2%
11	その他		15	16.3%
	合計		92	100.0%

XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患		ICDコード	件数	%
1	その他の脊椎障害	M48	221	27.9%
2	その他の椎間板障害	M51	111	14.0%
3	脊椎症	M47	104	13.1%
4	その他の変形性脊柱障害	M43	97	12.2%
5	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	53	6.7%
6	膝関節症[膝の関節症]	M17	24	3.0%
7	その他の炎症性脊椎障害	M46	22	2.8%
8	股関節症[股関節部の関節症]	M16	20	2.5%
9	頸部椎間板障害	M50	13	1.6%
10	その他の筋障害	M62	10	1.3%
11	その他		118	14.9%
	合計		793	100.0%

XIV 腎尿路生殖器系の疾患		ICDコード	件数	%
1	慢性腎不全	N18	106	13.7%
2	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	N13	80	10.3%
3	急性尿細管間質性腎炎	N10	78	10.1%
4	前立腺肥大(症)	N40	55	7.1%
5	子宮頸(部)の異形成	N87	54	7.0%
6	腎結石及び尿管結石	N20	44	5.7%
7	子宮内膜症	N80	36	4.6%
8	尿路系のその他の障害	N39	35	4.5%
9	反復性及び持続性血尿	N02	28	3.6%
10	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	N43	25	3.2%
11	その他		234	30.2%
	合計		775	100.0%

XV 妊娠, 分娩及び産褥		ICDコード	件数	%
1	単胎自然分娩	O80	276	29.8%
2	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	135	14.6%
3	偽陣痛	O47	127	13.7%
4	娩出力の異常	O62	56	6.0%
5	胎児ストレス[仮死<ジストレス>]を合併する分娩	O68	46	5.0%
6	子癩前症	O14	33	3.6%

7	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	O36	28	3.0%
8	妊娠中の糖尿病	O24	20	2.2%
9	既知の胎位異常またはその疑いのための母体ケア	O32	20	2.2%
10	既知の胎児異常及び障害またはその疑いのための母体ケア	O35	20	2.2%
11	その他		166	17.9%
	合計		927	100.0%

X VI 周産期に発生した病態		ICDコード	件数	%
1	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	P07	113	41.5%
2	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	60	22.1%
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	48	17.6%
4	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	12	4.4%
5	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	10	3.7%
6	新生児吸引症候群	P24	5	1.8%
7	新生児の哺乳上の問題	P92	5	1.8%
8	その他の新生児出血	P54	4	1.5%
9	出生児仮死	P21	4	1.5%
10	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	2	0.7%
11	その他		9	3.3%
	合計		272	100.0%

X VII 先天奇形,変形及び染色体異常		ICDコード	件数	%
1	停留精巣<辜丸>	Q53	20	14.6%
2	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	16	11.7%
3	合指<趾>(症)	Q70	11	8.0%
4	腸のその他の先天奇形	Q43	10	7.3%
5	顔面及び頸部のその他の先天奇形	Q18	9	6.6%
6	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖及び狭窄	Q42	9	6.6%
7	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	6	4.4%
8	胆嚢, 胆管及び肝の先天奇形	Q44	5	3.6%
9	エドワーズ<Edwards>症候群及びパトー<Patau>症候群	Q91	5	3.6%
10	先天性水頭症	Q03	4	2.9%
11	その他		42	30.7%
	合計		137	100.0%

X VIII 症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		ICDコード	件数	%
1	けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの	R56	42	65.6%
2	気道からの出血	R04	9	14.1%
3	悪心及び嘔吐	R11	2	3.1%
4	発汗過多<多汗>(症)	R61	2	3.1%
5	失神及び虚脱	R55	2	3.1%
6	ショック, 他に分類されないもの	R57	1	1.6%
7	身体標準発育不足	R62	1	1.6%
8	傾眠, 昏迷及び昏睡	R40	1	1.6%
9	神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候	R29	1	1.6%
10	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	1	1.6%
11	その他		2	3.1%
	合計		64	100.0%

X IX 損傷,中毒及びその他の外因の影響		ICDコード	件数	%
1	大腿骨骨折	S72	139	12.8%
2	頭蓋内損傷	S06	132	12.2%
3	腰椎及び骨盤の骨折	S32	84	7.7%
4	心臓及び血管のプロステーシス, 挿入物及び移植片の合併症	T82	54	5.0%
5	肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	S22	51	4.7%
6	肩及び上腕の骨折	S42	49	4.5%
7	下腿の骨折, 足首を含む	S82	49	4.5%
8	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	S02	47	4.3%
9	前腕の骨折	S52	46	4.2%
10	頸部の神経及び脊髄の損傷	S14	39	3.6%
11	その他		394	36.3%
	合計		1,084	100.0%

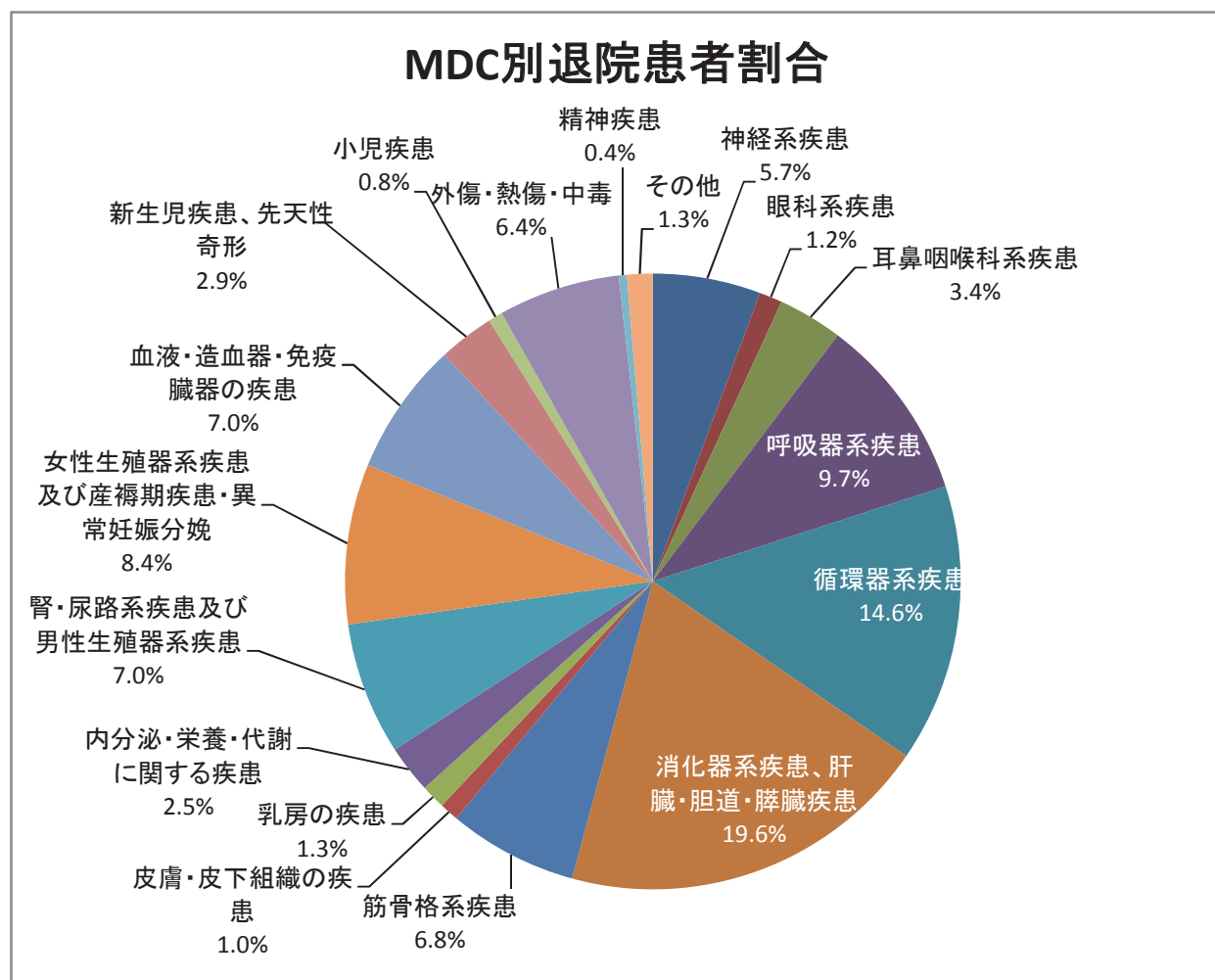
X X I 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用		ICDコード	件数	%
1	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	22	100.0%
	合計		22	100.0%

4 DPC統計

(1) MDC別退院患者数

平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者
(自費を除く)

MDC 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	726
MDC02	眼科系疾患	154
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	435
MDC04	呼吸器系疾患	1,250
MDC05	循環器系疾患	1,870
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,518
MDC07	筋骨格系疾患	871
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	128
MDC09	乳房の疾患	163
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	322
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	892
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,078
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	899
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	372
MDC15	小児疾患	97
MDC16	外傷・熱傷・中毒	819
MDC17	精神疾患	54
MDC18	その他	173
	総計	12,821



(2) 在院期間別退院患者数

平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者
(自費を除く)

	在院期間									総計	平均在院 日数 (日)
	1～10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61～ 90日	91～ 180日	181日～		
MDC01 神経系疾患	305	241	94	36	18	15	10	7	0	726	16.3
MDC02 眼科系疾患	121	25	3	2	3		0	0	0	154	7.9
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	316	88	5	7	7	4	7	1	0	435	10.4
MDC04 呼吸器系疾患	903	203	73	29	24	9	8	1	0	1,250	10.1
MDC05 循環器系疾患	1,392	256	105	42	22	17	19	12	5	1,870	10.4
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,562	668	146	69	31	13	19	10	0	2,518	11.4
MDC07 筋骨格系疾患	510	251	61	17	10	7	9	5	1	871	11.3
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	84	29	6	5	2		1	1	0	128	11.2
MDC09 乳房の疾患	134	18	10			1	0	0	0	163	8.1
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	256	49	7	4		1	1	4	0	322	9.2
MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	666	137	32	23	16	1	9	8	0	892	10.1
MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	863	103	43	21	15	15	15	3	0	1,078	10.6
MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	215	348	172	59	35	10	37	16	7	899	24.3
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	225	64	37	12	6	7	12	8	1	372	16.0
MDC15 小児疾患	77	17	2				0	0	1	97	9.9
MDC16 外傷・熱傷・中毒	418	262	71	29	24	5	5	5	0	819	13.4
MDC17 精神疾患	17	5	2	4	4	4	8	8	2	54	54.3
MDC18 その他	93	42	22	8	2	1	3	2	0	173	14.6
総計	8,157	2,806	891	367	219	110	163	91	17	12,821	12.4

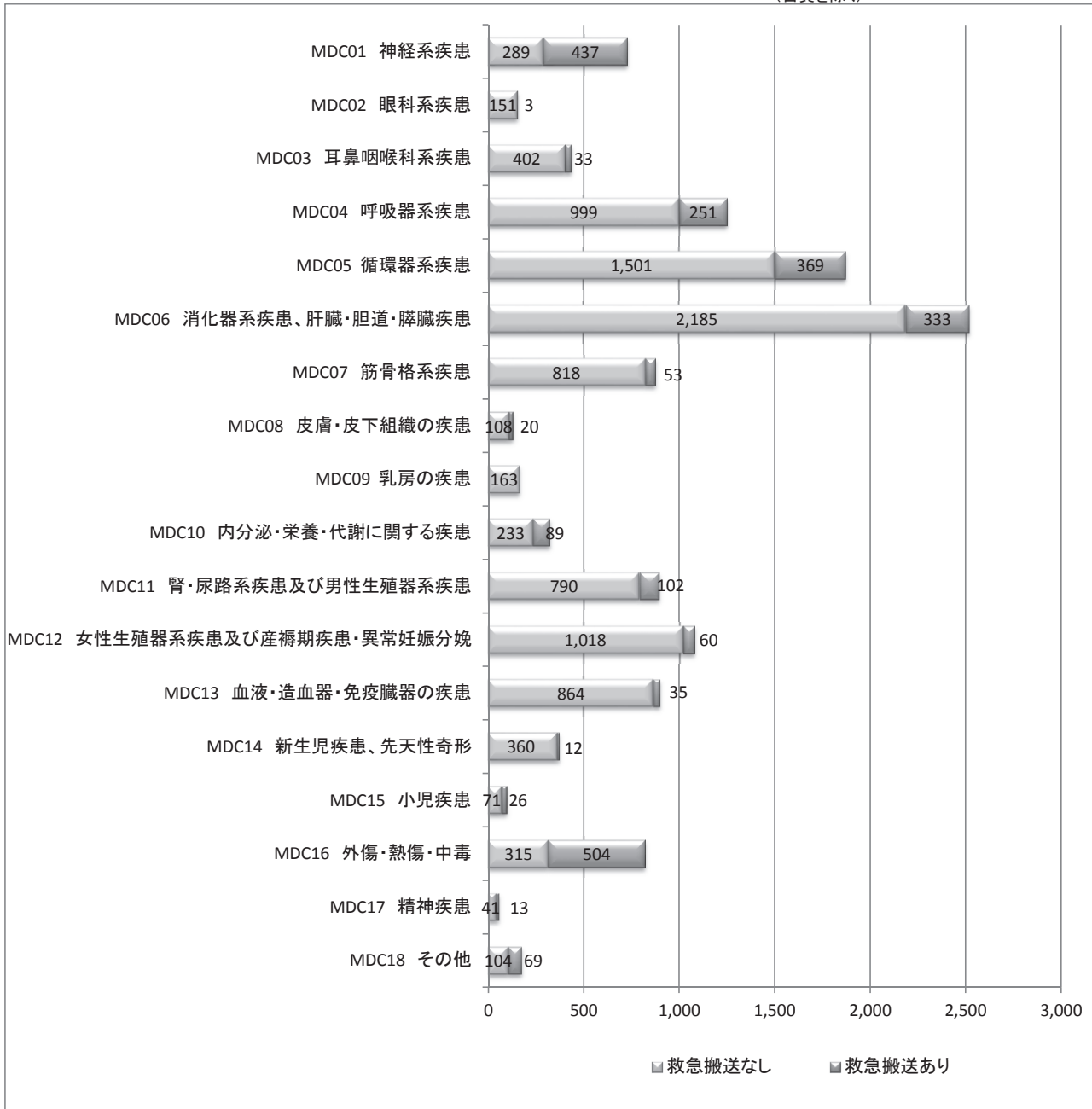
(3) MDC別・年齢別・性別退院患者数

平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者
(自費を除く)

	性別	年齢階層										総計	
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99		100～109
MDC01 神経系疾患	男	47	20	5	5	34	56	71	102	78	8	1	427
	女	21	12	3	6	27	23	40	67	72	28		299
MDC02 眼科系疾患	男	8	1		1	4	2	15	36	18	2		87
	女	5	2			3	13	9	20	11	4		67
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	男	47	17	16	20	24	25	47	42	16	1		255
	女	38	17	14	9	18	14	32	26	11	1		180
MDC04 呼吸器系疾患	男	129	20	7	8	24	60	159	223	127	17	1	775
	女	130	6	3	6	12	20	64	126	80	27	1	475
MDC05 循環器系疾患	男	1	8	2	15	53	104	321	420	264	49		1,237
	女	1	2	1	4	13	34	99	193	212	72	2	633
MDC06 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	男	101	16	8	22	72	134	440	503	250	28		1,574
	女	70	24	6	39	37	67	185	260	202	54		944
MDC07 筋骨格系疾患	男	7	13	13	30	67	55	120	128	52	2		487
	女	8	9	12	12	28	42	65	126	76	6		384
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	男	14	5	2	6	5	3	10	9	12	1		67
	女	17	1	2		4	4	6	9	13	5		61
MDC09 乳房の疾患	男												0
	女			3	13	26	19	54	37	9	2		163
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	男	6	2	1	1	16	16	27	36	18	4		127
	女	5	10	4	14	33	20	31	32	39	6	1	195
MDC11 腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	男	53	11	12	6	20	30	126	185	123	18		584
	女	21	7	13	21	35	17	44	68	57	18	7	308
MDC12 女性生殖器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	男				5								5
	女	1	9	163	497	207	63	64	58	11			1,073
MDC13 血液・造血管・免疫臓器の疾患	男	34	4	11	9	25	41	132	161	54	4		475
	女	25	7	8	17	13	36	90	147	72	9		424
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	男	197	7	2	1	6	2	2					217
	女	141	4	2	3	1	1	3					155
MDC15 小児疾患	男	52		1	1								54
	女	43											43
MDC16 外傷・熱傷・中毒	男	29	32	27	19	30	36	81	77	78	15	1	425
	女	23	15	13	3	17	28	45	80	109	60	1	394
MDC17 精神疾患	男	2	10	1	1	2	2	3	1				22
	女	1	12	4	3	2	4	2	3	1			32
MDC18 その他	男	10	2	1	3	9	3	24	21	16	3		92
	女	4	1	2	4	4	8	14	13	26	5		81
総 計		1,291	306	362	804	871	982	2,425	3,209	2,107	449	15	12,821

(4) MDC別退院患者・救急搬送数

平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者
(自費を除く)



※ 退院患者総数 12,821
救急搬送総数 2,409

(5) 科別診断群分類(DPC)上位頻度表

対象:平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者

ペインクリニック科

総件数 13件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010111xxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2なし	3
2	010290xxxxxxxx	自律神経系の障害	1
3	060035xx99x00x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
4	06007xx99000x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
5	070010xx99xxxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎骨髄を除く。) 手術なし	1
6	070290xxxxxxxx	上肢関節拘縮・強直	1
7	070350xx99x1xx	椎間板変性、ヘルニア 手術なし 手術・処置等2あり	1
8	070370xx01xxxx	脊椎骨粗鬆症 経皮的椎体形成術	1

移植外科

総件数 76件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等2なし	9
2	110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり 定義副傷病なし	9
3	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	8
4	180040xx97x0xx	手術・処置等の合併症 手術あり 手術・処置等2なし	7
5	110280xx97x4xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等24あり	6
6	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	6
7	060380xxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	4
8	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等21あり 定義副傷病なし	3
9	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
10	060390xxxx0xx	細菌性腸炎 手術・処置等2なし	2

緩和ケア内科

総件数 12件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110050xx97x00x	後腹膜疾患 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	9
2	060280xxxxxxxx	アルコール性肝障害	2
3	040010xx97x0xx	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	1

眼科

総件数146件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	66
2	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	23
3	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	9
4	020180xx97x0x0	糖尿病性増殖性網膜症 手術あり 手術・処置等2なし 片眼	6
5	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2なし	5
6	020210xx99x1xx	網膜血管閉塞症 手術なし 手術・処置等2あり	5
7	020280xx99xxxx	角膜の障害 手術なし	4
8	020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	4
9	160250xxxx1xxx	眼損傷 手術・処置等1あり	4
10	020200xx99x2xx	黄斑、後極変性 手術なし 手術・処置等22あり	3

救命救急科

総件数 513件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	29
2	100380xxxxxxxx	体液量減少症	27
3	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25
4	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	23
5	110310xx99x00x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	22
6	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	17
7	180010x0xxx2xx	敗血症(1歳以上) 手術・処置等22あり	15
8	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13
9	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	9
10	160400xx99x00x	胸郭・横隔膜損傷 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	9

形成外科

総件数 148件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160200xx0200xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	17
2	080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	13
3	090010xx04xxxx	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合等	10
4	140490xx971xxx	手足先天性疾患 手術あり 手術・処置等1あり	8
5	080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし	7
6	160640xx97xxxx	外傷性切断 その他の手術あり	6
7	140490xx970xxx	手足先天性疾患 手術あり 手術・処置等1なし	4
8	070570xx012xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 手術・処置等12あり	4
9	160660xxxx1xxx	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創 手術・処置等1あり	4
10	140140xxxxxxxx	口蓋・口唇先天性疾患	4

血液内科・輸血科

総件数 826件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	130
2	130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	107
3	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等22あり	79
4	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等24あり	59
5	130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	47
6	130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 手術・処置等25あり	39
7	130040xx97x50x	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術あり 手術・処置等25あり 定義副傷病なし	38
8	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等23あり	33
9	130010xx99x2xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等22あり	18
10	130020xx99x3xx	ホジキン病 手術なし 手術・処置等23あり	17

呼吸器外科

総件数 314件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	100
2	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	27
3	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	21
4	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	19
5	040040xx99090x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等29あり 定義副傷病なし	17
6	040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	12
7	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	9
8	040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	8
9	040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除等	7
10	040040xx99070x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等27あり 定義副傷病なし	7

呼吸器内科

総件数 419件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	109
2	040110xxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	36
3	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	25
4	040040xx99090x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等29あり 定義副傷病なし	24
5	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	20
6	040040xx97x5xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等25あり	12
7	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	12
8	040050xx99x0xx	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし	10
9	040160xxxxxxxx	呼吸器の結核	9
10	040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等28あり	8

産科

総件数 608件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	153
2	120170xx99x0xx	早産、切迫早産 手術なし 手術・処置等2なし	82
3	120260xx01xxxx	分娩の異常 子宮破裂手術等	67
4	120170xx01x0xx	早産、切迫早産 子宮破裂手術等 手術・処置等2なし	60
5	120180xx99xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 手術なし	40
6	120260xx02xxxx	分娩の異常 骨盤位娩出術等	40
7	120180xx02xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 骨盤位娩出術等	24
8	120260xx99xxxx	分娩の異常 手術なし	21
9	120160xx99xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 手術なし	18
10	120150xx99xxxx	妊娠早期の出血 手術なし	18

児童精神科

総件数 25件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	14
2	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	6
3	100270xxxx0xx	間脳下垂体疾患(その他) 手術・処置等2なし	1
4	161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
5	070343xx99x00x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
6	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2なし	1
7	161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等2なし	1

耳鼻咽喉科

総件数 391件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	60
2	030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	40
3	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	33
4	03001xxx01000x	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	22
5	030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	19
6	030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	19
7	030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	19
8	030428xxxxxxxx	突発性難聴	14
9	030440xx02xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓膜形成手術	11
10	03001xxx97x00x	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	11

腫瘍内科

総件数 16件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060020xx97x00x	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
2	060270xx97x0xx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術あり 手術・処置等2なし	2
3	110050xx99x00x	後腹膜疾患 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
4	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
5	180050xx99xxxx	その他の悪性腫瘍 手術なし	1
6	06007xxx99001x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病あり	1
7	070040xx97x2xx	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。) その他の手術あり 手術・処置等2あり	1
8	060020xx97x2xx	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2あり	1
9	100080xx99x100	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	1
10	060035xx97x0xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	1

循環器内科

総件数 1,628件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	527
2	050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	251
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	83
4	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	65
5	050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等2なし	56
6	050080xx99100x	弁膜症(連合弁膜症を含む。) 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	55
7	050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等2あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	47
8	050030xx97000x	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	45
9	050163xx9910xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	34
10	050070xx99000x	頻脈性不整脈 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	29

小児科

総件数 1,095件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	149
2	140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	106
3	060380xxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	66
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	52
5	140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2なし	50
6	150040xxxx0xx	熱性けいれん 手術・処置等2なし	40
7	040100xxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	40
8	150070x0xx01xx	川崎病(2歳以上) 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり	35
9	040070xxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	32
10	140010x299x2xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2あり	31

小児外科

総件数 193件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060160x101xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	48
2	11022xxx02xxxx	男性生殖器疾患 陰嚢水腫手術等	21
3	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	20
4	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア等	17
5	11013xxx97xxxx	下部尿路疾患 その他の手術あり	8
6	160500xx01xxxx	食道・胃損傷 食道異物摘出術等	5
7	060150xx99xx0x	虫垂炎 手術なし 定義副傷病なし	5
8	060160x199xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) 手術なし	5
9	060570xx97xxxx	その他の消化管の障害 手術あり	4
10	14044xxx03x0xx	直腸肛門奇形、ヒルシュスプルング病 鎖肛手術 肛門膜状閉鎖切開等 手術・処置等2なし	4

消化器外科・一般外科

総件数 1,608件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	84
2	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) 手術なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	81
3	060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	66
4	060020xx02x00x	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	53
5	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	52
6	060040xx0210xx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	51
7	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	47
8	060050xx02x10x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) 肝切除術 部分切除等 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	44
9	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	37
10	06007xxx011x0x	膵臓、脾臓の腫瘍 膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合等 手術・処置等1あり 定義副傷病なし	36

消化器内科

総件数739件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	124
2	060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 手術・処置等2なし	50
3	060060xx97100x	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	31
4	06007xxx99000x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	29
5	060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 定義副傷病なし	28
6	060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの) その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25
7	060340xx99x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25
8	06007xxx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	23
9	060102xx02xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 小腸結腸内視鏡的止血術等	23
10	060570xx97xxxx	その他の消化管の障害 手術あり	16

心臓血管外科

総件数 320件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050080xx01010x	弁膜症(連合弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	29
2	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(観血的なもの)等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
3	050163xx02x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 腹部大動脈(分枝血管の再建を伴うもの)等 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	26
4	050163xx03x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 スtentグラフト内挿術 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	14
5	050163xx01x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	14
6	050163xx97x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等2なし	13
7	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	12
8	050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの等 手術・処置等11,2あり 手術・処置等2あり	8
9	050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの等 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり	7
10	050170xx02010x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	7

腎臓内科・膠原病科

総件数 124件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
2	110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり 定義副傷病なし	16
3	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13
4	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2なし	13
5	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	7
6	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7
7	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2あり	7
8	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	6
9	130111xxxx0xx	アレルギー性紫斑病 手術・処置等2なし	4
10	110280xx02x3xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等23あり	4

整形外科

総件数 1,247件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	123
2	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等21あり	120
3	070341xx99x1xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 頸部 手術なし 手術・処置等2あり	61
4	070350xx97xxxx	椎間板変性、ヘルニア その他の手術あり	57
5	070341xx020xxx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 頸部 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等1なし	52
6	070350xx99x1xx	椎間板変性、ヘルニア 手術なし 手術・処置等2あり	51
7	070343xx01x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等2なし	45
8	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2なし	33
9	160690xx01xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 脊椎、骨盤脱臼観血の手術等 定義副傷病なし	33
10	070343xx01x1xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等21あり	28

生殖医療科

総件数 9件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120300xxxxxxxx	人工授精に関する合併症	5
2	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	1
3	120110xx99xx0x	子宮・子宮附属器の炎症性疾患 手術なし 定義副傷病なし	1
4	120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 定義副傷病なし	1
5	120110xx02xxxx	子宮・子宮附属器の炎症性疾患 骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術等	1

精神科

総件数 44件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170030xxxxxxxx	統合失調症, 統合失調症型障害および妄想性障害	10
2	170050xxxxxxxx	神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	7
3	100270xxxxx0xx	間脳下垂体疾患(その他) 手術・処置等2なし	3
4	161070xxxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	3
5	170040xxxxxxxx	気分[感情]障害	3
6	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	2
7	160690xx01xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 脊椎、骨盤脱臼観血の手術等 定義副傷病なし	2
8	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	2
9	170010xxxxxxxx	アルコール依存症候群	1
10	160970xxxxx0xxx	生殖器損傷 手術・処置等1なし	1

総合診療科

総件数 328件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	27
2	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
3	010080xx99x011	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病あり	12
4	010080xx99x001	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	8
5	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	8
6	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	7
7	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7
8	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7
9	161020xxxxx00x	体温異常 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	6
10	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	6

糖尿病・内分泌内科

総件数 102件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100070xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)(手術なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし)	19
2	120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし	16
3	100070xx99x000	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)(手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし)	9
4	100180xx990x0x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 定義副傷病なし	6
5	100250xx99100x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	5
6	100280xxxxxxxx	尿崩症	4
7	100080xx99x100	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)(手術なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし)	4
8	100140xx99x2xx	甲状腺機能亢進症 手術なし 手術・処置等22あり	4
9	110310xx99x0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	2
10	100250xx99101x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病あり	2

乳腺・甲状腺外科

総件数 270件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 手術・処置等2なし	53
2	090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等2なし	44
3	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等1なし	28
4	090010xx99x4xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり	27
5	090010xx02x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの) 手術・処置等2なし	25
6	090010xx99x6xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等26あり	7
7	090010xx99x00x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7
8	090010xx97x40x	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	5
9	090010xx97x7xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等27あり	5
10	100020xx99x4xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり	4

脳神経外科

総件数 592件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	44
2	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	40
3	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	40
4	010040x199x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10以上) 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	37
5	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	22
6	010060x2990501	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり 定義副傷病なし	18
7	010020x102x1xx	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤(JCS10以上) 穿頭脳室ドレナージ術等 手術・処置等2あり	16
8	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13
9	010060x2990411	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病1あり	11
10	010200xx01x00x	水頭症 水頭症手術 脳室穿刺術(神経内視鏡手術によるもの)等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	11

泌尿器科

総件数 543件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 定義副傷病なし	98
2	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	57
3	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	53
4	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等1なし 定義副傷病なし	42
5	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 定義副傷病なし	38
6	110310xx99x0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	16
7	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他の手術あり 定義副傷病なし	16
8	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	14
9	11012xxx99xx0x	上部尿路疾患 手術なし 定義副傷病なし	10
10	110080xx02xx0x	前立腺の悪性腫瘍 精巣摘出術 定義副傷病なし	10

皮膚科

総件数 24件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	7
2	080020xxxxxxxx	帯状疱疹	3
3	080140xxxx0xx	炎症性角化症 手術・処置等2なし	1
4	180040xx99x0xx	手術・処置等の合併症 手術なし 手術・処置等2なし	1
5	080230xx97xxxx	皮膚色素異常症 手術あり	1
6	070560xx97x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
7	080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹 手術・処置等1なし	1
8	080010xxxx1xxx	膿皮症 手術・処置等1あり	1
9	080190xxxxxxxx	脱毛症	1
10	11022xxx99xxxx	男性生殖器疾患 手術なし	1

婦人科

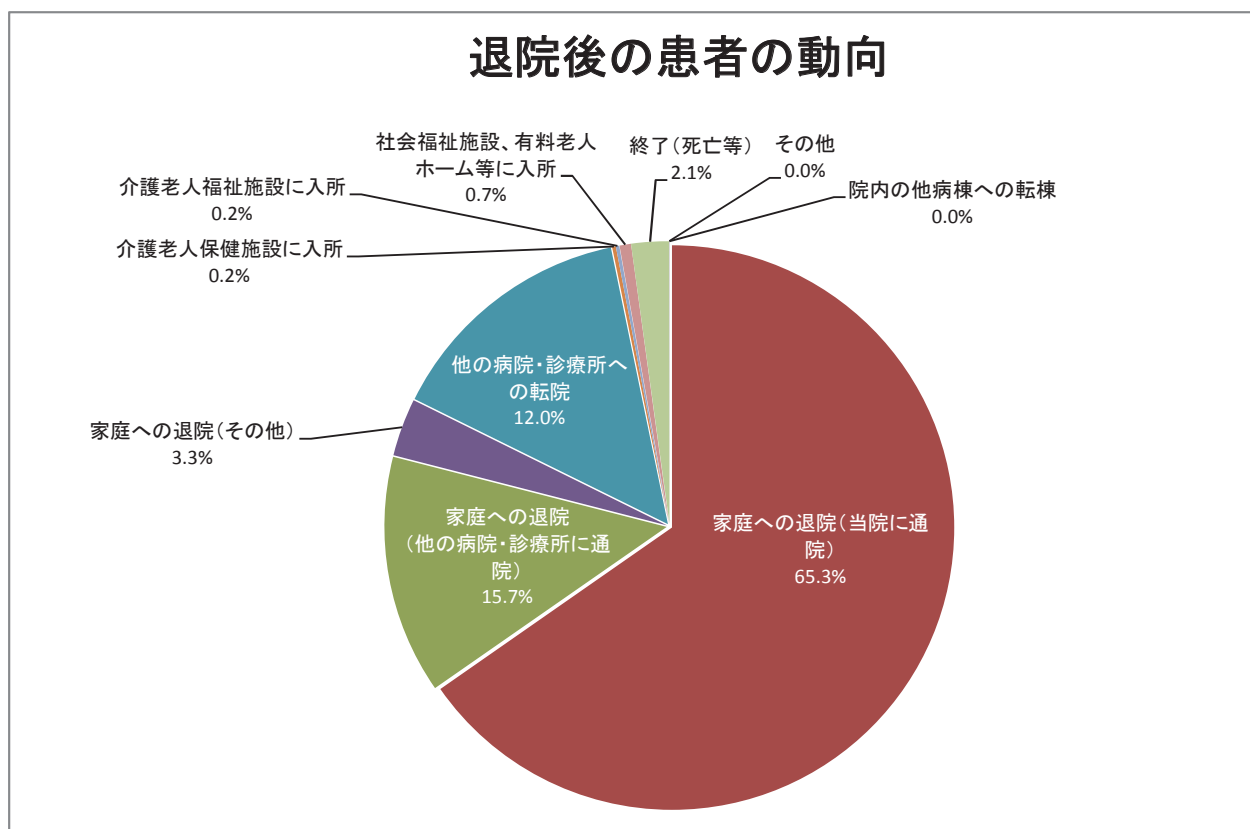
総件数 448件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等2なし	62
2	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	49
3	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	34
4	120010xx99x50x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等25あり 定義副傷病なし	27
5	120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 定義副傷病なし	25
6	120070xx01xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 開腹によるもの等	21
7	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	20
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	18
9	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	14
10	120010xx99x70x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等27あり 定義副傷病なし	13

(6) 退院後の患者の動向

対象：平成30年4月1日～平成31年3月31日退院患者

退院先	件数
院内の他病棟への転棟	0
家庭への退院(当院に通院)	8,375
家庭への退院(他の病院・診療所に通院)	1,753
家庭への退院(その他)	423
他の病院・診療所への転院	1,856
介護老人保健施設に入所	27
介護老人福祉施設に入所	26
社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所	84
終了(死亡等)	275
その他	2
総計	12,821



5 悪性新生物統計

(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数

平成30年度

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C00-C14	口唇、口腔および咽頭			
C01 ~C06	舌、舌根<基底>部、口腔、歯肉	舌悪性腫瘍手術 切除	6	14.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	4.5
		セツキシマブ	2	7.0
C07~C08	耳下腺、唾液腺	舌悪性腫瘍手術 亜全摘	1	50.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	9.0
		顎下腺腫瘍摘出術	2	7.0
		耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	2	10.5
		リンパ節摘出術(長径3cm以上)	1	5.0
		セツキシマブ	1	10.0
C10	中咽頭	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)	3	13.3
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	25.5
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)	1	29.0
C11	鼻<上>咽頭	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	68.0
C12	梨状陥凹<洞>	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)	3	42.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	3	54.3
		下咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	1	5.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	60.0
		頸部郭清術 片側	1	10.0
		セツキシマブ	1	3.0
C13	下咽頭	咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)	1	13.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	41.0
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	2	40.5
		咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)	1	15.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	69.0
C15-C26	消化器			
C15	食道	化学療法ありかつ放射線療法なし	94	8.8
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	40	13.2
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	12	9.8
		化学療法ありかつ放射線療法あり	12	11.1
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	11	35.7
		化学療法なしかつ放射線療法あり	5	33.8
		食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	4	50.5
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	3	60.3
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	3	47.0
		食道空置バイパス作成術	3	32.7
		食道切除後2次的再建術 消化管利用によるもの	2	38.0
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	2	12.0
		食道切除再建術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	1	26.0
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	1	24.0
C16 ~C17	胃・小腸	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	37	9.2
		胃切除術 悪性腫瘍手術	35	19.2
		腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	31	16.4
		胃全摘術 悪性腫瘍手術	30	22.1
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	13	9.8
		化学療法ありかつ放射線療法なし	11	8.9
		腹腔鏡下試験切除術	5	6.4
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	4	17.0
		腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	4	14.3
		胃腸吻合術(フラウン吻合を含む)	4	16.5
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	4	22.5
		経皮的胆管ドレナージ術	4	11.8
		腹腔鏡下胃腸吻合術	4	29.0

コード	部位	主な手術・処置 (1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均 (日)		
C16 ~C17	胃・小腸	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	3.0		
		オキサリプラチン	3	11.3		
		腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	2	13.0		
		人工肛門造設術	2	41.5		
		経尿道的尿管ステント留置術	2	15.0		
		小腸切除術 悪性腫瘍手術	1	14.0		
		腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	1	10.0		
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	1	25.0		
		C18 ~C21	結腸、直腸、肛門	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	96	14.1
腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	42			17.5		
人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	42			11.8		
結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	24			20.8		
腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	23			12.5		
腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	15			17.6		
骨盤内臓全摘術	8			33.5		
直腸切除・切断術 低位前方切除術	7			30.3		
腹腔鏡下人工肛門造設術	7			13.1		
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	6			10.5		
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	6			13.3		
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	5			7.6		
直腸切除・切断術 切除術	4			20.0		
内視鏡的胆道ステント留置術	4			8.3		
人工肛門造設術	4			14.0		
化学療法なしかつ放射線療法あり	2			31.0		
直腸切除・切断術 超低位前方切除術(経肛門的結腸囊肛門吻合によるもの)	1			31.0		
回腸(結腸)導管造設術	1			46.0		
直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む) 経肛門	1			8.0		
C22	肝および肝内胆管			血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	35	5.4
		肝切除術 部分切除	12	11.2		
		肝切除術 亜区域切除	8	17.9		
		肝切除術 3区域切除以上のもの	5	25.2		
		内視鏡的胆道ステント留置術	4	13.5		
		肝切除術 2区域切除	4	11.8		
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	3	5.7		
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cmを超えるもの その他のもの	2	7.5		
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	16.5		
		肝切除術 外側区域切除	2	11.5		
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの 腹腔鏡によるもの	2	5.5		
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	1	74.0		
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 2cm以内のもの その他のもの	1	3.0		
		腹腔鏡下肝切除術 部分切除	1	6.0		
		肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く)	1	17.0		
		内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	1	3.0		
		胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)伴うもの	1	24.0		
		内視鏡的胆道ステント留置術	37	8.9		
		C23 ~C24	胆のう<囊>、胆道	膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	8	22.4
				胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(亜区域切除以上)を伴うもの	5	13.6
経皮的胆管ドレナージ術	4			14.5		
膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	3			21.0		
膵頭部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併を伴う腫瘍切除術の場合	2			46.0		
肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	2			13.5		
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	2			30.0		
胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(葉以上)を伴うもの	1			10.0		
胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に局限するもの(リンパ節郭清を含む。)	1			11.0		
C25	膵	内視鏡的胆道ステント留置術	40	7.9		
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	21	32.7		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	10	2.0		
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	9	18.9		
		超音波内視鏡下穿刺吸引生検法(EUS-FNA)	8	2.4		
		経皮的胆管ドレナージ術	5	11.6		
		胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)	5	18.6		
		膵体尾部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	4	27.8		
十二指腸空腸吻合術	4	19.0				

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)		
C25	脾	脾頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	3	32.0		
		脾体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	5	23.4		
		試験開腹術	3	32.7		
		パクリタキセル(アルブミン懸濁型)	3	2.3		
		脾体尾部腫瘍切除術 脾尾部切除術の場合 脾同時切除の場合	2	14.5		
		胃・十二指腸ファイバースコープ	2	9.0		
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	18.0		
		脾体尾部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	2	25.0		
		脾全摘術	2	17.5		
		脾頭部腫瘍切除術 周辺臓器の合併を伴う周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併を伴う腫瘍切除術の場合	1	27.0		
		脾体尾部腫瘍切除術 脾尾部切除術の場合 脾温存の場合	1	9.0		
C30-C39 呼吸器および胸腔内臓器						
C30 ~C31	鼻腔及び中耳、副鼻腔	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	2	11.5		
		動注化学療法	1	32.0		
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	45.0		
C32	喉頭	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	3	33.7		
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	53.7		
		喉頭悪性腫瘍手術 全摘	1	43.0		
C33 ~C34	気管、気管支及び肺	気管支ファイバースコープ	59	2.8		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	54	7.3		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	47	11.6		
		経気管肺生検法	46	2.8		
		経皮的針生検法	24	3.3		
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	23	23.2		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	23	27.2		
		ペムプロリズマブ	21	5.5		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	15	11.9		
		アテゾリズマブ	12	2.8		
		化学療法なしかつ放射線療法あり	10	25.8		
		ラムシルマブ	9	2.9		
		超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法(EBUS-TBNA)	8	2.0		
		ベメトレキセドナトリウム水和物	8	5.6		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	8	9.9		
		デュルバルマブ	7	2.6		
		化学療法ありかつ放射線療法あり	4	29.5		
		抗悪性腫瘍剤動脈内持続注注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	4	7.3		
		オシメルチニブメシル酸塩	3	8.7		
		セリチニブ	3	12.0		
		エルロチニブ	3	9.7		
		ベバシズマブ	2	5.5		
		ニボルマブ	2	3.0		
		内視鏡的胆道ステント留置術	2	22.5		
		クリゾチニブ	2	13.5		
		経気管肺生検法(ナビゲーションによるもの)	2	2.0		
		気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	2	13.0		
		気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	1	15.0		
		ゲフィチニブ	1	10.0		
		アレクチニブ塩酸塩	1	15.0		
		肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	1	25.0		
		C37	胸腺	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2	6.5
				試験開胸術	1	16.0
化学療法ありかつ放射線療法なし	1			5.0		
C38	心臓、縦隔及び胸膜	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	3.0		
C40-C41 骨および関節軟骨						
C40	(四)肢の骨および関節軟骨	化学療法ありかつ放射線療法なし	7	6.1		
		メトトレキサート大量療法	4	5.0		
		骨悪性腫瘍手術(大腿)	1	41.0		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	14.0		
C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨	化学療法ありかつ放射線療法なし	5	7.8		
		脊髄腫瘍摘出術 髄外のもの	1	10.0		
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	1	46.0		

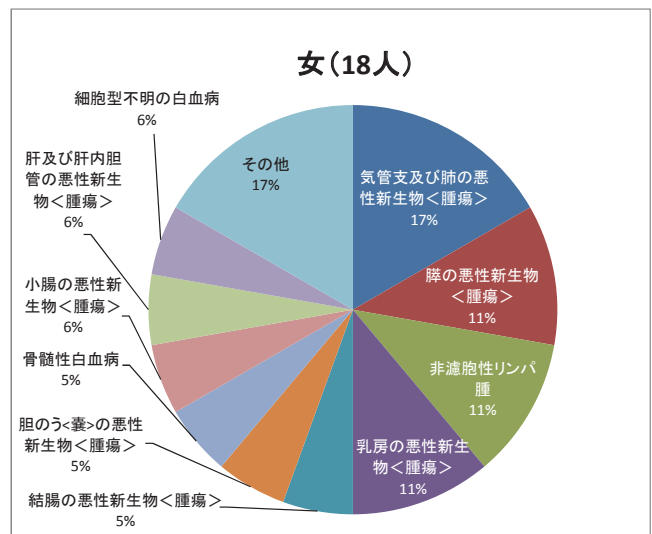
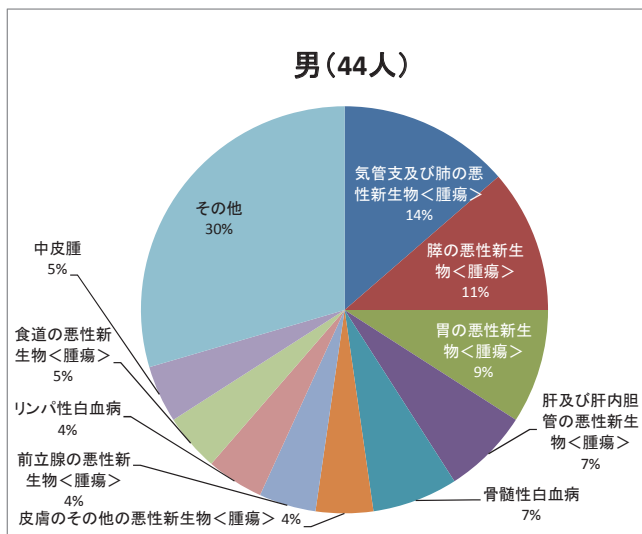
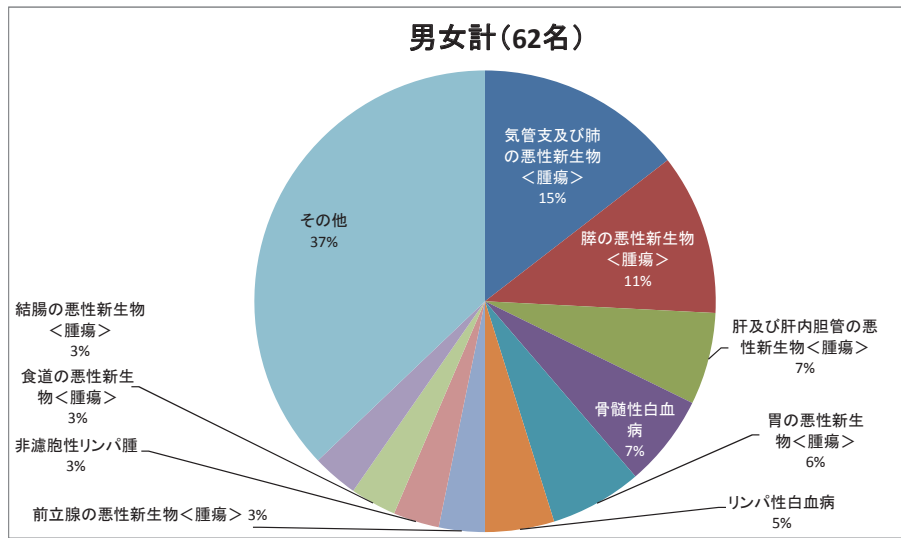
コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C43-C44 皮膚				
C43~C44	皮膚およびその他の皮膚	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	13	19.0
		皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25cm ² ~100cm ² 未満	3	17.7
		ダブラフェニブメシル酸塩+トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加	2	17.0
		放射線療法	1	11.0
		ニボルマブ	1	29.0
		中心静脈注射	1	22.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	1	8.0
C45-C49 中皮および軟部組織(悪性新生物)				
C45	中皮腫	中心静脈注射	1	45.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	22.0
		ペムトレキセドナトリウム水和物	1	11.0
C48	後腹膜および腹膜	カルボプラチン+パクリタキセルあり	1	43.0
		膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器(胃、結腸、腎、副腎等)の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	1	24.0
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	1	12.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	8.0
C49	その他の結合組織および軟部組織	化学療法ありかつ放射線療法なし	11	12.1
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	4	13.0
		放射線療法	2	38.0
		皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 長径4cm以上	1	41.0
		自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	1	30.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	4.0
C50 乳房				
C50	乳房	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	26	6.1
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	24	9.7
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	15	9.3
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの	14	10.0
		パクリタキセル	13	4.5
		ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	9	12.2
		化学療法ありかつ放射線療法なし	7	7.4
		シクロホスファミド+塩酸エビルピシンあり	7	4.7
		トラスツマブ	7	3.7
		ドセタキセル水和物	6	2.3
		放射線療法	4	25.5
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む))	4	8.3
		ペバシズマブ	3	7.7
		乳腺悪性腫瘍手術 乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)	2	16.5
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの	1	15.0
		パクリタキセル(アルブミン懸濁型)	1	2.0
		エリブリンメシル酸塩	1	18.0
		トラスツマブ エムタンシン	1	3.0
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	1	9.0
		乳腺腫瘍摘出術 長径5cm未満	1	4.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	11.0
		ゲムシタピン塩酸塩	1	3.0
		組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合	1	11.0
乳腺腫瘍摘出術 長径5cm以上	1	4.0		
血管縫合術(簡単なもの)	1	5.0		
C51-C58 女性性器				
C51	外陰(部)	女子外性器腫瘍摘出術	1	10.0
C53	子宮頸(部)	化学療法ありかつ放射線療法なし	5	6.4
		化学療法ありかつ放射線療法あり	4	51.0
		ペバシズマブ	2	2.5
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	37.0
		子宮悪性腫瘍手術	2	10.5
		子宮頸部(腔部)切除術	1	3.0
C54	子宮体部	化学療法ありかつ放射線療法なし	19	6.1
		子宮悪性腫瘍手術	11	13.5
		子宮全摘術	2	14.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	5.0
		子宮鏡下子宮内膜焼灼術	1	3.0
		皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 100cm ² 以上	1	69.0
		子宮腔上部切断術	1	13.0

コード	部位	主な手術・処置 (1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均 (日)
C56	卵巣	カルボプラチン+パクリタキセルあり	31	4.6
		ベバシズマブ	13	5.5
		子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)	10	17.4
		ドキシソルピシン塩酸塩リボソーム製剤	9	6.6
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	6	8.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	6	16.2
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	3	4.0
		カルボプラチン+ドセタキセル水和物あり	2	8.0
		子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	1	19.0
C57	その他の女性生殖器	子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)	1	10.0
		ベバシズマブ	1	8.0
		子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの	1	6.0
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	1	5.0
		カルボプラチン+ドセタキセル水和物あり	1	3.0
C60-C63 男性性器				
C61	前立腺	前立腺針生検法	106	2.2
		精巣摘出術	16	5.5
		自己血輸血(液状保存)	3	11.3
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	2	12.0
		放射線療法	2	30.5
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	10.5
		骨盤内臓全摘術	1	27.0
		経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	1	8.0
		化学療法	1	15.0
C62	精巣<睾丸>	カバジタキセル アセトン付加物	1	12.0
		精巣悪性腫瘍手術	2	45.0
		リンパ節群郭清術 後腹膜	1	9.0
C64-C68 尿路				
C64	腎盂を除く腎	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	16	10.1
		腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	4	10.5
		スニチニプリング酸	2	14.5
		パゾパニブ塩酸塩	1	13.0
		腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	12.0
		膀胱内凝血除去術	1	3.0
C65	腎盂	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	5	12.4
		化学療法	3	14.0
		経尿道的尿管ステント留置術	1	4.0
C66	尿管	化学療法	6	19.5
		腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	5	11.2
		腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	12.0
C67	膀胱	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	25.0
		膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	51	7.3
		化学療法	9	11.2
		腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変向を行うもの)	3	31.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	56.0
		膀胱悪性腫瘍手術 切除	1	9.0
		腹腔鏡下腎摘出術	1	15.0
膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	1	7.0		
C69-C72 眼、脳および中枢神経系のその他の部位				
C71	脳	ベバシズマブ	7	10.9
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	72.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	5.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	86.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	1	33.0
C73-C75 甲状腺およびその他の内分泌腺				
C73	甲状腺	ベバシズマブ	7	10.9
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	72.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	5.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	86.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	1	33.0

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明			
C77	リンパ節の続発性および部位不明	化学療法ありかつ放射線療法なし	5	12.0
		頸部郭清術 片側	5	8.8
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	3	3.0
		リンパ節摘出術(長径3cm以上)	2	6.0
		リンパ節群郭清術 後腹膜	1	12.0
C78	呼吸器および消化器の続発性	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	24	7.2
		肝切除術 部分切除	13	10.1
		肝切除術 亜区域切除	8	12.1
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	4	3.0
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	3	10.3
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	2	11.5
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	5.5
		肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く)	2	9.5
		試験開腹術	2	11.0
		気管支ファイバースコープ	2	13.5
		オシメルチニブメシル酸塩	1	8.0
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) その他のもの	1	6.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	15.0
		肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	1	10.0
		肝切除術 外側区域切除	1	15.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	11.0
		肝切除術 2区域切除	1	10.0
		肺悪性腫瘍手術 区域切除	1	11.0
		C79	その他の部位の続発性	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定
放射線療法	4			14.8
化学療法なしかつ放射線療法あり	4			16.5
化学療法ありかつ放射線療法なし	2			11.0
皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1			7.0
C80	部位の明示なし	リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	22.0
		内視鏡的消化管止血術	1	12.0
		子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの	1	13.0
		放射線療法	1	18.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	22.0
C81-C96	リンパ組織、造血組織および関連組織			
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	化学療法ありかつ放射線療法なし	21	24.8
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注用挿入型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	5	30.0
		ブレソキシマブ ベドチン	5	18.4
		造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	1	19.0
		造血幹細胞移植(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	1	22.0
		放射線療法	1	22.0
C82	濾胞性リンパ腫	脾摘出術	1	61.0
		リソキシマブ	9	11.6
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注用挿入型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	6	24.5
		ベンダムスチン塩酸塩	2	9.5
		造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	1	19.0
		放射線療法	1	13.0
C83	非濾胞性リンパ腫	胸腔鏡下試験切除術	1	5.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	7.0
		造血幹細胞移植(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	1	21.0
		リソキシマブ	136	18.4
		化学療法ありかつ放射線療法なし	46	20.7
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注用挿入型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	43	26.0
		中心静脈注射	7	28.0
		ボルテゾミブ	5	15.8
		造血幹細胞移植(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	4	24.3
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	4	47.0
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	3	18.3
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	2	38.0
		放射線療法	2	72.5
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	2	28.0
		リンパ節摘出術(長径3cm以上)	1	11.0
		抗悪性腫瘍剤動脈内持続注用挿入型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	18.0

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	リツキシマブ	8	16.8
		中心静脈注射	2	31.5
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	4.0
		腹腔鏡下脾摘出術	1	9.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	17.0
C88	悪性免疫増殖性疾患	甲状腺悪性腫瘍手術 切除	1	7.0
		放射線療法	2	24.0
C90	多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	リツキシマブ	1	16.0
		ボルテゾミブ	23	26.7
		造血幹細胞採取(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	12	9.2
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	12	42.3
		レナリドミド水和物	11	18.4
		造血幹細胞移植(一連につき) 末梢血幹細胞採取 自家移植の場合	10	22.7
		カルフィルゾミブ	9	25.2
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む) 後方又は後側方固定	4	52.3
		ダラツムマブ	4	17.8
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	2	35.0
C91	リンパ性白血病	化学療法	22	27.4
		造血幹細胞移植(一連につき) 骨髄移植 同種移植の場合	5	142.4
		中心静脈注射	4	28.3
		ベンダムスチン塩酸塩	3	12.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置四肢に設置した場合	3	20.7
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	2	24.5
		造血幹細胞移植(一連につき) 臍帯血移植	1	103.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	1	24.0
		小腸結腸内視鏡的止血術	1	92.0
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5cm未満)	1	40.0
		内視鏡的消化管止血術	1	45.0
		ダサチニブ水和物	1	76.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置頭頸部その他に設置した場合	1	23.0
C92	骨髄性白血病	化学療法	59	28.8
		中心静脈注射	11	48.5
		ダサチニブ水和物	6	17.7
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	3	13.7
		造血幹細胞移植(一連につき) 骨髄移植 同種移植の場合	3	150.0
		抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢に設置した場合)	2	16.5
		三酸化ヒ素製剤	2	37.5
		造血幹細胞移植(一連につき) 臍帯血移植	2	173.0
		造血幹細胞移植(一連につき) 末梢血幹細胞移植 同種移植の場合	2	100.5
		イマチニブメシル酸塩	1	28.0
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	45.0
C93	単球性白血病	ボスチニブ水和物	1	17.0
		化学療法	4	38.0
C95	細胞型不明の白血病	造血幹細胞移植(一連につき) 骨髄移植 同種移植の場合	1	81.0
		中心静脈注射	1	50.0
D00-D09 上皮内新生物				
D00	口腔、食道および胃の上皮内癌	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	5	8.6
D04	皮膚の上皮内癌	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	6.0
D06	子宮頸(部)の上皮内癌	子宮頸部(腔部)切除術	11	3.0
		子宮全摘術	1	8.0
		子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	1	3.0

(2) 悪性新生物による死亡患者数



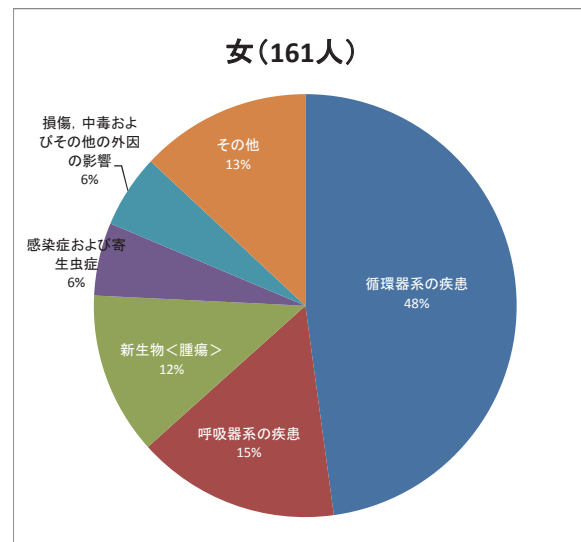
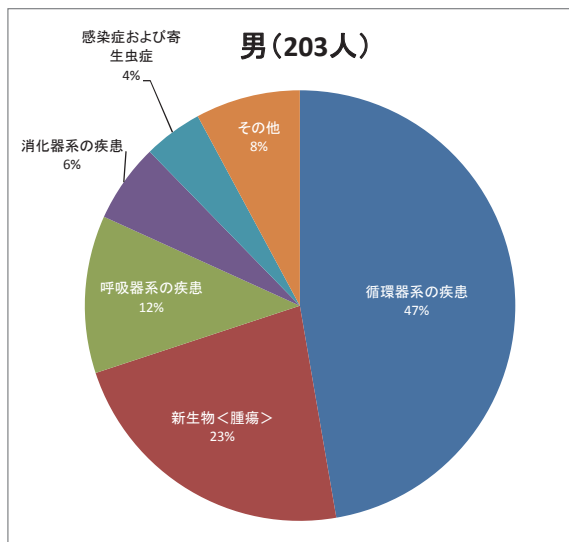
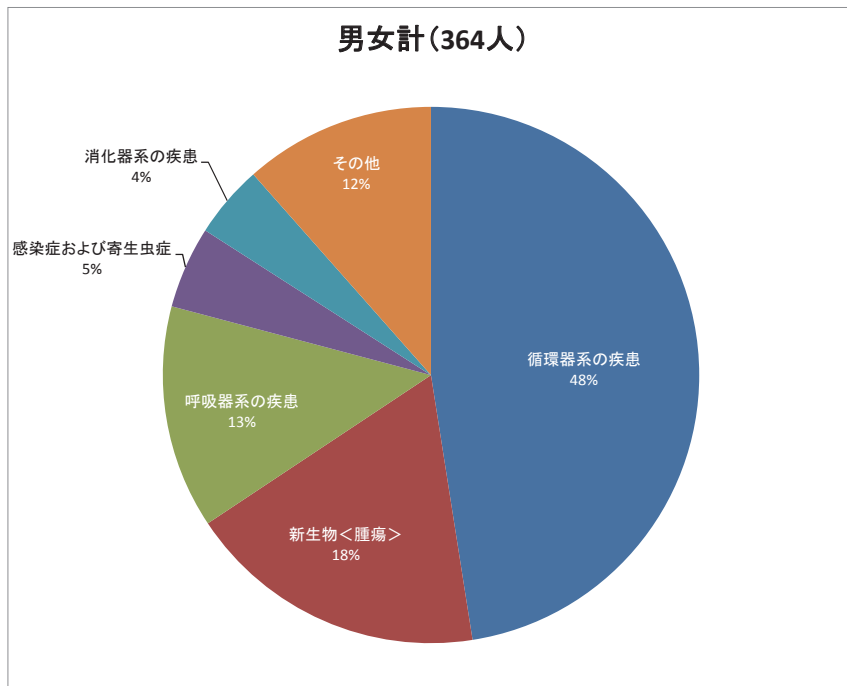
6 死亡患者統計 (1) 科別死亡率

診療科	退院患者数			死亡患者数				
	男	女	計	男	女	計	死亡率 (%)	平均年齢 (才)
総合診療科	160	171	331	8	6	14	4.2%	80.1
精神科	18	30	48			0	-	-
血液内科・輸血科	447	393	840	9	11	20	2.4%	68.2
糖尿病・内分泌内科	36	66	102			0	-	-
腫瘍内科	11	5	16	1		1	6.3%	76.0
ペインクリニック科	7	7	14			0	-	-
脳神経外科	358	245	603	14	22	36	6.0%	77.7
眼科	80	67	147			0	-	-
耳鼻咽喉科	250	144	394	4		4	1.0%	73.5
歯科口腔外科	72	61	133			0	-	-
呼吸器内科	282	143	425	8	7	15	3.5%	68.5
呼吸器外科	219	95	314	2	1	3	1.0%	72.7
循環器内科	1,089	547	1,636	20	18	38	2.3%	79.2
心臓血管外科	203	120	323	11	6	17	5.3%	77.6
乳腺・甲状腺外科	25	245	270		2	2	0.7%	69.5
消化器内科	453	289	742	8	5	13	1.8%	65.8
消化器外科・一般外科	1,031	578	1,609	17	8	25	1.6%	74.5
泌尿器科	411	134	545	3	1	4	0.7%	79.5
腎臓内科・膠原病科	52	73	125	2	1	3	2.4%	82.0
婦人科		450	450		1	1	0.2%	79.0
生殖医療科		9	9			0	-	-
移植外科	39	47	86	3		3	3.5%	64.0
救命救急科	386	271	657	85	68	153	23.3%	77.3
小児科	614	505	1,119	7	2	9	0.8%	6.3
小児外科	136	58	194			0	-	-
産科		917	917			0	-	-
皮膚科	11	13	24			0	-	-
整形外科	728	613	1,341	1	2	3	0.2%	71.3
形成外科	80	78	158			0	-	-
緩和ケア内科	7	5	12			0	-	-
児童精神科	16	10	26			0	-	-
総計	7,221	6,389	13,610	203	161	364	2.7%	74.9

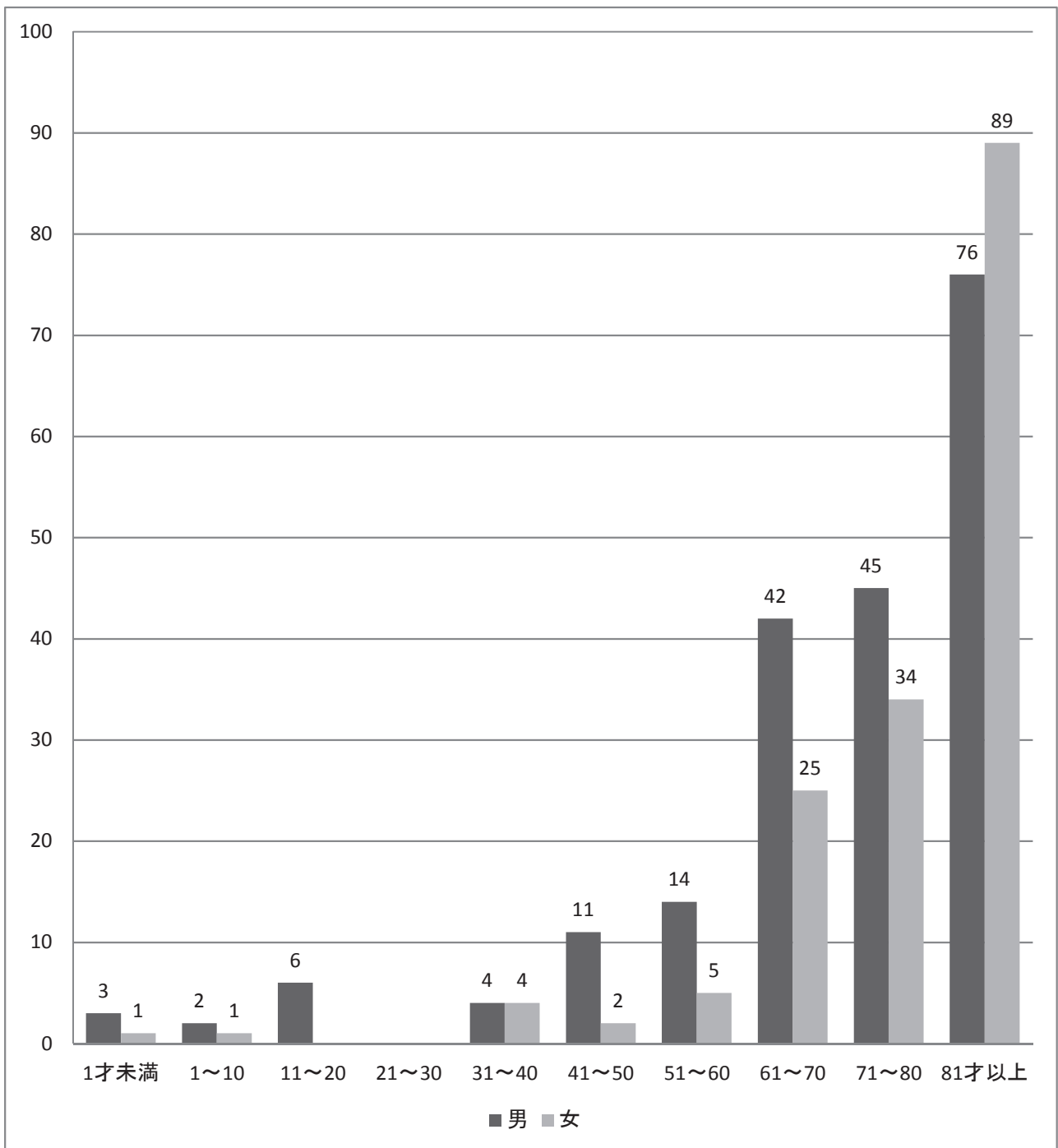
(2) 死亡患者数

疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	計	%
I	感染症及び寄生虫症	9	9	18	4.9%
II	新生物<腫瘍>	46	20	66	18.1%
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害	1	5	6	1.6%
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患		2	2	0.5%
V	精神及び行動の障害				0.0%
VI	神経系の疾患	1	2	3	0.8%
VII	眼及び付属器の疾患				0.0%
VIII	耳及び乳様突起の疾患				0.0%
IX	循環器系の疾患	96	77	173	47.5%
X	呼吸器系の疾患	24	25	49	13.5%
X I	消化器系の疾患	12	4	16	4.4%
X II	皮膚及び皮下組織の疾患				0.0%
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	2	2	4	1.1%
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	4	3	7	1.9%
X V	妊娠, 分娩及び産褥				0.0%
X VI	周産期に発生した病態	2	1	3	0.8%
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	1		1	0.3%
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		2	2	0.5%
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5	9	14	3.8%
X X	傷病及び死亡の外因				0.0%
総 計		203	161	364	100.0%

(3) 死亡患者数の割合



(4) 年齢別死亡患者数



(5) 死亡患者疾病順位表<性別・年齢別>

	年齢階層	患者数	順位																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
男 (203人)	1才未満	3	周産期に発生した病態 2	先天奇形、変形及び染色体異常 1																
	1-10	2	感染症及び寄生虫症 1	循環器系の疾患 1																
	11-20	6	循環器系の疾患 3	新生物<腫瘍> 2	消化器系の疾患 1															
	21-30	0																		
	31-40	4	循環器系の疾患 2	新生物<腫瘍> 1	消化器系の疾患 1															
	41-50	11	新生物<腫瘍> 6	循環器系の疾患 5																
	51-60	14	新生物<腫瘍> 5	循環器系の疾患 4	消化器系の疾患 2	損傷、中毒及びその他の外因の影響 2	腎尿路生殖器系の疾患 1													
	61-70	42	循環器系の疾患 17	新生物<腫瘍> 12	感染症及び寄生虫症 4	呼吸器系の疾患 4	消化器系の疾患 4	筋骨格系及び結合組織の疾患 1												
	71-80	45	循環器系の疾患 19	新生物<腫瘍> 12	呼吸器系の疾患 5	消化器系の疾患 4	損傷、中毒及びその他の外因の影響 2	感染症及び寄生虫症 1	神経系の疾患 1	腎尿路生殖器系の疾患 1										
	81才以上	76	循環器系の疾患 45	呼吸器系の疾患 15	新生物<腫瘍> 8	感染症及び寄生虫症 3	腎尿路生殖器系の疾患 2	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害 1	筋骨格系及び結合組織の疾患 1	損傷、中毒及びその他の外因の影響 1										
女 (161人)	1才未満	1	周産期に発生した病態 1																	
	1-10	1	呼吸器系の疾患 1																	
	11-20	0																		
	21-30	0																		
	31-40	4	新生物<腫瘍> 2	循環器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1															
	41-50	2	新生物<腫瘍> 1	循環器系の疾患 1																
	51-60	5	新生物<腫瘍> 2	感染症及び寄生虫症 1	循環器系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1														
	61-70	25	新生物<腫瘍> 8	循環器系の疾患 8	感染症及び寄生虫症 2	呼吸器系の疾患 2	損傷、中毒及びその他の外因の影響 2	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害 1	消化器系の疾患 1	腎尿路生殖器系の疾患 1										
	71-80	34	循環器系の疾患 13	新生物<腫瘍> 5	呼吸器系の疾患 5	損傷、中毒及びその他の外因の影響 3	神経系の疾患 2	筋骨格系及び結合組織の疾患 2	感染症及び寄生虫症 1	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害 1	内分泌、栄養及び代謝疾患 1	消化器系の疾患 1								
	81才以上	89	循環器系の疾患 53	呼吸器系の疾患 15	感染症及び寄生虫症 5	損傷、中毒及びその他の外因の影響 4	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害 3	新生物<腫瘍> 2	消化器系の疾患 2	腎尿路生殖器系の疾患 2	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 2	内分泌、栄養及び代謝疾患 2								